
神戸大学データ資料集2021

— データと資料が語る神戸大学の今の姿 —





目次

概要

1. 概要・ランキング … 1

教育

2. 学生数 … 4
 3. 学部一般選抜志願状況 … 6
 4. 入学状況 -学部- … 9
 5. 入学状況 -大学院- … 11
 6. 学位授与状況 -授与率- … 13
 7. 進路・就職状況 … 15
 8. 資格試験合格状況 … 24
 9. 学生生活状況 … 26

研究

10. 国際的な研究論文 … 28
 11. 科学研究費 … 34
 12. 日本学術振興会特別研究員 … 39
 13. 研究プログラムの採択状況 … 40
 14. 研究業績に関する主な受賞 … 43

産学官連携

15. 産学官連携状況 … 45
 16. 国内の大学等との連携協定 … 49
 17. 連携大学院等実施状況 … 50
 18. 教育関係共同利用拠点 … 52

国際

19. 留学 … 54
 20. 海外大学との交流状況 … 58
 21. 研究者等交流状況 … 61
 22. 国際化の状況 … 62

附属病院

23. 附属病院 … 64

附属学校

24. 附属学校 … 67

社会貢献

25. 公開講座等 … 68
 26. 学外機関への参画状況 … 69

教職員

27. 教員 … 70
 28. 職員 … 73

財務

29. 財務 … 74

附属図書館・その他一般開放施設

30. 附属図書館・その他一般開放施設 … 81

1. 概要・ランキング

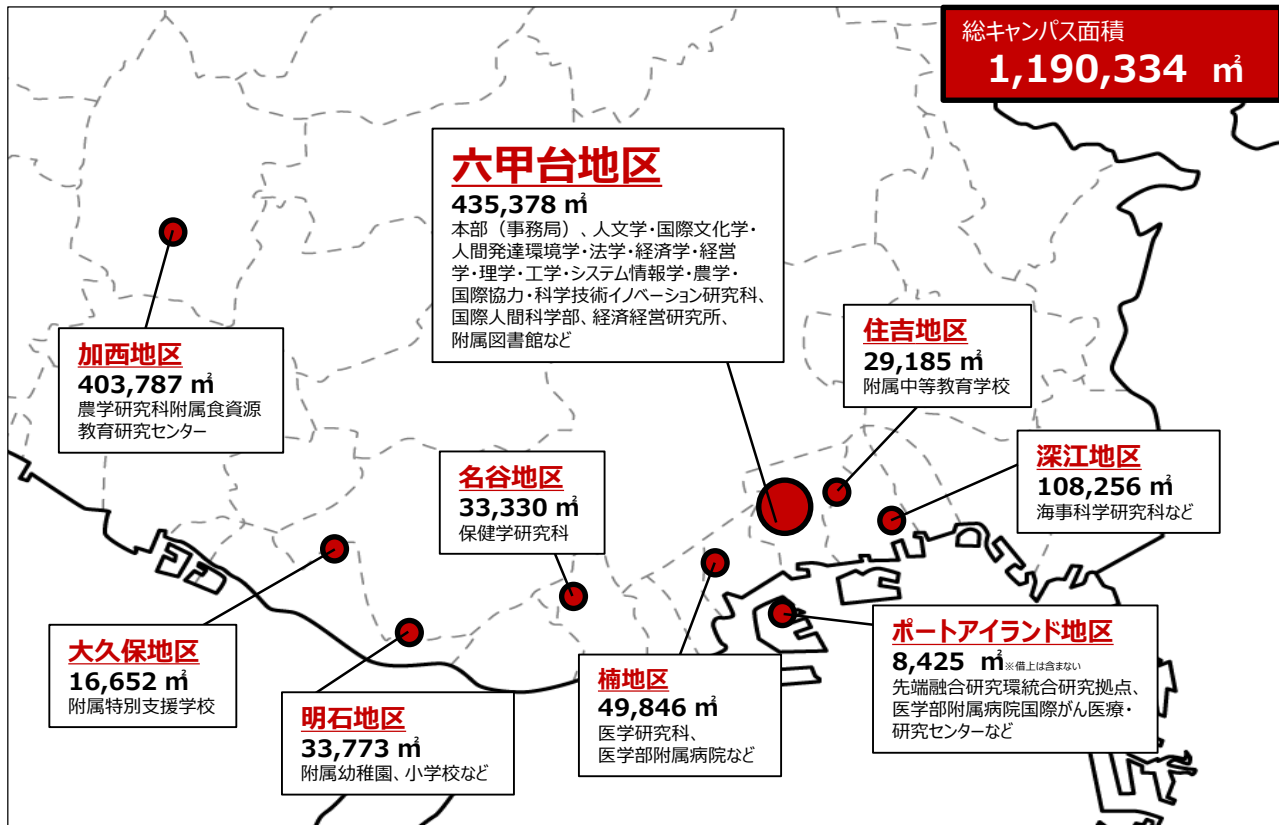
1-1 神戸大学の概要

2021年5月1日現在

区 分		入学定員 (※1)	入学者数	総定員	在籍者数 (女子内数)		
学生等数	学部	2,670	2,713	10,639	11,493	(4,111)	
	大学院	修士課程・博士課程前期課程	1,258	1,189	2,512	2,571	(910)
		博士課程・博士課程後期課程	395	306	1,285	1,622	(553)
		専門職学位課程	149	133	378	300	(78)
	合計	4,472	4,341	14,814	15,986	(5,652)	
外国人留学生数	学部生 (内数)	122	874	183	計		
					1,179	(615)	
附属学校	学級数		在籍者数 (※2)				
	45		1,293 [32]				
区 分		教員数 (※4)	附属学校教諭	その他職員数	計		
教職員数 (※3)		1,552	109	2,469	4,130		
	女性教職員数	285	52	1,757	2,094		
	女性比率	18.4%	47.7%	71.2%	50.7%		
予算規模		2021年度 約767億円 (うち運営費交付金等 約207億円)					

※1：入学定員は編入学定員を含む。 ※2：在籍者数の[]は、帰国子女数を内数で示す。
 ※3：教職員数は休職者を含む。 ※4：教員数は役員を含む。

1-2 主要キャンパス



学外オフィス等 [国内] 神戸大学東京オフィス、神戸大学梅田インテリジェントラボラトリ (大阪)
 [海外] 神戸大学中国事務所 (北京)、神戸大学ブリュッセルオフィス

1-3 神戸大学の位置

◆近隣国立大学との比較◆

大学名	神戸大学	京都大学	大阪大学	岡山大学	広島大学
学部	<ul style="list-style-type: none"> 文学部 国際人間科学部 法学部 経済学部 経営学部 理学部 医学部 工学部 農学部 海洋政策科学部(※) 	<ul style="list-style-type: none"> 総合人間学部 文学部 教育学部 法学部 経済学部 理学部 医学部 薬学部 工学部 農学部 	<ul style="list-style-type: none"> 文学部 人間科学部 外国語学部 法学部 経済学部 理学部 医学部 歯学部 薬学部 工学部 基礎工学部 	<ul style="list-style-type: none"> 文学部 教育学部 法学部 経済学部 理学部 医学部 歯学部 薬学部 工学部 環境理工学部 農学部 	<ul style="list-style-type: none"> 総合科学部 文学部 教育学部 法学部 経済学部 理学部 医学部 歯学部 薬学部 工学部 生物生産学部 情報科学部
大学院	<ul style="list-style-type: none"> 人文学研究科 国際文化学研究科 人間発達環境学研究科 法学研究科(法科大学院) 経済学研究科 経営学研究科(経営専門職大学院) 理学研究科 医学研究科 保健学研究科 工学研究科 システム情報学研究科 農学研究科 海事科学研究科 国際協力研究科 科学技術イノベーション研究科 	<ul style="list-style-type: none"> 文学研究科 教育学研究科 法学研究科(法科大学院) 経済学研究科 理学研究科 医学研究科 薬学研究科 工学研究科 農学研究科 人間・環境学研究科 エネルギー科学研究科 アジア・アフリカ地域研究研究科 情報学研究科 生命科学研究科 総合生存学館 地球環境学舎 公共政策教育部 経営管理教育部 	<ul style="list-style-type: none"> 文学研究科 人間科学研究科 言語文化研究科 法学研究科 経済学研究科 理学研究科 医学系研究科 歯学研究科 薬学研究科 工学研究科 基礎工学研究科 国際公共政策研究科 情報科学研究科 生命機能研究科 高等司法研究科(法科大学院) (大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学)連合小児発達学研究科 	<ul style="list-style-type: none"> 教育学研究科(教職大学院) 社会文化科学研究科 自然科学研究科 保健学研究科 環境生命科学研究科 医歯薬学総合研究科 ヘルスシステム統合科学研究科 法務研究科(法科大学院) 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科 	<ul style="list-style-type: none"> 人間社会科学研究科(教職大学院) (法科大学院) 先進理工科学研究科 統合生命科学研究科 医系科学研究科
附置研究所	<ul style="list-style-type: none"> 経済経営研究所 	<ul style="list-style-type: none"> 化学研究所 人文科学研究所 ウイルス・再生医学研究所 エネルギー理工学研究所 生存圏研究所 防災研究所 基礎物理学研究所 経済研究所 数理解析研究所 複合原子力科学研究所 霊長類研究所 東南アジア地域研究研究所 iPS細胞研究所 	<ul style="list-style-type: none"> 微生物病研究所 産業科学研究所 蛋白質研究所 社会経済研究所 接合科学研究所 レーザー科学研究所 	<ul style="list-style-type: none"> 資源植物科学研究所 惑星物質研究所 異分野基礎科学研究所 文明動態学研究所 	<ul style="list-style-type: none"> 原爆放射線医科学研究所
附属学校	<ul style="list-style-type: none"> 附属幼稚園 附属小学校 附属中等教育学校 附属特別支援学校 			<ul style="list-style-type: none"> 附属幼稚園 附属小学校 附属中学校 附属特別支援学校 	<ul style="list-style-type: none"> 附属幼稚園 附属小学校 附属中学校 附属高等学校

※2021年4月、「海事科学部」を改組し、「海洋政策科学部」を設置した。

出典：各大学ホームページ

◆大規模13大学間の比較◆

大学名	入学定員	学部数
大阪大学	3,255	11
東京大学	3,060	10
京都大学	2,823	10
九州大学	2,554	12
神戸大学	2,530	10
北海道大学	2,485	12
東北大学	2,377	10
広島大学	2,337	12
千葉大学	2,317	10
新潟大学	2,227	10
岡山大学	2,195	11
名古屋大学	2,107	9
筑波大学	2,101	9

(2021)

大学名	入学定員	入学定員(M)	入学定員(D)	入学定員(P)	大学院数
東京大学	5,037	2,928	1,699	410	15
京都大学	3,763	2,308	1,121	334	18
大阪大学	3,090	2,083	927	80	16
九州大学	2,733	1,813	780	140	18
東北大学	2,673	1,785	768	120	15
筑波大学	2,508	1,831	611	66	7
名古屋大学	2,438	1,656	732	50	13
北海道大学	2,375	1,632	643	100	21
東京工業大学	2,151	1,544	567	40	6
神戸大学	1,802	1,258	395	149	15
広島大学	1,620	1,115	455	50	4
千葉大学	1,287	958	269	60	7
岡山大学	1,125	785	271	69	8

(2021)

※国立大学間で学部入学定員の上位13大学を「大規模13大学」と定義する。

◆世界ランキングによる比較◆

QS社・世界大学ランキング

順位	大学名	世界順位
1	東京大学	23
2	京都大学	33
3	東京工業大学	56
4	大阪大学	75
5	東北大学	82
6	名古屋大学	118
7	九州大学	137
8	北海道大学	145
9	慶應義塾大学	201
10	早稲田大学	203
11	筑波大学	285
12	広島大学	343
13	東京医科歯科大学	381
14	神戸大学	386
15	千葉大学	477

(2021-2022)

QS社・アジア大学ランキング

順位	大学名	アジア順位
1	東京大学	11
2	京都大学	15
3	東京工業大学	21
4	大阪大学	22
5	東北大学	23
6	名古屋大学	28
7	九州大学	29
8	北海道大学	30
9	早稲田大学	40
10	慶應義塾大学	46
11	筑波大学	49
12	神戸大学	64
13	広島大学	83
14	一橋大学	100
15	立命館大学	127

(2021-2022)

上海交通大学・世界大学学術ランキング

順位	大学名	世界順位
1	東京大学	24
2	京都大学	37
3	名古屋大学	84
4	東京工業大学	101-150
5	北海道大学	151-200
	大阪大学	
	東北大学	
8	九州大学	201-300
	筑波大学	
10	慶應義塾大学	301-400
11	神戸大学	401-500
	岡山大学	
13	広島大学	501-600
	東京理科大学	
	早稲田大学	

(2021)

THE誌・世界大学ランキング

順位	大学名	世界順位
1	東京大学	35
2	京都大学	61
3	東北大学	201-250
4	大阪大学	301-350
	東京工業大学	
6	名古屋大学	351-400
7	産業医科大学	401-500
	横浜市立大学	
9	北海道大学	501-600
	九州大学	
	東京医科歯科大学	
	筑波大学	
13	会津大学	601-800
	関西医科大学	
	慶應義塾大学	
	神戸大学	
	日本医科大学	
	東京都立大学	

(2021-2022)

THE誌・アジア大学ランキング

順位	大学名	アジア順位
1	東京大学	6
2	京都大学	10
3	東北大学	27
4	東京工業大学	48
5	名古屋大学	52
6	大阪大学	63
7	産業医科大学	66
8	九州大学	74
9	東京医科歯科大学	77
10	筑波大学	94
11	北海道大学	98
12	藤田医科大学	109
13	帝京大学	113
14	関西医科大学	144
15	会津大学	152
	横浜市立大学	
17	日本医科大学	165
18	慶應義塾大学	180
19	神戸大学	183

(2021)

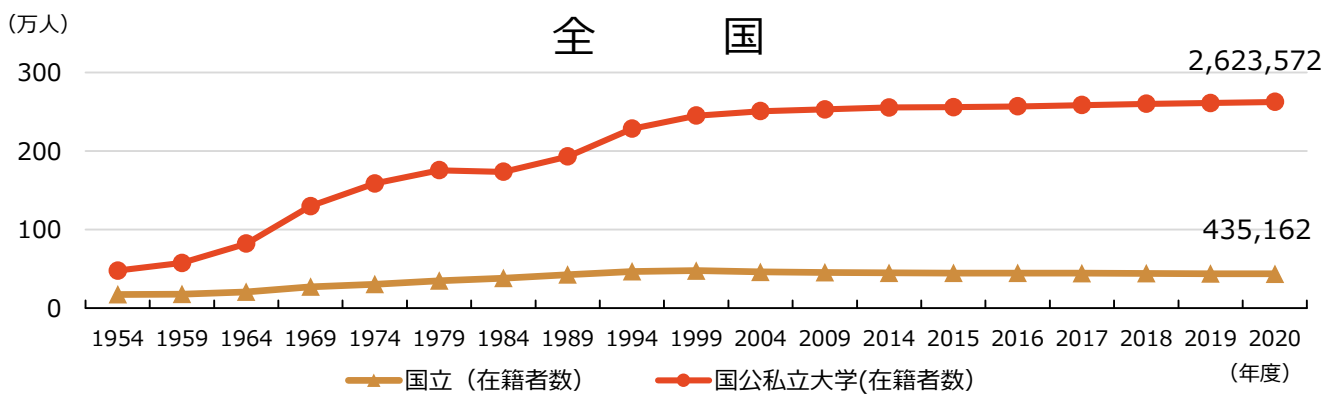
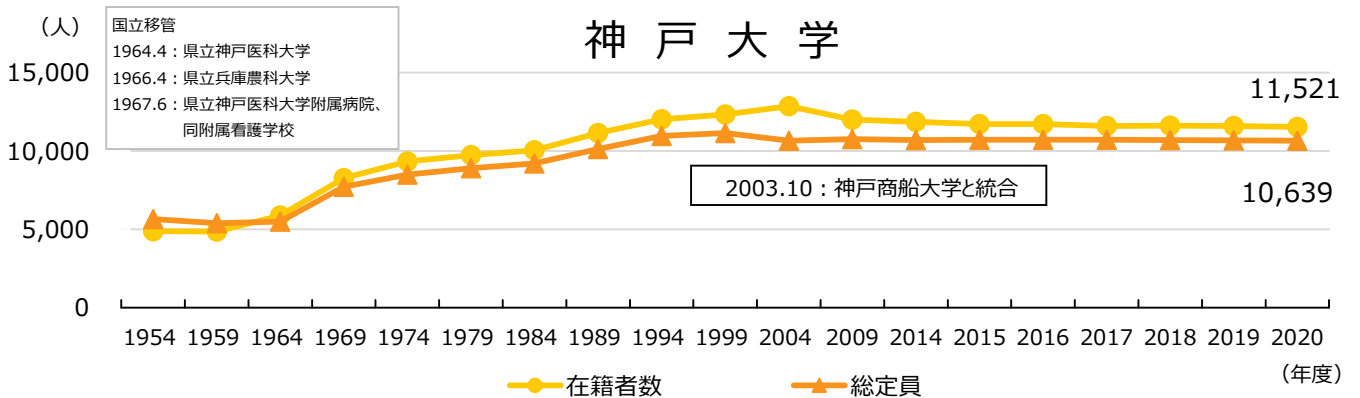
出典:各発表機関ウェブサイト

※「-」についてはその順位グループに属していることを示している。(例:「201-300」は、201位から300位のグループ)

2. 学生数

2-1 学生数の推移 — 学士課程 —

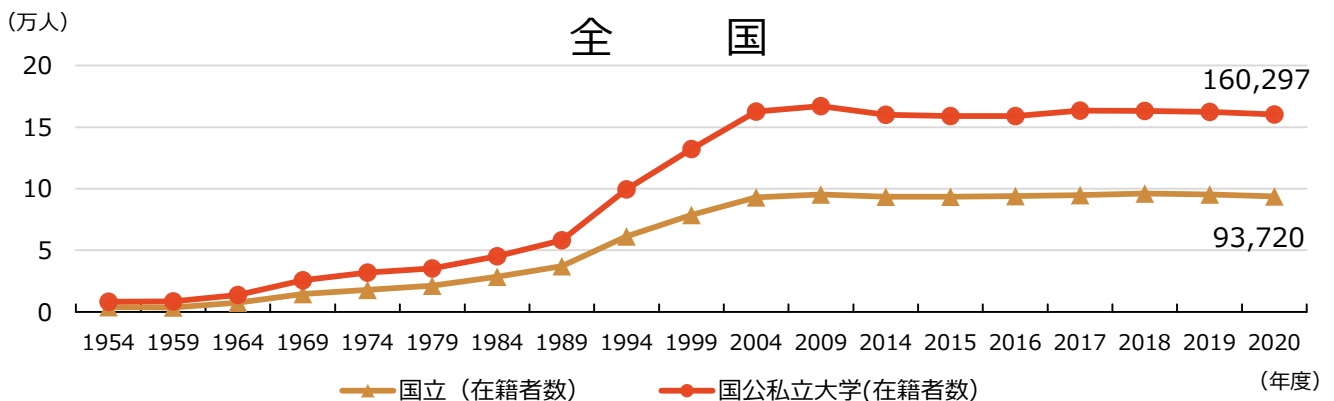
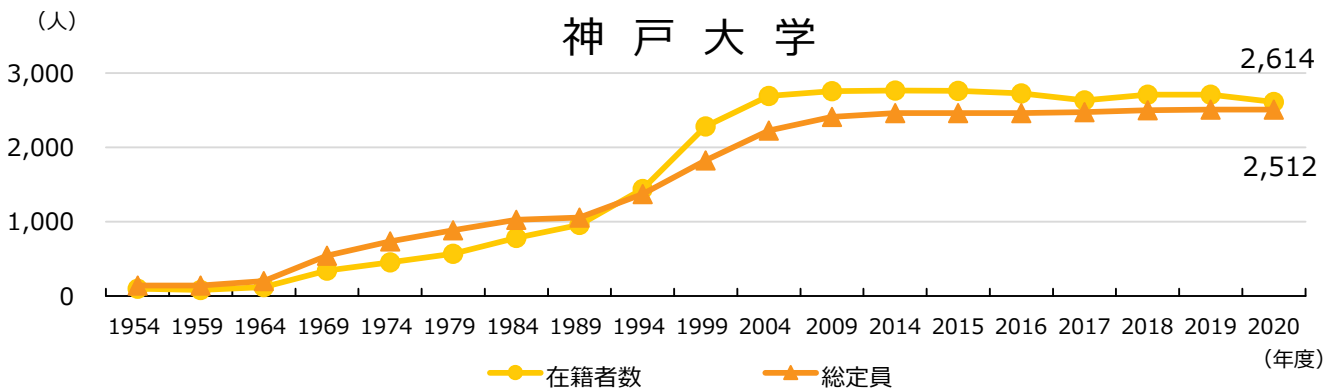
各年度5月1日現在



出典：文部科学省 学校基本調査報告書・学校基本調査

2-2 学生数の推移 — 修士課程・博士課程前期課程 —

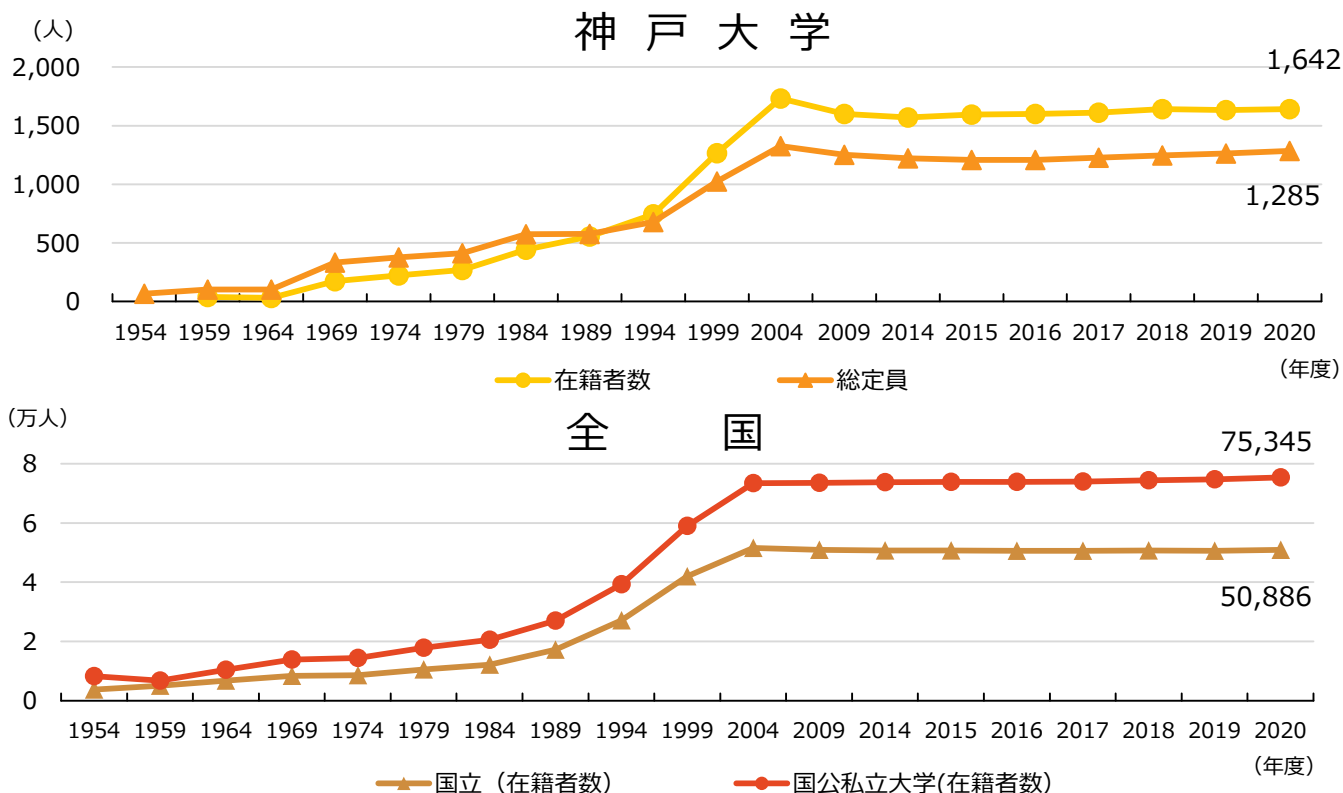
各年度5月1日現在



出典：文部科学省 学校基本調査報告書・学校基本調査

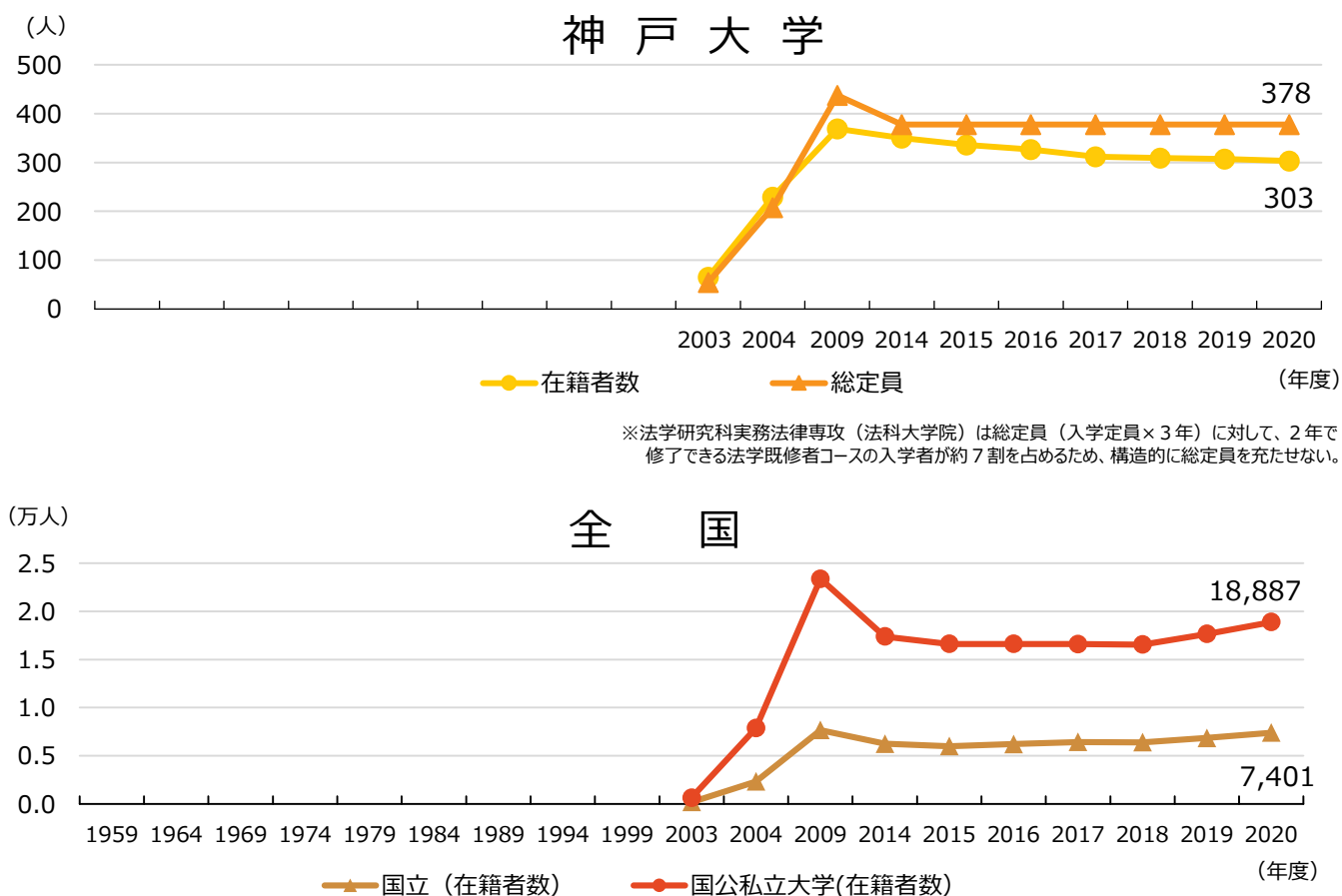
2-3 学生数の推移 — 博士課程・博士課程後期課程 —

各年度5月1日現在



2-4 学生数の推移 — 専門職学位課程 —

各年度5月1日現在



※法学研究科実務法律専攻（法科大学院）は総定員（入学定員×3年）に対して、2年で修了できる法学既修者コースの入学者が約7割を占めるため、構造的に総定員を充たせない。

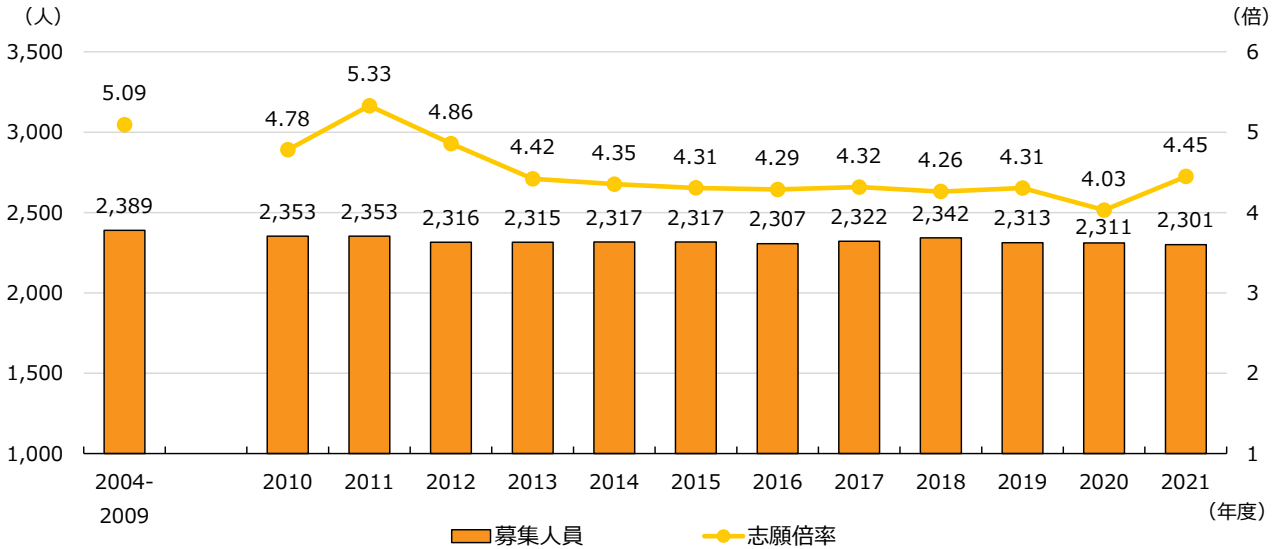
※2004年度から法科大学院制度が創設されたことに伴い、専門職大学院の在籍者数が急激に増加し、2009年度以降に一旦減少したが、近年は同水準を維持している。

出典：文部科学省 学校基本調査報告書・学校基本調査

3. 学部一般選抜志願状況

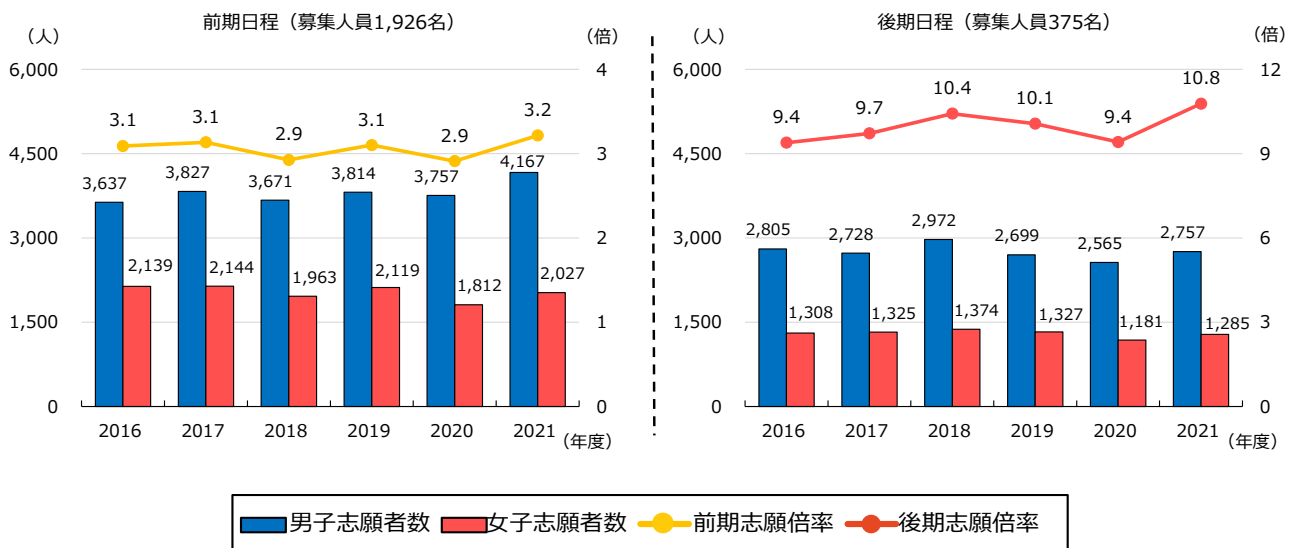
3-1 学部一般選抜志願状況（推移）

○ 本学の学部一般選抜（一般入試）の志願倍率は、2020年度に4.03倍と法人化以降、最低水準となったが、2021年度は4.45倍と例年の水準を上回る倍率となった。



3-2 学部一般選抜志願状況（日程別・男女別推移）

○ 前期日程は3倍程度、後期日程は10倍程度の志願倍率を推移しているが、2021年度はいずれもその水準を上回る倍率となった。
 ○ 志願者の男女比については、年度によってやや差があるものの、概して2対1の割合で推移している。



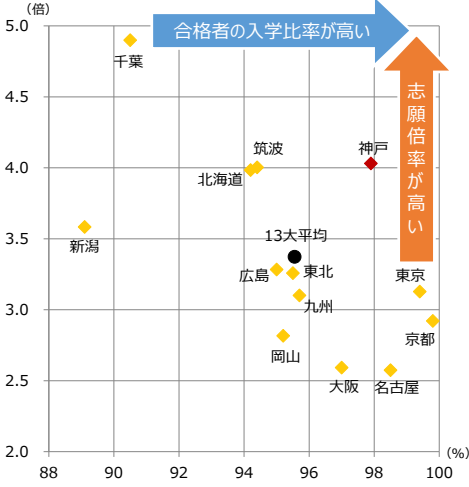
※各日程の募集人員は2021年度の数値を記載している。その他の各年度の募集人員は以下のとおり。

2016 前期：1,869名 後期：438名 2018 前期：1,925名 後期：417名 2020 前期：1,913名 後期：398名
 2017 前期：1,905名 後期：417名 2019 前期：1,913名 後期：400名

3-3 全国の大学の志願状況及び入学定員

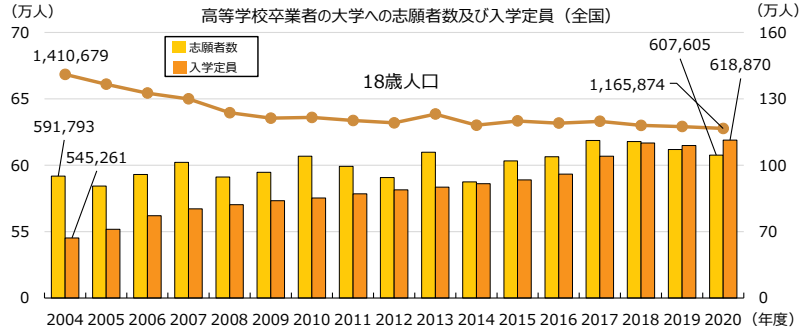
◆大規模13大学の状況（2020年度入試）

大学名	北海道	東北	筑波	千葉	東京	新潟	名古屋	京都	大阪	神戸	岡山	広島	九州	13大学平均
募集人員	2,436人	1,761人	1,457人	2,084人	2,960人	1,667人	1,739人	2,635人	2,878人	2,311人	1,674人	2,015人	2,335人	2,150人
志願者数	9,752人	5,738人	5,806人	10,212人	9,259人	5,974人	4,477人	7,699人	7,462人	9,315人	4,715人	6,616人	7,241人	7,251人
志願倍率	4.0	3.3	4.0	4.9	3.1	3.6	2.6	2.9	2.6	4.0	2.8	3.3	3.1	3.4
合格者の入学率	94.4%	95.5%	94.2%	90.5%	99.4%	89.1%	98.5%	99.8%	97.0%	97.9%	95.2%	95.0%	95.7%	95.6%



出典（募集人員・志願者数・志願倍率）：令和2年度国立大学入学者選抜の志願状況，大学入試センターHP
出典（合格者の入学率）：朝日大学ランキング2022（※北海道大学はHPの入試結果より算出）

◆全国の大学志願者数および入学定員（推移）



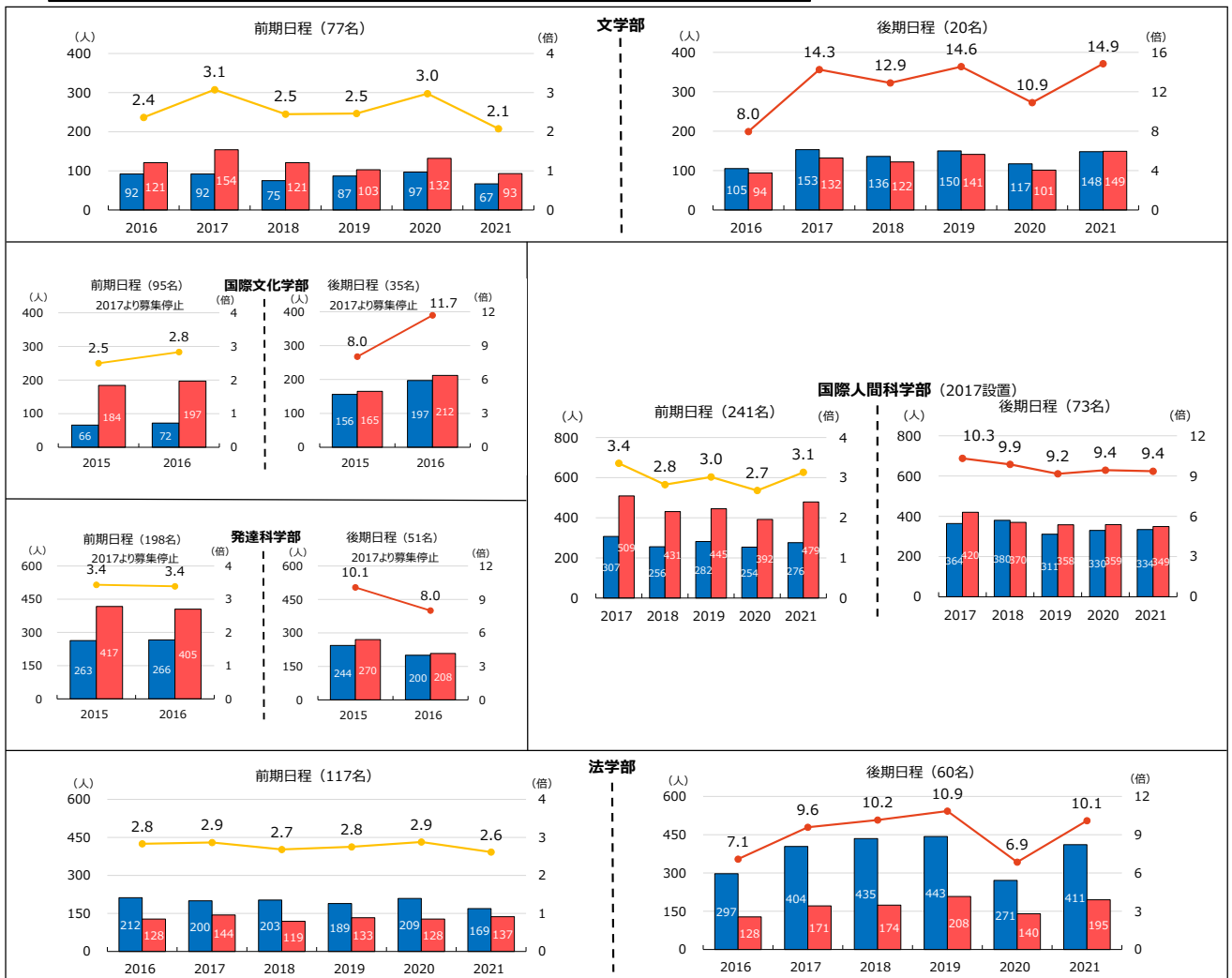
※18歳人口：3年前の中学校卒業生及び中学校前期課程修了者より推定
出典：（志願者数）文部科学省 学校基本調査（入学定員）全国大学一覽

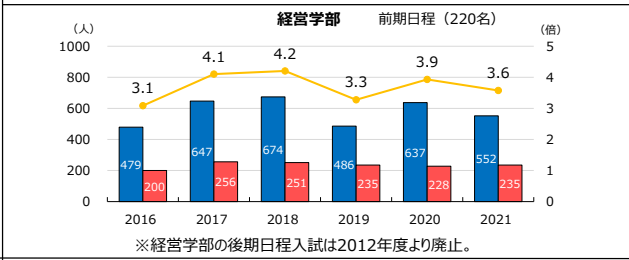
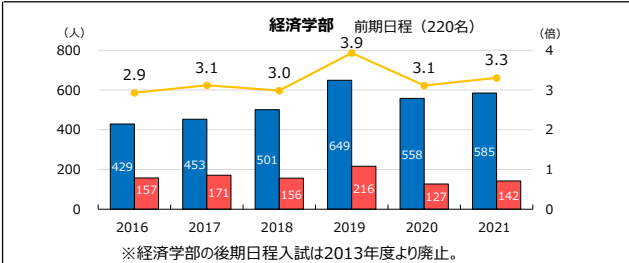
3-4 学部ごとの一般選抜志願状況（日程別・男女別推移）

- 志願倍率は各学部とも毎年上下しており、前期日程では、主に理系学部の志願倍率が上昇する結果となった。
- 後期日程は、文学部、法学部が前年度から大きく上昇した。

■ 男子志願者数 ■ 女子志願者数 ● 前期志願倍率 ● 後期志願倍率

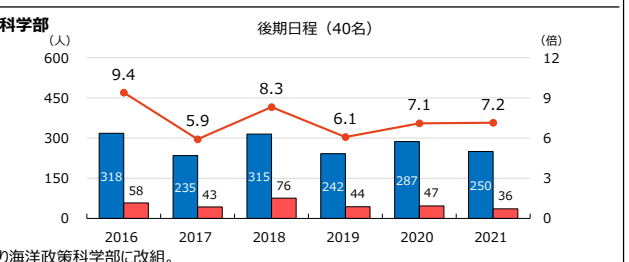
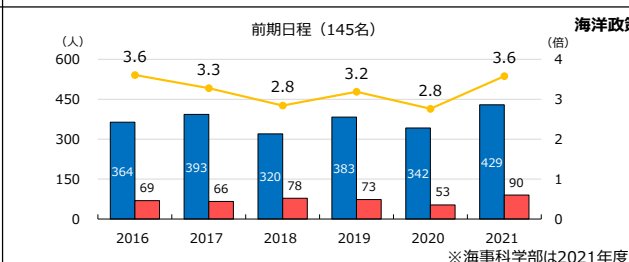
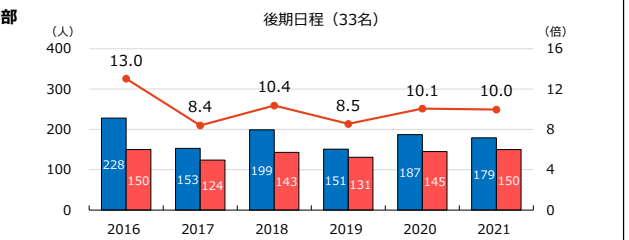
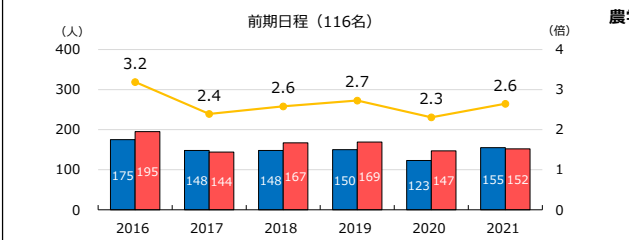
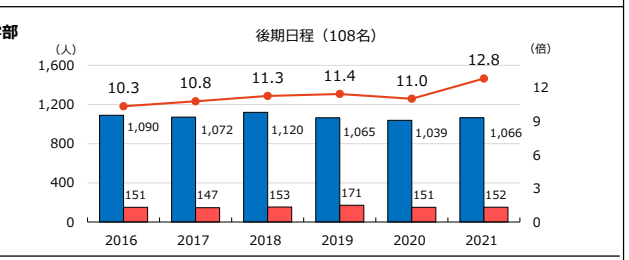
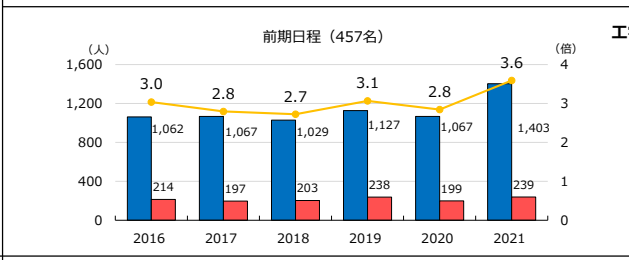
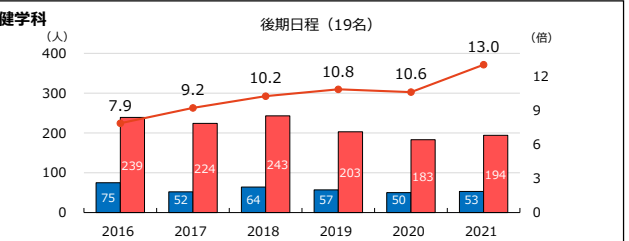
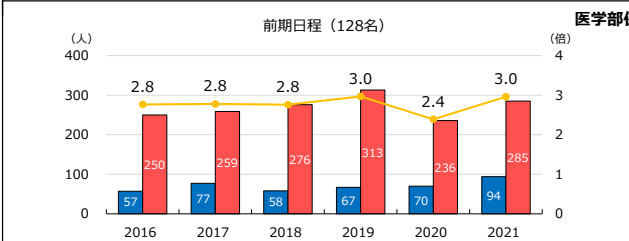
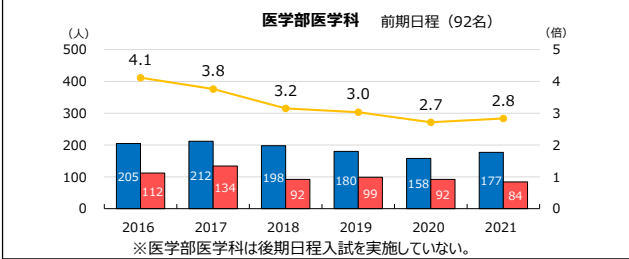
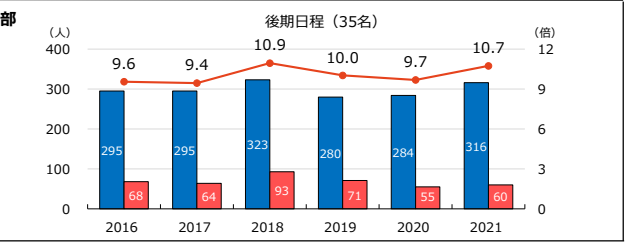
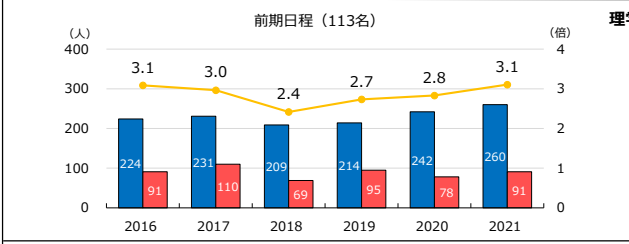
・（ ）書きは各日程の2021年度募集定員（国際文化学部、発達科学部は2016年度）





※募集定員が年度によりグラフ内に記載の人数と異なる学部は以下のとおり。

- 文学部 (前) 2016:90名、2017~2018:80名 (後) 2016:25名
- 国際文化学部 (前) 2015:100名 (後) 2015:40名
- 国際人間科学部 (前) 2017~2018:243名 (後) 2017~2018:76名
- 法学部 (前) 2016~2018:120名 (後) 2016~2017:200名
- 経済学部 (前) 2016:102名、2017~2018:115名 (後) 2016~2018:38名
- 理学部 (前) 2016:77名
- 医学部医学科 (前) 2016:111名、2017~2018:121名 (後) 2016:40名、2017~2018:30名、2019:24名、2020:22名
- 医学部保健学科 (前) 2016:111名、2017~2018:121名 (後) 2016:40名、2017~2018:30名、2019:24名、2020:22名
- 工学部 (前) 2016:420名、2017~2018:452名、2019~2020:445名 (後) 2016:120名、2017~2018:113名、2019~2020:108名
- 農学部 (前) 2016:116名、2017~2018:122名、2019~2020:117名 (後) 2016:29名
- 海事科学部 (前) 2016:120名、2017~2018:140名、2019~2020:143名 (後) 2016:40名、2017~2020:47名

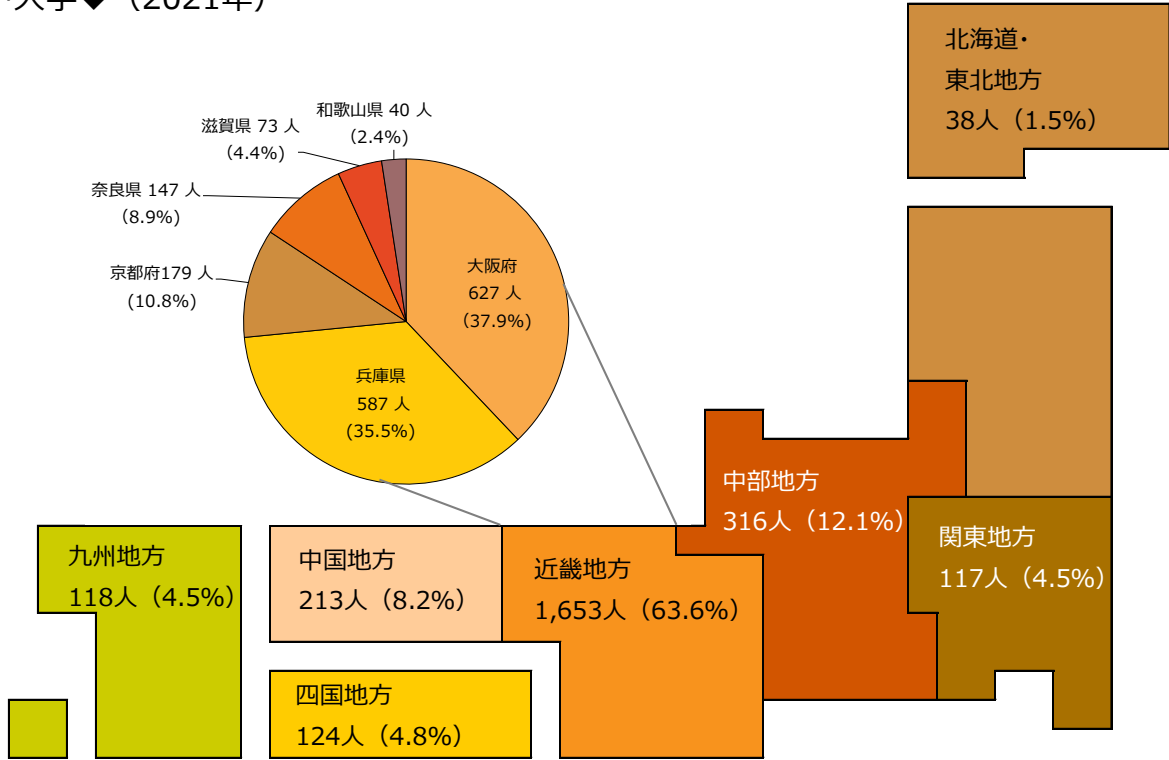


4. 入学状況 - 学部 -

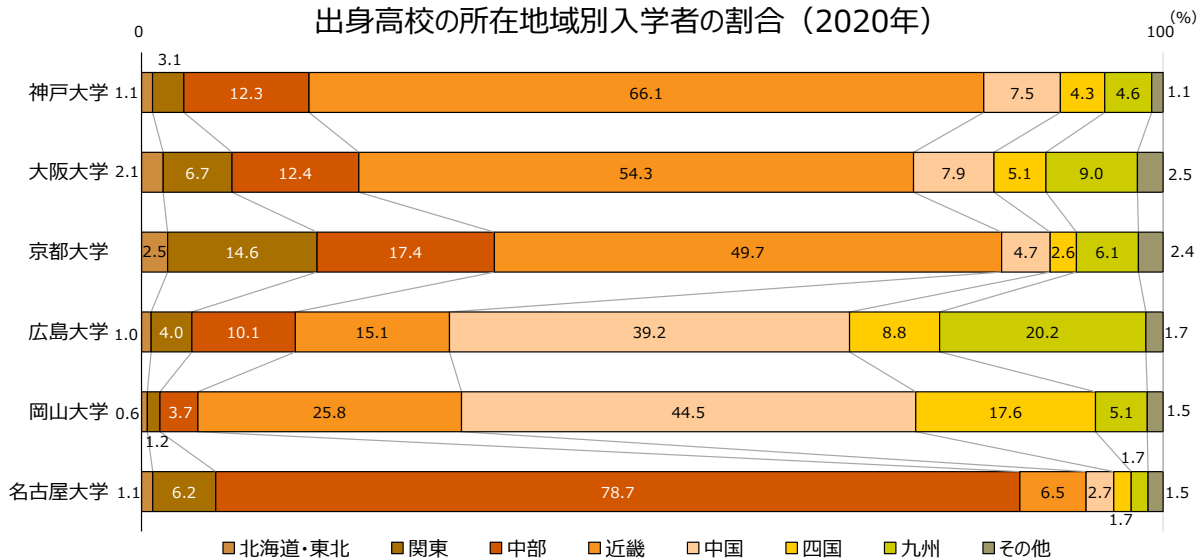
4-1 出身高校の所在地別入学者状況

○ 神戸大学では入学者のおよそ3分の2を近畿地方の高校出身者が占めており、うち7割以上が大阪府または兵庫県に所在する高校の出身者である。

◆神戸大学◆ (2021年)



出身高校の所在地域別入学者の割合 (2020年)



- 【北海道・東北地方】北海道、青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県
- 【関東地方】群馬県、茨城県、千葉県、栃木県、埼玉県、東京都、神奈川県
- 【中部地方】新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県、山梨県、岐阜県、愛知県、静岡県、三重県
- 【近畿地方】滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- 【中国地方】鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- 【四国地方】徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- 【九州地方】福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
- 【その他】外国の学校等

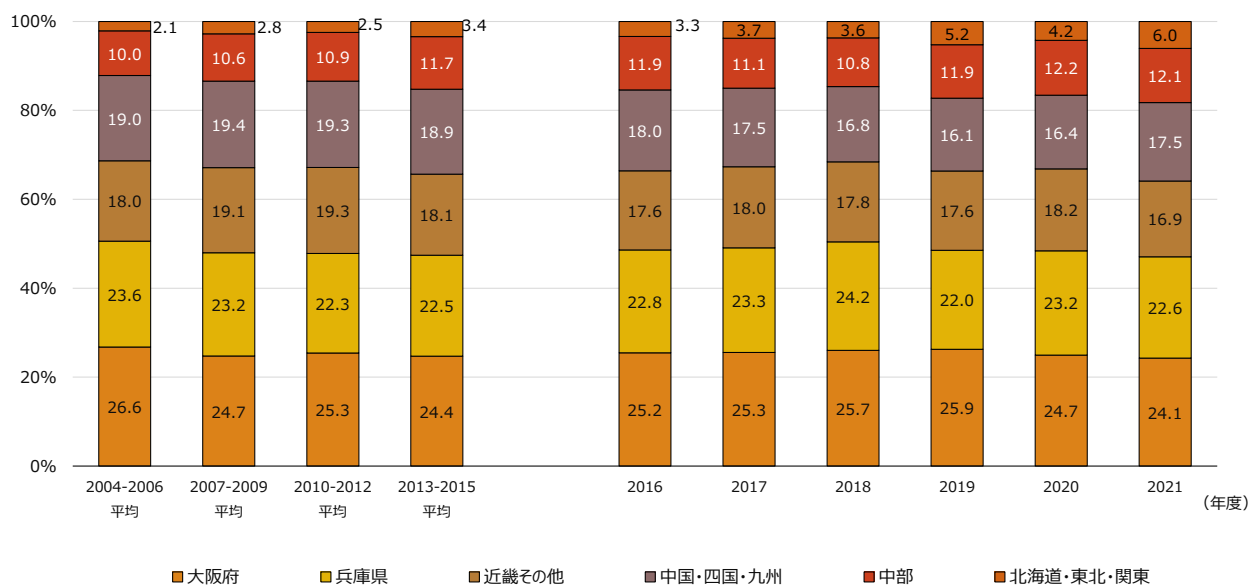
出典：大学改革支援・学位授与機構 大学基本情報「(8-G) 出身高校の所在地域別入学者数」

※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

4-2 出身高校の所在地別入学者状況の経年推移

◆神戸大学◆

出身高校の所在地別入学者状況の経年推移

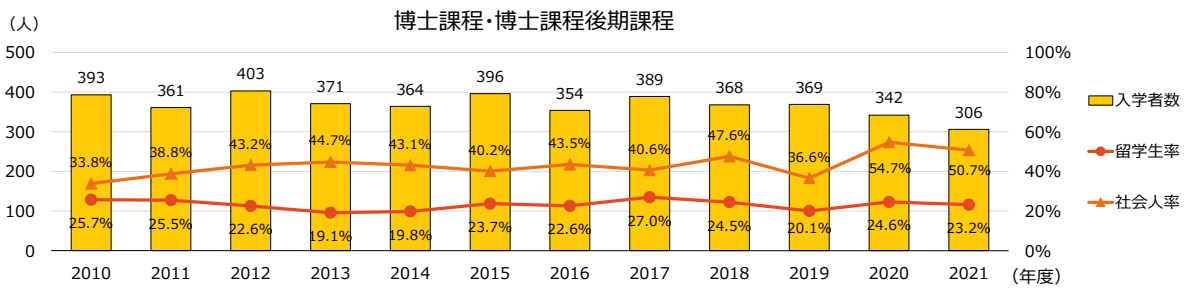
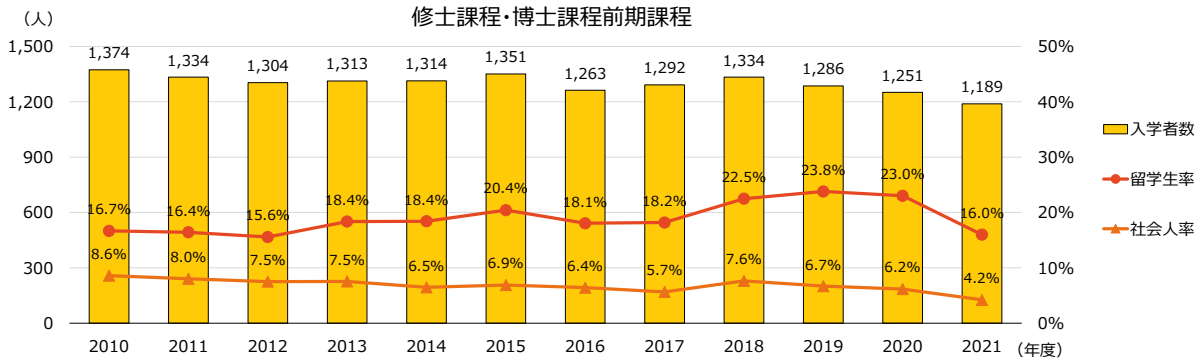


※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

5. 入学状況 — 大学院 —

5-1 大学院入学状況

◆神戸大学◆ ※2010～2020年度は春入学者及び秋入学者、2021年度は春入学者のみを計上している。

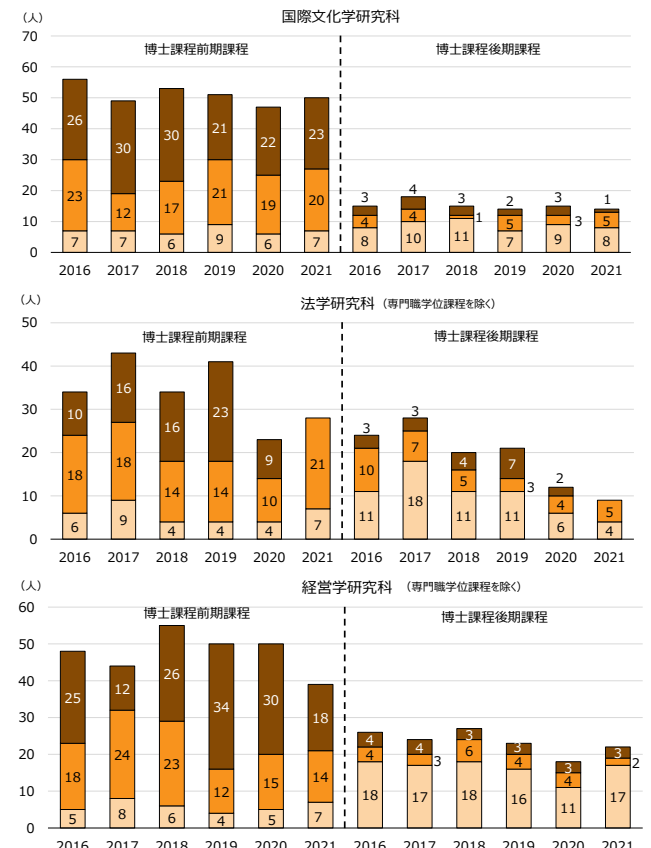
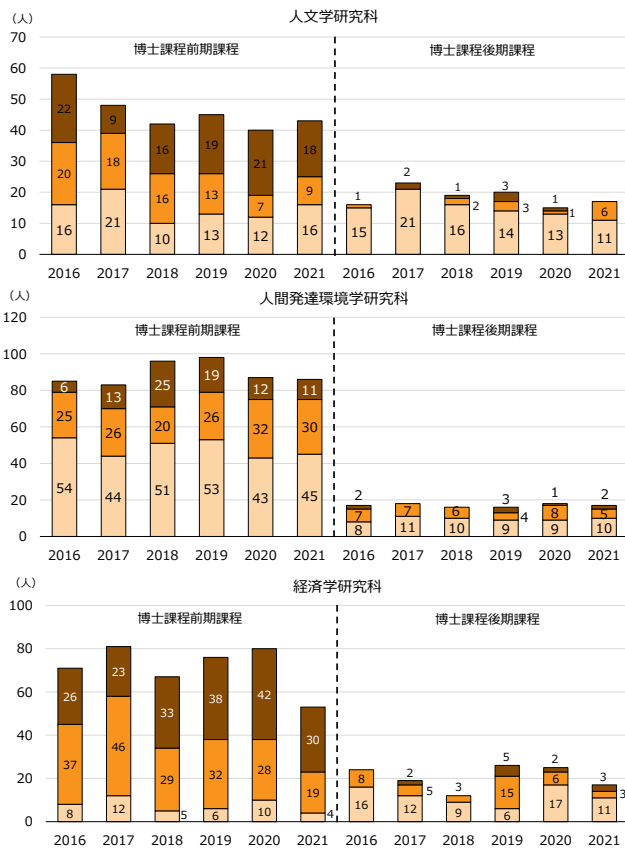


5-2 大学院入学状況 — 研究科別・出身大学別 —

○ 自然科学系の研究科においては、博士課程前期課程に本学出身の学生がそのまま進学するケースが多いが、人文科学系、社会科学系及び医学系の研究科においては、多くの他学出身者が入学している傾向が見られる。

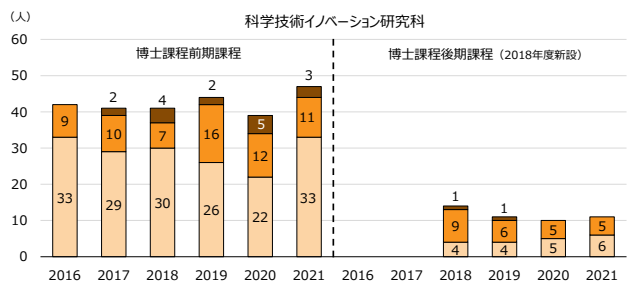
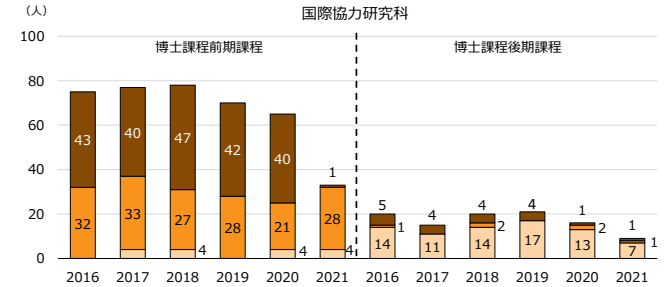
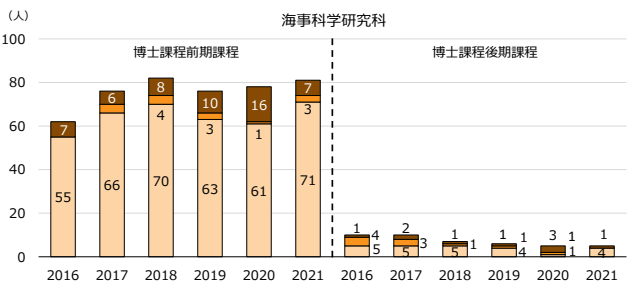
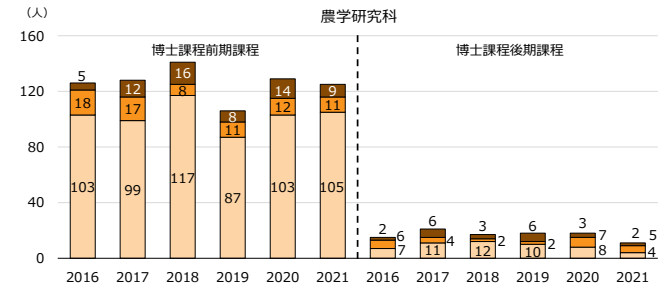
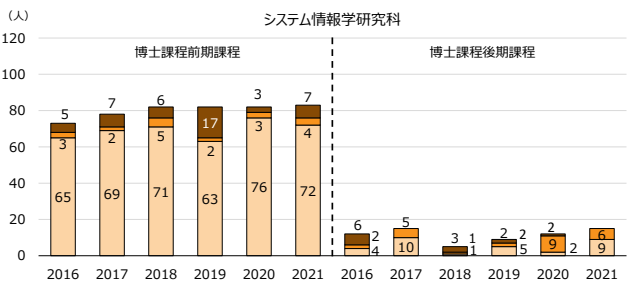
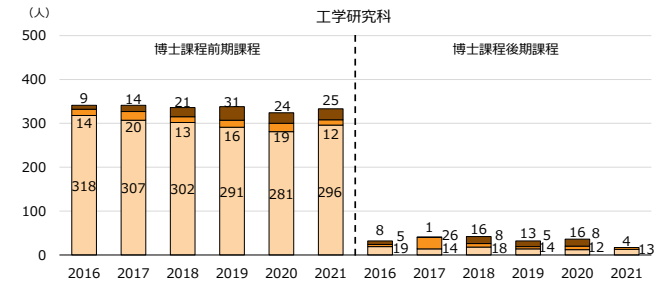
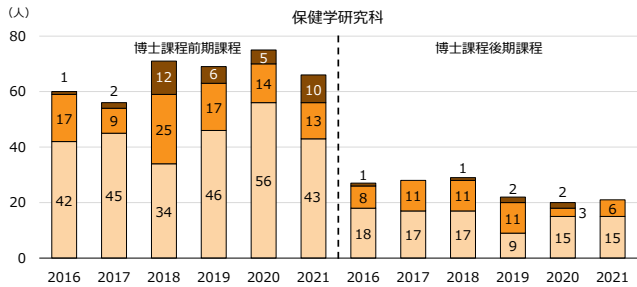
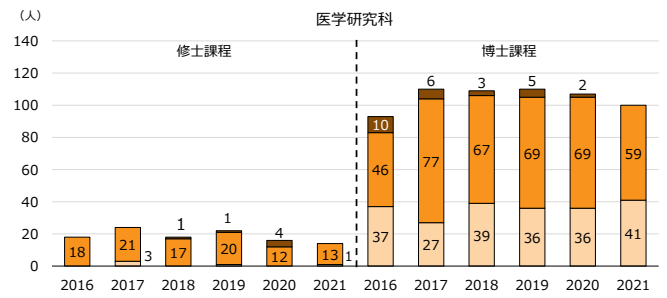
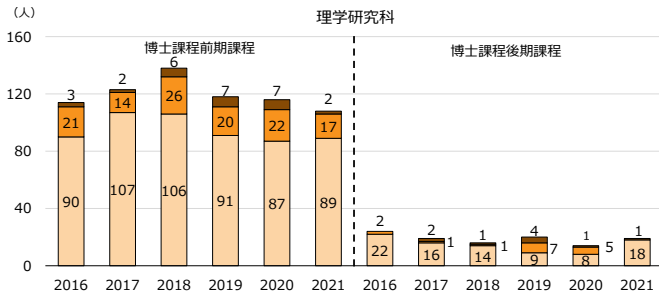
◆神戸大学◆ ※2016～2020年度は春入学者及び秋入学者、2021年度は春入学者のみを計上している。

■ 本学出身 ■ 他学出身 ■ その他（外国の学校を卒業した者等）

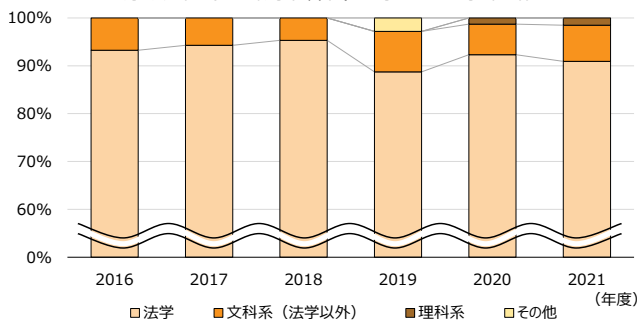


※2016～2020年度は春入学者及び秋入学者、2021年度は春入学者のみを計上している。

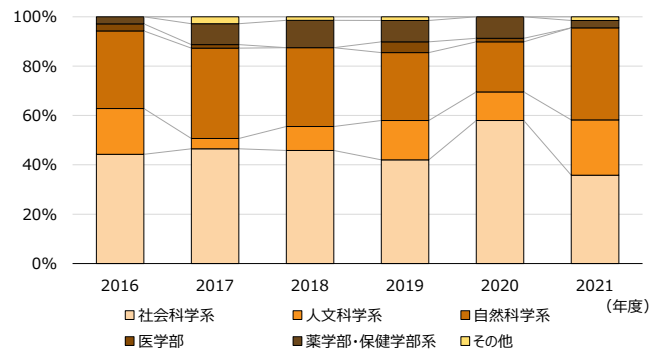
□ 本学出身 □ 他学出身 ■ その他（外国の学校を卒業した者等）



法学研究科（専門職学位課程）入学者 出身学部別割合



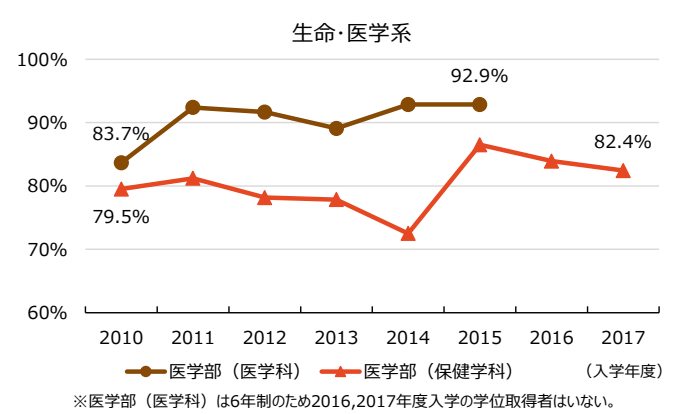
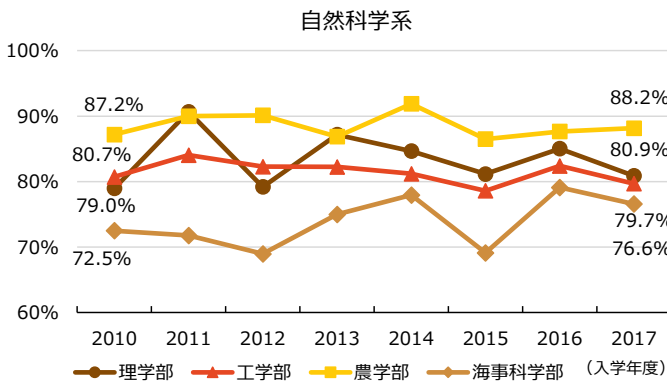
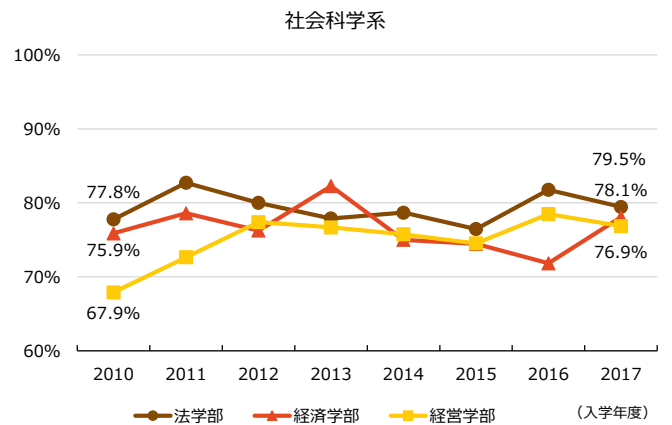
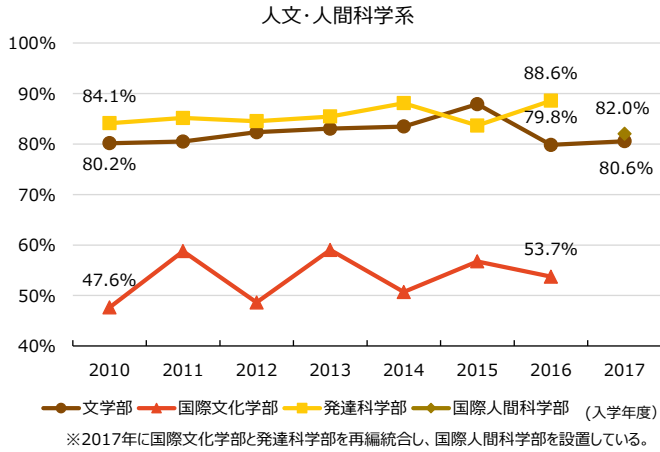
経営学研究科（専門職学位課程）入学者 出身学部別割合



6. 学位授与状況 — 授与率 —

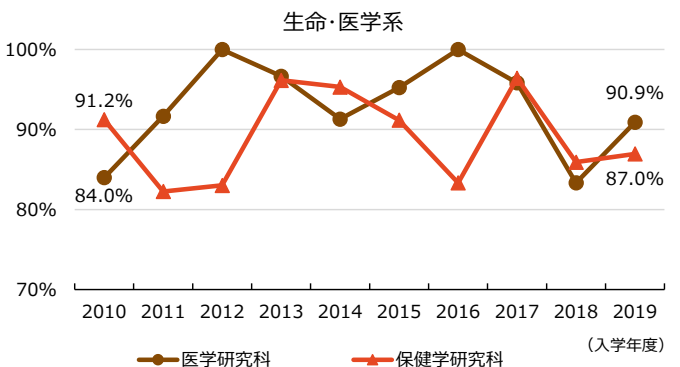
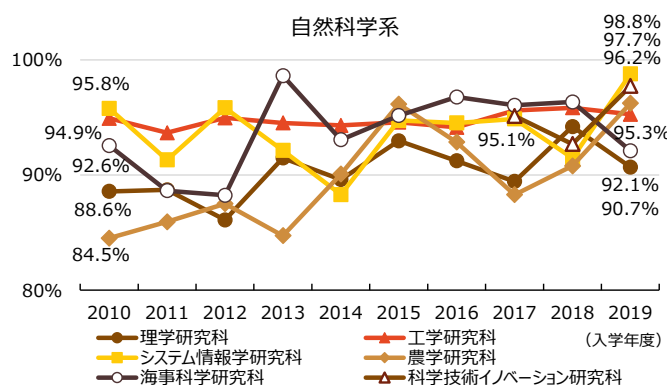
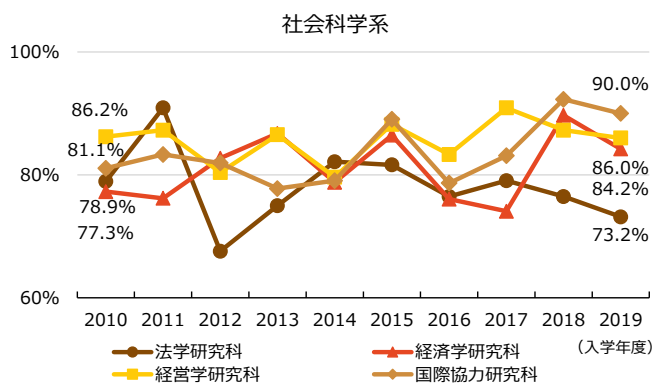
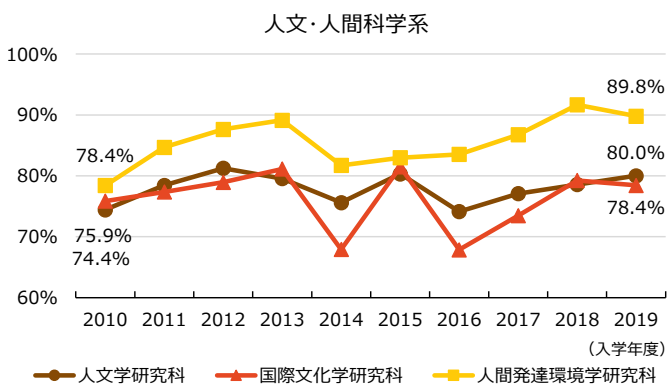
◆ 学士課程（入学年度別標準修業年限内学位取得者の割合）

※授与率=修了者数/入学者数



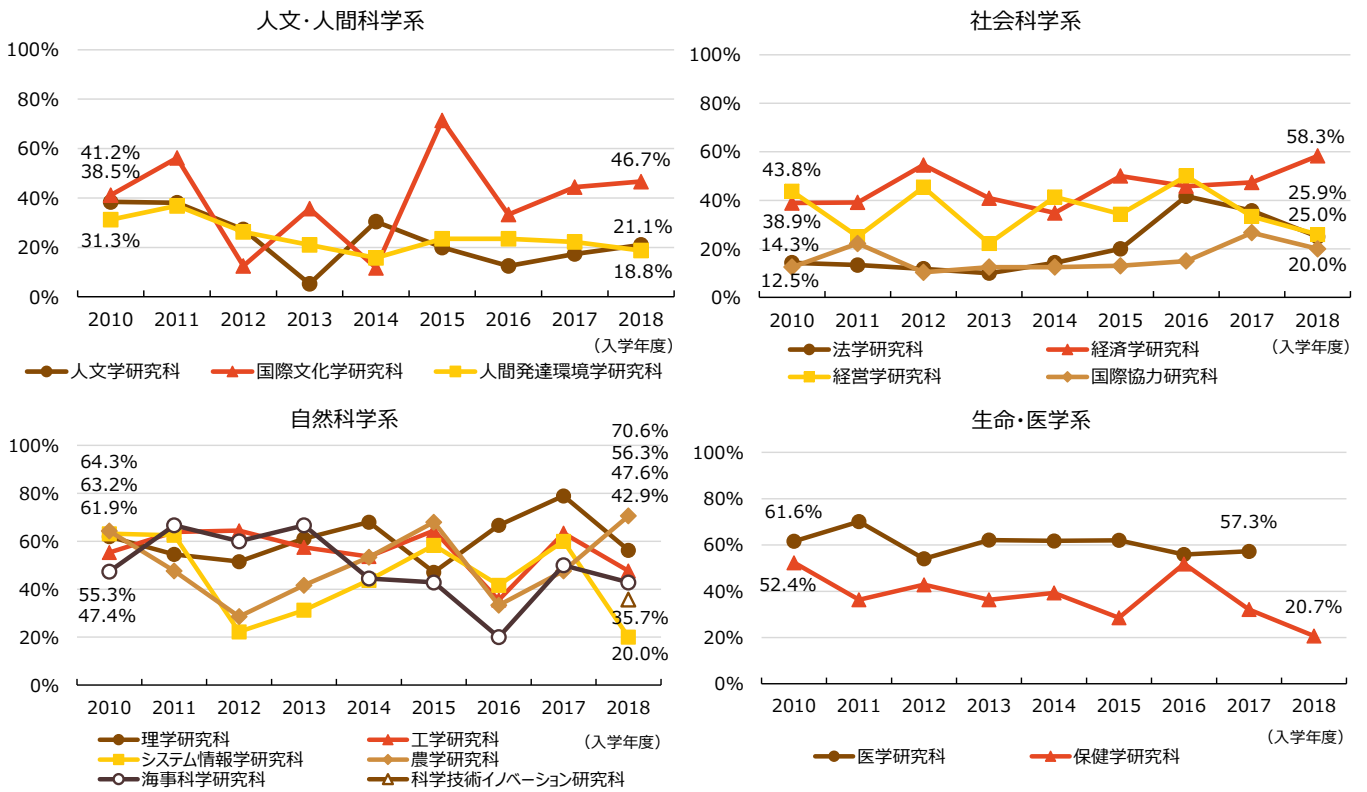
◆ 修士課程・博士課程前期課程（入学年度別標準修業年限内学位取得者の割合）

※授与率=修了者数/入学者数（秋入学者を含む）

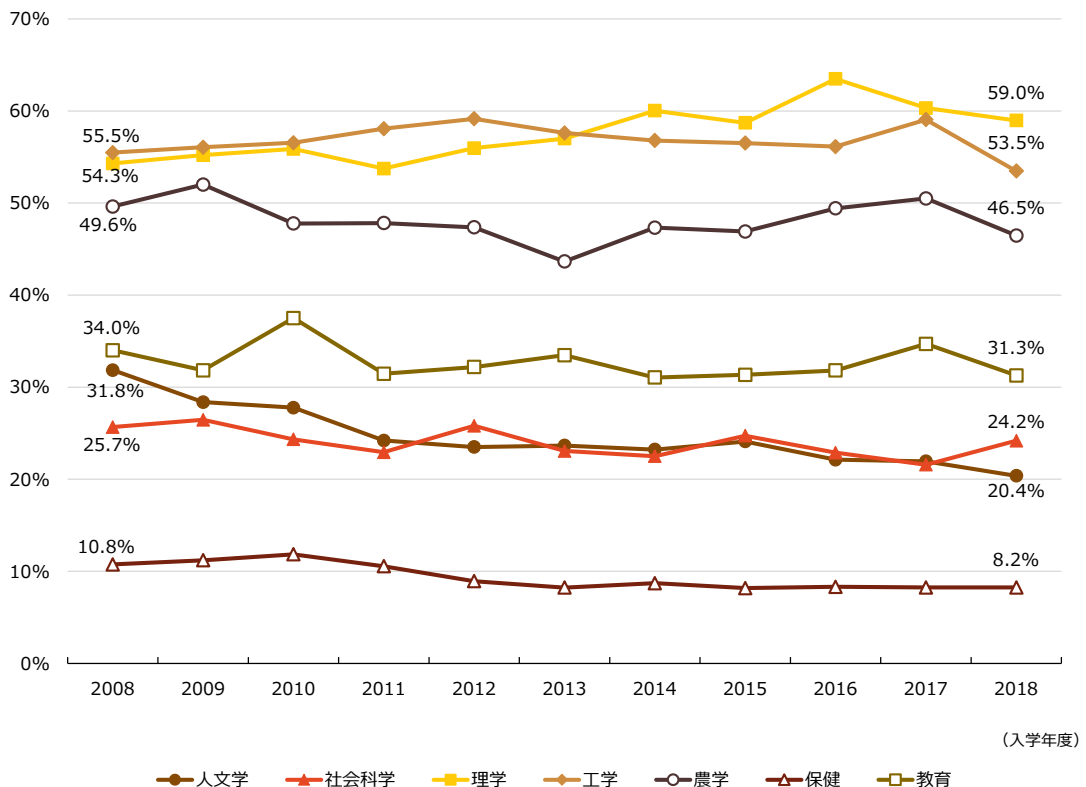


◆博士課程・博士課程後期課程（入学年度別標準修業年限内学位取得者の割合）

※授与率=修了者数/入学者数（秋入学者を含む）



◆全国（入学年度別標準修業年限内修業率 博士課程専攻分野別）



出典：文部科学省 学校基本調査
博士課程の「専攻分野別最低修業年数卒業業者数/博士課程の専攻分野別入学者数」の推移を入学年度別に示した。

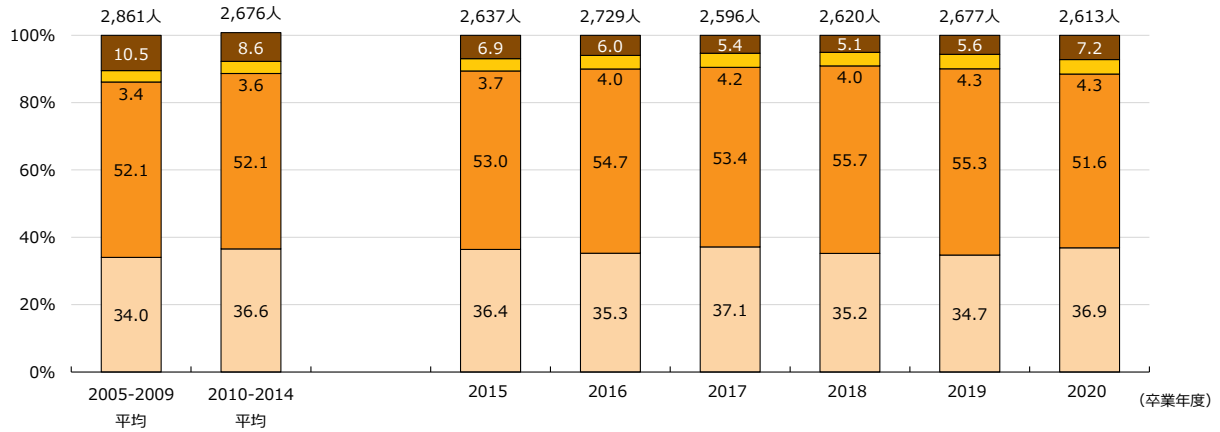
7. 進路・就職状況

7-1 学士課程卒業生の進路・就職状況

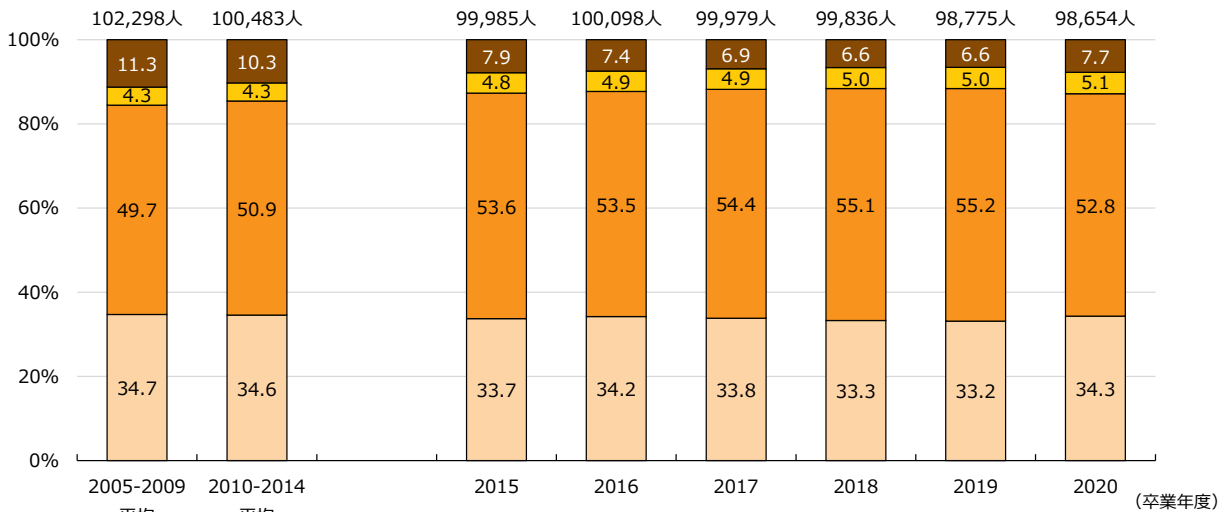


※「進学者」には「専修学校・外国の学校等に入学した者」を含む。
 ※「進学者のうち就職している者」は「進学者」としてカウントし、「就職者」には含まない。
 ※「その他」には「一時的な仕事に就いた者」、「就職準備中の者」、「進学準備中の者」を含む。

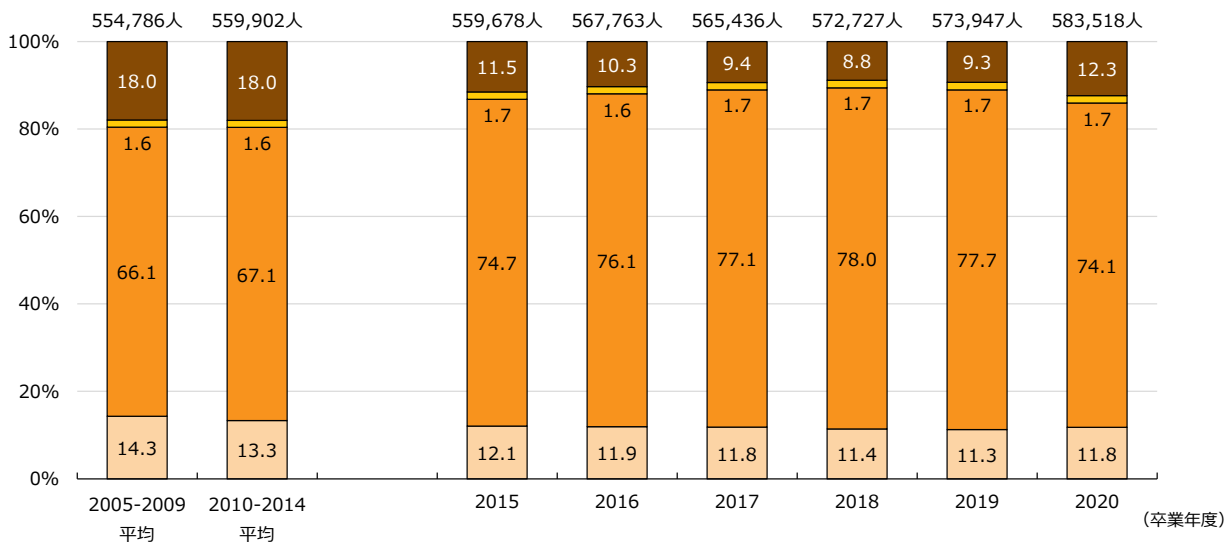
神戸大学



国立大



全国



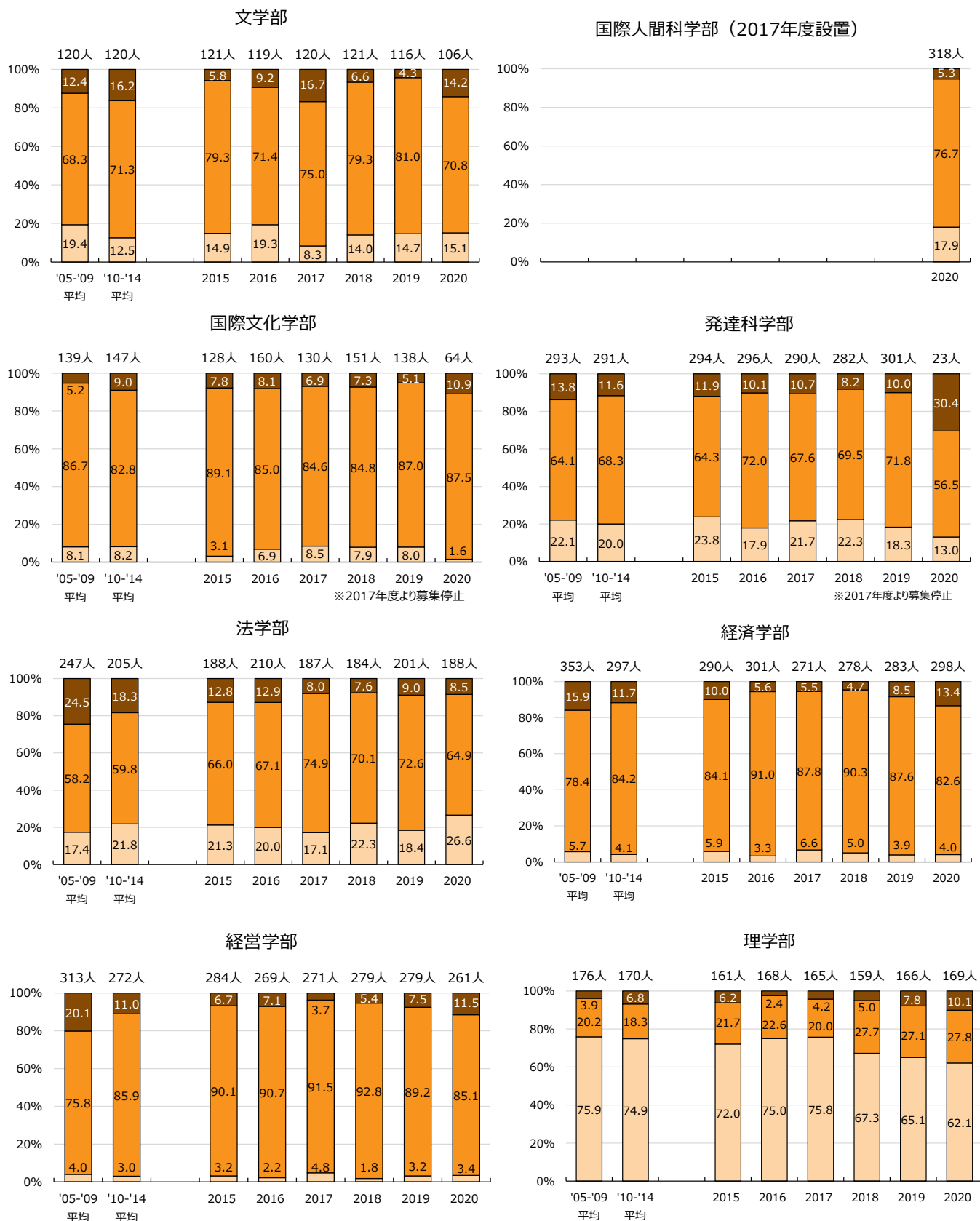
出典：文部科学省 学校基本調査

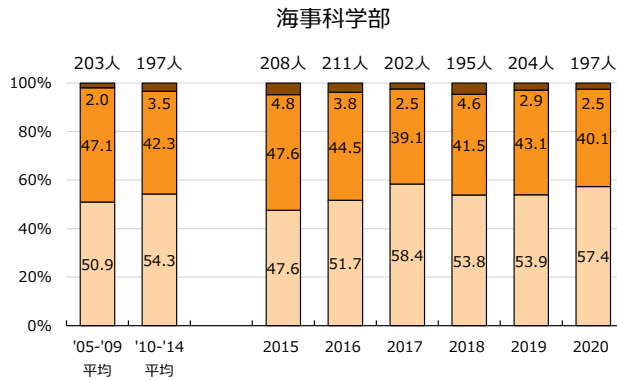
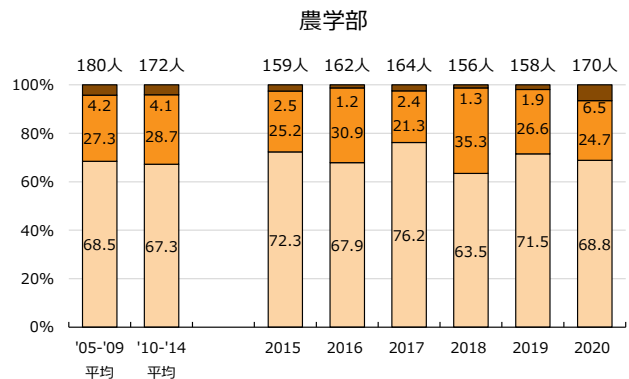
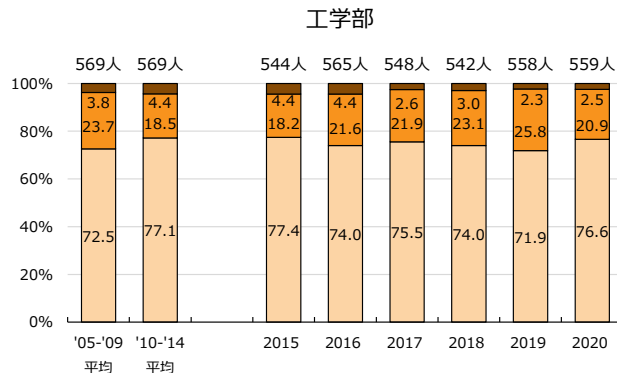
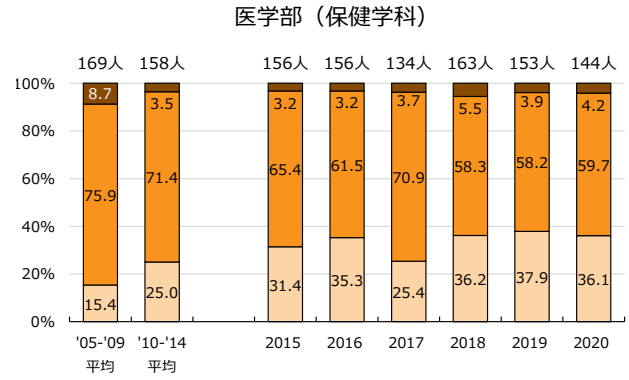
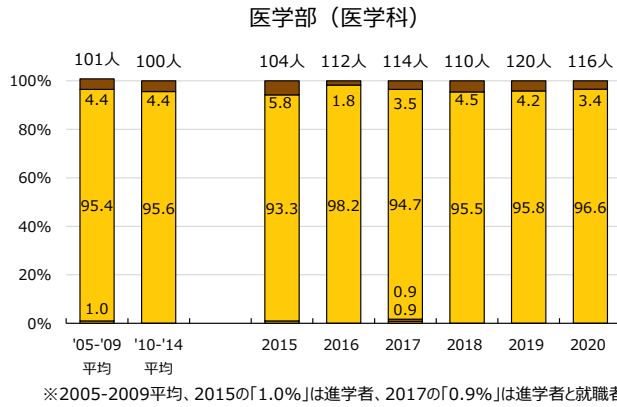
※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

7-2 学士課程卒業生の学部別進路・就職状況

- 文科系学部においては就職する学生の割合が高く、理科系学部においては医学部を除き、進学する学生が多い。
- 2005～2009年度の平均と比較すると、文学部、国際文化学部、法学部、経済学部、経営学部、理学部では就職者の割合が上昇し、医学部保健学科では進学者の割合が上昇している。

◆神戸大学◆（学士課程 卒業年度）

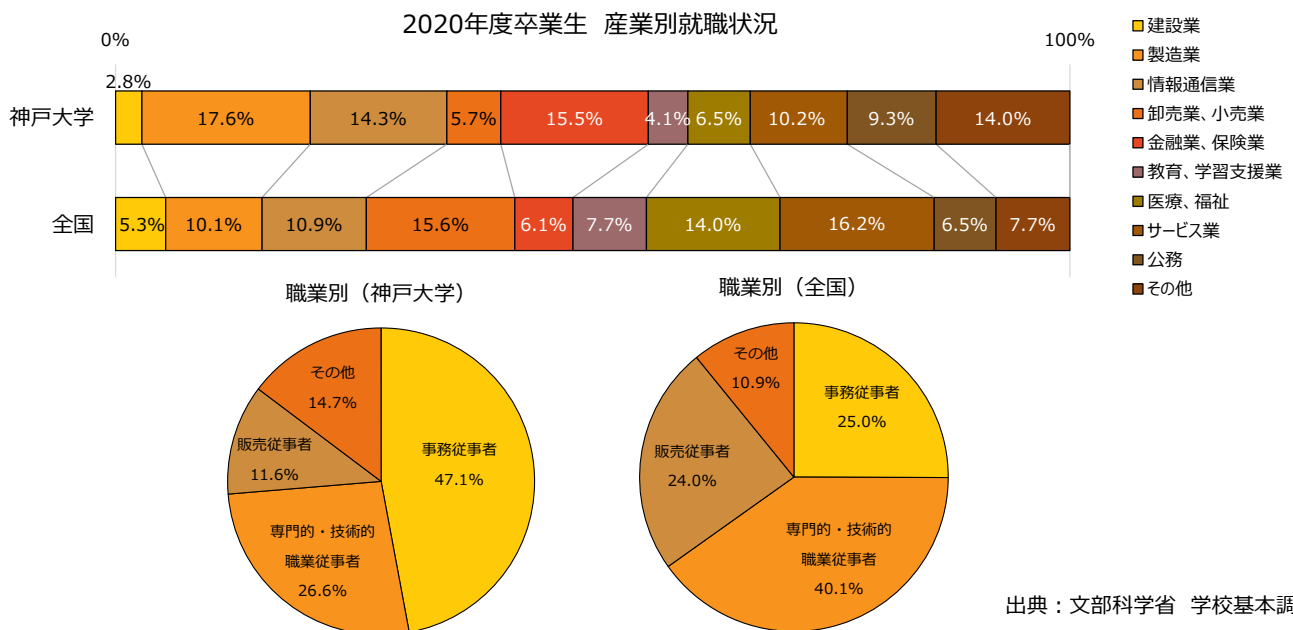




※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

7-3 学士課程卒業生の産業別・職業別就職状況

○ 全国と比較して、産業別では「製造業」、「情報通信業」、「金融業、保険業」に就職している割合が高い。



※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

7-4 修士課程・博士課程前期課程修了生の進路・就職状況

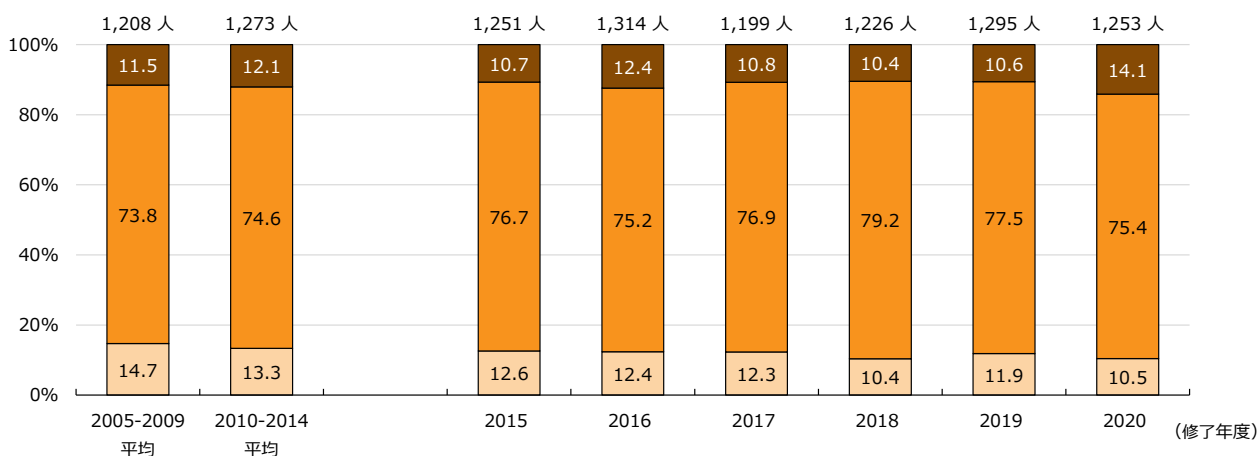
進学者
 就職者
 その他

※「進学者」には「専修学校・外国の学校等に入学した者」を含む。

※「進学者のうち就職している者」は「進学者」としてカウントし、「就職者」には含まない。

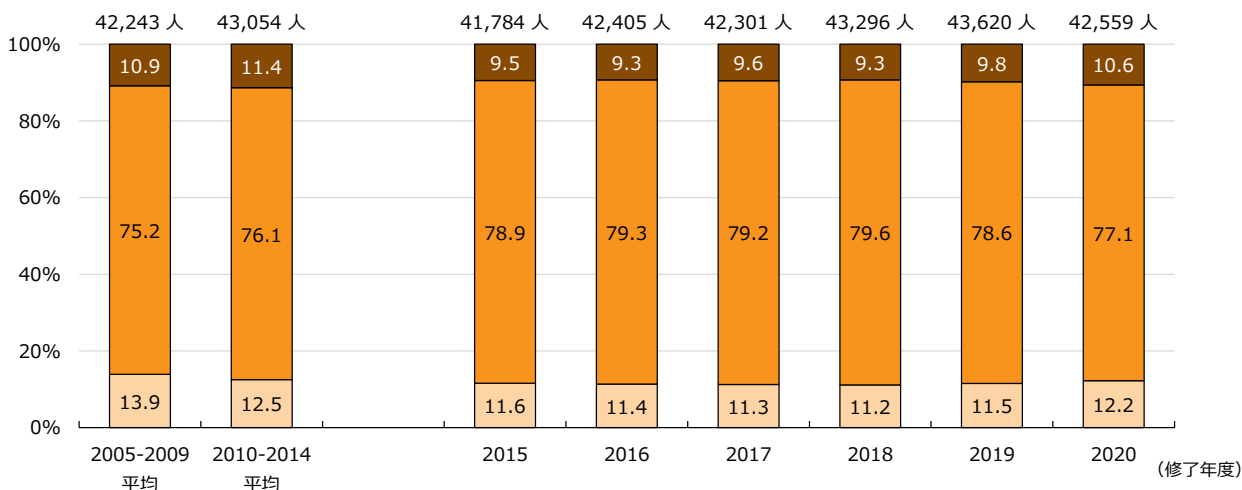
※「その他」には「一時的な仕事に就いた者」、「就職準備中の者」、「進学準備中の者」を含む。

神戸大学

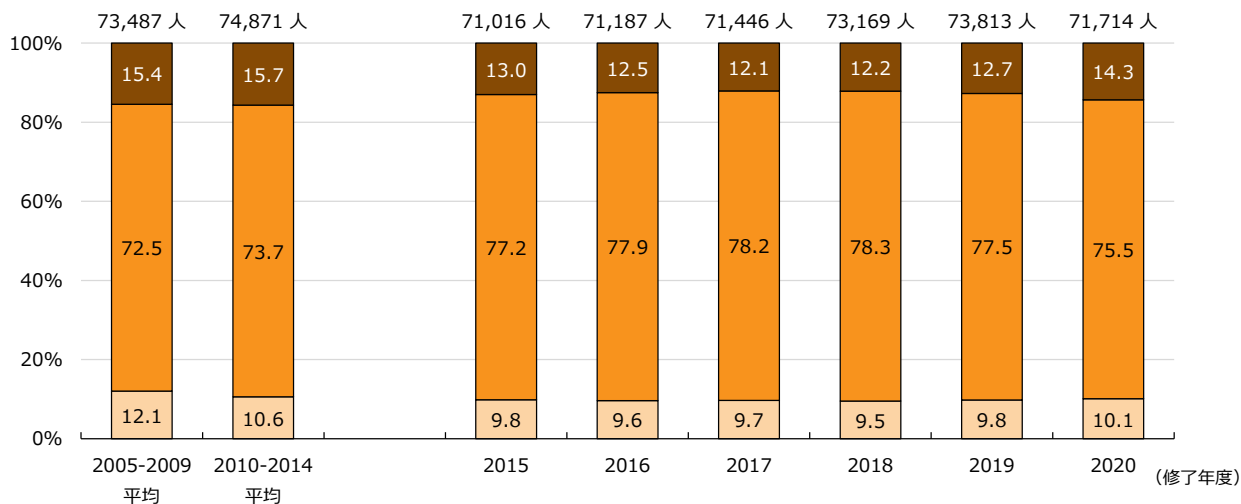


※文学研究科、総合人間科学研究科、自然科学研究科（いずれも2007年度入試より募集停止）、医学系研究科（2008年度より募集停止）の修了生についても含む。

国立大



全国



出典：文部科学省 学校基本調査

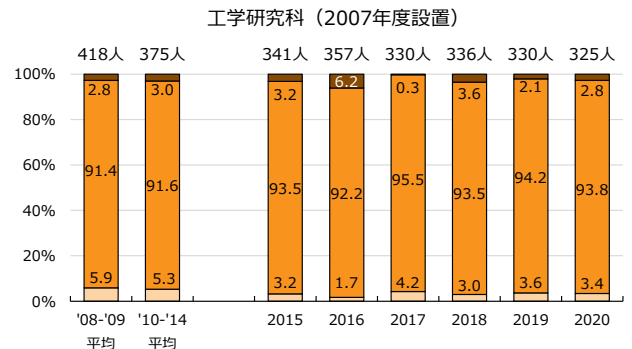
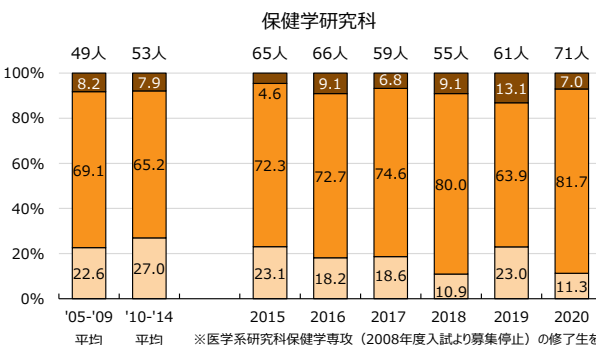
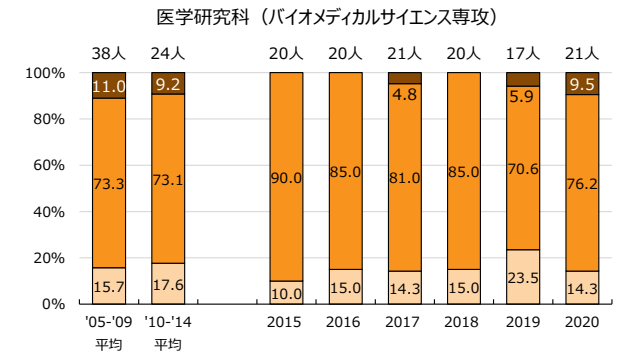
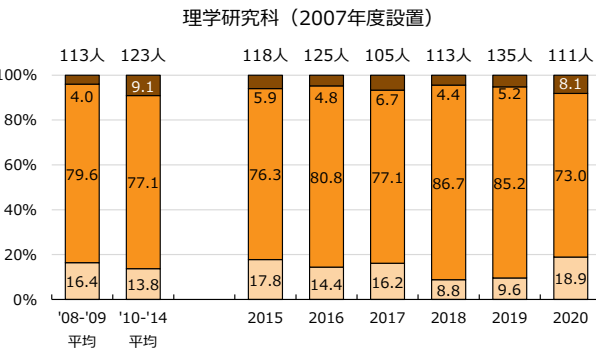
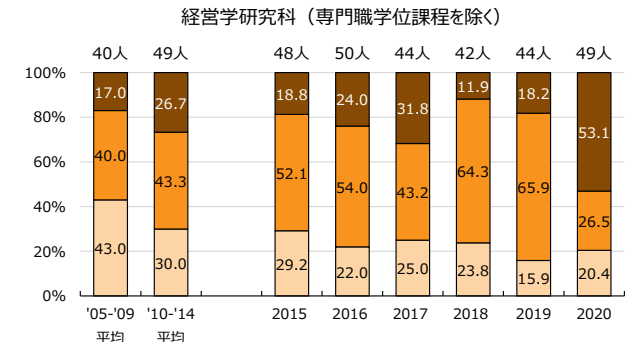
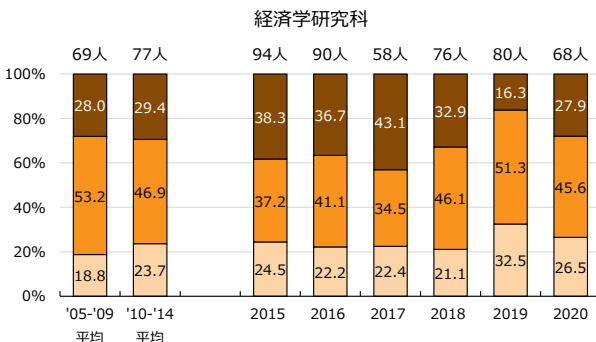
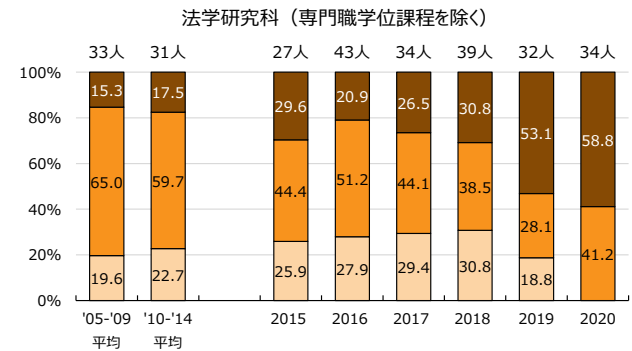
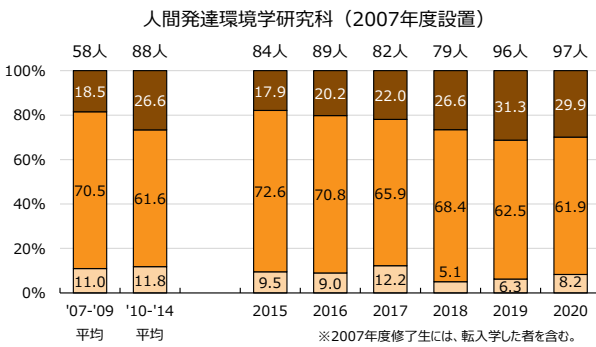
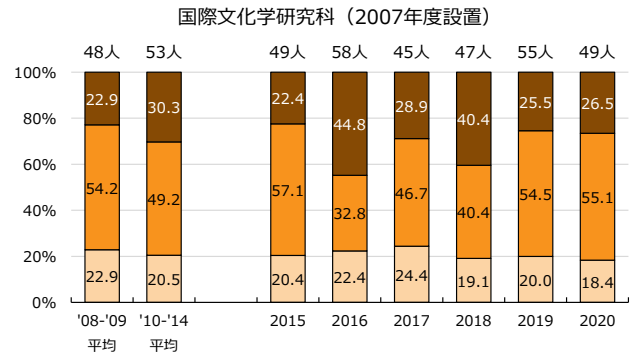
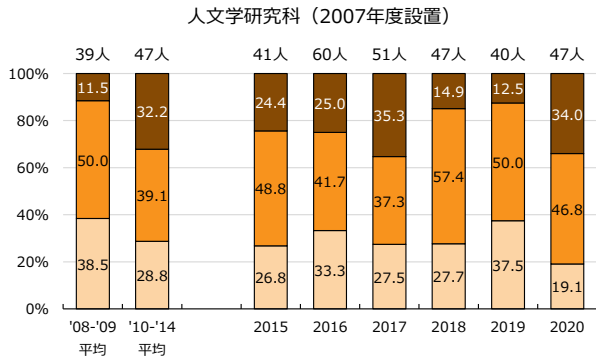
※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

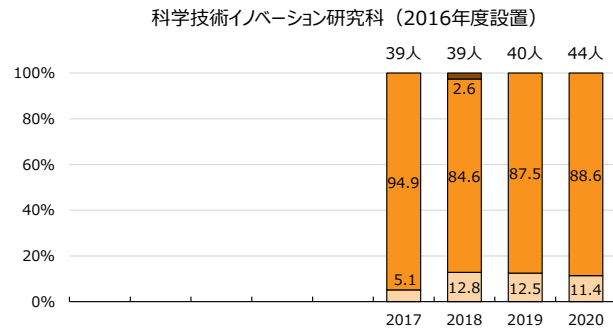
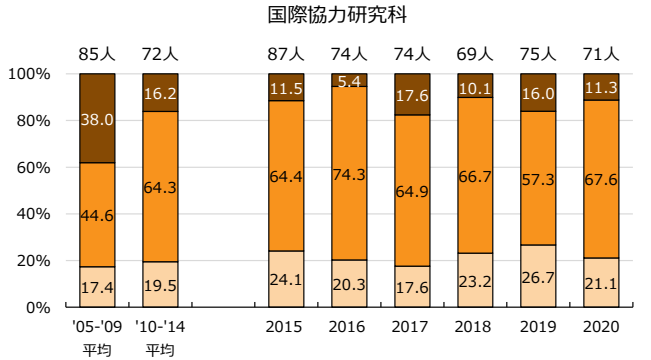
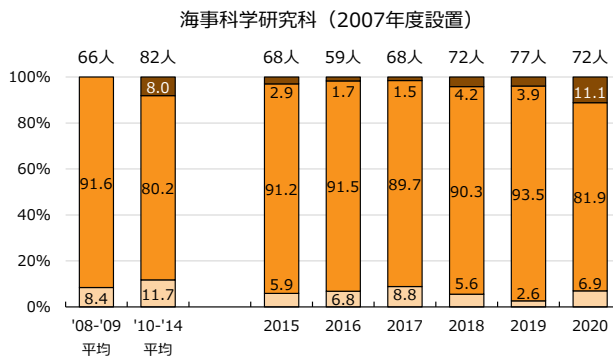
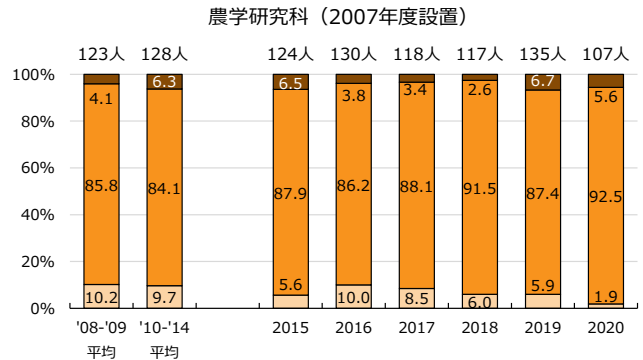
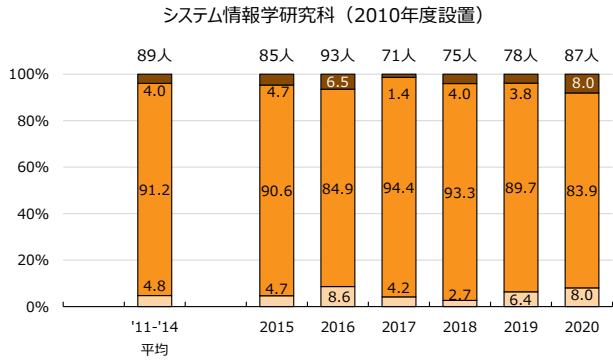
修士課程・博士課程前期課程修了生の研究科別進路・就職状況

○ 文科系研究科において進学率が比較的高く、学士課程卒業生とは異なる傾向がみられる。

◆神戸大学◆（修士課程・博士課程前期課程 修了年度）

□ 進学者 □ 就職者 ■ その他

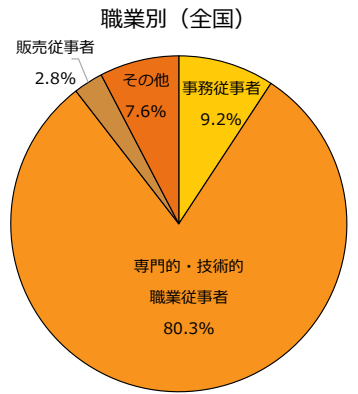
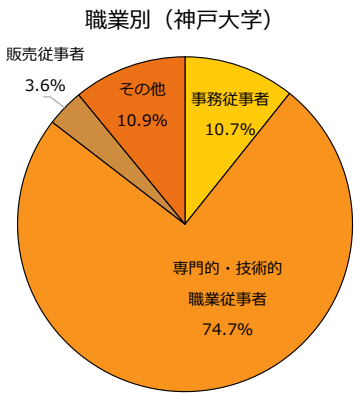
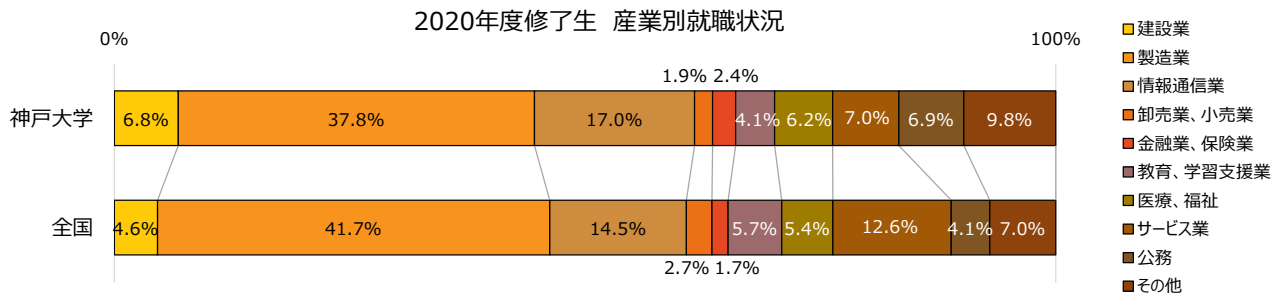




※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

7-6 修士課程・博士課程前期課程修了生の産業別・職業別就職状況

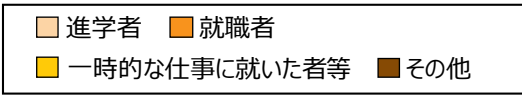
○ 産業別、職業別ともに概ね全国における傾向と同様の傾向が見られる。



出典：文部科学省 学校基本調査

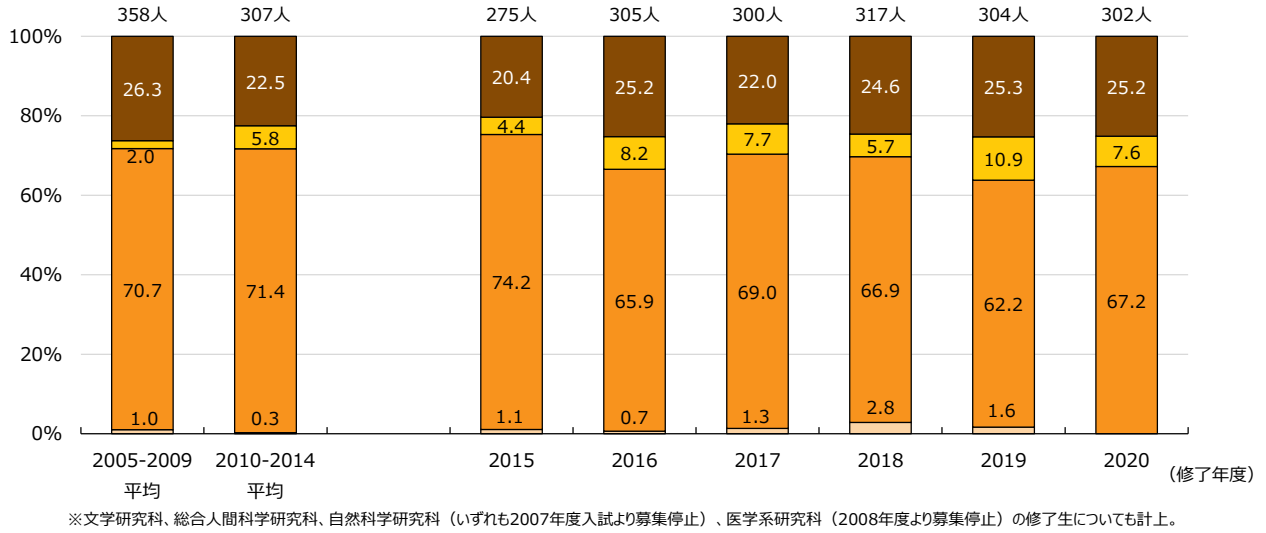
※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

7-7 博士課程・博士課程後期課程修了生の進路・就職状況

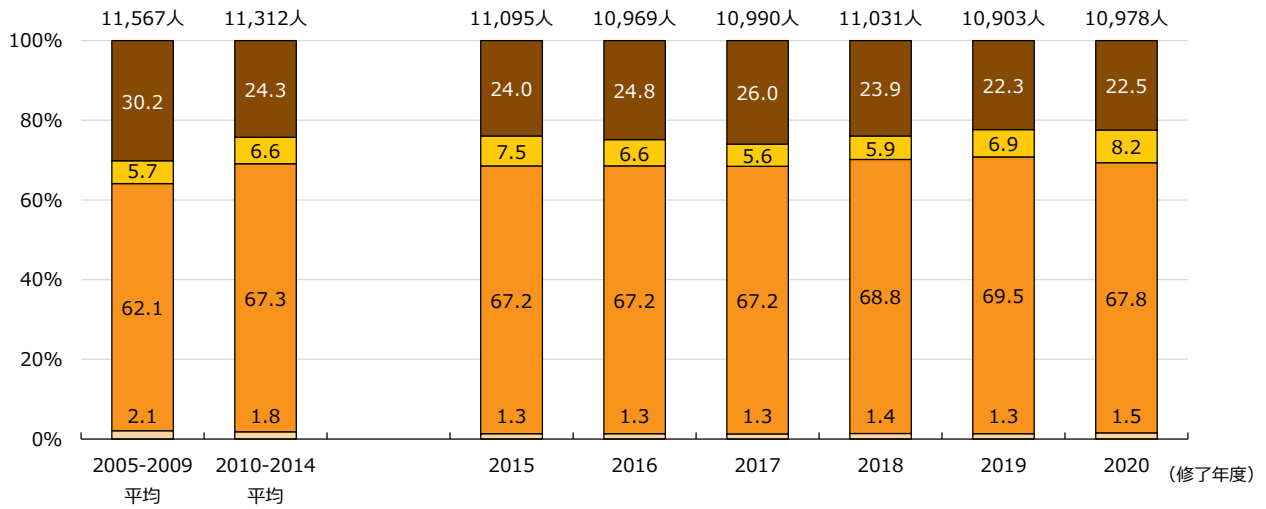


※「進学者」には「専修学校・外国の学校等に入学した者」を含む。
 ※「一時的な仕事に就いた者等」には「臨床研修医」を含む。
 ※「進学者のうち就職している者」は「進学者」としてカウントし、「就職者」には含まない。
 ※「その他」には「就職準備中の者」、「進学準備中の者」を含む。

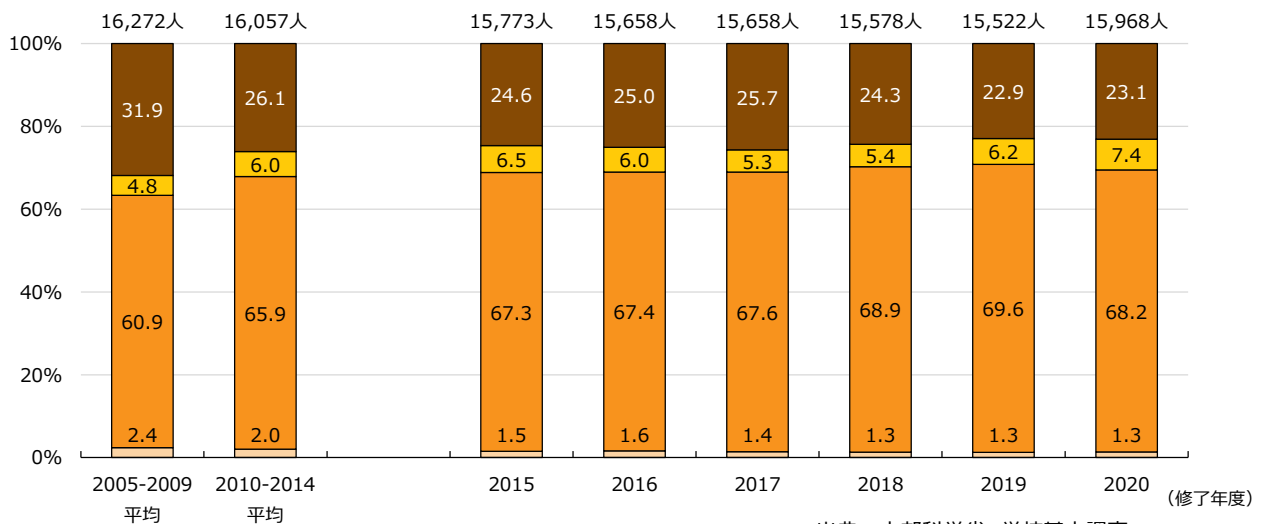
神戸大学



国立大



全国

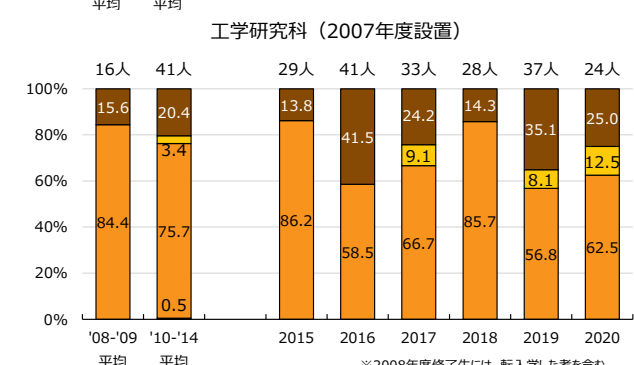
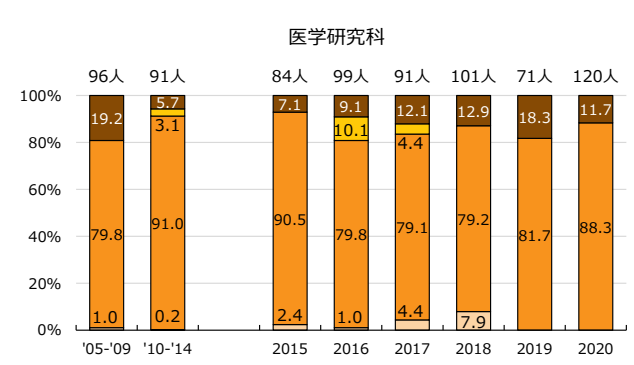
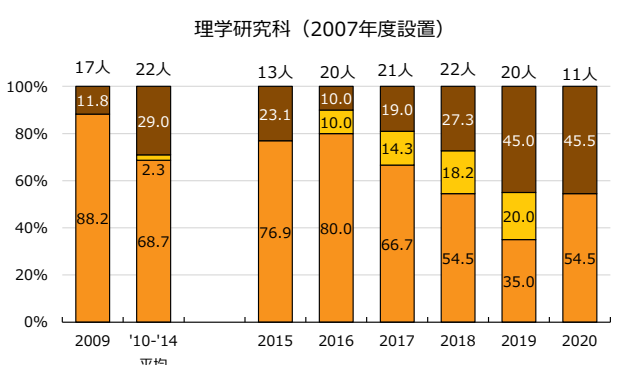
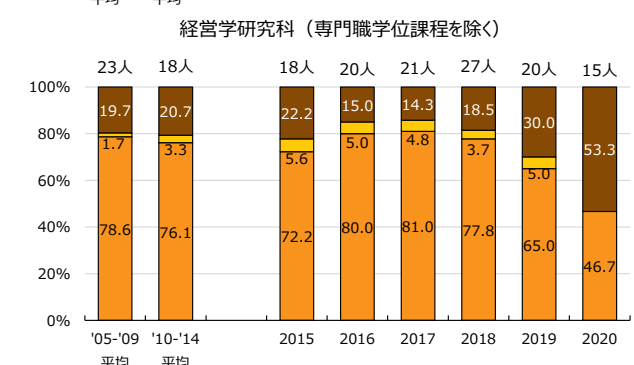
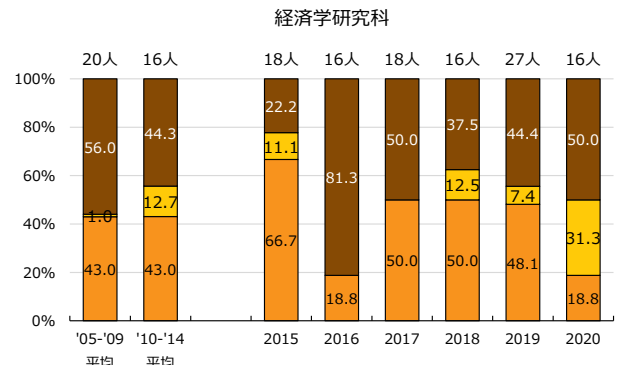
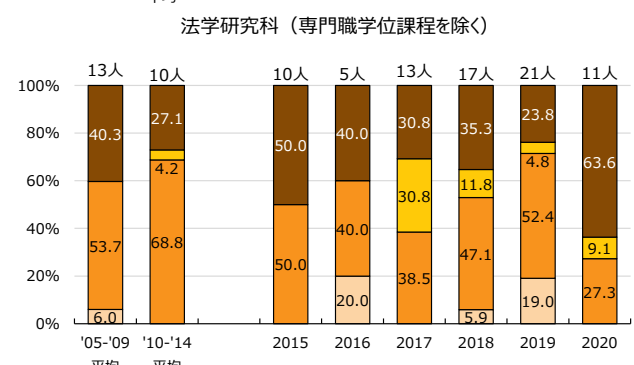
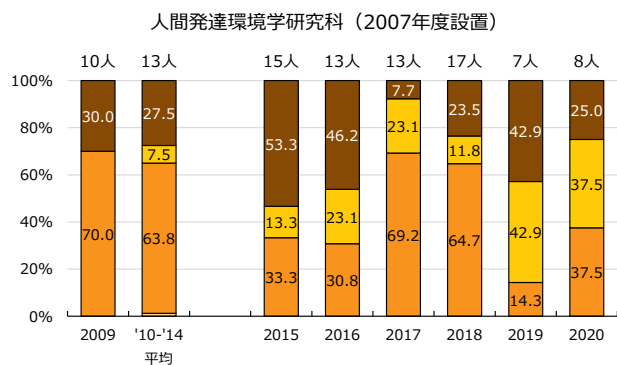
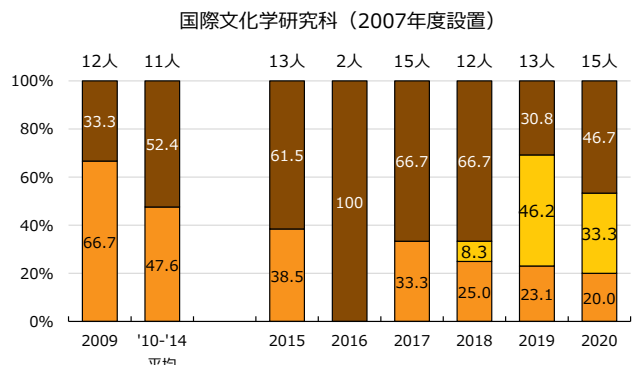
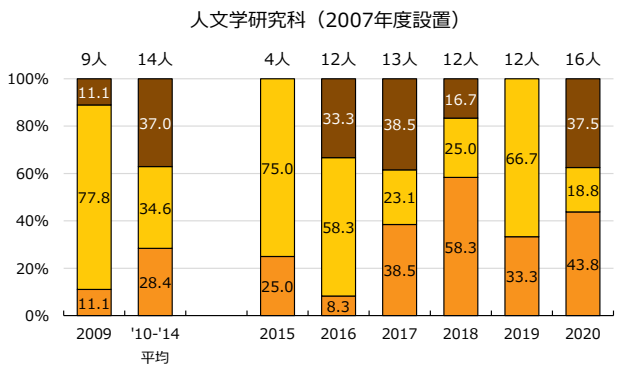
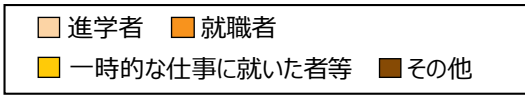


出典：文部科学省 学校基本調査

※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

7-8 博士課程・博士課程後期課程修了生の研究科別進路・就職状況

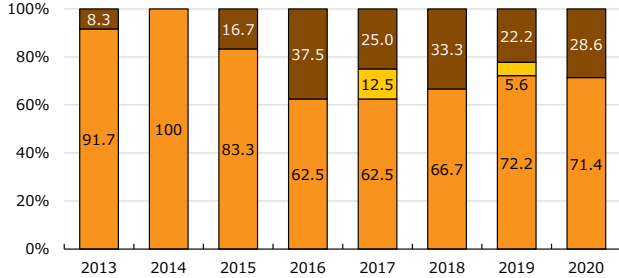
◆神戸大学◆ (博士課程・博士課程後期課程 修了年度)



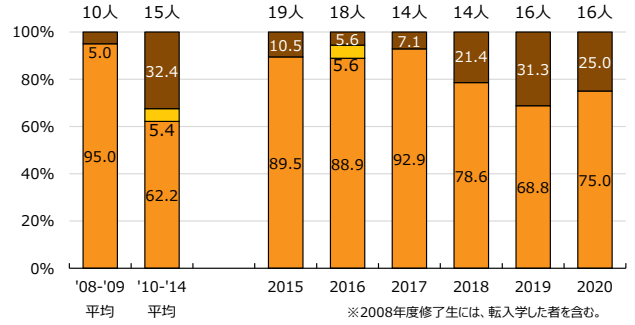
※医学系研究科保健学専攻 (2008年度入試より募集停止) の修了生を含む。

※2008年度修了生には、転入学した者を含む。

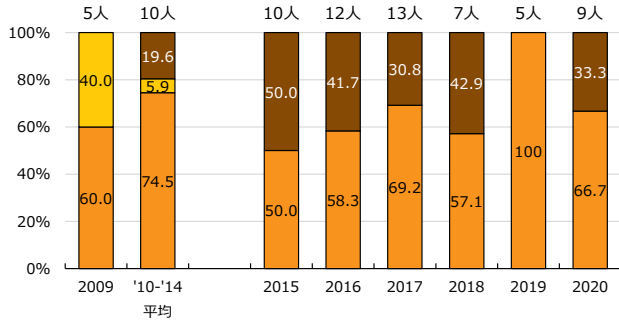
システム情報学研究科（2010年度設置）



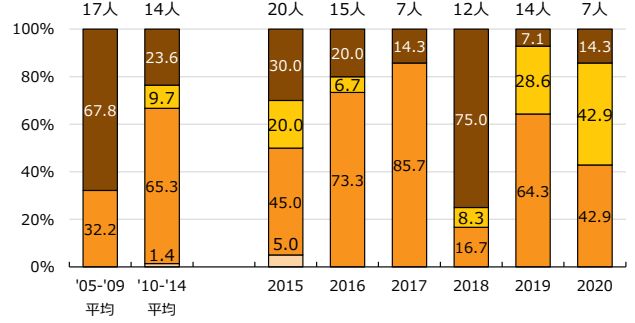
農学研究科（2007年度設置）



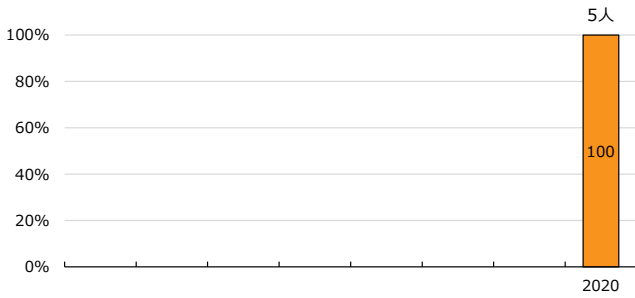
海事科学研究科（2007年度設置）



国際協力研究科



科学技術イノベーション研究科（2018年度設置）

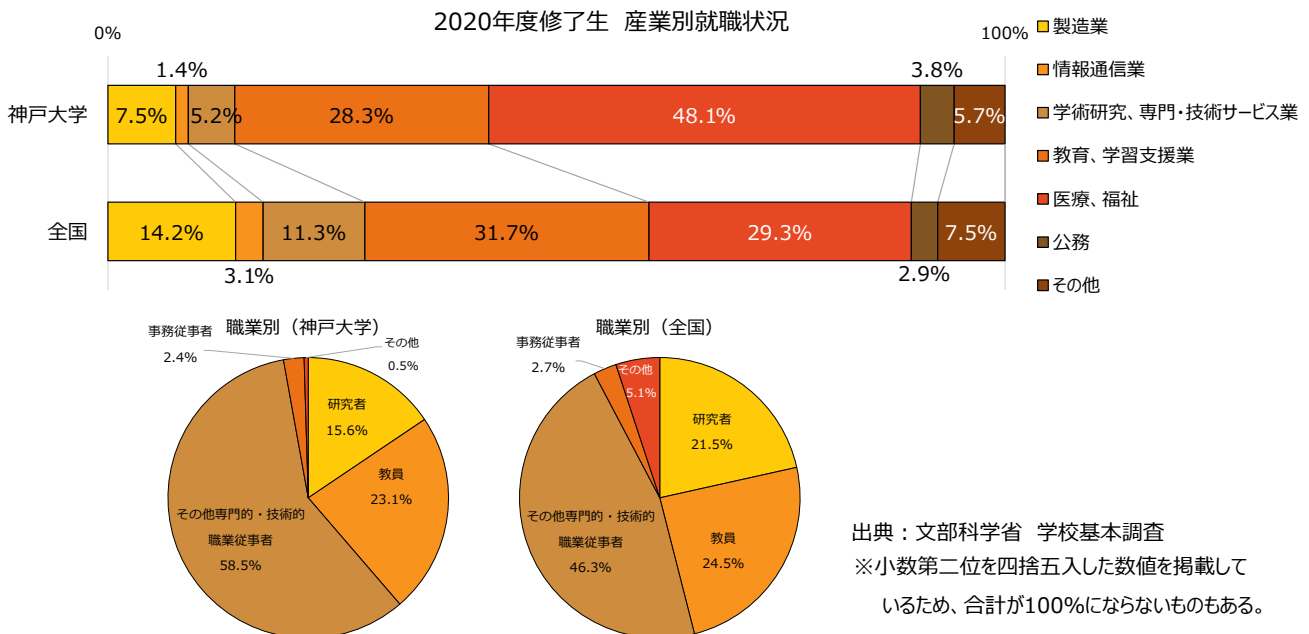


※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

7-9

博士課程・博士課程後期課程修了生の産業別・職業別就職状況

○ 全国と比較して、産業別では医療、福祉の割合が多く、職業別では研究者となる者の割合が若干少ない傾向にある。



8. 資格試験合格状況

8-1 司法試験合格状況

○ 毎年40人以上の司法試験合格者を安定して輩出している。

【合格率推移（上位20大学）】

順位	2017年度			2018年度			2019年度			2020年度			2021年度		
	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者
1	京都大	50.0%	111	東北学院大	60.0%	3	京都大	62.7%	126	愛知大	77.8%	7	愛知大	66.7%	2
2	一橋大	49.6%	60	一橋大	59.5%	72	一橋大	59.8%	67	一橋大	70.6%	84	京都大	61.6%	114
3	東京大	49.4%	134	京都大	59.3%	128	東京大	56.3%	134	東京大	59.4%	126	一橋大	58.2%	64
4	慶應義塾大	45.4%	144	東京大	48.0%	121	慶應義塾大	50.7%	152	京都大	57.8%	107	慶應義塾大	55.1%	125
5	大阪大	40.7%	66	神戸大	39.5%	51	愛知学院大	42.9%	3	東北大	53.1%	26	東北大	51.3%	20
6	神戸大	38.7%	55	慶應義塾大	39.2%	118	早稲田大	42.1%	106	鹿児島大	50.0%	1	山梨学院大	50.0%	2
7	愛知大	30.8%	4	大阪大	37.6%	50	大阪大	41.1%	46	慶應義塾大	49.8%	125	東洋大	50.0%	1
8	早稲田大	29.4%	102	早稲田大	36.5%	110	東北大	38.5%	20	神戸大	49.2%	62	早稲田大	49.8%	115
9	首都大東京	27.0%	31	九州大	33.3%	29	名古屋大	37.3%	25	九州大	46.7%	21	岡山大	48.5%	16
10	中央大	26.2%	119	名古屋大	30.5%	29	広島大	35.9%	14	名古屋大	40.4%	23	東京大	48.2%	96
11	東北大	26.1%	18	白鷗大	28.6%	2	九州大	33.9%	20	大阪大	37.8%	34	名古屋大	45.5%	25
12	北海道大	24.6%	29	東北大	27.3%	15	神戸大	33.8%	44	早稲田大	36.1%	75	神戸大	41.6%	47
13	名古屋大	23.7%	28	広島大	25.0%	12	東海大	28.6%	2	創価大	34.0%	16	大阪大	40.9%	47
14	熊本大	20.0%	5	香川大	25.0%	3	中央大	28.4%	109	中央大	29.4%	85	獨協大	40.0%	2
15	鹿児島大	20.0%	3	中央大	23.2%	101	創価大	24.6%	16	広島修道大	28.6%	2	同志社大	35.5%	39
16	神戸学院大	20.0%	1	愛知大	23.1%	3	北海道大	24.0%	25	筑波大	26.8%	15	中央大	31.8%	83
17	創価大	19.4%	13	信州大	22.7%	5	筑波大	23.4%	18	岡山大	26.7%	8	筑波大	31.7%	19
18	琉球大	19.4%	6	首都大東京	22.3%	23	首都大東京	22.9%	22	日本大	25.9%	21	創価大	30.8%	12
19	九州大	19.3%	17	岡山大	21.6%	11	大宮法科大学院大 神奈川大	22.2%	2	同志社大	23.7%	28	首都大東京	29.6%	24
20	関西学院大	18.4%	18	創価大	21.3%	13				明治大	23.6%	30	関西学院大	29.4%	10

【既修者・合格率推移（上位20大学）】

順位	2019年度			2020年度			2021年度		
	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者
1	静岡大 明治学院大	100.0%	1	愛知大	100.0%	3	山梨学院大 獨協大	100.0%	1
2	東京大	77.6%	111	東京大	80.2%	97	岡山大	80.0%	8
3	京都大	77.2%	112	京都大	73.3%	96	京都大	75.4%	101
4	一橋大	74.3%	52	創価大	68.8%	11	東京大	67.6%	73
5	慶應義塾大	58.7%	128	西南学院大 大東文化大	66.7%	2	一橋大	65.4%	51
6	早稲田大	55.0%	83	岡山大	62.5%	5	名古屋大	63.0%	17
7	大阪大	51.9%	27	九州大	60.7%	17	金沢大	60.0%	3
8	名古屋大	50.0%	17	慶應義塾大	55.9%	105	慶應義塾大	59.8%	107
9	金沢大	50.0%	4	東北大	55.3%	21	東北大	57.1%	20
10	南山大	50.0%	2	大阪大	54.0%	27	早稲田大	56.7%	93
11	信州大	50.0%	1	神戸大	52.0%	52	大阪大	54.7%	41
12	香川大	50.0%	1	名古屋大	51.5%	17	筑波大	47.4%	9
13	獨協大	50.0%	1	九州大	50.0%	2	神戸大	45.5%	40
14	九州大	47.2%	17	福岡大	50.0%	1	同志社大	42.9%	36
15	東北大	44.7%	17	近畿大	50.0%	1	九州大	41.7%	15
16	創価大	43.8%	7	南山学院大	42.9%	3	専修大	40.0%	6
17	愛知学院大	42.9%	3	早稲田大	42.7%	53	中央大	38.9%	75
18	広島大	41.2%	7	関西学院大	36.8%	7	北海道大	37.9%	11
19	筑波大	37.5%	6						
20	神戸大	35.6%	37						

【未修者・合格率推移（上位20大学）】

順位	2019年度			2020年度			2021年度		
	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者
1	一橋大	35.7%	15	愛知大	66.7%	4	愛知大	66.7%	2
2	広島大	31.8%	7	一橋大	47.2%	17	東洋大	50.0%	1
3	大阪大	31.7%	19	東北大	45.5%	5	一橋大	40.6%	13
4	慶應義塾大	29.3%	24	神戸大	38.5%	10	慶應義塾大	37.5%	18
5	関西大	27.8%	5	広島修道大	33.3%	2	岡山大	34.8%	8
6	神戸大	26.9%	7	東京大	31.9%	29	山梨学院大	33.3%	1
7	京都大	25.0%	14	慶應義塾大	31.7%	20	早稲田大	32.8%	22
8	愛知大	25.0%	2	南山大	30.0%	3	名古屋大	28.6%	8
9	神奈川大	25.0%	2	早稲田大	26.2%	22	神戸大	28.0%	7
10	東海大	25.0%	1	筑波大	25.0%	11	京都大	25.5%	13
11	名古屋大	24.2%	8	名古屋大	25.0%	6	東京大	25.3%	23
12	東京大	24.2%	23	九州大	23.5%	4	神奈川大 関西学院大 獨協大	25.0%	1
13	中京大	23.1%	3	京都市立大	20.0%	5			
14	早稲田大	22.8%	23	大阪市立大	20.0%	3	筑波大	24.4%	10
15	大宮法科大学院大	22.2%	2	首都大東京	20.0%	3	筑波大	24.4%	10
16	東北大	21.4%	3	名城大	20.0%	2	日本大	22.2%	6
17	関西学院大	20.5%	8	東洋大	20.0%	1	南山大	22.2%	2
18	筑波大	19.7%	12	琉球大	18.2%	4	創価大	20.7%	6
19	千葉大	19.0%	4	大阪大	17.5%	7			
20	首都大東京	18.8%	3	京都産業大 信州大	16.7%	1	南山学院大 関西学院大	20.0%	3

出典：法務省ホームページ「司法試験の結果について」

※ このランキングは法科大学院卒業生のみを対象とし、予備試験合格者については含めていない。

8-2 各種資格試験・採用試験合格状況

○ 各種資格試験・採用試験において、安定して合格者を輩出している。

国家公務員総合職			弁理士			公認会計士			一級建築士		
順位	大学名	合格者	順位	大学名	合格者	順位	大学名	合格者	順位	大学名	合格者
1 (1)	東京大	249	1 (1)	東京大	26	1	慶應義塾大	183	1	日本大	162
2 (2)	京都大	131	2 (2)	京都大	25	2	早稲田大	105	2	東京理科大	141
3	早稲田大	90	3 (3)	大阪大	20	3	明治大	81	3	芝浦工業大	119
4 (3)	北海道大	69	4 (4)	東京工業大	13	4	中央大	71	4	早稲田大	88
5 (4)	東北大	65	5 (5)	東北大、 早稲田大	12	5 (1)	東京大	40	5	近畿大	70
6	中央大	60		6 (2)		京都大、 立命館大	38	6	法政大	69	
7	立命館大	59	7 (6)	神戸大、 名古屋大	9	8 (3)	神戸大	36	7 (1)	九州大、 工学院大	67
8 (5)	岡山大	56		9 (4)		一橋大、 法政大	34	9 (2)	名古屋工業大	65	
9 (6)	東京工業大、 名古屋大	51	9 (8)	筑波大、 慶応義塾大	8	10 (3)	神戸大	58	10 (3)	千葉大、 明治大	62
16 (11)	神戸大	39	12 (4)	神戸大	58						
12.7 (8.7)	神戸大 過去三カ年平均	42.7	10.0 (7.7)	神戸大 過去三カ年平均	7.0				8.5 (3.5)	神戸大 過去二カ年平均	32.5

技術士			医師国家試験			看護師					
順位	大学名	合格者	順位	大学名	合格率	順位	大学名	合格者			
1 (1)	京都大	108	1	大阪医科大、 産業医科大、 自治医科大	100.0%	1	順天堂大[医療看護]	202			
2 (2)	北海道大	99				2	東京医療保健大 [東が丘・立川看護]	198			
3	日本大	86				3	杏林大、 聖隷クリストファー大	152			
4 (3)	東京大	83				4	順天堂大	99.2%	5	日本赤十字看護大	147
5 (4)	九州大	76				5 (1)	東京医科歯科大	98.2%	6	埼玉県立大	132
6 (5)	東北大、 早稲田大	74				6	和歌山県立医科大	98.1%	7	藤田医科大	130
8 (6)	大阪大	65				7	兵庫医科大	97.5%	8	川崎医療福祉大	128
9 (7)	東京工業大	64				8 (2)	山梨大、 日本医科大	97.4%	9	大阪府立大、 日本赤十字豊田看護大	127
10	東京理科大	61				10	近畿大	97.3%	106 (1)	岡山大、他4大学	84
15 (12)	神戸大、 金沢大、 広島大	37				53 (25)	神戸大、 東京女子医科大学	92.4%	163 (13)	神戸大、 他4大学	74
14.7 (11.3)	神戸大 過去三カ年平均	38.7	46.0 (20.7)	神戸大 過去三カ年平均	91.5%	163.0 (17.0)	神戸大 過去三カ年平均	70.3			

臨床検査技師			作業療法士			理学療法士		
順位	大学名	合格者	順位	大学名	合格者	順位	大学名	合格者
1	藤田医科大	112	1	国際医療福祉大[保健医療]	79	1	帝京科学大	134
2	熊本保健科学大	105	2	目白大	77	2	新潟医療福祉大	118
3	北里大[医療衛生]	89	3	帝京平成大[健康メディカル]	65	3	健康科学大	96
4	岐阜医療科学大	87	4	北海道文教大	52	4	日本医療科学大 文京学院大	89
5	杏林大	77	5	東北文化学園大、 弘前医療福祉大	51	6	国際医療福祉大[成田保健医療]、 帝京平成大[健康メディカル]、 北海道医療大	84
6	神戸常盤大、 文京学院大	74						
8	麻布大	73	9	東京都立大	48			
9	国際医療福祉大[成田保健医療]	67	10	北里大	45	80 (1)	大分大	28
10	国際医療福祉大[福岡保健医療]	65	50 (1)	広島大、 他3大学	29	86 (3)	神戸大、 群馬大、 名古屋大	22
18 (1)	大阪大、 他2大学	43	70 (8)	神戸大、 京都大、 名古屋大	17	83.7 (3.0)	神戸大 過去三カ年平均	21.3
31 (7)	神戸大、 他2大学	36	67.3 (9.7)	神戸大 過去三カ年平均	15.0			
35.3 (10.7)	神戸大 過去三カ年平均	33.7						

※合格者数は(人)
カッコ内は国立大学内の順位

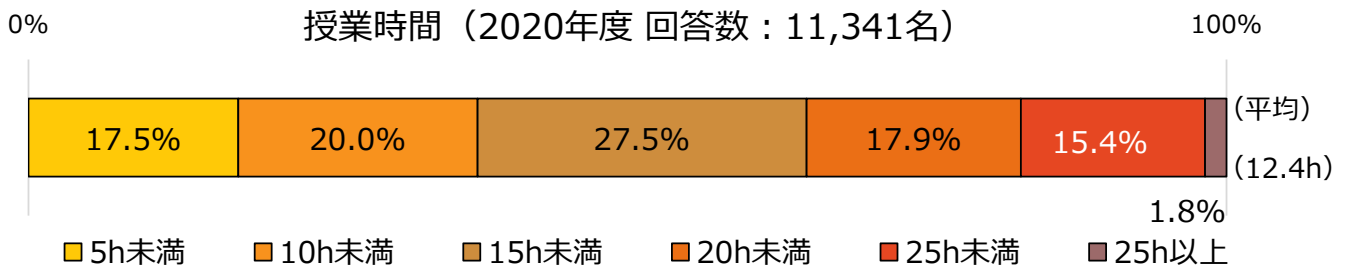
出典：朝日新聞出版
「大学ランキング2022年版」より作成。
※データは2020年の数値、過去三カ年平均値は2018～2020年の平均値
(公認会計士のみ2019年のデータ、平均値は2017年と2019年の平均値)

9. 学生生活状況

9-1 学部学生の学修時間等について

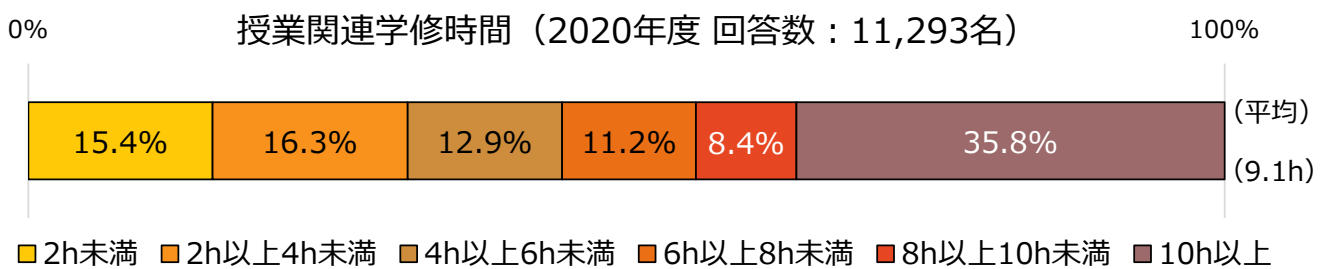
◆学部学生の1週間あたりの授業時間

○ 1週間に10時間以上の授業を受けている学生が、62.6%と半数以上を占めている。

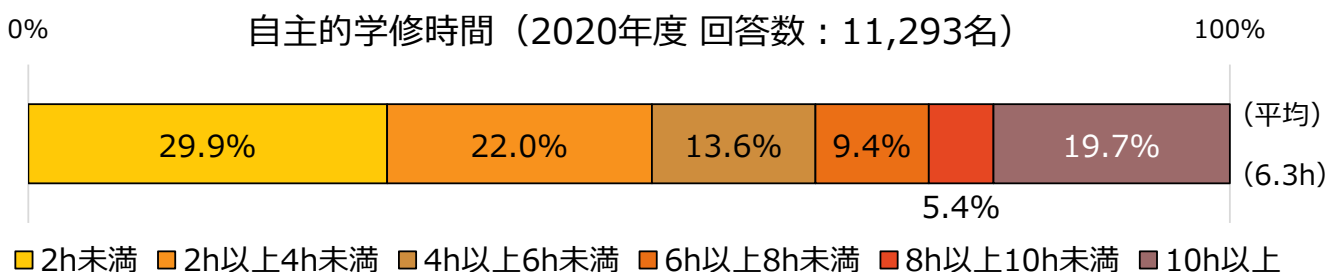


◆学部学生の1週間あたりの授業関連学修時間と自主的学修時間

○ 1週間に授業関連の学修をする時間が6時間以上である学生が55.4%、自主的学修をする時間が6時間以上である学生は、34.5%となっている。



授業関連学修時間… 履修している授業に関連した学修や、ゼミ・卒業論文・卒業研究等に関する学修
(授業の予習・復習、課題やレポートの作成、定期試験の準備、資料検索、実験準備、実験実施、発表準備、論文執筆等)



自主的学修時間…授業関連時間以外で、自主的に行った学修
(資格試験学習、語学学習、大学院試験対策、就職試験対策、フィールドワーク、インターンシップ、ボランティア、セミナー、クラブ・サークル活動、教養のための読書等)

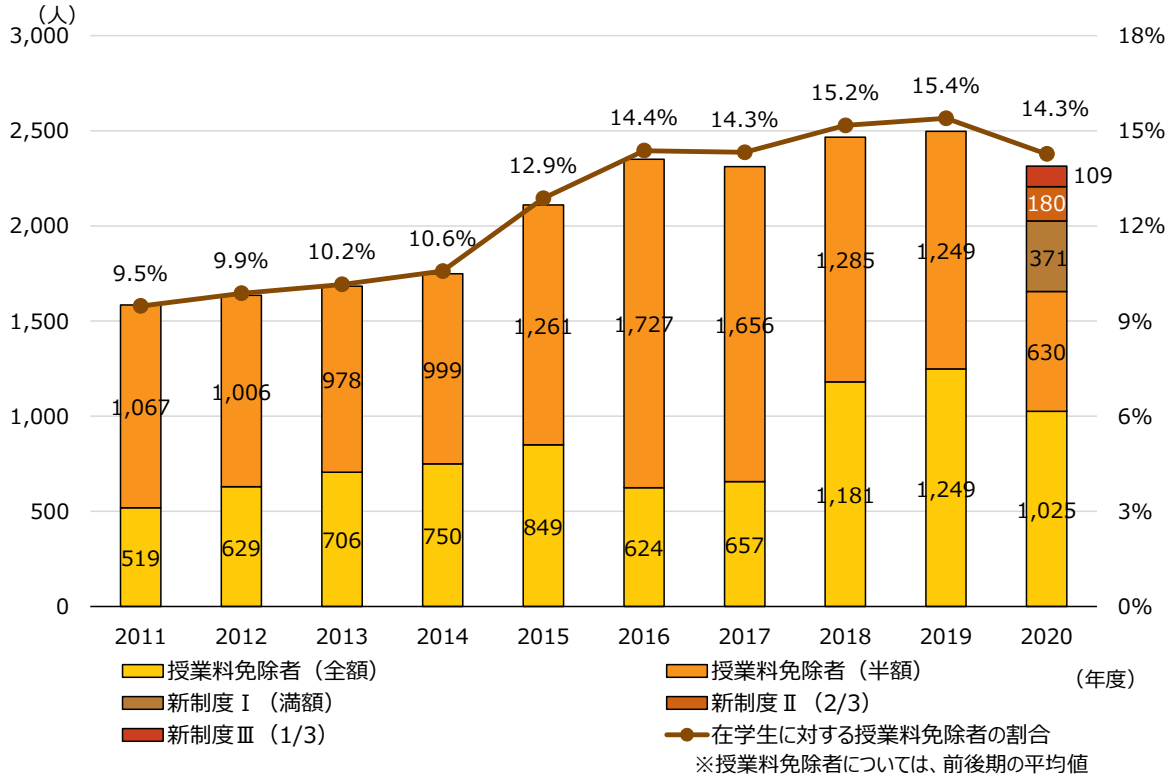
※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

出典：神戸大学「学修の記録」全学集計結果

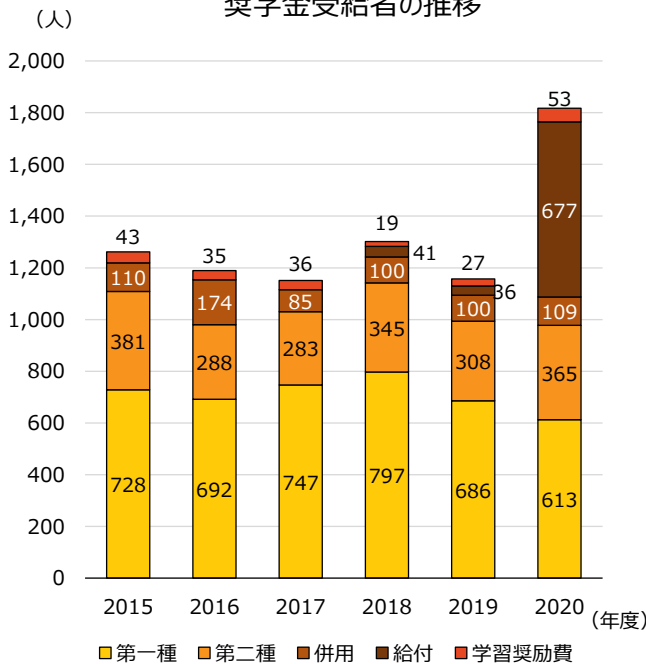
9-2 経済支援について

- 2020年度より「高等教育の修学支援新制度」が実施され、学部学生等を対象として、給付奨学金と授業料減免の組み合わせによる支援を実施している。大学院生は、これまでどおり神戸大学授業料免除を継続している。
- 2020年度は上記に伴う日本学生支援機構の給付型奨学金と、神戸大学独自の奨学金の受給者数が大幅に増加している。なお、2020年度はこれらのほか、新型コロナウイルス感染症対策緊急募金による支援を行った。(p.80参照)

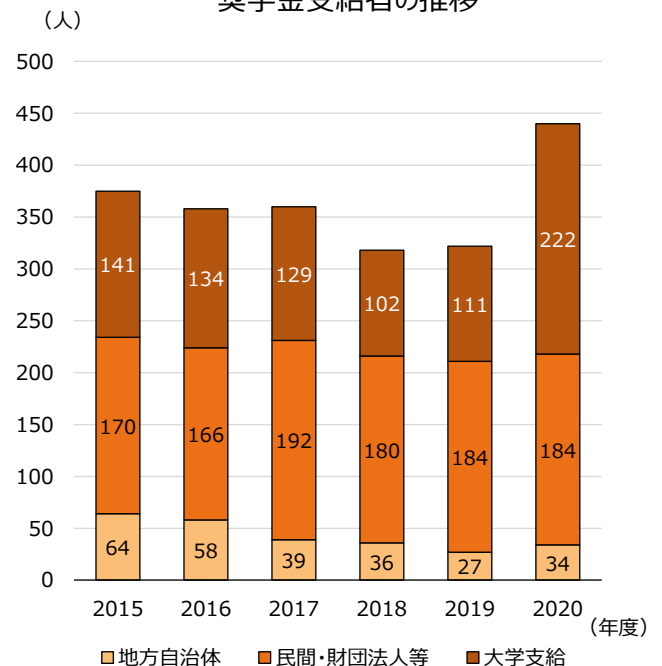
授業料免除者とその割合



日本学生支援機構の奨学金受給者の推移



日本学生支援機構以外の奨学金受給者の推移



※日本学生支援機構の内訳

第一種：第一種（無利息）のみ受給している学生

第二種：第二種（利息付）のみ受給している学生

併用：第一種、第二種併用して受給している学生

給付：給付型のみ受給している学生（2018年度から開始）

学習奨励費：学習奨励費（私費外国人学生対象の給与型奨学金）を受給している学生

10. 国際的な研究論文

10-1 インパクトの高い論文数分析による日本の研究機関ランキング

- 本学の2010年1月から2020年12月の11年間における高被引用論文数は、国内で15位、大学に限ると11位となっている。
- 20位以内にランクインした国立大学は、すべて国立大学法人運営費交付金の支援枠の重点支援3（卓越した成果を創出している海外大学と伍して、全学的に世界で卓越した教育研究、社会実装を推進する大学:16大学）の枠組みであった。
- ただし、データ元の「Web of Science™」（以下、WoS）は自然科学・生命医学系の学術論文を中心に収録しているデータベースであることに留意が必要である。（「10.国際的な研究論文」全体の項目について）

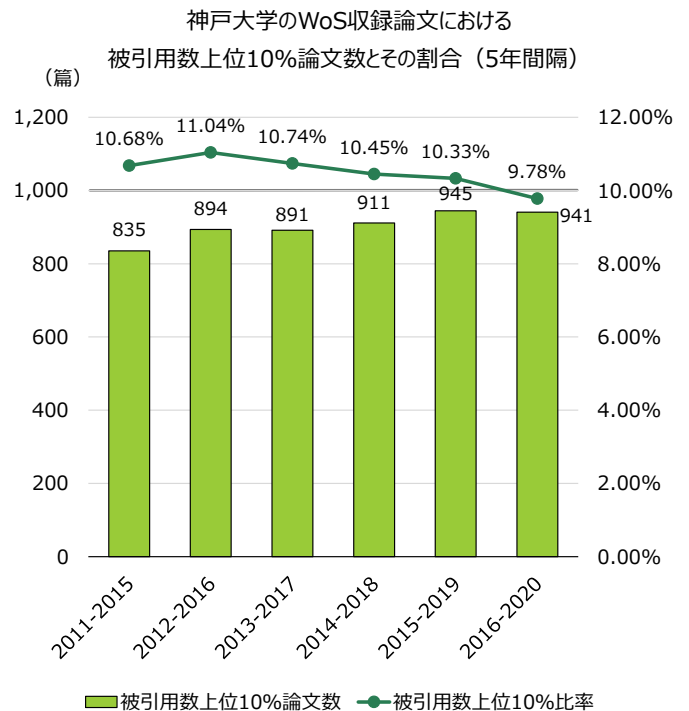
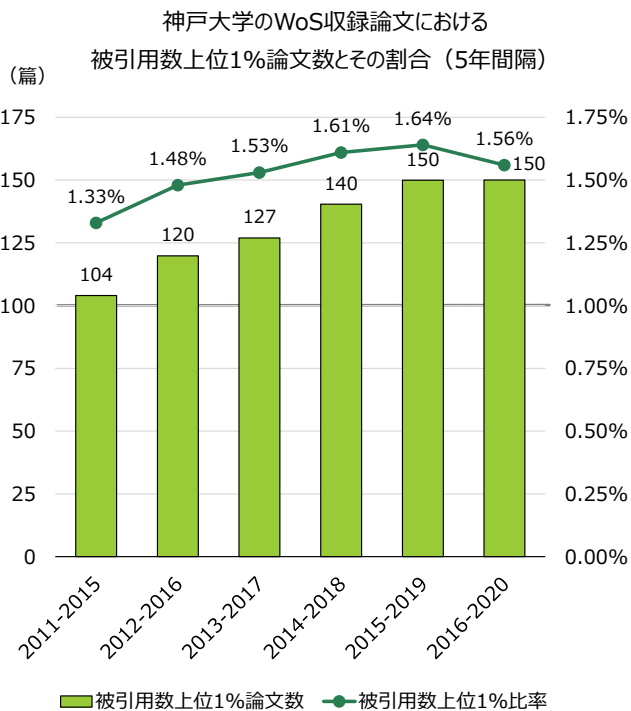
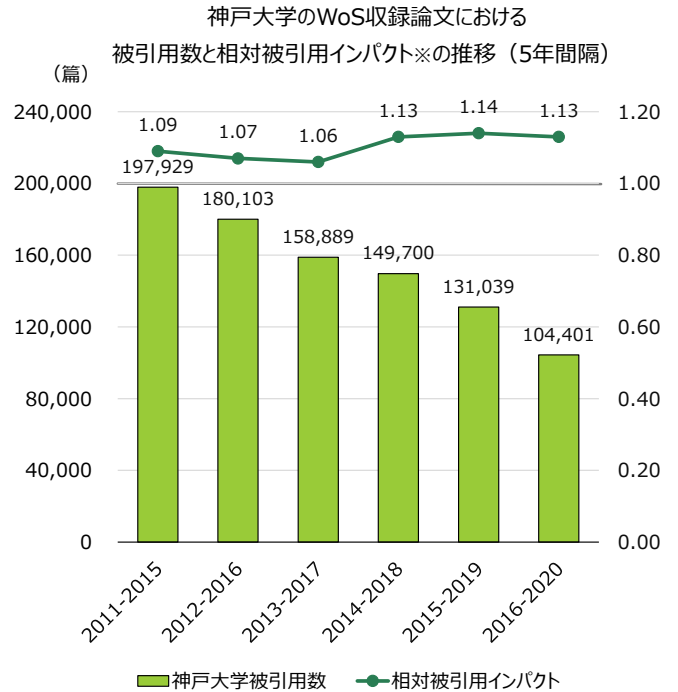
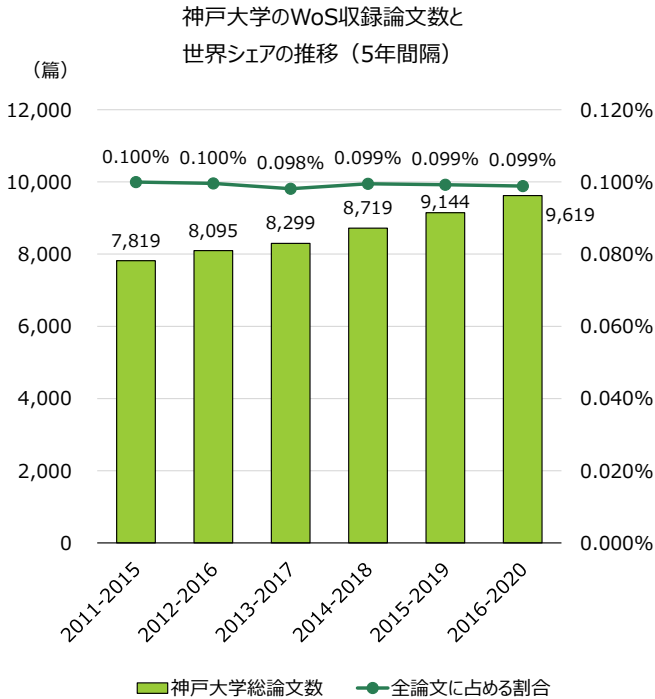
順位	機関名	高被引用論文数	当該大学の論文数に占める割合
1	東京大学	1,601	1.7%
2	京都大学	966	1.4%
3	国立研究開発法人 理化学研究所	737	2.5%
4	大阪大学	608	1.2%
5	東北大学	560	1.1%
6	名古屋大学	479	1.3%
7	国立研究開発法人 物質・材料研究機構	442	2.7%
8	九州大学	396	1.0%
9	北海道大学	344	1.0%
10	東京工業大学	320	1.2%
11	筑波大学	305	1.2%
12	国立研究開発法人 産業技術総合研究所	289	1.1%
13	国立研究開発法人 国立がん研究センター	272	3.2%
14	慶應義塾大学	247	1.1%
15	神戸大学	234	1.3%
16	広島大学	229	1.1%
17	岡山大学	227	1.4%
17	大学共同利用機関法人 自然科学研究機構	203	1.5%
19	早稲田大学	199	1.4%
20	大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構	174	2.6%

出典：クラリベイト・アナリティクス社プレスリリース「インパクトの高い論文数分析による日本の研究機関ランキング」

※当データは、同社が提供する学術文献データベース「Web of Science™」の収録レコードをもとにした引用動向の統計データベース「Essential Science Indicators™」に収録されている世界の研究機関情報から、同データベースの22研究分野において被引用数が上位1%の高被引用論文を集計し、ランキング化したものである。

10-2 論文の量と質についての比較 — 推移 —

- 総論文数は増加傾向にあり、世界シェアは0.1%前後を維持している。
- 被引用数は、過去の論文であるほど増えるため傾向を一概には読み取れないが、被引用数上位1%論文数及び上位10%論文数はこれまで増加傾向であったものの、最新のデータでは若干停滞している。

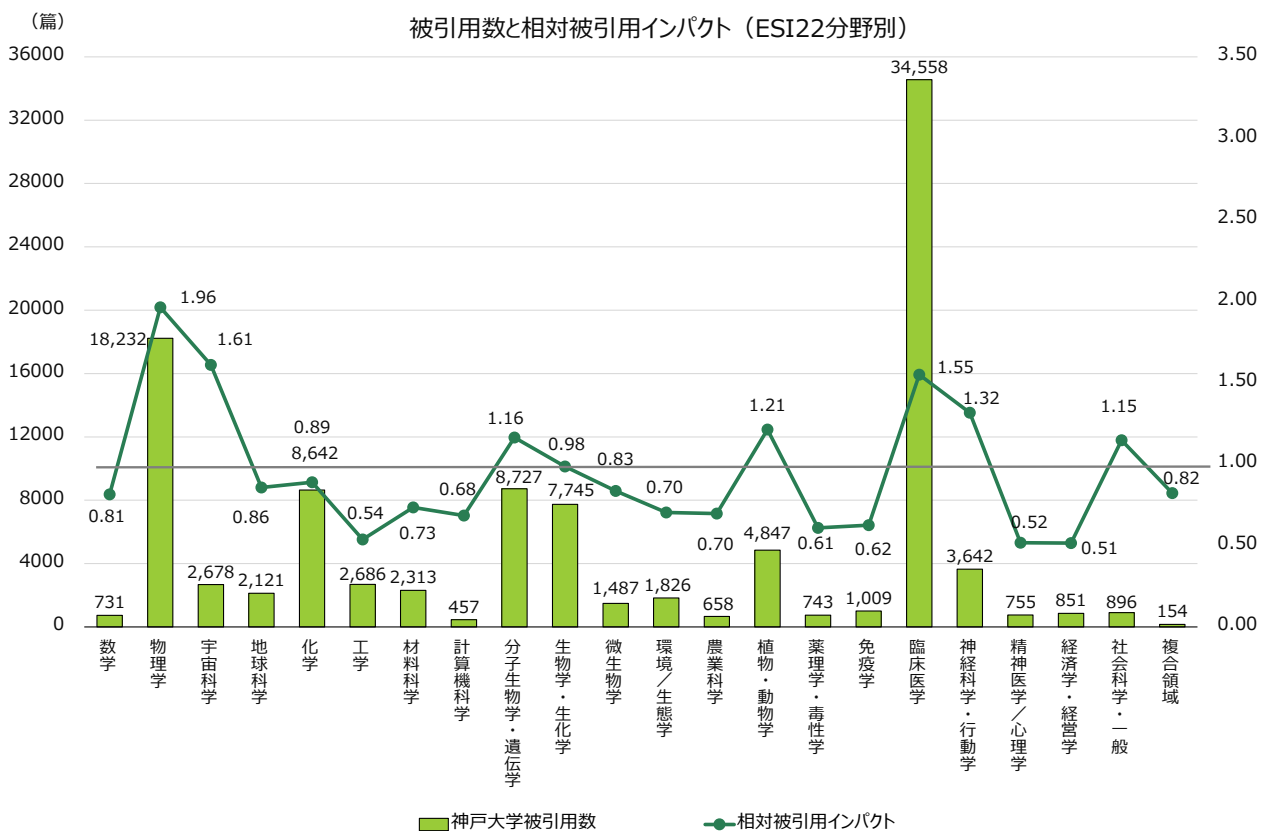
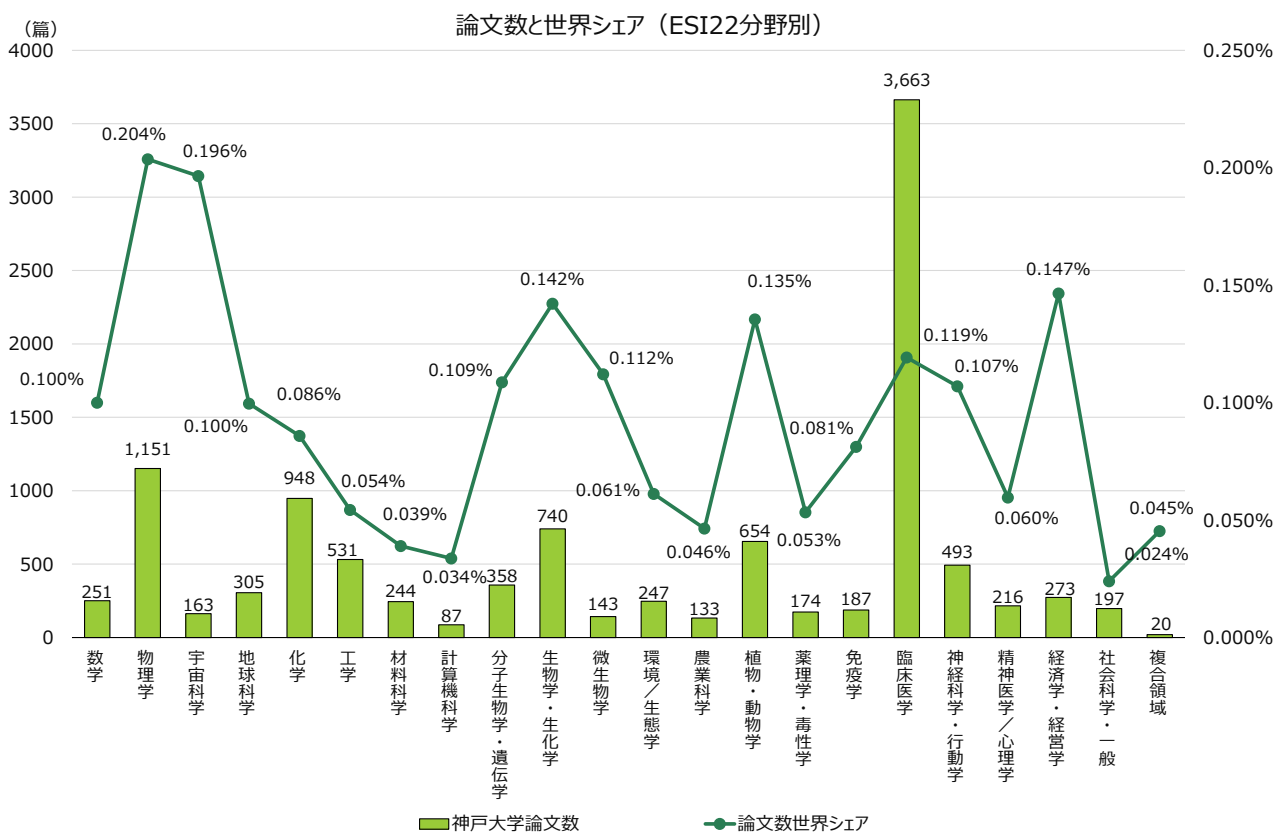


出典：引用文献に基づく研究評価ツール「InCites™」によりWoS収録論文の2つのドキュメントタイプ（Article, Review）のデータについて、5年間の累計値を分析した。なお、本データは2021年8月25日現在の数値である。

※相対被引用インパクト：各分野における1論文あたりの被引用数を世界平均1.0とした場合の相対的な割合を示す数値。

10-3 論文の量と質についての比較 – ESI22分野別 –

- InCites™を用いて、本学の研究をESI22分野別に比較した結果である。
- 相対被引用インパクトが世界平均1.0を超える分野は学術的影響力の高い研究成果が多く生み出されていることを示している。

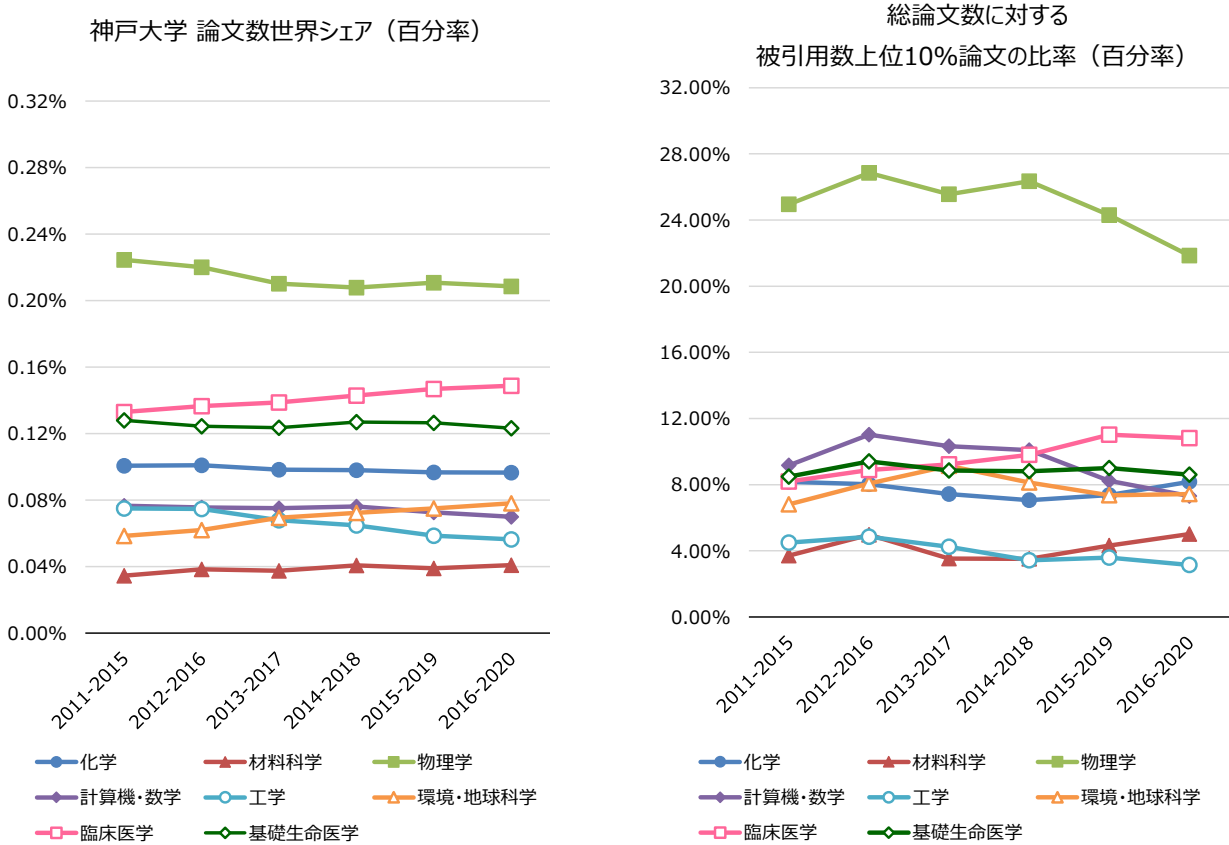


※引用文献に基づく研究評価ツール「InCites™」により、2016～2020年の2つのドキュメントタイプ (Article, Review) の論文について、「Essential Science Indicators™」の22分野別でデータを分析した。なお、本データは2021年8月25日現在の数値である。

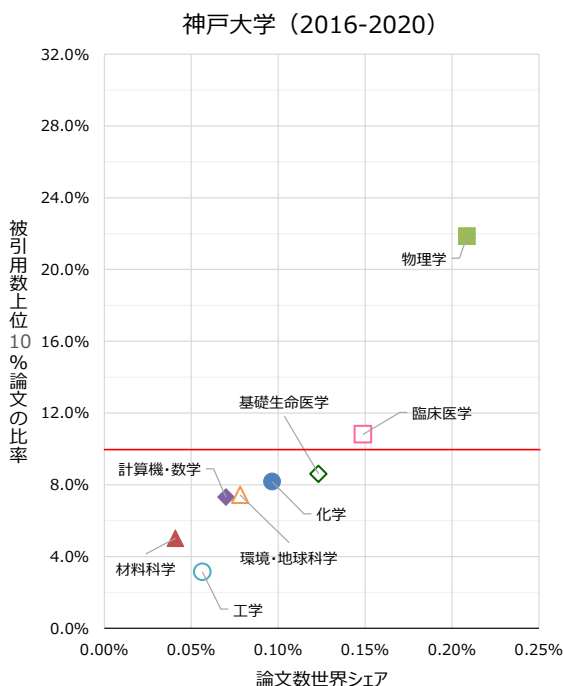
10-4 論文の量と質についての比較 – NS 8 分野別 –

○ 科学技術・学術政策研究所（NISTEP）が定義した研究ポートフォリオ8分野別に、本学の論文を分析した結果である。本学では、物理学分野が突出していることがわかる。また、臨床医学分野が量・質ともに伸ばしている。

◆推移（2011-2020年、5年間隔）



◆マッピング

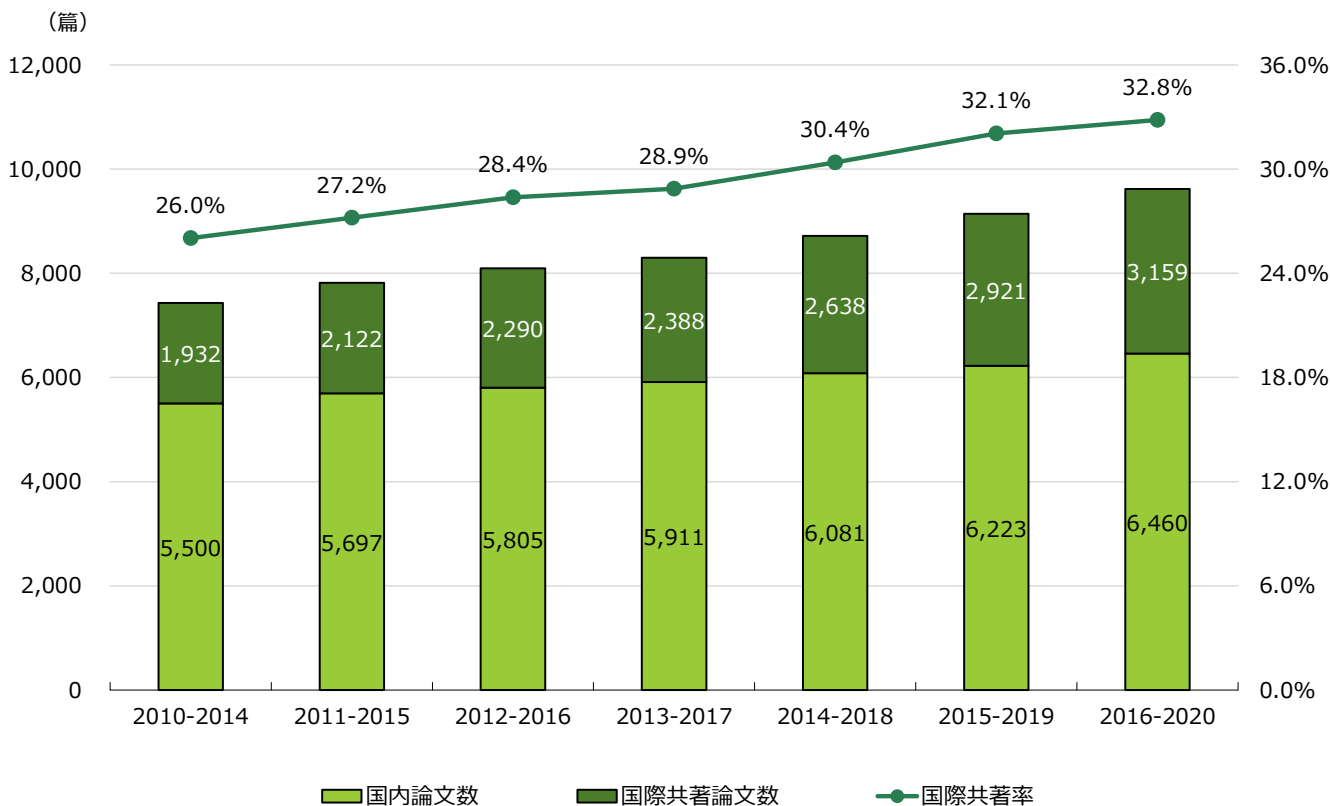


※引用文献に基づく研究評価ツール「InCites™」により、2つのドキュメントタイプ（Article, Review）の論文について、科学技術・学術政策研究所「研究論文に着目した日本の大学ベンチマーキング2015」において用いられていた「研究ポートフォリオ8分野（ESI22分野のうち19分野を再分類したもの）」別にデータを分析した。共著論文のカウント方法は整数カウント法である。また、本データは2021年8月25日現在の数値である。

10-5 論文の量と質についての比較 — 国際共著 —

○ 本学の国際共著論文数・国際共著率はともに増加傾向にある。分野別で見ると、物理学や天文学が特に高く、その他幅広い分野で積極的に国際連携して研究を行っていることがわかる。

◆神戸大学の国際共著論文数の推移（5年毎の合計値）



◆神戸大学の国際共著論文の多い分野（2016-2020年の合計）

分野名 (Web of Science252分野)	国際共著論文数	国際共著率
PHYSICS, PARTICLES & FIELDS (物理学、粒子、界)	576	87.9%
ASTRONOMY & ASTROPHYSICS (天文学、宇宙物理学)	323	74.3%
BIOCHEMISTRY & MOLECULAR BIOLOGY (生化学、分子生物学)	151	28.2%
MATERIALS SCIENCE, MULTIDISCIPLINARY (物質科学、総合)	134	31.9%
PHYSICS, NUCLEAR (物理学、核)	130	86.7%
PLANT SCIENCES (植物学)	128	33.6%
ONCOLOGY (腫瘍学)	124	15.2%
PHYSICS, APPLIED (物理学、応用)	114	30.2%
CHEMISTRY, PHYSICAL (化学、物理)	106	32.7%
ECONOMICS (経済学)	97	31.3%
BIOTECHNOLOGY & APPLIED MICROBIOLOGY (バイオテクノロジー、応用微生物学)	93	30.9%
NEUROSCIENCES (神経科学)	90	25.6%
CARDIAC & CARDIOVASCULAR SYSTEMS (心臓、循環器系)	89	19.3%
CELL BIOLOGY (細胞生物学)	88	29.5%
PHYSICS, MULTIDISCIPLINARY (物理学、総合)	83	49.1%
POLYMER SCIENCE (高分子科学)	83	44.4%
CHEMISTRY, MULTIDISCIPLINARY (化学、総合)	80	24.5%

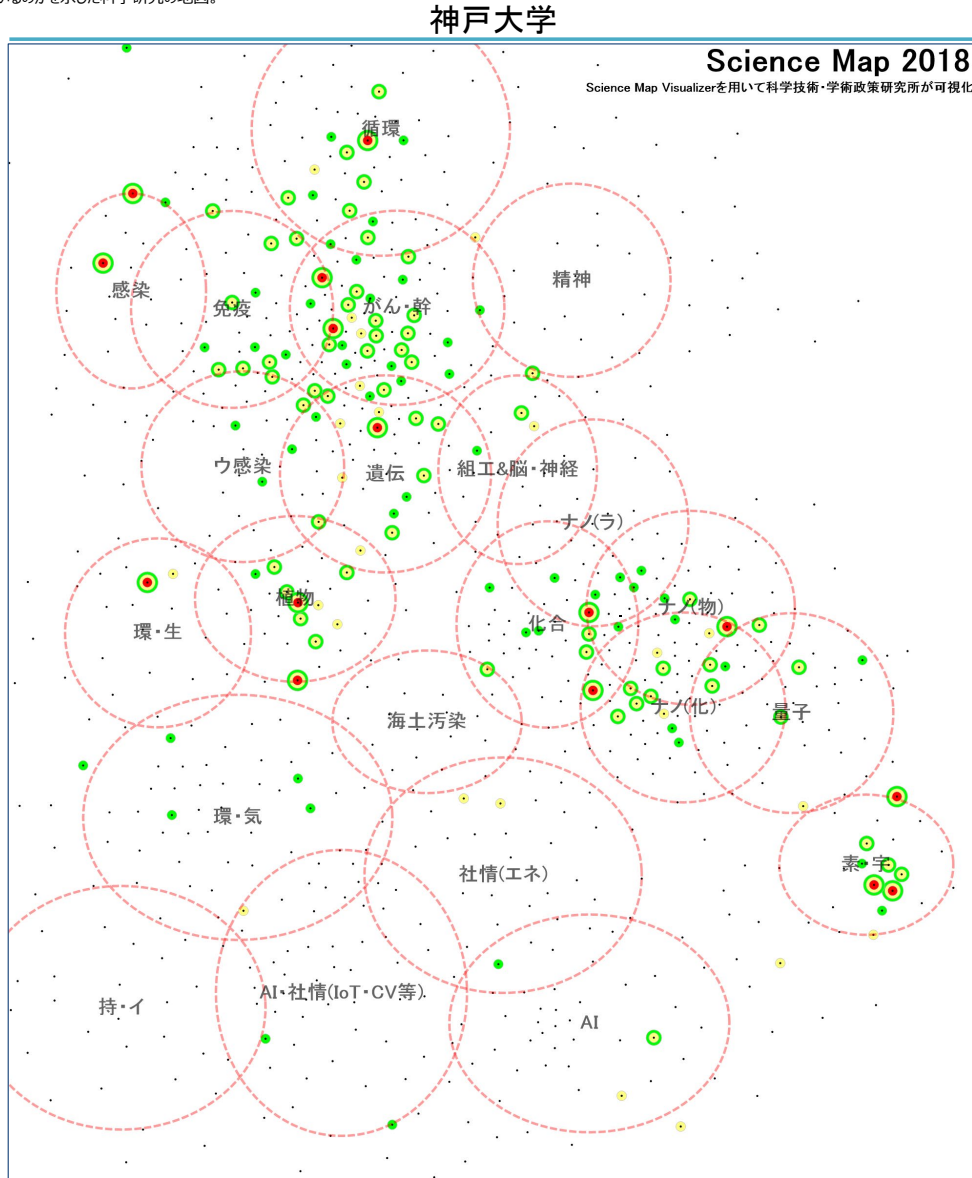
※引用文献に基づく研究評価ツール「InCites™」より、2つのドキュメントタイプ（Article, Review）の論文についてデータを分析した。
また、本データは2021年8月25日現在の数値である。

10-6 サイエンスマップから見る本学の強みである研究領域

- 本学では従来からの強みである「がんゲノム解析・遺伝子治療、幹細胞研究」、「植物科学研究」、「ナノサイエンス研究(化学)」、「素粒子・宇宙論研究」の4分野に加え、「循環器系疾患研究」、「感染症研究」、「環境・生態系研究」、「化学合成研究」、「ナノサイエンス研究(物理学、ライフサイエンス)」分野でも世界をリードする研究が増加している。
- コアペーパー、サイティングペーパー及びそのうちのTOP10%論文数のいずれも大幅に伸びている。前回調査時と比較すると特に「化学合成研究」周辺領域の伸びが大きい。

サイエンスマップとは？

論文データベース分析により国際的に注目を集めている研究領域を定量的に把握し、それらが、互いにどのような位置関係にあるのか、どのような発展を見せているのかを示した科学研究の地図。



◆研究領域群名

- 【循環】 循環器系疾患研究
- 【感染】 感染症研究
- 【免疫】 免疫研究
- 【がん・幹】 がんゲノム解析・遺伝子治療、幹細胞研究
- 【精神】 精神疾患研究
- 【ウ感染】 ウイルス感染症研究
- 【遺伝】 遺伝子発現制御研究
- 【組工&脳・神経】 組織工学&脳・神経研究
- 【植物】 植物科学研究
- 【環・生】 環境・生態系研究
- 【環・気】 環境・気候変動研究
- 【海土汚染】 海洋・土壌汚染研究
- 【化合】 化学合成研究
- 【ナノ(ウ)】 ナノサイエンス研究(ライフサイエンス)
- 【ナノ(物)】 ナノサイエンス研究(物理学)
- 【ナノ(化)】 ナノサイエンス研究(化学)
- 【量子】 量子情報処理・物性研究
- 【素・宇】 素粒子・宇宙論研究
- 【AI】 AI関連研究
- 【AI・社情(IoT・CV等)】 AI・社会情報インフラ関連研究(IoT・CV等)
- 【社情(エネ)】 社会情報インフラ関連研究(エネルギー等)
- 【持・イ】 持続可能な発展・イノベーション研究

◆用語

研究領域

2013～2018年の6年間に発行された論文の中で、各年、ESI22分野の被引用数Top1%論文に対し、「共引用」を用いたグループ化を行うことにより得られた902の研究領域。

コアペーパー

各研究領域を構成しているTop1%論文。

サイティングペーパー

コアペーパーを引用している論文。

神戸大学	コアペーパー		サイティングペーパーのうちTop10%論文		サイティングペーパー	
	該当領域数	ペーパー数	該当領域数	ペーパー数	該当領域数	ペーパー数
サイエンスマップ2008	12	21	79	188	100	592
サイエンスマップ2010	26	33	100	207	118	642
サイエンスマップ2012	21	53	76	284	106	821
サイエンスマップ2014	16	41	79	278	114	926
サイエンスマップ2016	13	49	86	334	133	1,038
サイエンスマップ2018	15	73	100	479	131	1,214

出典：文部科学省 科学技術・学術政策研究所, NISTEP REPORT No. 187 (2020年11月)、No. 178 (2018年10月)、No. 169 (2016年9月)、No. 159 (2014年7月)

11. 科学研究費

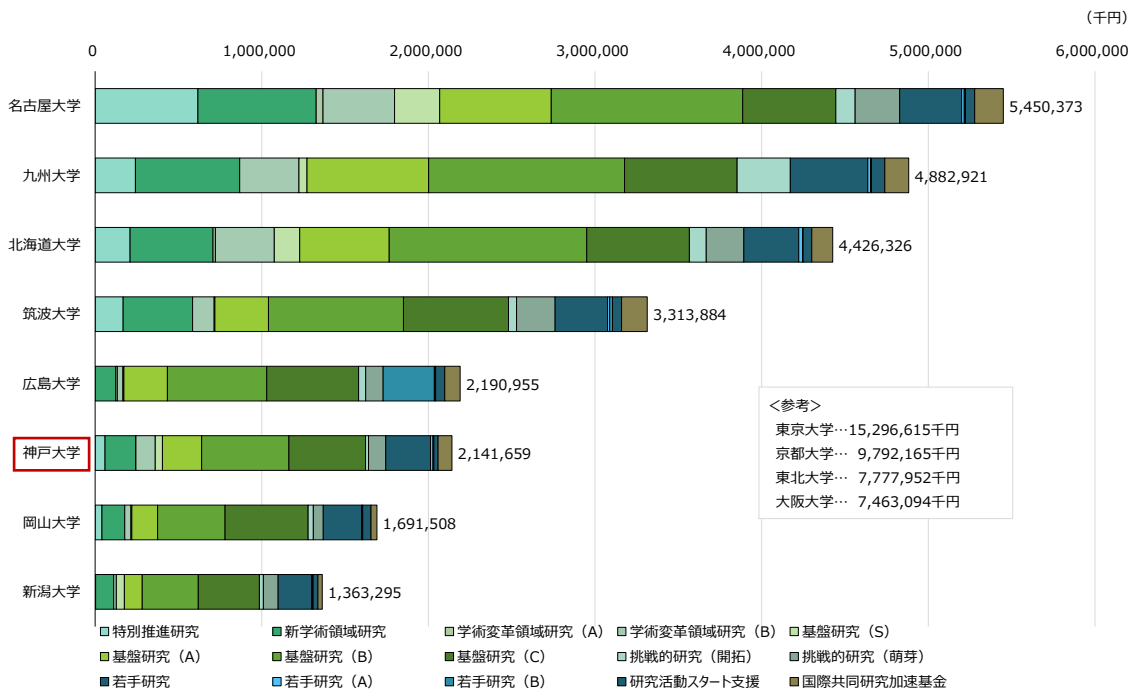
11-1 2021年度科学研究費助成事業獲得状況

種 目	新規申請件数	採択件数			新規採択率	配分額 (新規+継続)		
		新規	継続	合計		直接経費 (千円)	間接経費 (千円)	合計 (千円)
特別推進研究	1	0	1	1	-	65,200	17,760	82,960
	1	0	1	1	-	59,900	17,640	77,540
新学術領域研究 (計画)	-	-	5	5	-	78,776	21,892	100,668
	-	-	6	6	-	116,200	32,587	148,787
新学術領域研究 (公募)	15	5	12	17	33.3%	45,305	11,728	57,033
	46	10	13	23	21.7%	55,200	16,350	71,550
学術変革領域研究 (A) (計画研究)	17	0	4	4	0.0%	134,000	40,200	174,200
	28	4	0	4	14.3%	75,800	22,740	98,540
学術変革領域研究 (A) (公募研究)	22	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-
学術変革領域研究 (B)	13	0	1	1	0.0%	8,285	2,217	10,502
	45	1	0	1	2.2%	6,900	2,070	8,970
基盤研究 (S)	8	0	8	8	0.0%	178,504	36,810	215,314
	7	1	7	8	14.3%	201,360	53,790	255,150
基盤研究 (A)	46	13	27	40	28.3%	367,717	101,847	469,564
	49	4	32	36	8.2%	298,693	83,430	382,123
基盤研究 (B)	176	50	177	227	28.4%	886,337	221,895	1,108,232
	184	61	148	209	33.2%	769,018	218,841	987,859
基盤研究 (C)	412	158	431	589	38.3%	453,300	135,990	589,290
	422	146	384	530	34.6%	463,700	139,110	602,810
挑戦的研究 (開拓)	25	2	5	7	8.0%	26,990	7,230	34,220
	27	1	4	5	3.7%	28,860	6,810	35,670
挑戦的研究 (萌芽)	160	24	60	84	15.0%	121,700	36,510	158,210
	152	22	53	75	14.5%	125,100	33,750	158,850
若手研究 (A)	-	-	1	1	-	3,788	0	3,788
	-	-	5	5	-	18,700	4,470	23,170
若手研究 (B)	-	-	11	11	-	0	0	0
	-	-	15	15	-	5,200	1,560	6,760
若手研究	174	75	211	286	43.1%	259,500	77,580	337,080
	213	105	151	256	49.3%	270,700	81,210	351,910
研究活動スタート支援	37	15	25	40	40.5%	27,900	8,370	36,270
	42	13	16	29	31.0%	24,800	7,410	32,210
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化 (A))	0	0	17	17	-	0	0	0
	0	0	17	17	-	16,600	4,980	21,580
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化 (B))	16	0	21	21	-	65,280	19,584	84,864
	27	5	17	22	18.5%	77,060	23,118	100,178
合 計	1,122	342	1,017	1,359	30.5%	2,722,582	739,613	3,462,195
	1,243	373	869	1,242	30.0%	2,613,791	749,866	3,363,657

○「学術変革領域研究(A) (計画研究)」、学術変革領域研究(B)」：2020年度から公募が始まった新規研究種目である。
 ○「学術変革領域研究(A) (公募研究)」：2021年度から公募が始まった新規研究種目である。
 ※「新学術領域研究 (計画)」の新規研究領域の公募は2020年度限りで新規の公募を終了。
 ○「挑戦的研究(開拓)」、「挑戦的研究(萌芽)」：2017年度から公募が始まった新規研究種目である。
 ○「若手研究」：2018年度から公募が始まった新規研究種目である。
 ※「若手研究(A)」、「若手研究(B)」は2017年度限りで新規の公募を終了。

上段：2021年度採択状況 (2021.9現在)
 下段：2020年度採択状況 (最終版)
 ※表中の件数欄の「-」は該当なし又は申請中を示す。
 ※研究代表者として申請した課題のみを集計。

11-2 2020年度科学研究費助成事業獲得状況

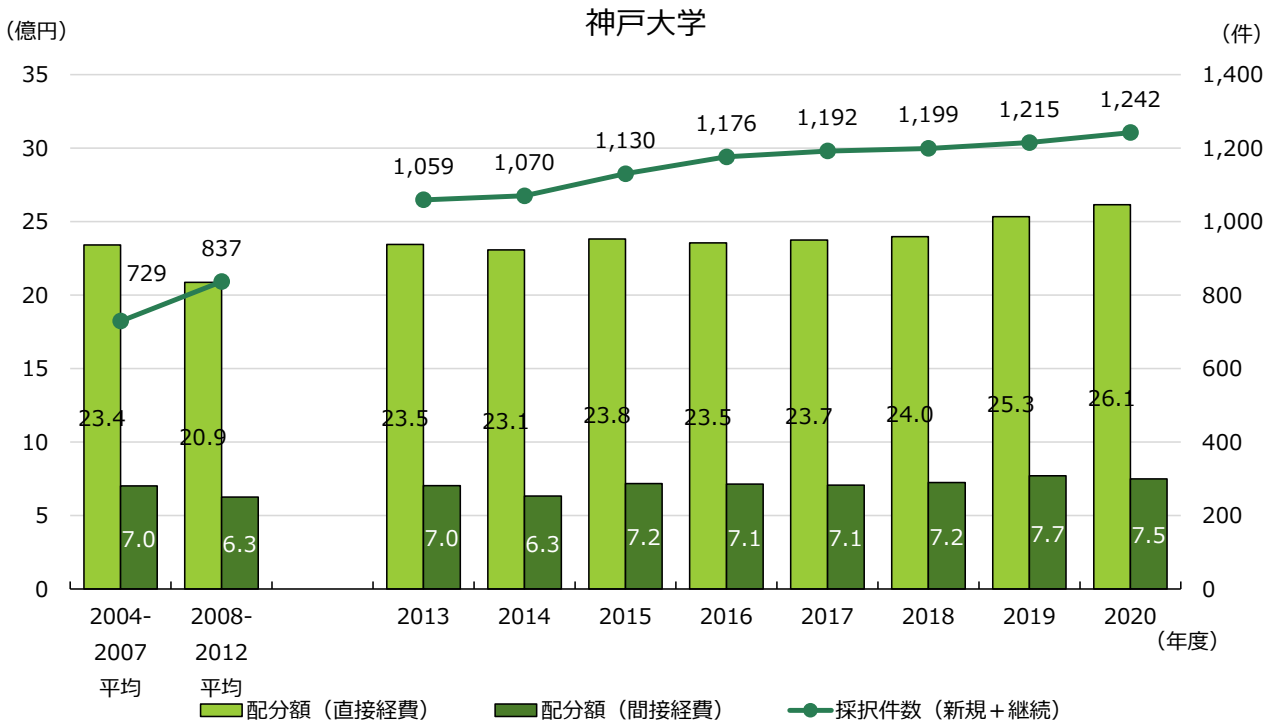


<参考>
 東京大学…15,296,615千円
 京都大学… 9,792,165千円
 東北大学… 7,777,952千円
 大阪大学… 7,463,094千円

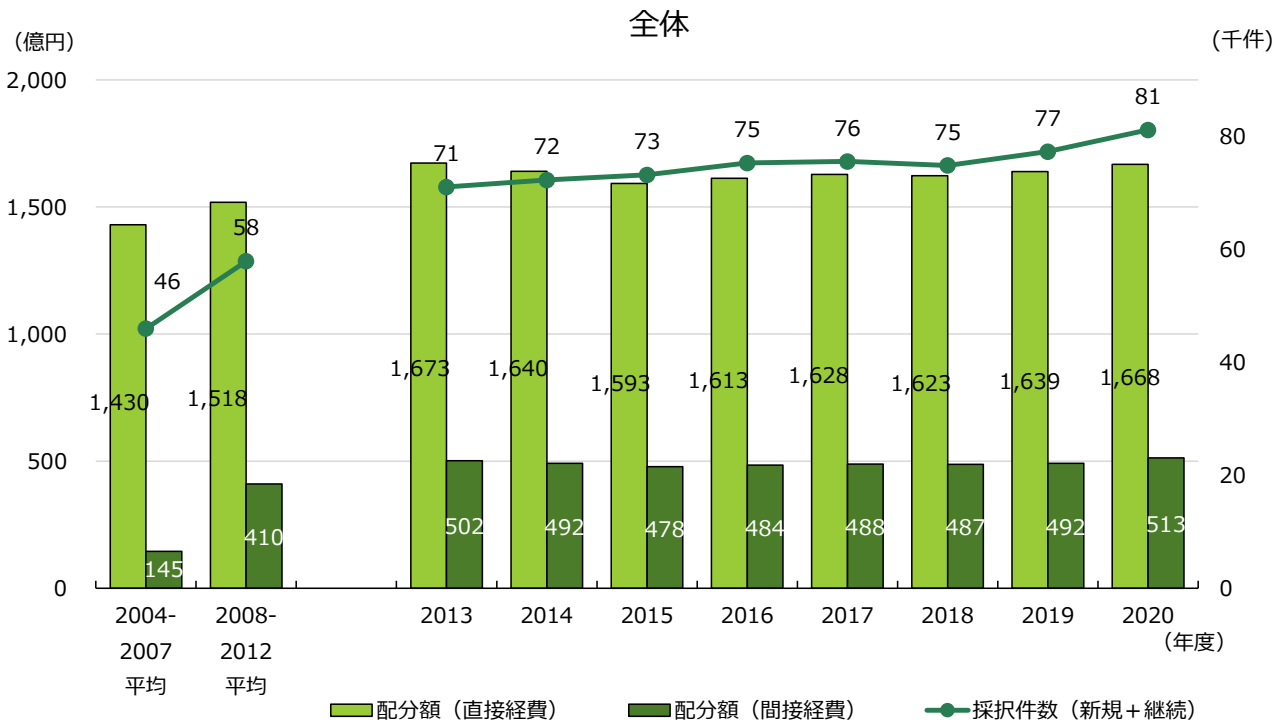
※学生収容定員1万人以上の国立大学法人を比較対象とし、各大学財務諸表(2020年度版)より科学研究費の明細が示されているものを集計した。
 ※配分額は直接経費相当額のみを示しており、研究分担者分も含む。

11-3 科学研究費助成事業採択状況 — 推移 —

○ 2014年度以降、科学研究費助成事業全体の傾向として緩やかな伸びになっており、本学も類似した傾向にある。



※2015年度より「国際共同研究加速基金」を含む。

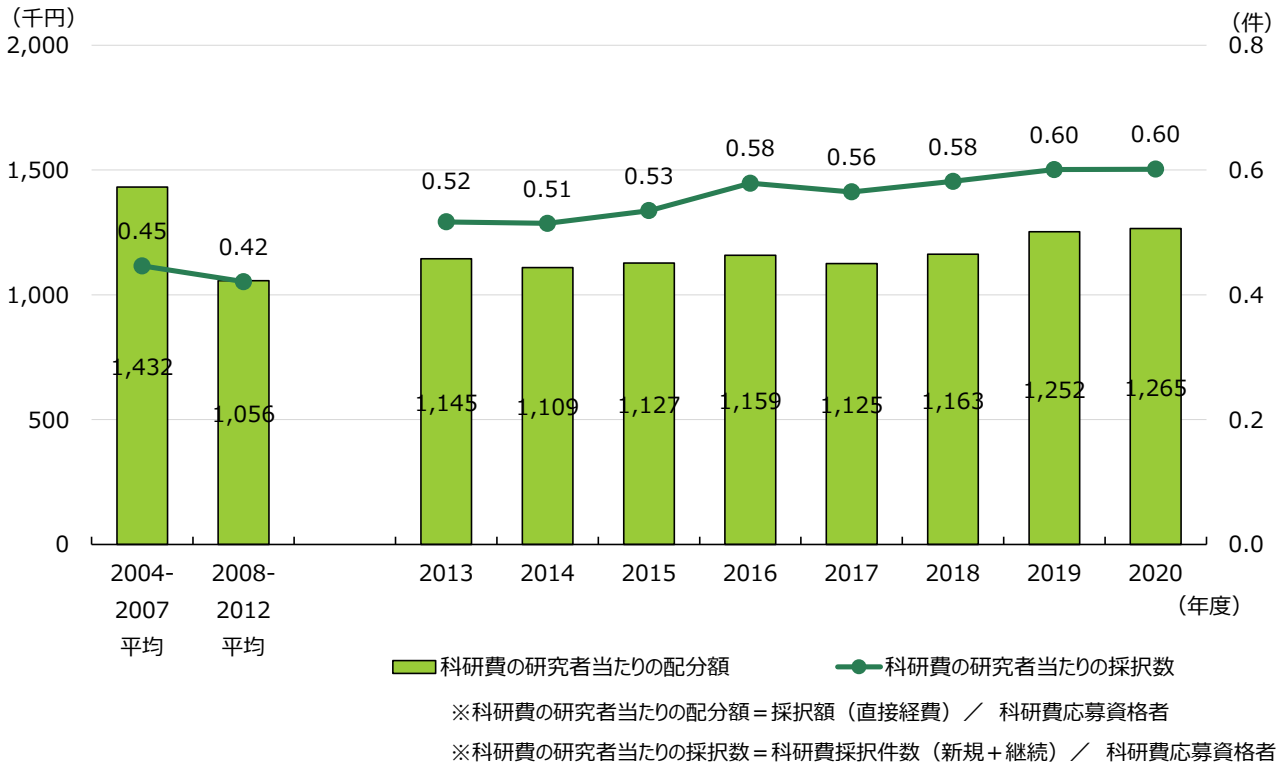


※科学研究費のうち、「特別推進研究」、「新学術領域研究（研究領域提案型）」、「基盤研究」、「挑戦的萌芽研究」（※2017年以降は「挑戦的研究）」、「若手研究」、「研究活動スタート支援」について集計した。

出典：文部科学省HP掲載「科学研究費補助金 配分結果」

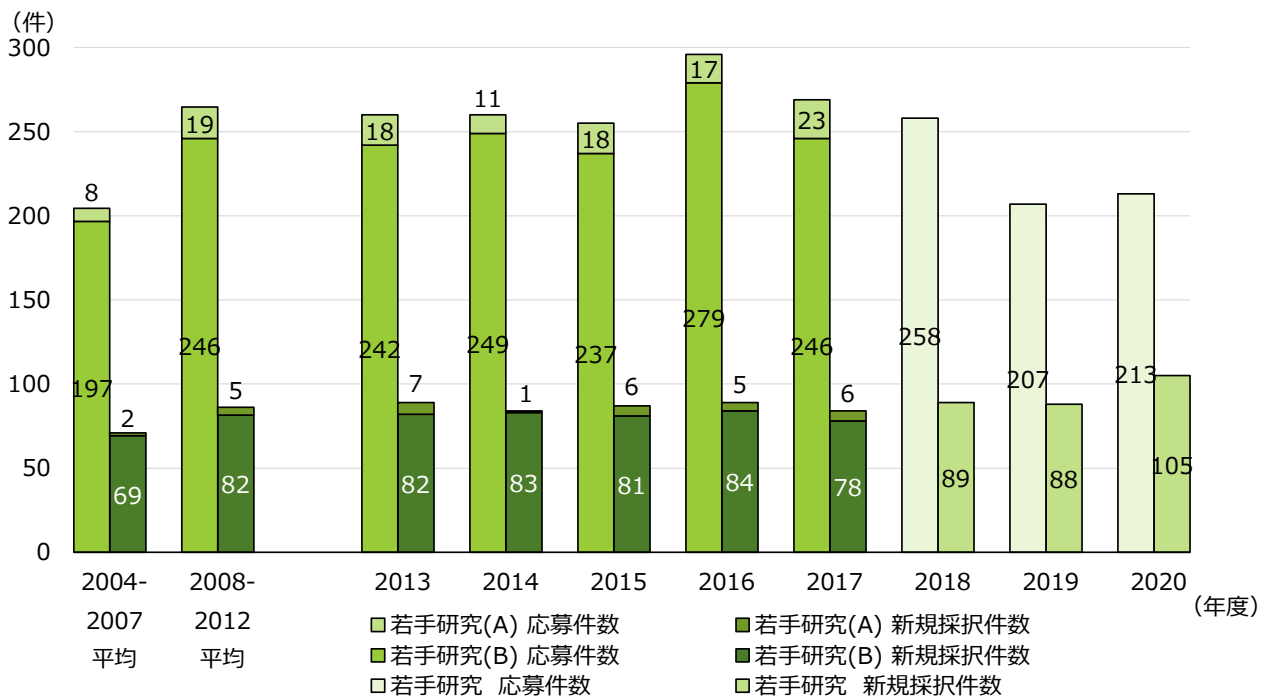
11-4 科研費の研究者当たりの配分額・採択数 — 推移 —

○ 科研費の研究者当たりの配分額及び採択数は2009年に底を打ち、近年は緩やかな増加傾向にある。



11-5 科研費若手種目の応募件数と新規採択件数 — 推移 —

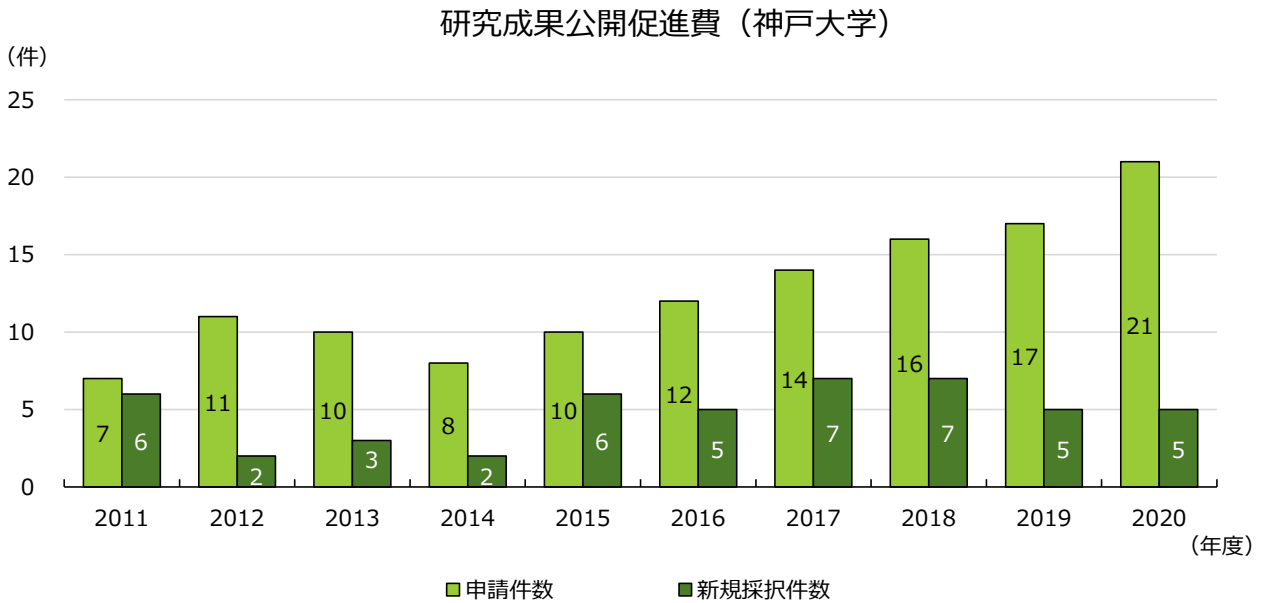
○ 科研費の若手種目の応募件数は近年やや減少しているが、2020年度の採択件数は増加した。



※2018年度から「若手研究(A)」は「基盤研究」に統合。「若手研究(B)」は新種目の「若手研究」となった。

11-6 研究成果公開促進費 — 推移 —

○ 2020年度の新規採択件数の内訳は、学術図書3件、研究成果公開発表2件となっている。



○研究成果公開促進費

科学研究費助成金の種目で、研究成果の公開発表、重要な学術研究の成果の発信及び、データベースの作成・公開について助成することによって、我が国の学術の振興と普及に資するとともに、学術の国際交流に寄与することを目的とするものであり、優れた研究成果の公的流通の促進を図るもの。

11-7 2018-2021年度科学研究費助成事業新規採択状況

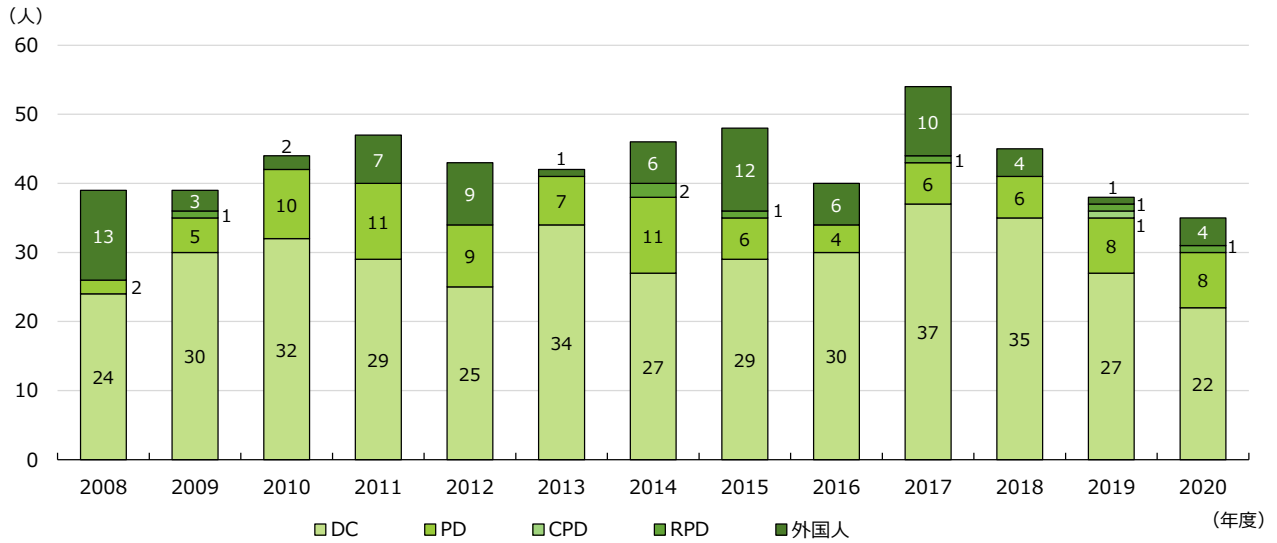
大区分	(研究分野)	中区分数	中区分別採択数上位10機関に本学がランクインしている中区分名	順位	新規採択件数(件)	配分額(直接経費)(千円)
A	(人文学・社会科学)	10	法学およびその関連分野	6	45.0	70,600
			政治学およびその関連分野	8	24.3	48,633
			経済学、経営学およびその関連分野	3	120.0	235,000
B	(数物系科学)	7	解析学、応用数学およびその関連分野	8	22.0	24,500
C	(工学系科学)	8	建築学およびその関連分野	8	22.0	41,200
			航空宇宙工学、船舶海洋工学およびその関連分野	10	15.0	45,000
			社会システム工学、安全工学、防災工学およびその関連分野	7	16.0	51,000
D		7	化学工学およびその関連分野	8	30.0	134,300
			応用物理工学およびその関連分野	10	11.0	94,700
F	(農学・環境学)	5	生産環境農学およびその関連分野	8	28.0	88,000
			社会経済農学、農業工学およびその関連分野	6	24.0	77,300
H	(医歯薬学)	3	生体の構造と機能およびその関連分野	10	22.0	54,900
I		11	内科学一般およびその関連分野	8	98.0	143,000
			生体情報内科学およびその関連分野	8	48.0	92,600

出典：文部科学省「令和3年度科学研究費助成事業の配分について」

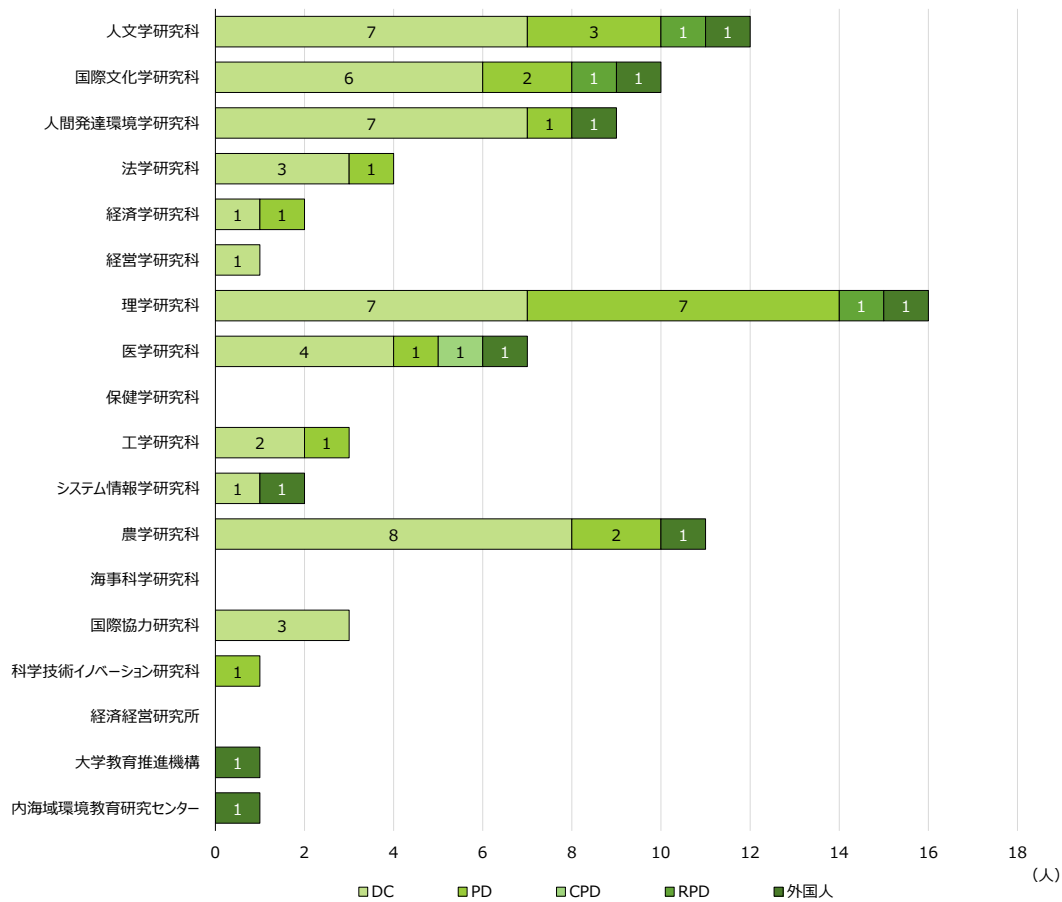
※2018年度から2021年度科学研究費（新規採択分）のうち、「特別推進研究」、「新学術領域研究（研究領域提案型）」（計画研究及び公募研究）、「学術変革領域研究(A）」（計画研究及び公募研究）、「学術変革領域研究(B）」（計画研究）、「基盤研究」（特設分野研究を除く）、「挑戦的研究」（特設審査領域を除く）、「若手研究」及び「国際共同研究加速基金(国際共同研究基盤(B))」について分類したもののうち、本学が中区分別採択件数上位10機関にランクインしているものを集計した。（対応する中区分が複数ある小区分については、件数、配分額を按分して集計）

12. 日本学術振興会特別研究員

12-1 全学の受入れ状況 - 新規 -



12-2 研究科別受入れ状況 - 在籍者 -



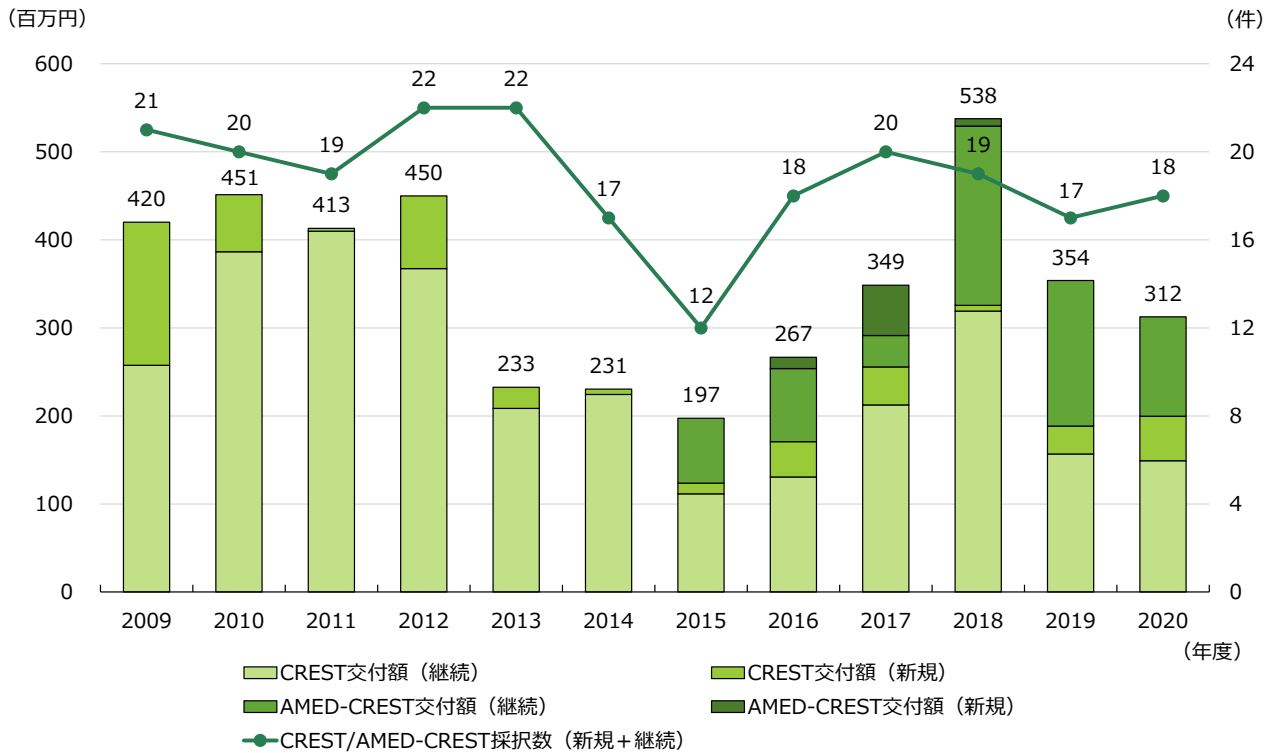
※2020年度内に在籍した者を集計。

DC : 博士課程に在籍中の日本学術振興会特別研究員
 PD : 博士の学位を取得後5年未満の日本学術振興会特別研究員
 CPD : 日本国内及び海外の大学その他の研究期間で研究に専念する日本学術振興会特別研究員
 RPD : 博士の学位取得者で、過去5年以内に出産又は子の養育のため研究活動を一定期間中断していた日本学術振興会特別研究員
 外国人 : 博士の学位を取得前後の外国人日本学術振興会特別研究員

13. 研究プログラムの採択状況

13-1 戦略的創造研究推進事業「CREST」、 革新的先端研究開発支援事業「AMED-CREST」

○ 採択件数については、2009年度以降20件前後を保っており、2015年度に一旦落ち込んだものの、2016年度以降は再び同程度となっている。交付額については、CREST（新規）が増加したが、AMED-CREST（継続）は減少した。



※グラフの「交付額」及び「採択数」には、分担研究分も含む。
※2014年度以前のCRESTには、AMED設立に伴い、2015年度以降AMED-CRESTへ承継された課題を含む。

CREST/AMED-CREST 2020年度継続中のプログラム一覧 (代表研究のみ)

プログラム名・取組名		実施担当部局
CREST	ホログラム光刺激による神経回路再編の人為的創出	先端融合研究環 (自然科学・生命医学系)
	活性酸素生成抑制システムの非破壊評価系の確立とフィールドへの応用～危機早期診断システムの構築～	農学研究科
	幾何学的離散力学を核とする構造保存的システムモデリング・シミュレーション基盤	システム情報学研究科
	提示系心理情報学の確立とシステム構築	工学研究科
	圧電薄膜振動発電素子および薄膜二次電池開発	工学研究科
	腸-脳機能コネクティクスによる腸内感覚の機能解明と操作	医学研究科
	システムの設計と機能強化	システム情報学研究科
AMED-CREST	ストレス関連疾患を担う機能性脂質の探索と機能解析に基づく臨床応用のための技術基盤の創出	医学研究科

○ 「CREST」

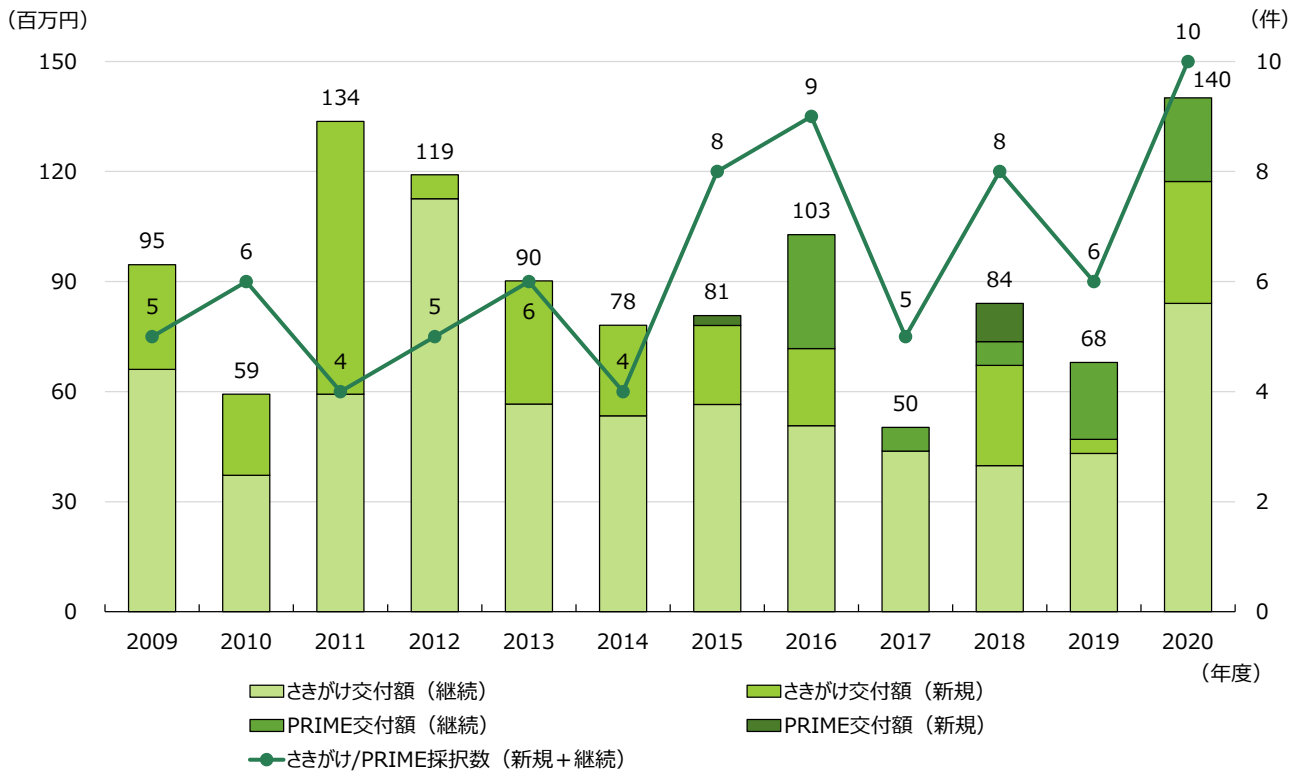
国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）による、国が定める戦略目標の達成に向けて、課題型基礎研究を推進し、科学技術イノベーションを生み出す革新的技術シーズを創出するためのチーム型研究プログラム。

○ 「AMED-CREST」

国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）による、画期的シーズの創出に向けて国際的に高い水準の成果を目指すユニット型研究プログラム。

13-2 戦略的創造研究推進事業「さきがけ」、革新的先端研究開発支援事業「PRIME」

○ 2020年度は採択件数交付額ともに2009年度以降最高の数値となった。



※2014年度以前のさきがけには、AMED設立に伴い、2015年度以降PRIMEへ承継された課題を含む。

さきがけ/PRIME 2020年度継続中のプログラム一覧

プログラム名・取組名		実施担当部局
さきがけ	高周波電子スピン共鳴によるマグノン熱伝導の制御	分子フォトサイエンス研究センター
	Triturated Computing System (粉末コンピューティングシステム)	システム情報学研究科
	接着の偏在によるモザイク形成メカニズム	医学研究科
	Mie共鳴による磁場増強を利用した光化学反応プラットフォームの構築	工学研究科
	内在受容体を利用した生命機能の新規光操作手法の開発	理学研究科
	接着接合ナノ構造の非破壊力学強度評価技術の確立	工学研究科
	量子シミュレーション技術による未知の生体電子移動/機能発現の探索	システム情報学研究科
	多様な電子状態計算を実現する包括的量子アルゴリズムの開発	システム情報学研究科
	顕微操作技術による初期胚の不安定なゲノムの分配システムの解明	農学研究科
PRIME	ヒト腸内細菌Bacteroides 2 菌種の抗炎症作用機序の解明と慢性炎症性疾患治療への応用	医学部附属病院

○ 「さきがけ」

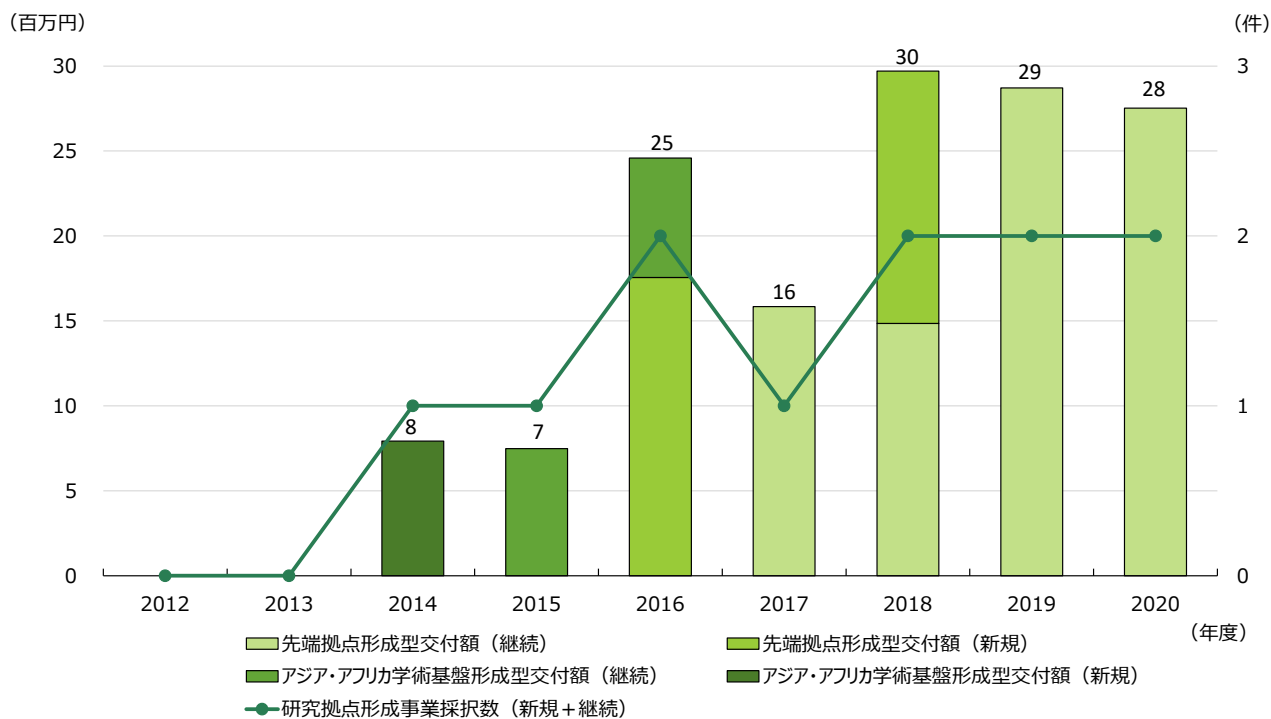
国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）による、戦略目標に基づいて未来のイノベーションの芽を育む個人型研究プログラム。

○ 「PRIME」

国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）による、画期的シーズの源泉となる成果の創出を目指す個人型研究プログラム。

13-3 研究拠点形成事業

○ 全国で20件前後のプログラムが採択されており、本学は2014年度、2016年度、2018年度に1件ずつ新規採択されている。



研究拠点形成事業 2020年度継続中のプログラム一覧

プログラム名・取組名	実施担当部局
日欧亜におけるコミュニティの再生を目指す移住・多文化・福祉政策の研究拠点形成	国際文化科学研究科
階層横断的グリア脳科学研究のための国際コンソーシアム拠点形成	医学研究科

○ **研究拠点形成事業**

我が国において先端的かつ国際的に重要と認められる研究課題、または地域における諸課題解決に資する研究課題について、我が国と世界各国の研究教育拠点機関をつなぐ持続的な協力関係を確立することにより、当該分野において世界的水準または地域における中核的な研究交流拠点の構築とともに、次世代の中核を担う若手研究者の育成を目的とした事業。

14. 研究業績に関する主な受賞

14-1 代表的な受賞状況

2021年7月現在

賞名等	氏名	決定年	所属（旧所属）	職名
【文化勲章】	西塚 泰美	1988年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
【文化功労者】	西塚 泰美	1987年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
	五百旗頭 真	2011年	法学研究科	名誉教授
	中井 久夫	2013年	医学部	名誉教授
【紫綬褒章】	岩井 誠三	1989年	医学部	教授
	三嶋 豊	1994年	医学部	教授
	天野 明弘	2000年	経営学部	教授
	岡村 均	2007年	医学系研究科	教授
	春日 雅人	2007年	医学系研究科	教授
	清野 進	2011年	医学研究科	教授
	金井 壽宏	2019年	経営学研究科	教授
【ウルフ賞】	西塚 泰美	1994年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
【アルバート・ラスカー-医学研究賞】 基礎医学研究賞	西塚 泰美	1989年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
【ガードナー国際賞】	西塚 泰美	1988年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
【朝日賞】	西塚 泰美	1986年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
	戸田 達史	2008年	医学研究科	教授
【京都賞】基礎科学部門	西塚 泰美	1992年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
【女性化学賞】	相馬 芳枝	2011年	自然科学研究科	特別顧問
【武田医学賞】	西塚 泰美	1982年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
	春日 雅人	2007年	医学系研究科	教授
	高井 義美	2014年	医学研究科	教授
【日本学士院賞】	西塚 泰美	1986年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
	戸田 達史	2017年	医学研究科	教授
	清野 進	2018年	医学研究科	教授
【日本学士院会員】	西塚 泰美	1991年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
	河本 一郎	1995年	法学部	名誉教授
	三宅 一郎	1999年	法学部	名誉教授
	西村 和雄	2012年	社会科学系教育研究府	特命教授
	根岸 哲	2018年	社会システムイノベーションセンター	特命教授
	大塚 啓二郎	2018年	社会システムイノベーションセンター	特命教授

※本学在籍時及び名誉教授の受賞等を掲載

14-2 若手教員による受賞状況

2021年7月現在

賞名等	氏名	決定年	所属（受賞時）	職名（受賞時）
【日本学術振興会賞】	野中 哲士	2017年	人間発達環境学研究科	准教授
【科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞】	佐藤 隆太	2015年	工学研究科	准教授
	倉重 佑輝	2016年	システム情報学研究科	准教授
	末次 健司	2018年	理学研究科	特命講師
	日出間 るり	2018年	工学研究科	助教
【科学技術・学術政策研究所 科学技術への顕著な貢献 （ナイスステップな研究者）】	末次 健司	2016年	理学研究科	特命講師
	源 利文	2016年	人間発達環境学研究科	特命助教
	西田 敬二	2017年	科学技術イノベーション研究科	教授

14-3 神戸大学出身者による受賞状況

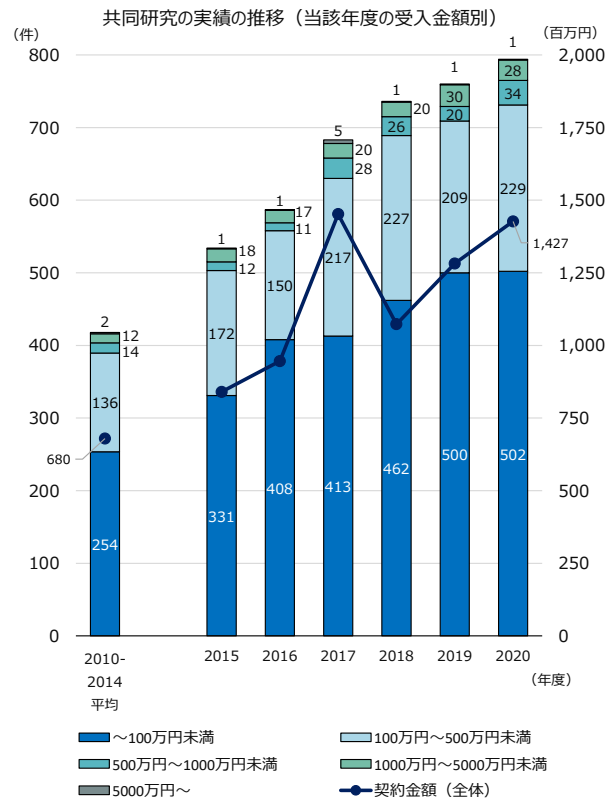
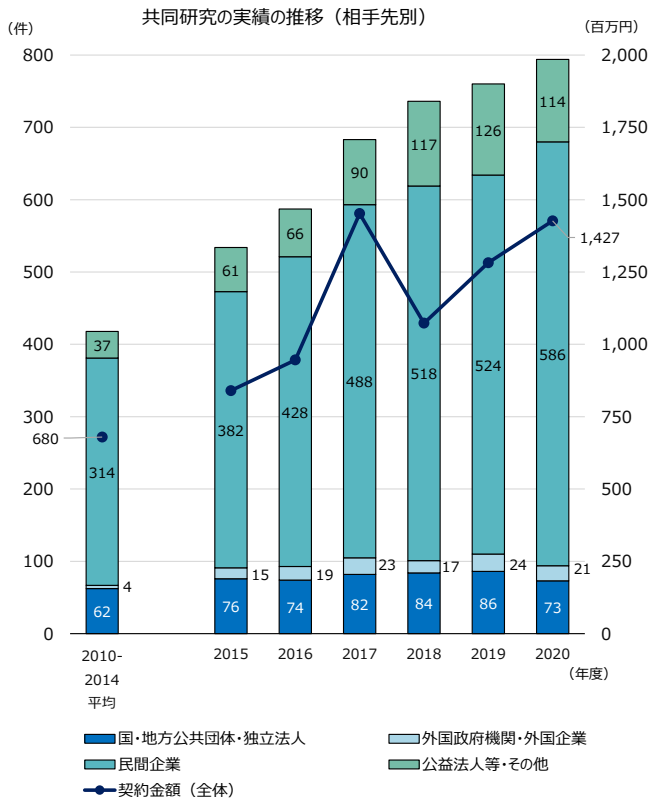
2021年7月現在

氏名	賞名等	受賞部門	決定年	卒業校等
岩井 誠三	【紫綬褒章】	-	1989年	兵庫県立医科大学医学部卒 （神戸大学医学部の前身）
江崎 玲於奈	【ノーベル賞】	物理学賞	1973年	兵庫県師範学校附属小学校高等科 （神戸大学附属中等教育学校の前身）
	【文化勲章】	-	1974年	
	【日本国際賞】	-	1998年	
河合 隼雄	【朝日賞】	-	1997年	神戸工業専門学校卒 （神戸大学工学部の前身）
佐川 真人	【朝日賞】	-	1990年	神戸大学工学部卒 神戸大学大学院工学研究科修了
	【日本国際賞】	-	2012年	
清野 進	【紫綬褒章】	-	2011年	神戸大学医学部卒
	【日本学士院賞】	-	2018年	
高井 義美	【紫綬褒章】	-	2003年	神戸大学医学部卒 神戸大学大学院医学研究科（医学博士）
	【武田医学賞】	-	2014年	
野依 良治	【ノーベル賞】	化学賞	2001年	兵庫県師範学校男子部附属小学校卒 （神戸大学附属小学校の前身）
	【文化勲章】	-	2000年	
	【ウルフ賞】	化学部門	2001年	
	【朝日賞】	-	1992年	
山中 伸弥	【ノーベル賞】	生理学・医学賞	2012年	神戸大学医学部卒
	【文化勲章】	-	2012年	
	【ウルフ賞】	医学部門	2011年	
	【アルバート・ラスカー医学研究賞】	基礎医学研究賞	2009年	
	【ガードナー国際賞】	-	2009年	
	【ミレニアム技術賞】	-	2012年	
	【京都賞】	先端技術部門	2010年	
	【武田医学賞】	-	2008年	
	【朝日賞】	-	2007年	
	【恩賜賞・日本学士院賞】	-	2010年	
【日本学士院会員】	-	2010年		
脇田 晴子	【文化勲章】	-	2010年	神戸大学文学部卒

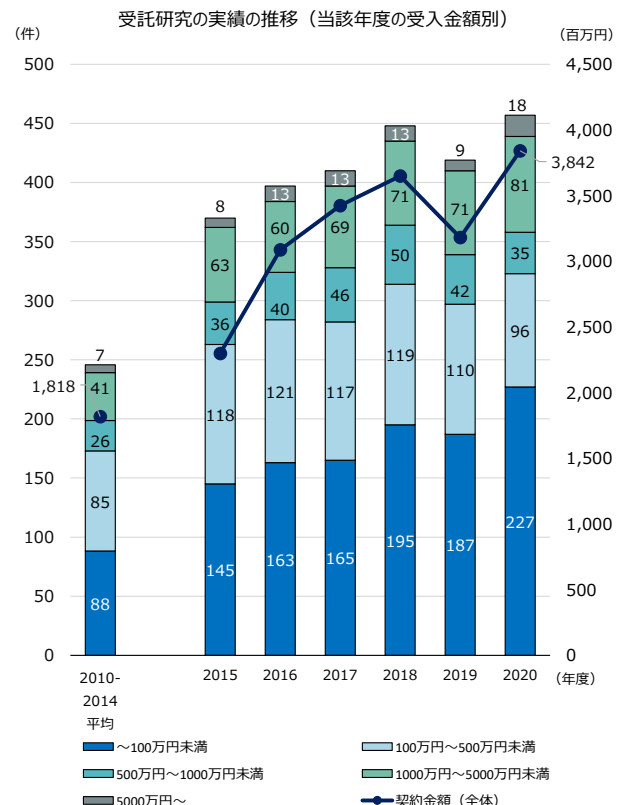
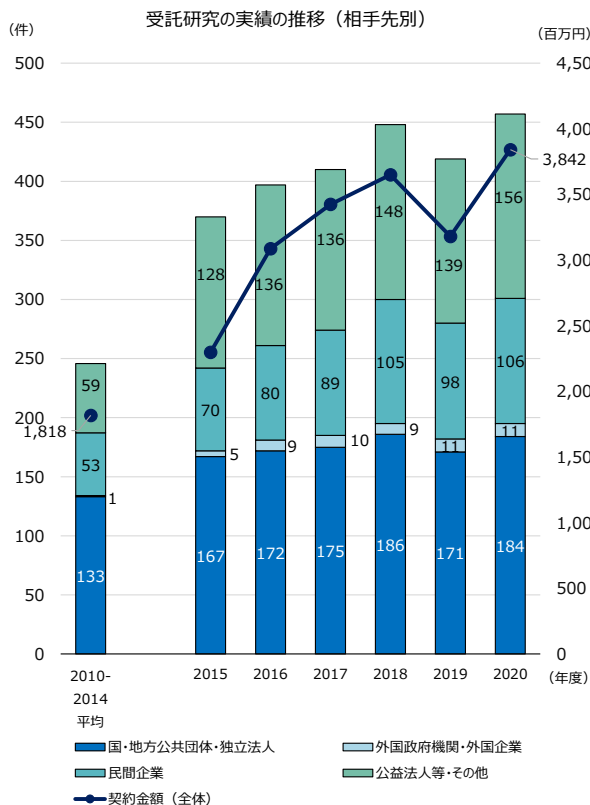
15. 産学官連携状況

15-1 共同研究・受託研究の状況

- 共同研究の件数は各分野で順調に伸びている。
- 共同研究の契約金額は特に大きかった2017年度には及ばないが、期間を通じて増加傾向が続いている。

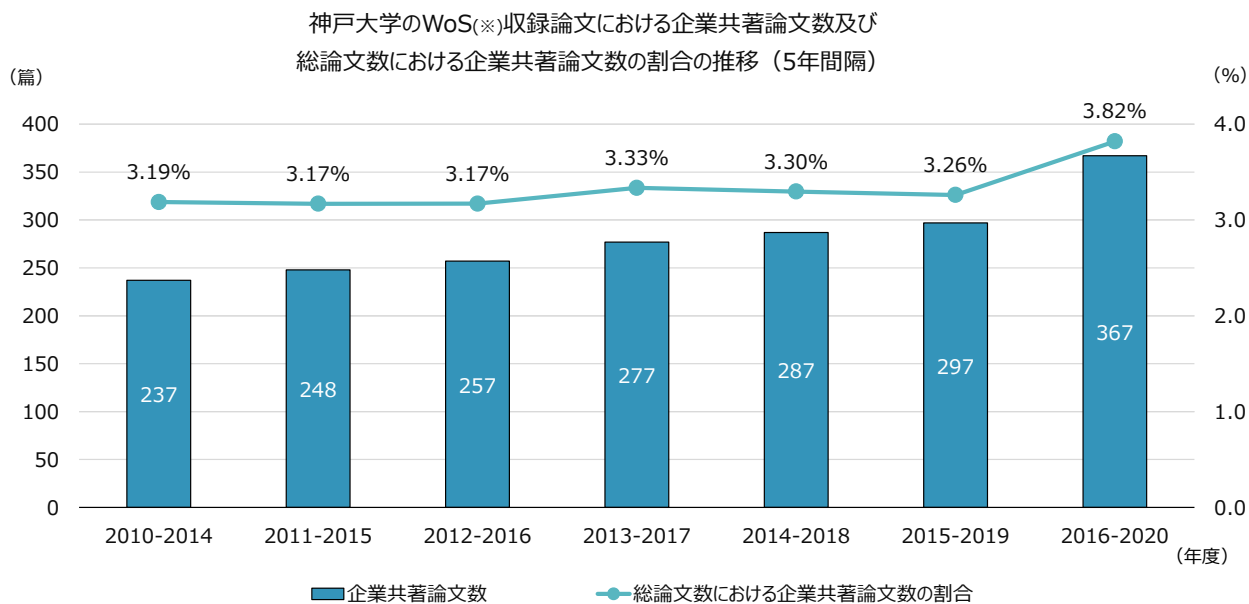


- 2019年度は件数、受入金額共に減少したが、2020年度は再び増加している。



15-2 企業共著論文数の推移

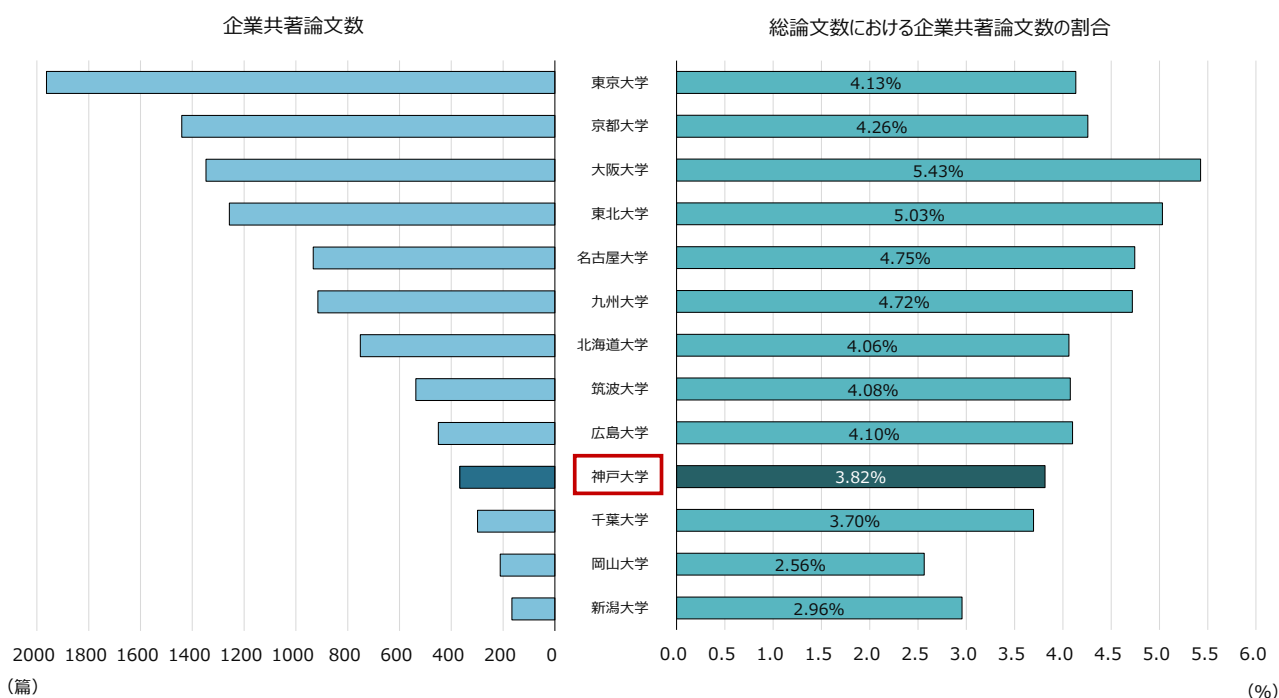
- 企業共著論文数は緩やかな増加傾向にある。



出典：「InCites™」によりWoS(※)収録論文の2つのドキュメントタイプ（Article, Review）のデータについて、5年間の累計値を分析した。
なお、データは2021年8月25日現在の数値である。
※「WoS」＝「Web of Science™」（クラリベイト・アナリティクス社が提供する学術文献データベース）の略。

15-3 企業共著論文の状況 – 大規模13大学間の比較 –

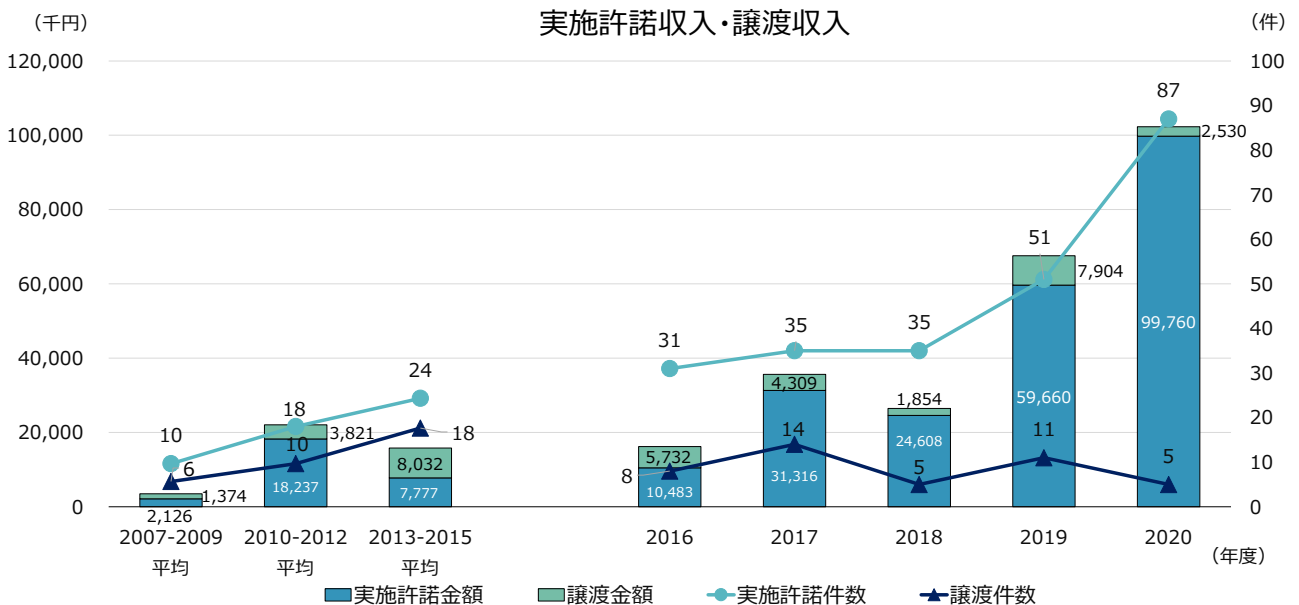
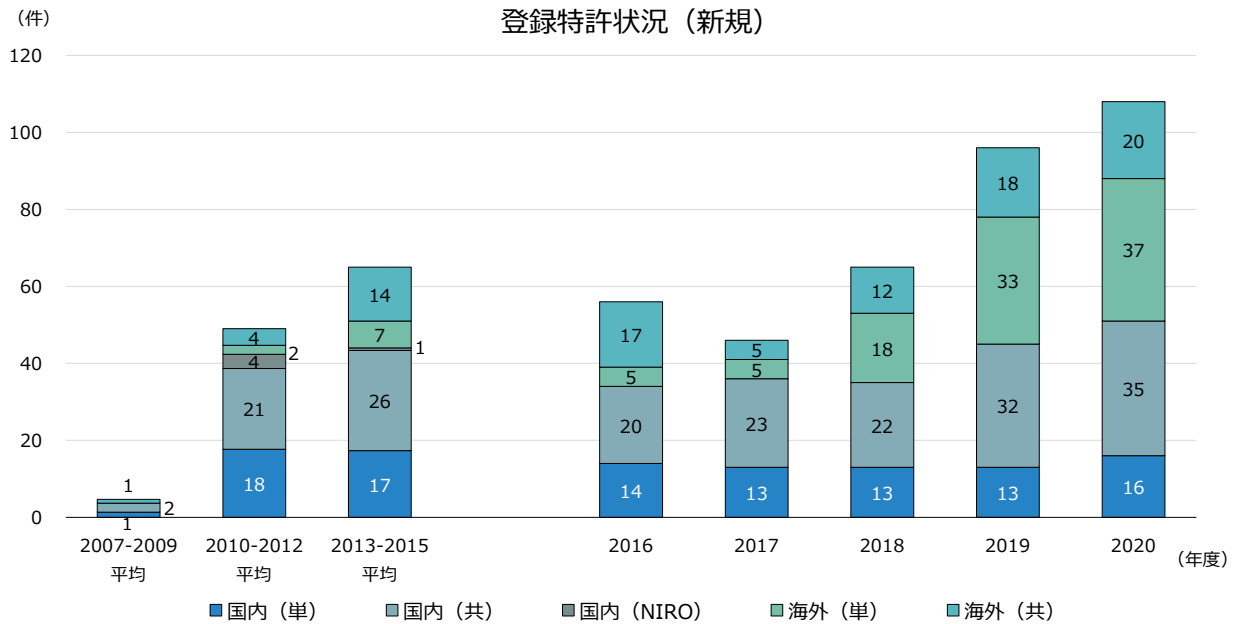
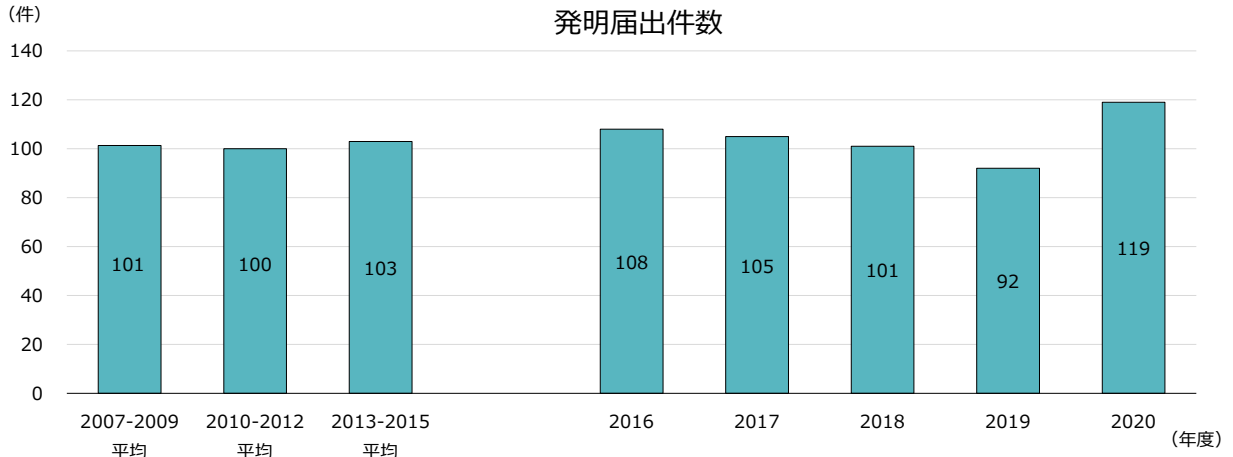
- 国立大学で学部入学定員の上位13大学のうち、神戸大学の企業共著論文数は10位であった。また、総論文数における企業共著論文数の割合も10位であった。



出典：引用文献に基づく研究評価ツール「InCites™」によりWoS収録論文の2つのドキュメントタイプ（Article, Review）のデータについて、各大学における2016-2020の5年間の累計値及び割合を分析した。なお、データは2021年8月25日現在の数値である。

15-4 神戸大学の知的財産の状況

- 発明届出件数は、100件前後で推移していたが、2020年度は大幅に増加した。
- 登録特許は、法人化以降、2011年度まで海外の登録を中心に急増し、その後は安定的に推移していたが、2019年度に続き2020年度も増加した。
- 2020年度は、実施許諾件数及び実施許諾金額が大幅に増加した。



15-5 主な大学発ベンチャー企業

- 本学では累計41社のベンチャー企業を設立している。
- 2016年に設立した「株式会社科学技術アントレプレナーシップ」は、大学発ベンチャー企業の立ち上げのための出資や創業期における支援を行っており、本学における研究成果の事業化及びベンチャー企業の設立は加速している。

(2021年5月1日現在)

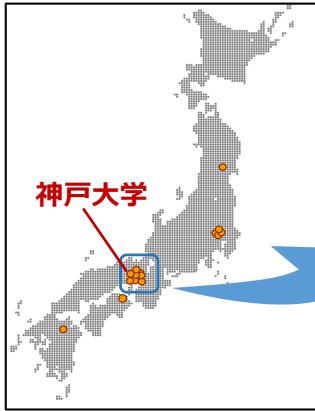
形態	企業名	設立年月	事業の概要
株式会社	エイアールテック	2001年4月	集積回路の設計、開発・販売業務 および設計者育成
株式会社	Bio-energy	2001年8月	バイオ燃料生産、アーミング菌体の開発など
有限会社	行動医科学研究所 (現：株式会社 行医研)	2002年1月	健康食品素材の研究開発、健康食品の開発
株式会社	ピークル	2002年8月	抗癌剤、遺伝子治療薬、バイオナノ粒子を用いる細胞の開発など
株式会社	環境管理会計研究所	2003年4月	マテリアルフローコスト会計の導入支援
株式会社	膠原病研究所	2003年6月	自己免疫疾患の治療薬開発、関節リウマチなど膠原病の治療薬の開発
株式会社	リタニアルバイオサイエンス	2004年3月	免疫賦活剤LBSカルチャー原末の研究開発、製造販売
有限会社	ジーン・アンド・ジーンテクノロジー (現：株式会社 GGT)	2004年5月	石油系炭化水素を生産する微細藻類の研究開発
株式会社	マスターオブサイエンス	2006年7月	安全性の高い医薬品の開発
株式会社	E S 研	2009年3月	省エネルギー技術コンサルティング業
株式会社	センサーズ・アンド・ワークス	2011年4月	焦電型赤外線センシング技術の開発販売
株式会社	Integral Geometry Science	2012年4月	計測機器、信号・画像処理ソフトウェアの専門事業
株式会社	mplusplus	2013年8月	LED電飾を使ったウェアラブル機器を主とした企画開発、コンサルティング
株式会社	科学技術アントレプレナーシップ	2016年1月	ベンチャー起業コンサルタント、M & Aに関するアドバイザーなど
株式会社	ドリームファスター	2016年3月	医療機器分野の新商品開発、商品の企画、制作、販売
株式会社	シンプロジェン	2017年2月	長鎖DNA合成技術による「正確で長い」DNAを活用した事業
株式会社	バイオバレット	2017年2月	切らないゲノム編集技術を活用した事業開発
株式会社	ViSpot	2017年9月	ウイルス安全性評価試験（ウイルススクリーン試験）受託
株式会社	イノベーション・アクセラ	2018年2月	アントレプレナーシップ教育事業、会員のネットワーキング事業とメンターの育成、シード・アクセラレーション事業
株式会社	BESTOW S	2018年8月	機械加工用アプリケーションソフトウェアの開発、販売および保守・点検など
株式会社	アルジー・ネクサス	2019年1月	微細藻類関連バイオベンチャー
株式会社	シンアート	2019年3月	合成生物及び合成化学の融合技術に係る研究及び開発
株式会社	リチエルカセキュリティ	2019年12月	サイバーセキュリティの脆弱性に関する検査技術の研究及び開発、サイバー攻撃を模した検証用コードの代行開発によるインシデントレスポンスの支援、コンサルティング、トレーニングの提供
株式会社	バックス・バイオイノベーション	2020年3月	バイオテクノロジー及びその関連技術を移転・活用して、微生物等による有用物質生産に関する受託サービスや、自社製品開発等を行う統合型バイオファウンドリー企業
株式会社	レラテック	2020年11月	風力発電のための風況調査コンサルティングサービス
株式会社	日本消費者深層心理研究センター	2021年3月	消費者の深層心理を解明することによる新しいマーケティング戦略の提案
株式会社	イムノロック	2021年4月	創業ベンチャー

※HP等で内容を確認できる主な企業等を掲載。

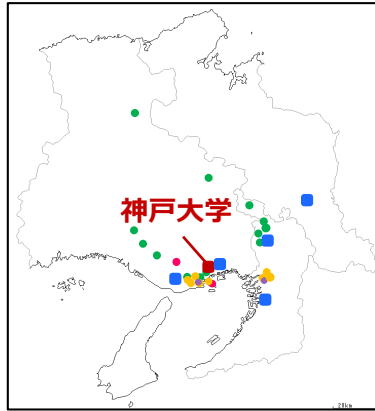
16. 国内の大学等との連携協定

○ 本学は、国内の数多くの機関や企業と連携協定を結び、研究・教育・医療の各分野において、充実した社会発展への寄与に取り組んでいる。

◆ 大学間連携協定等締結状況 (2021.5.1現在)



◆ 近畿地方の大学間連携協定等締結先 (2021.5.1現在)



- = 大学 (本部所在地)
- = 自治体等 (庁舎等所在地)
- = 民間企業 (本社所在地)
- = 国立研究開発法人等 (所在地)
- = 官公庁 (庁舎)

※このページにて記されている連携協定は全学的に締結した「大学間連携協定等」であり、部局において締結された連携協定については記載していない。

○近畿地方の連携先との大学間連携協定等

区分	協定名称	締結日
大	国立大学法人神戸大学と学校法人神戸薬科大学との連携に関する協定	2007年7月17日
	国立大学法人神戸大学と国立大学法人京都大学との計算科学分野における連携協力に関する協定	2010年4月1日
	京都大学、大阪大学及び神戸大学における相互の協力に関する協定	2013年12月21日
	国立大学法人神戸大学と公立大学法人兵庫県立大学との連携に関する協定	2018年1月23日
自	国立大学法人神戸大学と神戸市灘区との連携協力に関する協定	2004年12月2日
	国立大学法人神戸大学と小野市との連携協力に関する協定	2005年1月26日
	国立大学法人神戸大学と兵庫県朝来郡生野町 (現・朝来市) との連携協力に関する協定	2005年3月23日
	国立大学法人神戸大学と加西市との連携協力に関する協定	2009年5月19日
	国立大学法人神戸大学と兵庫県との連携に関する協定	2010年8月2日
	国立大学法人神戸大学と篠山市 (現・丹波篠山市) との連携協力に関する協定	2010年8月30日
	教員養成のための連携協力に関する協定 (大阪府豊能地区 (豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町) 教育委員会)	2012年12月18日
	国立大学法人神戸大学と神戸市との連携に関する協定	2013年5月24日
	三木市と国立大学法人神戸大学との連携に関する協定	2013年6月27日
	神戸大学と兵庫県教育委員会との連携に関する協定	2014年1月30日
	国立大学法人神戸大学と神戸市教育委員会との連携に関する協定	2015年11月6日
民	国立大学法人神戸大学と川崎重工業株式会社との産学連携の推進に関する協定	2006年10月23日
	連携協力協定 (本州四国連絡高速道路株式会社)	2009年7月1日
	神戸大学と池田銀行 (現・池田泉州銀行) の連携協力に関する協定	2009年8月6日
	国立大学法人神戸大学と株式会社カネカとの包括的な産学連携推進に関する協定	2010年12月14日
	国立大学法人神戸大学と株式会社神戸新聞社との連携に関する協定	2014年7月7日
	国立大学法人神戸大学とバンドー化学株式会社との包括的な産学連携推進に関する協定	2014年9月24日
	国立大学法人神戸大学と阪神高速道路株式会社との連携に関する協定	2015年12月15日
国立大学法人神戸大学と小野薬品工業株式会社との包括的な産学連携推進に関する協定	2018年3月30日	
研	国立大学法人神戸大学と独立行政法人理化学研究所 ^(※) 計算科学研究機構との計算科学、計算機科学及びこれらに関連する分野における連携・協力に関する協定	2012年5月15日
	独立行政法人防災科学技術研究所 ^(※) 兵庫耐震工学研究センターと国立大学法人神戸大学との連携に関する協定	2014年9月29日
官	国立大学法人神戸大学と国土交通省近畿地方整備局との連携・協力に関する協定	2015年7月8日
	サイバー空間の脅威に対処するための連携及び協力に関する協定 (兵庫県警察本部、兵庫県立大学)	2016年2月19日

○近畿地方以外の連携先との大学間連携協定

区分	協定名称	締結日
大	国立大学法人神戸大学と国立大学法人東北大学との災害科学分野における連携協力に関する協定	2011年10月23日
	一橋大学、神戸大学及び大阪市立大学における教育交流に関する協定	2010年2月1日
	国立大学法人神戸大学と国立大学法人徳島大学との連携に関する協定	2018年1月23日
大・研	国立大学法人神戸大学、国立大学法人東北大学及び大学共同利用機関法人人間文化研究機構との歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業における連携・協力に関する基本協定書	2018年1月26日
自	国立大学法人神戸大学と中津市との連携に関する協定	2016年4月22日
民	国立大学法人神戸大学と一般社団法人日本プロジェクト産業協議会との連携協力に関する協定	2014年4月1日
	国立大学法人神戸大学と一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会との連携協力に関する協定	2014年6月23日
	国立大学法人神戸大学とアステラス製薬株式会社との包括的な産学連携推進に関する協定	2018年3月30日
	株式会社クレディセゾンと国立大学法人神戸大学による連携協定	2018年11月26日
独	国立大学法人神戸大学と独立行政法人国際協力機構との連携協定	2016年3月1日
	独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構と国立大学法人神戸大学との間における包括的連携・協力関係の推進に関する協力協定	2017年6月7日
研	国立大学法人神戸大学と独立行政法人海洋研究開発機構 ^(※) との包括連携協定	2012年12月20日

[区分]大…大学、自…自治体等、民…民間企業等、独…独立行政法人、研…国立研究開発法人等、官…官公庁等
 (※)…2018年4月1日、国立研究開発法人となった。

17. 連携大学院等実施状況

- 本学では、ほとんどの研究科において、多様な分野で官・民・病等の組織と連携講座を設けており、2021年度は39講座となっている。
- 寄附講座、共同研究講座等も増加しており、15講座・研究部門となっている。

◎連携講座一覧(2021年5月1日現在)

研究科名	専攻名	講座名	連携先	開始年度
人文学研究科	社会動態専攻	文化資源論	(財)大和文華館 (独)国立文化財機構 奈良国立博物館	2007年度
国際化学研究科	グローバル文化専攻	先端コミュニケーション論	(株)国際電気通信基礎技術研究所	2007年度
人間発達環境学研究科	人間環境学専攻	環境先端科学	(国研)国立環境研究所 (国研)産業技術総合研究所	2007年度
経営学研究科	経営学専攻・現代経営学専攻	マネジメント・システム設計	(株)野村総合研究所	1998年度
		経営戦略システム設計	アクセンチュア(株)	1999年度
理学研究科	化学専攻	構造解析化学	(公財)高輝度光科学研究センター	2007年度
		理論生物化学	(国研)理化学研究所 計算科学研究センター	2011年度
	生物学専攻	発生生物学	(国研)理化学研究所 生命機能科学研究センター	2007年度
		生物制御科学	住友化学(株) 健康・農業関連事業研究所	2015年度
	惑星学専攻	惑星地球変動史	(国研)海洋研究開発機構 大学共同利用機関法人自然科学研究機構 国立天文台 先端技術センター	2013年度
		応用惑星学	気象庁気象研究所	2016年度
医学研究科	医科学専攻	生理学・細胞生物学	(国研)理化学研究所 生命機能科学研究センター	2002年度
		生化学・分子生物学	(財)高輝度光科学研究センター	2000年度
		微生物感染症学	(国研)医薬基盤・健康・栄養研究所	2007年度
			兵庫県立健康生活科学研究所	2008年度
		地域社会医学・健康科学	(独)医薬品医療機器総合機構	2011年度
		内科学	(株)カン研究所	2010年度
			兵庫県立姫路循環器病センター	2015年度
		内科系	兵庫県立粒子線医療センター	2001年度
			(公財)神戸医療産業都市推進機構 先端医療センター	2008年度
			兵庫県立こども病院	2013年度
			兵庫県立ひょうごこころの医療センター	2020年度
		外科学	兵庫県立姫路循環器病センター	2015年度
		外科系	兵庫県立総合リハビリテーションセンター 兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンター	2007年度
			兵庫県立こども病院	2013年度
保健学研究科	保健学専攻	リハビリテーション科学	(国研)情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター	2013年度
工学研究科	建築学専攻	地域減災計画	総務省消防庁消防大学校消防研究センター	2007年度
		電気電子工学専攻	機能性薄膜学	パナソニック(株) 先端技術研究所
	機械工学専攻	知的製造システム	(株)神戸製鋼所技術開発本部 神戸総合技術研究所	2007年度
		機能適応モデル	(国研)情報通信研究機構	2007年度
		開智型ものづくり	川崎重工業(株) 技術開発本部	2009年度
	応用化学専攻	局所場反応・物性解析学	(国研)産業技術総合研究所 関西センター	2007年度
		化学エネルギー変換プロセス学	(国研)産業技術総合研究所 関西センター	2007年度
		生物機能工学	(財)サントリー-生物有機化学研究所	2009年度
		製剤設計生産工学	アステラス製薬(株)	2010年度
		ケミカル・バイオセンシング	(国研)産業技術総合研究所	2011年度
環境エネルギー材料学	(国研)日本原子力研究開発機構	2018年度		
システム情報学研究科	システム科学専攻	応用システム	三菱電機(株)	2007年度
		情報科学専攻	感性アートメディア	(株)国際電気通信基礎技術研究所
	知能統合		(国研)理化学研究所 革新知能統合研究センター	2018年度
	計算科学専攻	応用計算科学	(国研)海洋研究開発機構	2010年度
		大規模計算科学	(国研)理化学研究所 計算科学研究センター	2013年度
農学研究科	資源生命科学専攻	食料生産フィールド科学	兵庫県立農林水産技術総合センター	2007年度
海事科学研究科	海事科学専攻	海洋環境計測科学	(国研)海洋研究開発機構	2007年度
		地域環境科学	(財)ひょうご環境創造協会 兵庫県環境研究センター	2009年度

◎寄附講座(2021年5月1日現在)

研究科名	専攻名	講座名	寄附者	講座期間
医学研究科	医科学専攻	生理学・細胞生物学講座	MSD(株) ノボルディスクファーマ(株) 興和(株) 大正製薬(株)	2018年10月1日 ~ 2023年3月31日
		病理学講座	北播磨総合医療センター	2020年4月1日 ~ 2023年3月31日
		地域社会医学・健康科学講座	兵庫県	2020年4月1日 ~ 2025年3月31日
			兵庫県病院事業管理者	2019年4月1日 ~ 2022年3月31日
			シミックホールディングス(株) 日本ユニシス(株)	2019年8月1日 ~ 2022年7月31日
			神戸市	2021年4月1日 ~ 2024年3月31日
		内科学講座	日本メドトロニック(株) アボットメディカルジャパン(株)	2019年4月1日 ~ 2022年3月31日
		内科系講座	神戸市	2019年4月1日 ~ 2024年3月31日
			神戸市	2020年4月1日 ~ 2024年3月31日
			シスメックス(株)	2018年10月1日 ~ 2021年9月30日
		外科学講座	シスメックス(株)	2020年4月1日 ~ 2023年3月31日
		外科系講座	(株)メディカロイド	2021年4月1日 ~ 2022年3月31日
			神戸町	2017年4月1日 ~ 2022年3月31日
			(株)サージカル・スパイン	2018年4月1日 ~ 2024年3月31日
兵庫県病院事業管理者	2018年4月1日 ~ 2023年3月31日			
ジンマー・バイオメット(同) スミス・アンド・ネフュー(株)	2021年4月1日 ~ 2024年3月31日			
セル エクソソーム セラピューティクス(株)	2021年4月1日 ~ 2025年3月31日			
農学研究科	-	アクアフォトミクス研究分野	ドクターレセラ(株)	2021年4月1日 ~ 2024年3月31日

◎寄附研究部門(2021年5月1日現在)

センター名	部門名	寄附者	講座期間
バイオシグナル総合研究センター	シグナル分子応答研究部門	(公財)住友電工グループ 社会貢献基金	2018年4月1日 ~ 2023年3月31日

◎共同研究講座(2021年5月1日現在)

研究科名	専攻名	講座名	共同研究者	講座期間
医学研究科	医科学専攻	生化学・分子生物学講座	イーザイ(株)	2018年4月1日 ~ 2023年3月31日
		地域社会医学・健康科学講座	シスメックス(株)	2020年4月1日 ~ 2023年3月31日
		内科学講座	日本ベーリンガーインゲルハイム(株)	2019年7月1日 ~ 2022年6月30日
		内科系講座	GEヘルスケアジャパン(株)	2019年4月1日 ~ 2024年3月31日
			キヤノンメディカルシステムズ(株)	2020年1月1日 ~ 2022年12月31日
科学技術イノベーション研究科	科学技術イノベーション専攻	バイオ・環境講座	(株)ダイアナ アドファーマ(株) (株)グイートーブ摩耶	2021年4月1日 ~ 2025年3月31日

◎共同研究部門(2021年5月1日現在)

研究科名	専攻名	部門名	共同研究者	講座期間
理学研究科	感星学専攻	高性能プロセスコデザイン部門	(株)テラピクセル・テクノロジーズ	2019年8月1日 ~ 2022年3月31日

18. 教育関係共同利用拠点

- 2014年度に教育関係共同利用拠点※への認定申請を行い、以下の3施設について認定された。なお、2018年度に新たな拠点名で再度認定申請を行い、2024年3月31日まで認定されている。

※複数大学が連携して実施することが効果的・効率的な教育上の取組や学生支援に関し、複数大学が共同で利用するための施設。当該施設が、大学教育の充実に特に資するときは、教育関係共同利用拠点として、文部科学大臣の認定を受けることができる。

内海域環境教育研究センター マリンサイト ※2016年度に自然科学系先端融合研究環より移行 【 拠点名 内海域の海洋生物・生態系と環境管理を学ぶ教育共同利用拠点 】

2020年度共同利用状況（学内を除く）

区分	所属機関数	利用人数	延べ人数
国立大学	1	17	17
公立大学	0	0	0
私立大学	0	0	0
民間・独立行政法人等	17	63	189
外国の研究機関	0	0	0
計	18	80	206



2020年度実施プログラム（抜粋）

課題	概要
奈良女子大学 臨海実習	センターのスタッフ2名が海藻サンプルを採集の上、奈良女子大キャンパスまで出張し、藻類の多様性と進化・沿岸環境との関わりについての講義、および海藻類の同定、組織観察の実習を行った。

大学院農学研究科附属 食資源教育研究センター 【 拠点名 農場と食卓をつなぐ先端農業フィールド教育拠点 】

2020年度共同利用状況（学内を除く）

区分	所属機関数	利用人数	延べ人数
国立大学	0	0	0
公立大学	3	88	166
私立大学	2	19	38
民間・独立行政法人等	7	115	140
外国の研究機関	0	0	0
計	12	222	344



2020年度実施プログラム（抜粋）

課題	概要
大阪府立大学 食料生産実習	利用大学開講科目「食料生産実習」を本学で実施。8/31と9/2の日帰りで、ウシの取り扱い・妊娠鑑定・鼻紋採取・体重測定、センター散策などを実習した。
岡山理科大学 農場から食卓まで	利用大学開講科目「植物園芸実習」を本学で実施。9/2と9/3の日帰りで、イネの収穫、ブドウ果実の観察と収穫・調製、センター散策、ウシの取り扱いなどを実習した。
兵庫県立大学 農場から食卓まで	利用大学開講科目「特別フィールドワーク」の一環として実施。10/25の日帰りで、ウシの給餌・鼻紋採取、サツマイモの収穫・調製などを実習した。
大阪府立大学 大動物診療実習	利用大学開講科目「大動物診療実習」を本学で実施。10/26～10/28および11/10・11の日帰りで、雌ウシの繁殖検診、子ウシの去勢・診察、雌牛の診察と代謝プロファイルテストなどを実習した。
京都産業大学 農場から食卓まで	利用大学開講科目「基礎特別研究」の一環として実施。11/2と11/3の日帰りで、ウシの扱い・体重測定、果樹剪定、ナシの収穫、サツマイモ・ダイズの実習などを実習した。
大阪市立大学 農場から食卓まで	利用大学開講科目「QOLプロモーション演習Ⅰ・Ⅱ」の一環として実施。11/22と12/12に日帰りで、ダイズの調製、ウシの扱い、野生梨ジャムづくりなどを実習した。

大学院海事科学研究科附属 練習船深江丸

【 拠点名 海洋分野に関わる海事技術・海洋環境・ヒューマンファクタを学ぶ海上アクティブラーニング教育環境の共同利用拠点 】

2020年度共同利用状況（学内を除く）

区分	所属機関数	利用人数	延べ人数
国立大学	1	16	16
公立大学	1	43	43
私立大学	0	0	0
民間・独立行政法人等	1	17	17
外国の研究機関	0	0	0
計	3	76	76



2020年度実施プログラム（抜粋）

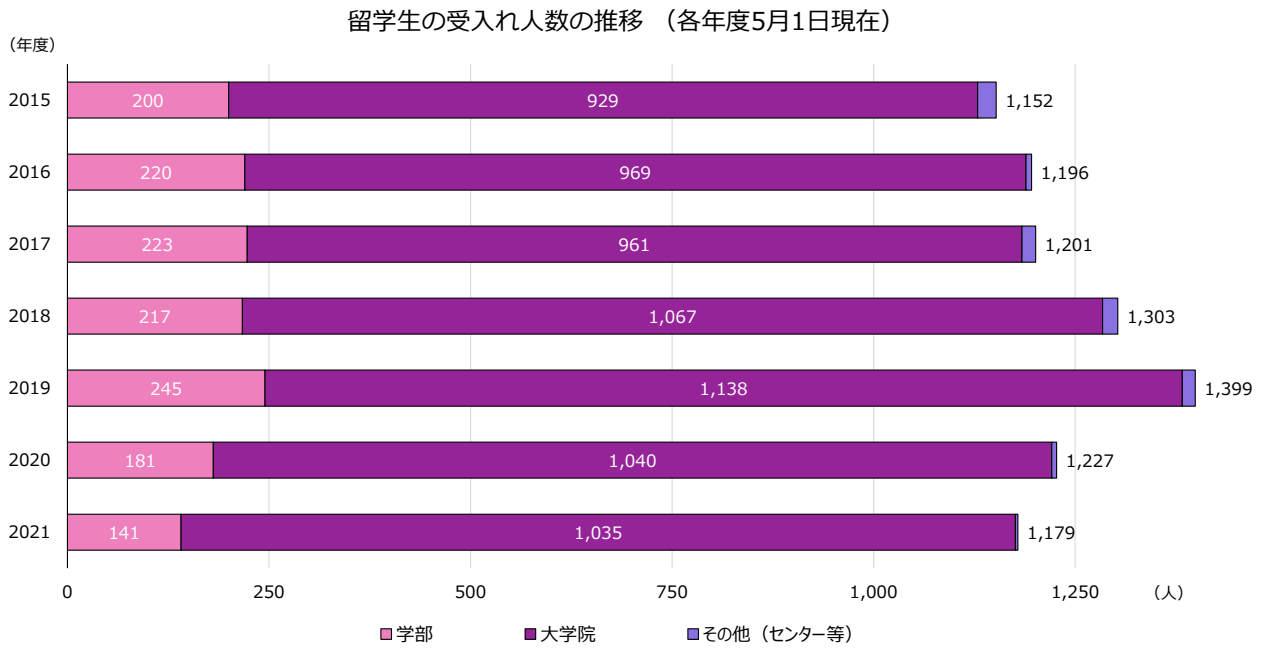
課題	概要
大阪大学 工学部 船舶設計製図	船舶の全体形状、居住施設、船倉、設備等を示した見取り図である船体一般配置図の船舶設計における重要性と、各種船舶の一般配置図の概要を学び、課題船舶の一般配置図を製図するため、神戸大学大学院海事科学研究科附属練習船「深江丸」に乗船し、船内の調査を行った。
大阪府立大学 工学域 船舶工学特殊講義	船舶工学の中でも特に他の講義では深く取り扱うことの少ない船用機関、及び船用機関と船舶推進装置の関係などに関して基礎から概説・詳述した。また、神戸大学大学院海事科学研究科附属練習船「深江丸」による演習航海を通して、船舶の運航に関する理解を深めた。
大阪大学 全学共通教育機構 船の技術史	人類の歴史と同程度に長い歴史を持つ船舶の発展の歴史を、その技術面を中心に学んだ。特に、船の技術革新が地球上の個別の文明間の交流を可能とし、そのことが新たな技術のニーズとなっていくというスパイラルが数千年繰り返されたことを振り返った。そして、現在あかかも完成されたかにも見える船舶の技術、そしてそれに支えられた国際貿易が今後さらに変わっていく方向性について共に考えた。このことは、国際貿易の不可欠な時代のなかで、99%の物資を海上輸送によっているわが国が今後いかに生き残っていくかを考えることに通じる。神戸大学大学院海事科学研究科附属練習船「深江丸」に乗船し、実際の海上での船舶運用を学び、船の技術史の仕上げとした。
明石工業高等専門学校 建築・都市システム工学専攻 機械・電子システム工学専攻 専攻科特別講義	専攻科特別講義は、技術者としてのバックグラウンドを広げるためには、専門分野だけに止まらず専門分野外についても積極的に学び、種々の開発や研究のプロセスを学ぶことにより、技術分野を超えて普遍的な考え方と柔軟な開発対応力を養成する科目である。本講義のまとめとして、神戸大学海事科学部の練習船「深江丸」に乗船し船内演習を通して、造船・航海・通信・港湾・都市計画等、幅広い最新の科学技術について学んだ。

19. 留学

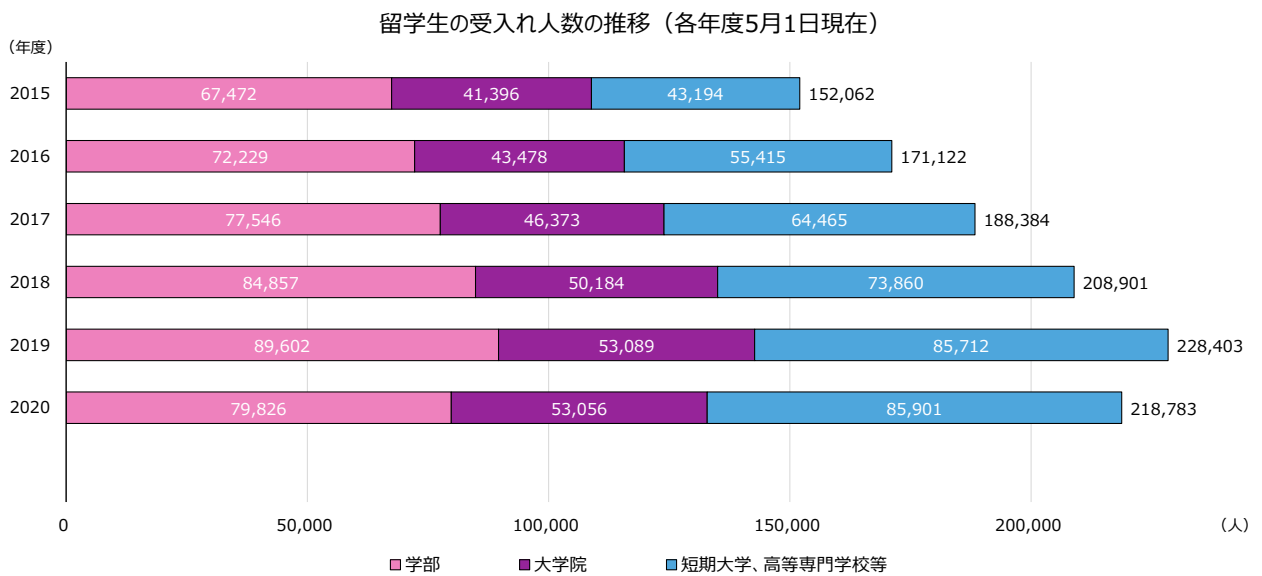
○ 留学生の受入れについて、2019年度（5月1日時点）は前年度の1,303名を上回り、過去最多となる1,399名を受け入れたが、2020年度及び2021年度は新型コロナウイルス感染症蔓延により大幅に減少した。

19-1 外国人留学生受入れ状況 — 在籍段階別 —

◆神戸大学◆



◆全国◆

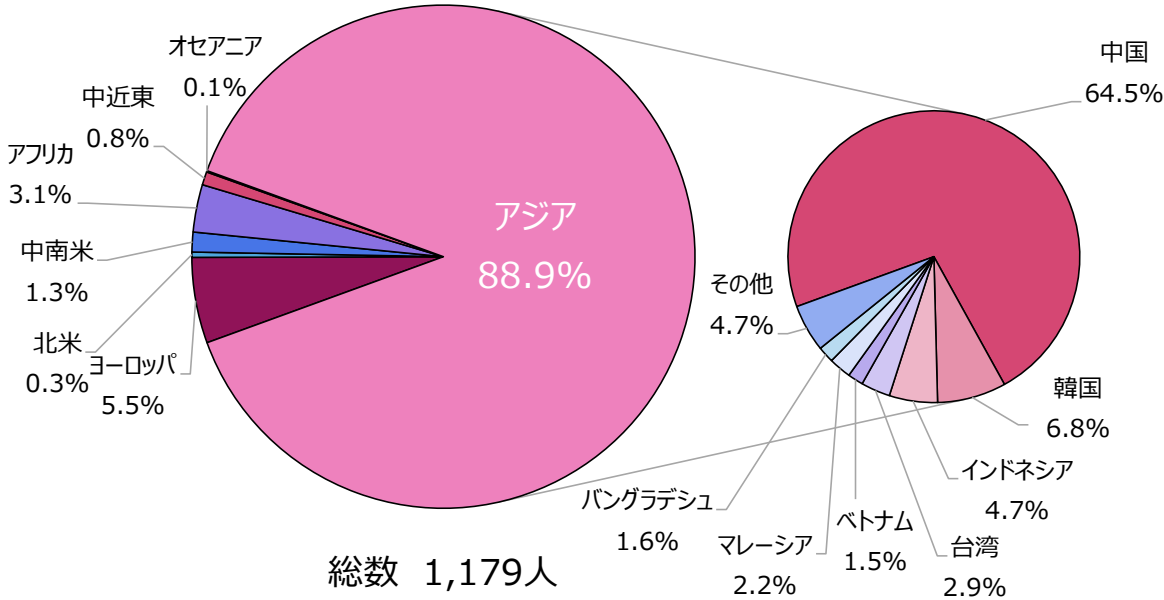


出典（全国）：JASSO「外国人留学生在籍状況調査」

19-2 外国人留学生受入れ状況 — 地域別 —

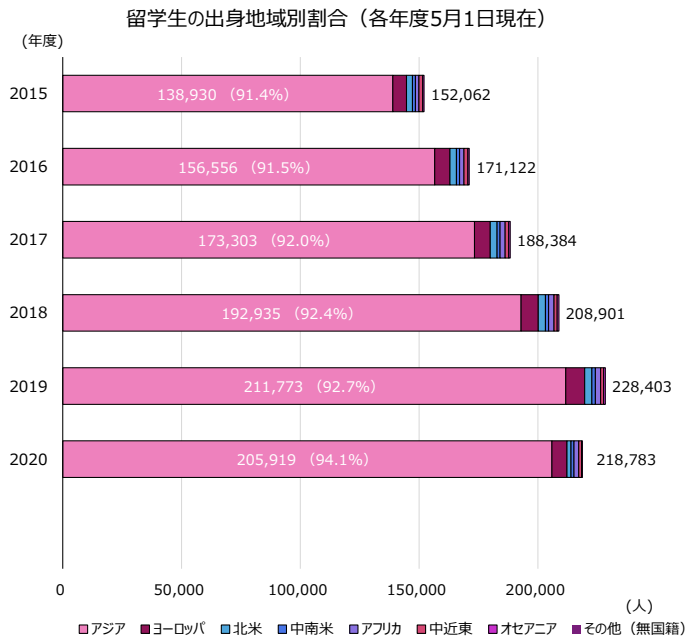
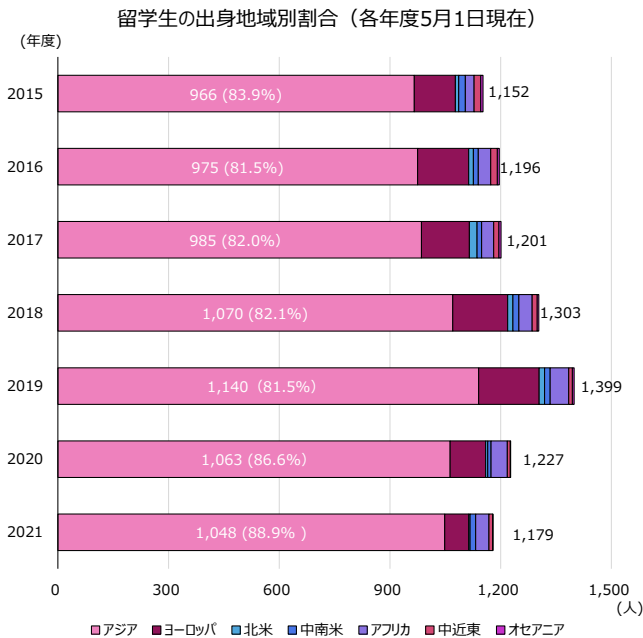
◆神戸大学◆

受入れ留学生数の地域別割合（2021年5月1日現在）



◆神戸大学◆

◆全国◆



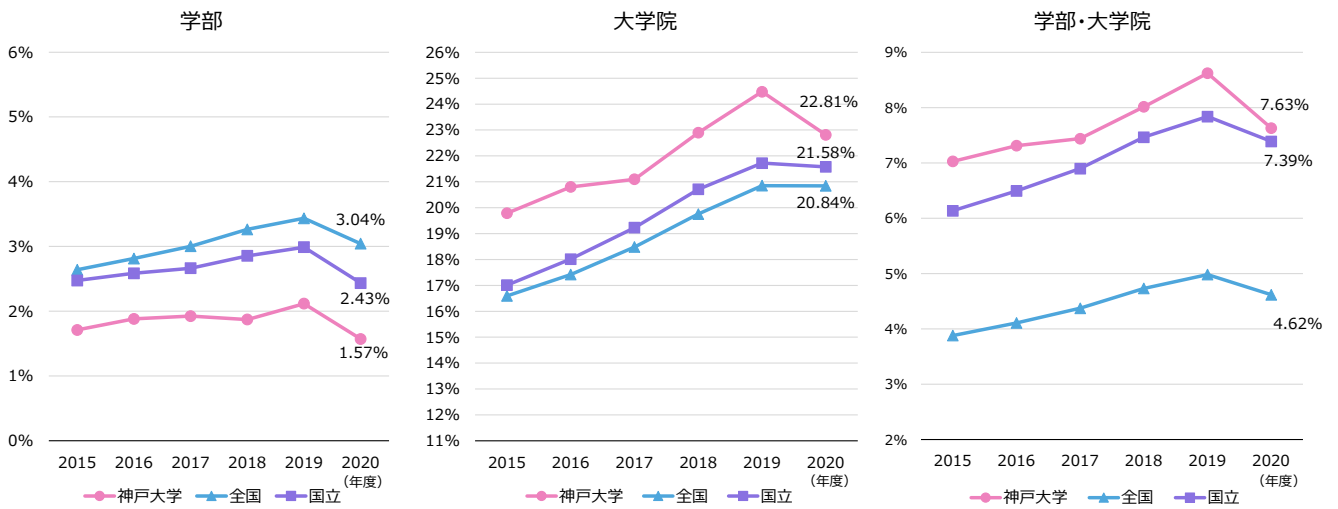
出典（全国）：JASSO「外国人留学生在籍状況調査」

※（ ）内は各年度における全体に対するアジア出身留学生の割合。

※ 全国の留学生には、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）、準備教育課程の留学生を含む。

※ 小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

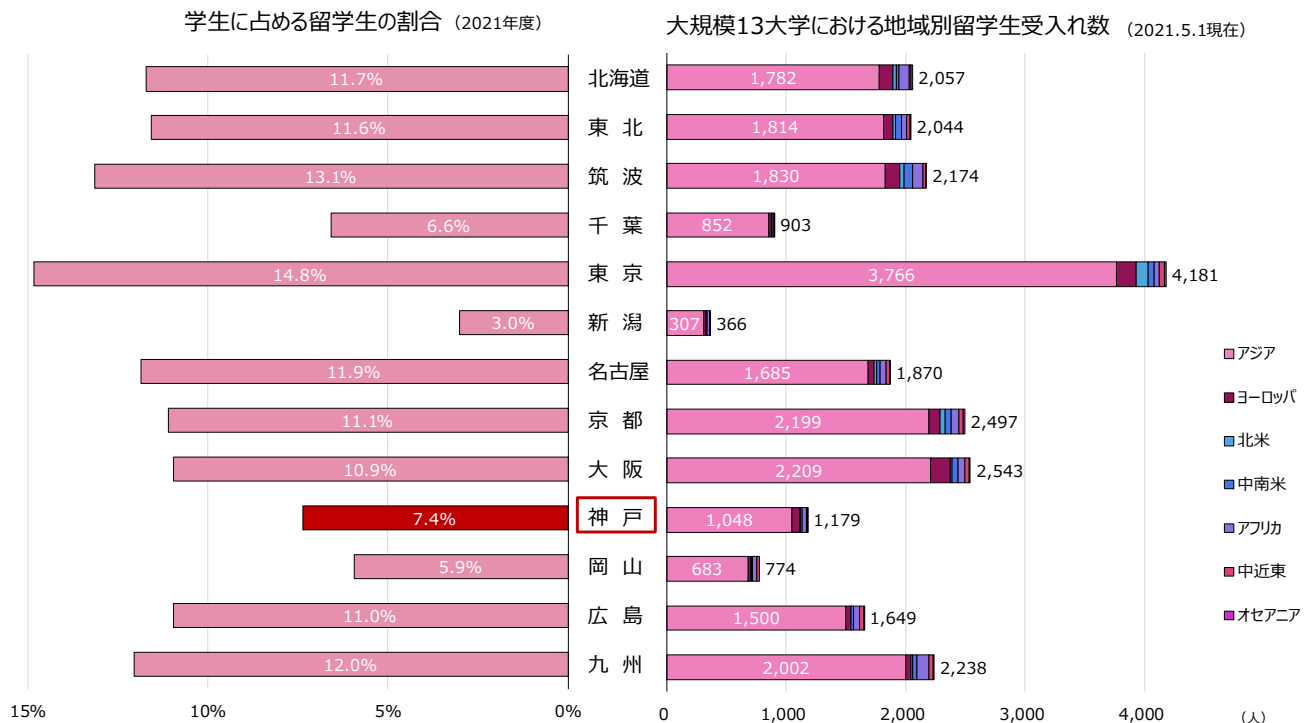
19-3 在籍学生に占める外国人留学生の比率



出典（全国・国立）：（留学生数）JASSO「外国人留学生在籍状況調査」、（学生数）文部科学省「学校基本調査」

※留学生比率（学部・大学院留学生比率）=（学部留学生数+大学院留学生数）÷（学部学生数+大学院学生数）×100

19-4 大規模13大学の外国人留学生受入れ状況



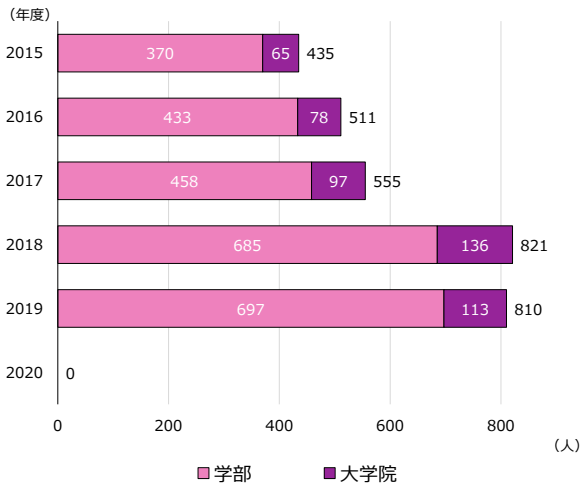
出典（学生数）：大学改革支援・学位授与機構 大学基本情報「(7-A) 学生数」※別科や専攻科を含む

出典（留学生数）：大学改革支援・学位授与機構 大学基本情報「(11) 国費留学生、私費留学生、留学生以外の外国人学生」※留学生以外の外国人学生は含まない
 ※留学生の割合 =（学部留学生数+大学院留学生数）÷（学部学生数+大学院学生数）×100

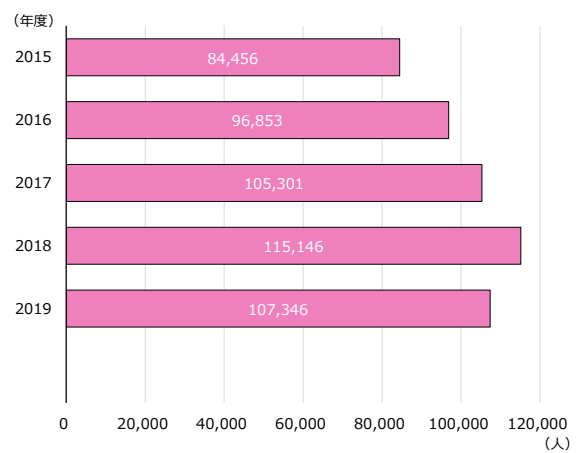
- 本学では学生の海外留学を支援するため、2018年度にグローバル教育管理システムを導入したことで派遣数が大幅に伸びたが、2020年度は新型コロナウイルス感染症蔓延により海外派遣が行われていない。
- 学生の海外派遣数について、その地域別割合を見ると、神戸大学は相対的にヨーロッパへの派遣比率が高い。EUの中心地であるブリュッセルにオフィスを構え、ヨーロッパ諸国との国際連携活動を展開している本学の特徴と言える。

19-5 学生の海外派遣状況 — 在籍段階別 —

◆神戸大学◆



◆全国◆



出典(全国) : JASSO「協定等に基づく日本人学生留学状況調査」

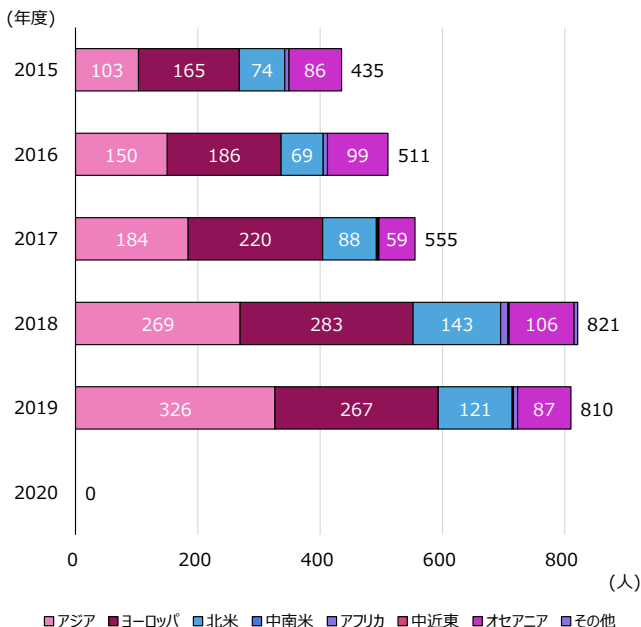
※各年度4月1日～3月31日に派遣した人数

※神戸大学(左) …単位授与を伴うプログラムに基づくもの。

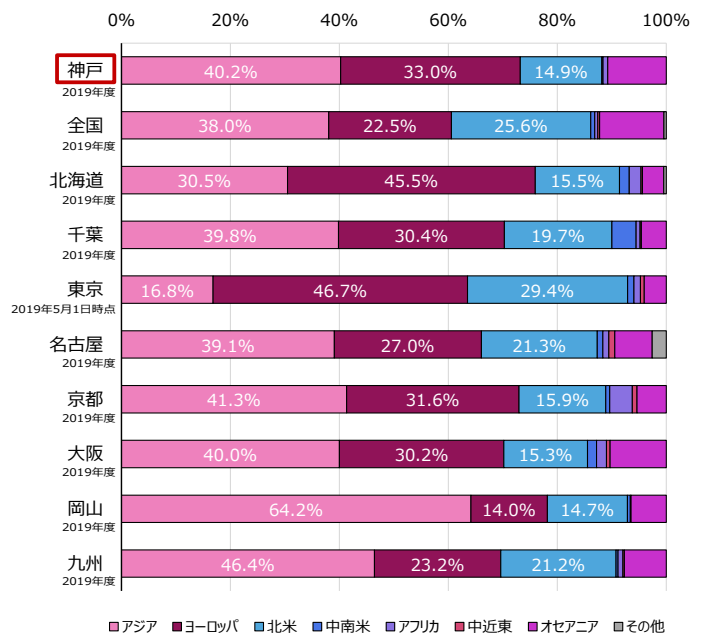
※全国(右) …協定等に基づく日本人留学状況及び協定等に基づかない日本人学生留学状況(在籍大学等把握分)の合計。

19-6 学生の海外派遣状況 — 地域別 —

◆神戸大学◆



◆各大学◆



出典(全国) : JASSO「協定等に基づく日本人学生留学状況調査」

※「協定等に基づく日本人学生派遣数」と参考として記載されている「協定等に基づかない日本人学生留学状況(在籍学校において把握している限り)」の合計。

出典(各大学) : 各大学のHP等

※各大学のグラフ内には、比較的割合の大きいアジア、ヨーロッパ、北米の割合のみ記載している。

※以下のとおり、大学によって定義が異なるので、単純比較はできない。

北海道大学…協定等に基づく学生の海外派遣者数及び協定等に基づかない学生の海外派遣者数の合計

千葉大学…学生交流協定校以外への派遣を含む

東京大学、大阪大学…定義の記載なし

名古屋大学…海外留学の種類・目的は交換留学、研究、語学研修、学位取得等

京都大学…外国へ渡航した学生数

神戸大学…単位授与を伴うプログラムに基づくもの

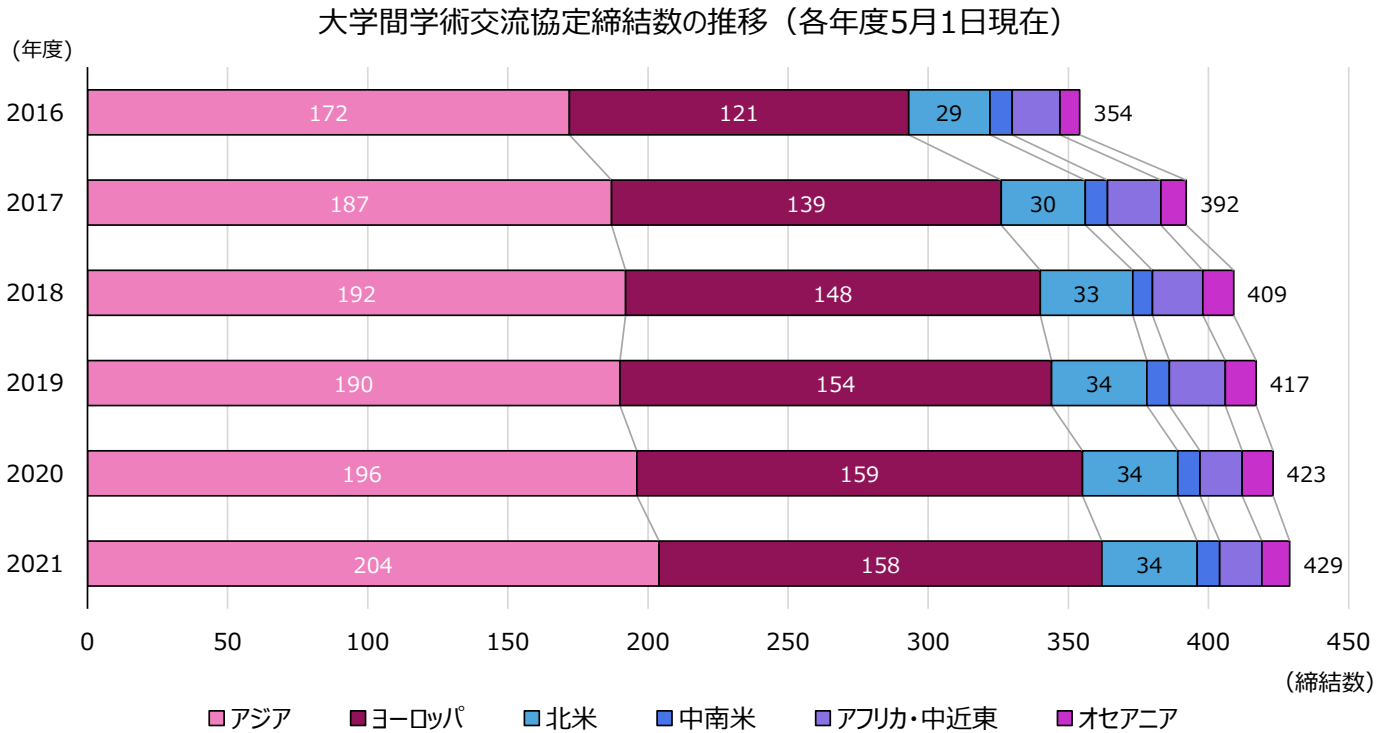
岡山大学…スーパーグローバル大学創成支援事業の実績値より

九州大学…過年度に留学を開始した者を含む

20. 海外大学との交流状況

20-1 外国の大学等との学術交流協定の締結状況

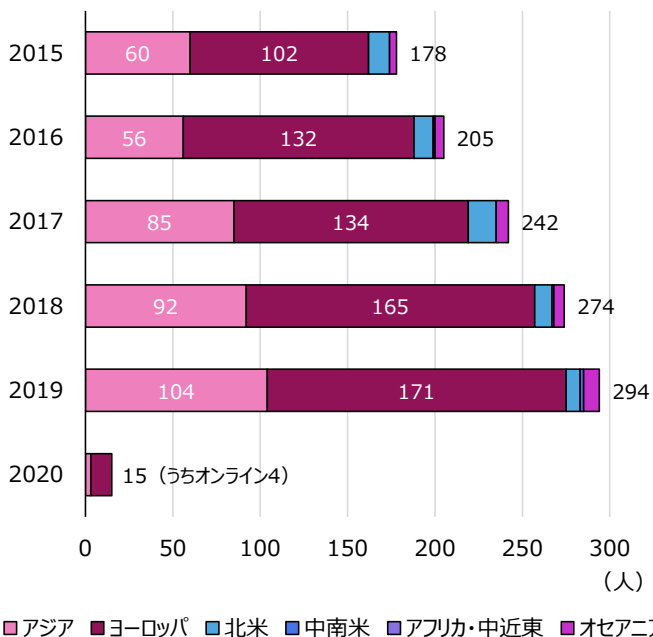
○ 大学間学術交流協定締結数は近年、アジア及びヨーロッパを中心に増加傾向にある。



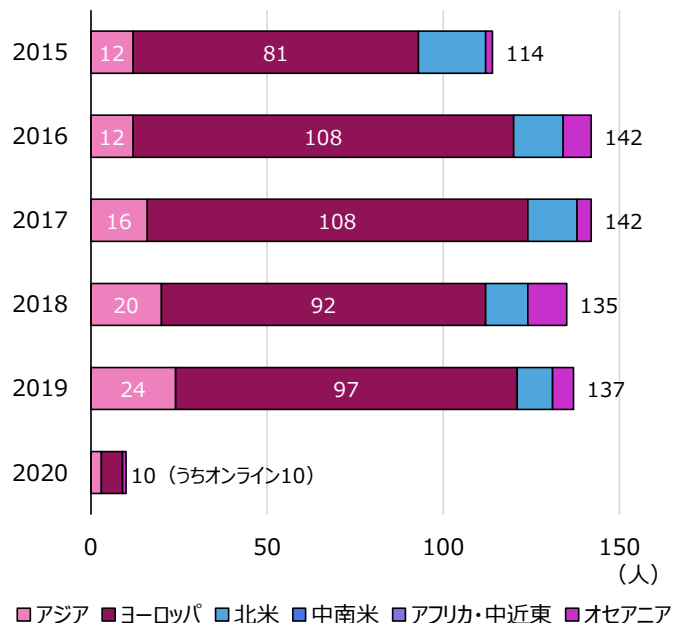
20-2 大学間学術交流協定に基づく留学生受入れ・学生派遣状況

○ 2019年度までは大学間学術交流協定数の伸びと同調して、留学生受入れ人数は増加していた。ヨーロッパの大学との交流が多くを占めていたが、2017年以降はアジアの大学からの留学生受入れの割合が増加していた。2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、受入れ・派遣ともに激減した。

留学生受入れ人数



学生派遣人数



20-3 ダブルディグリープログラムによる交流学生数

○神戸大学におけるダブルディグリープログラム設置状況

2021年3月31日現在

部局	課程	共同設置機関国	共同設置機関校	先方における関係部局	プログラム実施開始日	派遣						受入れ							
						2015	2016	2017	2018	2019	2020	2015	2016	2017	2018	2019	2020		
人文学研究科	修士	中国	北京外国語大学※1	北京日本学研究中心	2014/9/30	1	1	0	0	-	-	-	2	1	0	-	-		
国際文化学研究科	修士	ベルギー	ルーヴェン大学※1	人文学研究科	2012/3/28 2017/7/6 (更新)	2012年秋以降	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	2	
				MAES	2015/12/15	2017年	-	-	1	0	0	0	-	-	1	0	0	0	
				ナポレオン大学※1	2014/5/19 2020/7/1 (更新)	2015年春	0	0	1	0	0	0	2	2	1	2	2	0	
				パリ大学 (パリ・ディドロ大学) ※1	2015/10/23	2016年春	-	0	1	1	0	0	-	5	0	1	1	2	
ドイツ	ハンブルク大学※1	人文科学部アジア・アフリカ研究所	2015/10/23 2019/3/11更新	2019年10月	-	0	0	0	1	0	-	0	0	0	0	-			
法学研究科	修士	英国	エセクス大学	政治学部	2013/9/19	2014年秋以降	1	1	0	1	0	0	2	2	0	1	1	0	
				ヨーロッパ研究センター	2014/3/11 2018/7/19 (更新)	2014年秋以降	1	1	1	0	1	0	2	1	3	0	3	0	
				貿易大学※5	2016/7/13	2017年秋	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0	0	0	
経済学研究科	修士	ベルギー	ルーヴェン大学※1	ヨーロッパ研究センター・人文科学部・経済経営学部	2010/4/18 2013/5/8 (更新) 2014/3/12 (更新)	2012年春	1	0	0	1	0	0	1	2	0	1	0	0	
				北京外国語大学※2	北京日本学研究中心	2010/5/18	2011年春	-	-	-	-	-	-	5	1	2	3	5	5
				武漢大学※2	外国語文学部	2012/12/10	2013年秋	-	-	-	-	-	-	4	2	2	4	0	3
				貿易大学※5	—	2016/7/13	2017年秋	-	-	-	-	-	-	-	0	0	2	0	
	英国	エセクス大学※6	—	2018/3/23	未定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0		
	ベトナム	貿易大学※4	日本語学部	2015/2/24 2019/3/11更新	2016年春	-	-	-	-	-	-	-	3	3	1	1	2		
	学士	中国	武漢大学※4	外国語文学部	2015/3/16	2016年春	-	-	-	-	-	-	3	2	3	1	1		
ベルギー	ルーヴェン大学※4	人文学部	2015/6/8	2016年春	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0			
経営学研究科	博士	英国	シェフィールド大学	マネジメントスクール	2016/11/29	2017年9月	-	-	0	1	1	1	-	-	0	1	1	-	
	修士	ベトナム	貿易大学※5	—	2016/7/13	2017年秋	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	-		
医学研究科	博士	インドネシア	ガジャマダ大学※1	医学部	2016/2/29	未定	-	0	0	0	0	-	-	0	0	0	0	-	
	博士	タイ	マドロン大学	シリラート病院医学部	2015/11/26	未定	-	0	0	0	0	-	-	0	0	0	0	-	
	博士	インドネシア	パジャジャラン大学※1	医学部	2018/12/6	未定	-	-	-	0	0	-	-	-	-	0	0	-	
	保健学研究科	修士	インドネシア	ガジャマダ大学※1	医・公衆衛生・看護学部	2018/10/1	未定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
工学研究科	修士	インドネシア	シアクラ大学※1	—	2019/3/29	未定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	博士	台湾	国立台湾大学※1	工学院	2020/5/26	未定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
国際協力研究科	修士	インドネシア	ガジャマダ大学※3	経済学研究科	2014/11/26	2010年8月(派遣)	-	-	-	-	-	-	3	4	2	2	2	3	
				経済経営研究科	2014/12/1	2010年8月(派遣)	-	-	-	-	-	-	2	2	1	2	2	2	
				都市工学系研究科	2006/6/28	2010年8月(派遣)	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	0	
				政治学研究科	2015/12/18	2010年8月(派遣)	-	-	-	-	-	-	3	3	1	1	1	1	
	韓国	高麗大学校※1	国際大学院	2012/3/26	2012年秋	0	3	3	3	2	3	3	1	1	2	5	2		
	中国	復旦大学※1	国際関係・公共事務学院	2012/6/12	2012年秋	0	2	0	2	3	2	0	3	2	2	2	0		
	ベトナム	貿易大学※5	—	2016/7/13	2017年4月	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	-		
	英国	イースト・アングリヤ大学	国際開発学部	2008/7/16 2015/3/18 (更新) 2018/9/5 (更新)	2009年秋	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	-	
			—	2009/9/7	2010年秋	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-		
			サセックス大学	教育社会福祉学部	2010/2/25	2010年秋	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	
ピッツバーグ大学			公共国際関係学研究科	2009/9/24	2013年秋	0	0	0	1	0	-	0	0	0	0	0	-		
海科学研究科	博士	ナミビア	ナミビア大学※6	人文社会学部	2020/6/16	2020年春	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
計						4	8	7	11	9	6	26	37	26	28	31	24		

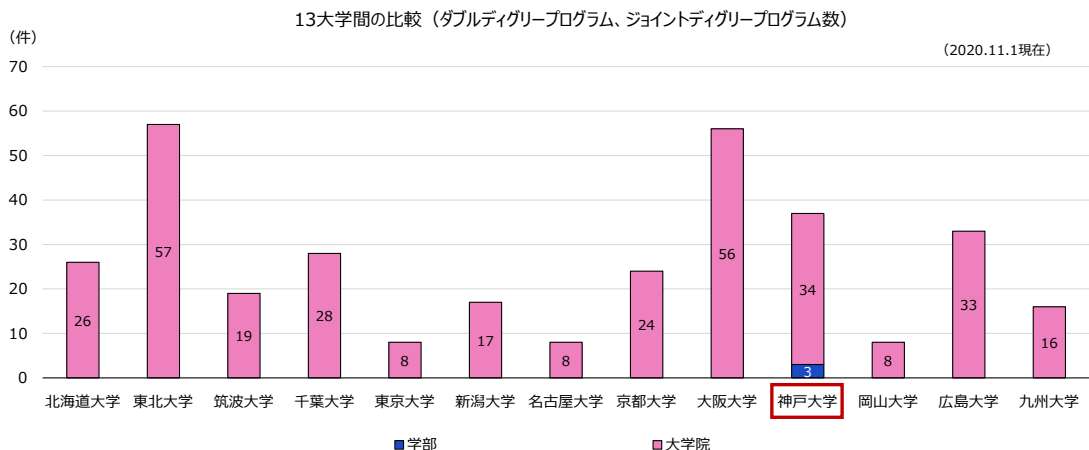
※ - は、受入れ・派遣を募集していないことを示す。

- ※1 授業料相互不徴収によるダブルディグリープログラム。
- ※2 受入れのみのダブルディグリープログラムであり、日本語学科の修士課程に在籍の学生を対象として、最長2年間で共同設置大学と神戸大学経済学研究科の修士号取得を目指すもの。
- ※3 インドネシア大学、ガジャマダ大学、パンドン工科大学とは、2006年に日本の国際協力銀行(当時)の円借款による支援を受けてダブルディグリー取得を目指す学生の受入れのために覚書を交わし、2007年秋学期から、受入れを開始した。その後、2014年度に一旦受入れを中断し、同年にインドネシア大学、ガジャマダ大学と覚書を更新、2015年度より再開している(パンドン工科大学については協定終了)。なお、これらの大学は、別途私費でダブルディグリー取得を目指す学生の受入れを目指した覚書も締結している。
- ※4 受入れのみの3年次編入のダブルディグリープログラム。
- ※5 4研究科(法学・経済学・経営学・国際協力)による、受入れのみの修士課程のダブルディグリープログラム。
- ※6 授業料相互不徴収による3ヶ国語プログラム。

20-4 ダブルディグリー、ジョイントディグリープログラム

— 大規模13大学間の比較 —

○ 国立大学で学部入学定員の上位13大学のうち、神戸大学のダブルディグリープログラム、ジョイントディグリープログラム数は学部・大学院を合計すると3位であった。

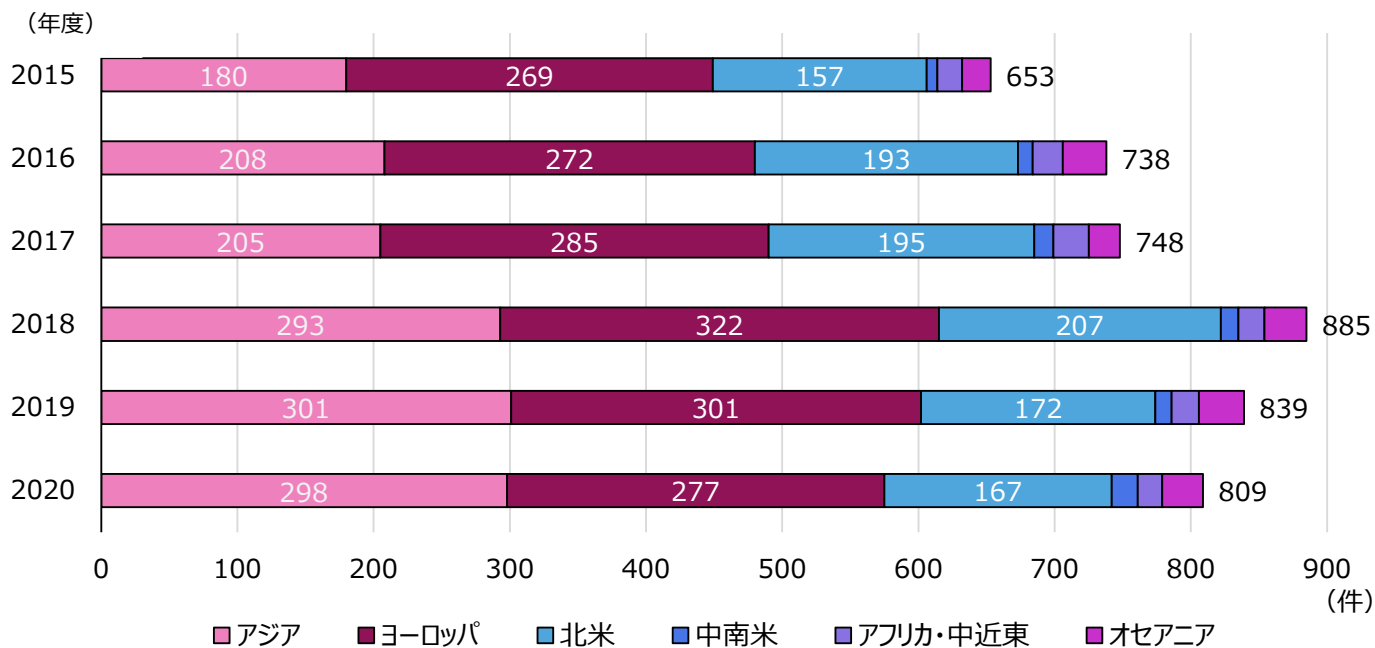


出典：国立大学協会「Study abroad at National Universities in Japan」

20-5 海外研究機関との国・地域別共同研究数

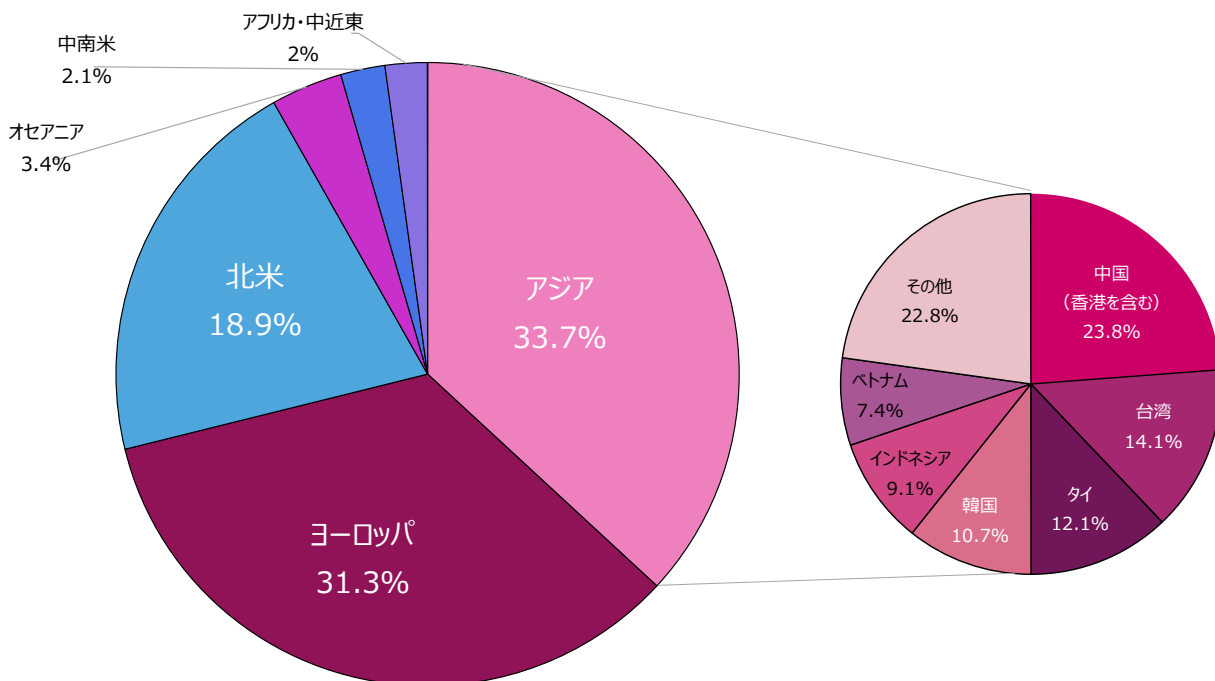
- 海外研究機関との共同研究については、アジア、ヨーロッパ、北米地域との共同研究が全体の9割程度を占めている。
- 地域別ではアジアとの共同研究が増加しており、2020年の実績で初めてヨーロッパを抜いた。そのアジアの国別に見ると、中国、台湾、タイの順になっており、その他さまざまな国との研究が進んでいる。

海外研究機関との地域別共同研究数



※海外研究機関とは海外の大学、研究所等を指す。

海外研究機関との共同研究の国・地域別割合（2020年度）

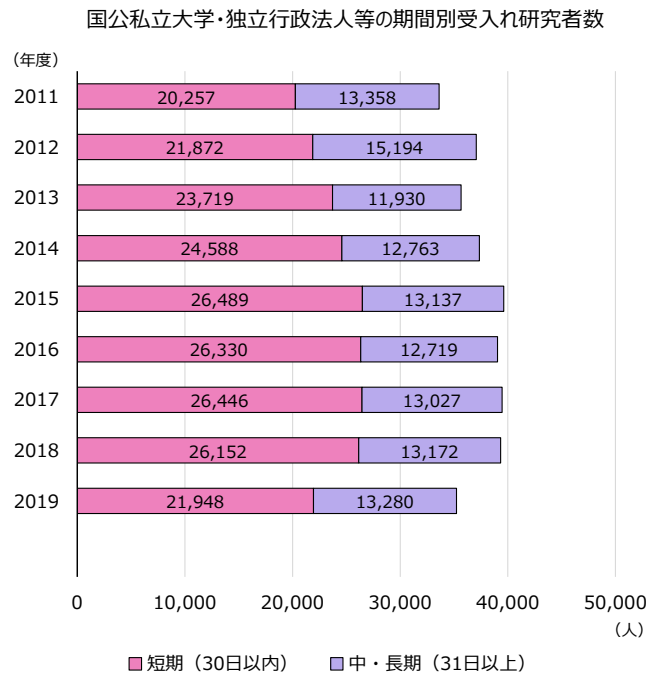
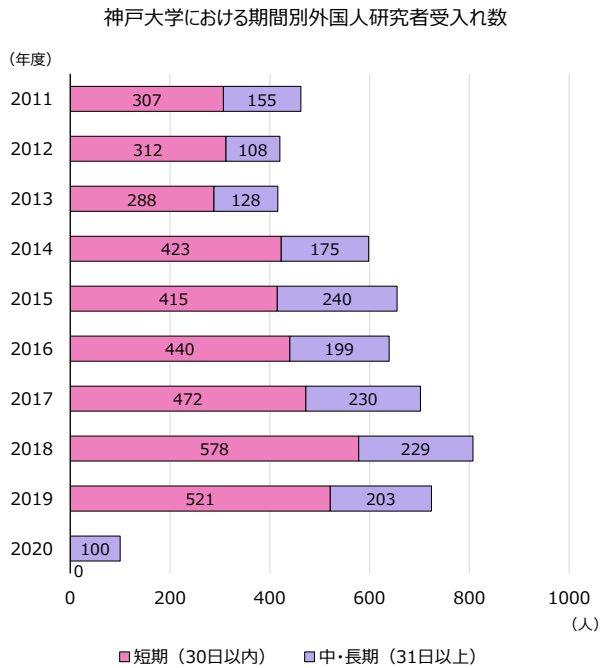


※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

21. 研究者等交流状況

21-1 外国人研究者受入れ数の推移

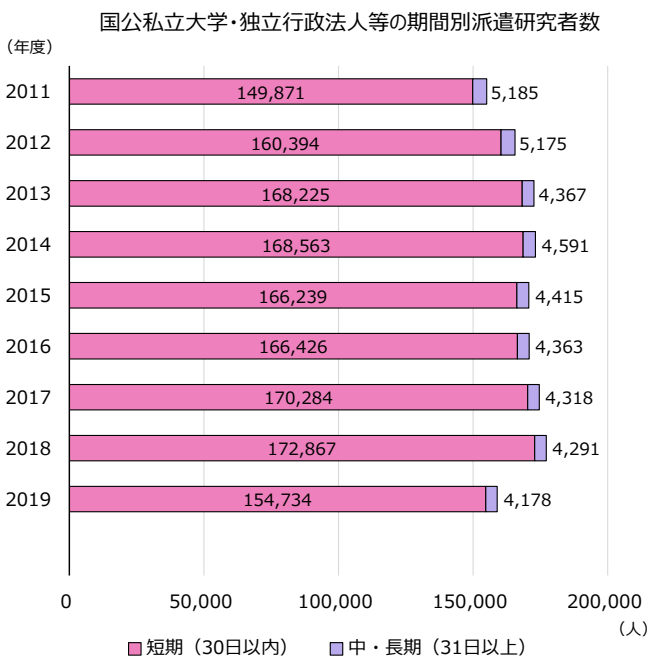
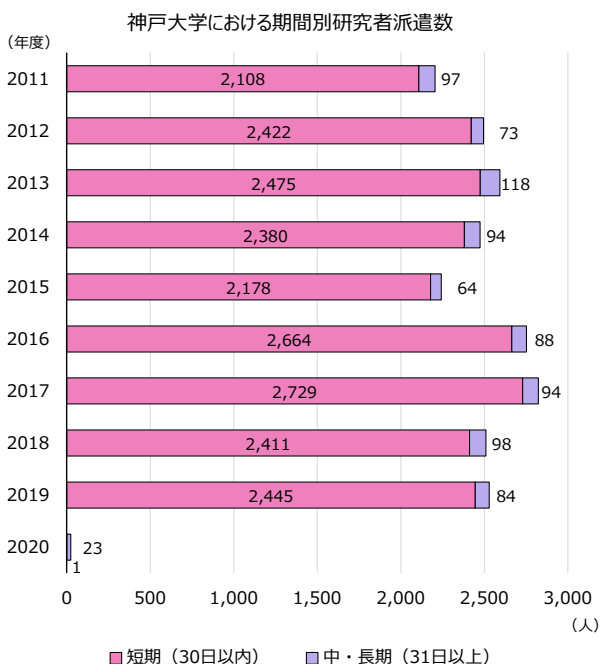
○ 本学における外国人研究者受入れ数については、2013年度までは毎年400～450名程度を推移しており、2014年度以降は600～800名程度となっていた。2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、短期受入れ数が0名となるなど大幅に減少した。



出典 (右) : 文部科学省「国際研究交流の概況」

21-2 研究者海外派遣数の推移

○ 本学では、「若手教員長期海外派遣制度」により、中・長期派遣研究者数を毎年安定して派遣している。
 ○ 2016年度以降は、短期派遣研究者数が増加したことにより、全体として研究者の海外派遣数は増加し、近年は2,500人台で推移していたが、2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、短期1名、中・長期23名のための派遣となった。



出典 (右) : 文部科学省「国際研究交流の概況」

22. 国際化の状況

22-1 スーパーグローバル大学創成支援事業採択大学との比較

- 本学は、外国人教員等数の総教員数に対する割合が高い。
- 他大学と比較すると、外国語による授業の実施率、外国人留学生の全学生に対する割合等は高いとは言えない状況となっている。

①外国人教員等数の割合

順位	大学名	外国人教員等数	専任教員数	外国人教員等の割合
1	広島大学	763	1,795	42.5%
2	九州大学	1,002	2,378	42.1%
3	神戸大学	632	1,554	40.7%
4	岡山大学	572	1,469	38.9%
5	東北大学	1,115	3,213	34.7%
6	北海道大学	756	2,324	32.5%
7	名古屋大学	692	2,319	29.8%
8	大阪大学	1,010	3,585	28.2%
9	筑波大学	521	1,887	27.6%
10	千葉大学	352	1,308	26.9%
11	東京大学	1,328	5,839	22.7%
12	京都大学	542	3,434	15.8%

(2020年5月1日現在)

②外国人教員等数当たりの学生数

順位	大学名	全学生数	外国人教員等数	外国人教員等数当たりの学生数
1	東北大学	18,189	1,115	16.31
2	九州大学	18,817	1,002	18.78
3	広島大学	15,660	763	20.52
4	東京大学	28,577	1,328	21.52
5	名古屋大学	16,003	692	23.13
6	岡山大学	13,240	572	23.15
7	北海道大学	18,105	756	23.95
8	大阪大学	24,252	1,010	24.01
9	神戸大学	16,393	632	25.94
10	筑波大学	17,143	521	32.90
11	千葉大学	14,228	352	40.42
12	京都大学	23,203	542	42.81

(2020年5月1日現在)

③外国語による授業の実施率

順位	大学名	外国語による授業数	全授業科目数	実施率
1	名古屋大学	3,715	10,122	36.7%
2	広島大学	5,071	14,964	33.9%
3	九州大学	3,271	13,646	24.0%
4	北海道大学	1,970	8,757	22.5%
5	筑波大学	2,718	13,116	20.7%
6	岡山大学	1,295	9,430	13.7%
7	東京大学	1,911	14,138	13.5%
8	東北大学	1,065	8,481	12.6%
9	京都大学	1,350	13,263	10.2%
10	神戸大学	614	6,610	9.3%
11	千葉大学	975	10,920	8.9%
12	大阪大学	1,466	18,163	8.1%

(2019年度実績)

④外国人留学生の全学生に対する割合

順位	大学名	外国人留学生数	全学生数	外国人留学生の割合
1	東京大学	3,993	28,577	14.0%
2	筑波大学	2,261	17,143	13.2%
3	九州大学	2,330	18,817	12.4%
4	名古屋大学	1,871	16,003	11.7%
5	北海道大学	2,093	18,105	11.6%
6	東北大学	2,081	18,189	11.4%
7	京都大学	2,605	23,203	11.2%
8	広島大学	1,750	15,660	11.2%
9	大阪大学	2,611	24,252	10.8%
10	神戸大学	1,227	16,393	7.5%
11	千葉大学	935	14,228	6.6%
12	岡山大学	760	13,240	5.7%

(2020年5月1日現在)

⑤日本人学生の海外留学生の全学生に対する割合

順位	大学名	単位取得を伴う海外留学経験者数	全学生数 (外国人留学生除く)	海外留学の割合
1	筑波大学	1,093	14,733	7.4%
2	岡山大学	742	12,538	5.9%
3	千葉大学	725	13,401	5.4%
4	神戸大学	810	15,327	5.3%
5	東北大学	824	16,002	5.1%
6	九州大学	722	16,477	4.4%
7	広島大学	584	13,905	4.2%
8	北海道大学	680	16,422	4.1%
9	東京大学	737	24,086	3.1%
10	大阪大学	517	21,172	2.4%
11	名古屋大学	258	14,143	1.8%
12	京都大学	221	20,671	1.1%

(2019年度実績)

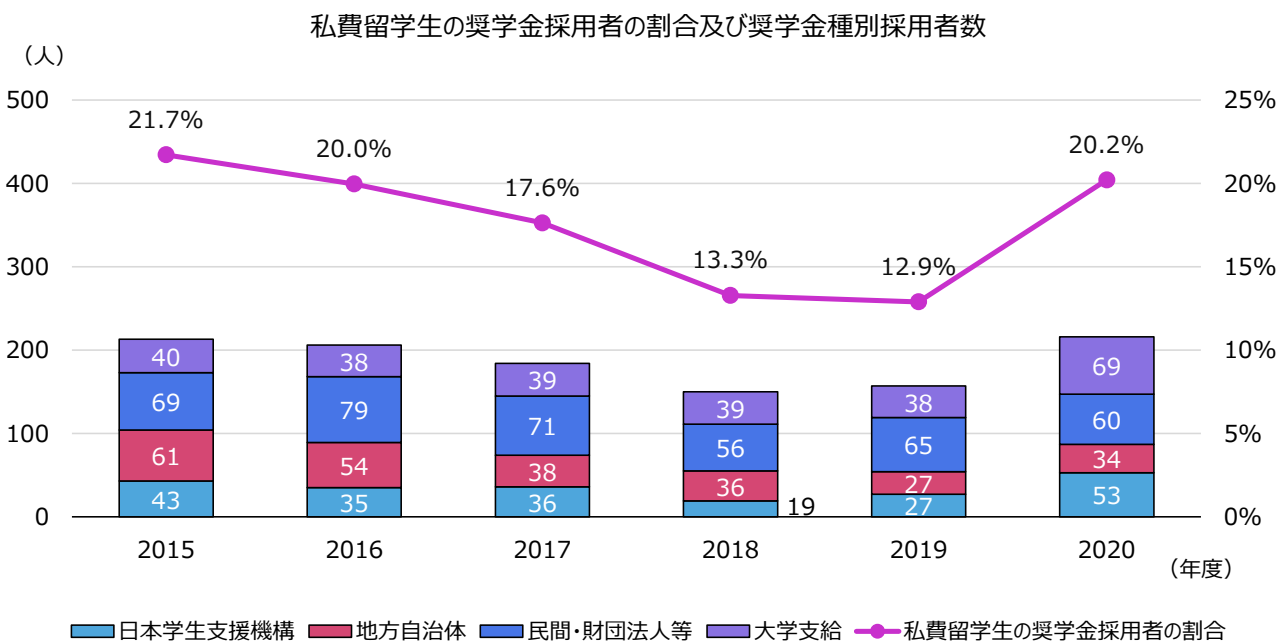
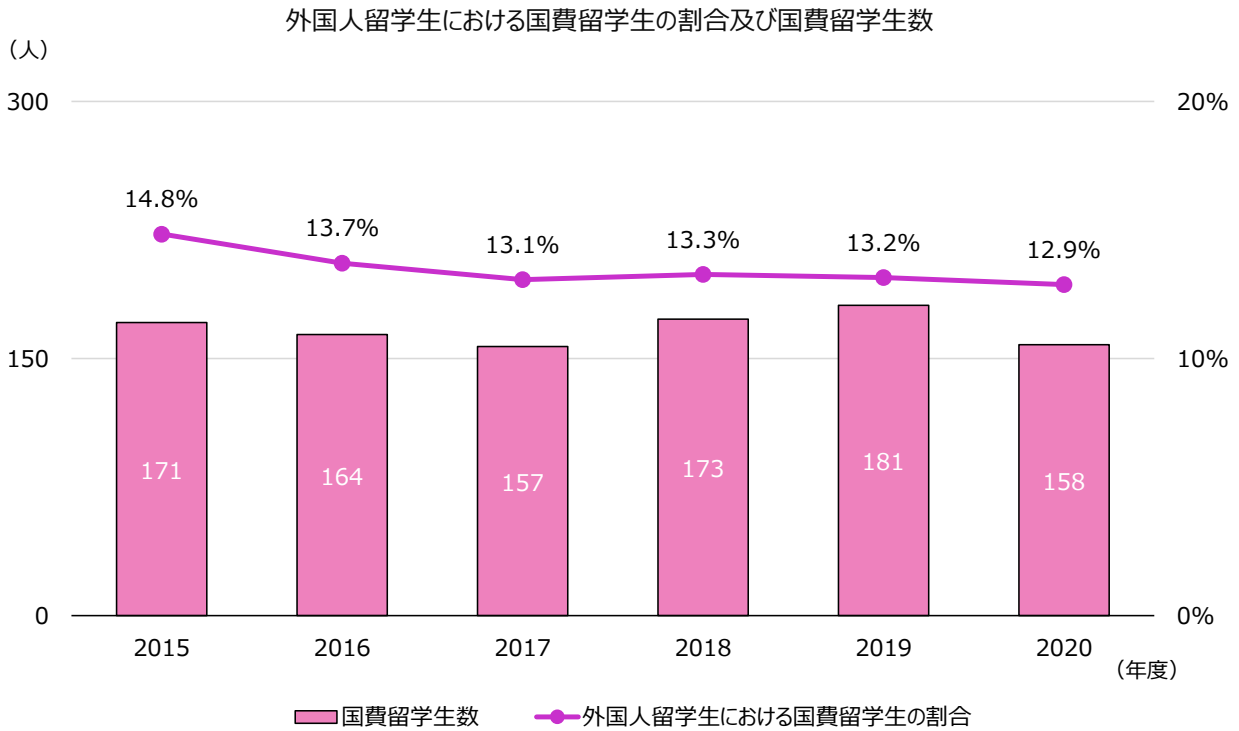
出典：独立行政法人 日本学術振興会「スーパーグローバル大学等事業 スーパーグローバル大学創成支援」令和2年度データより

国立大学で学部入学定員の上位13大学（大規模13大学）のうち、事業採択大学と比較

- ※ 外国人教員等数：外国籍の教員に加え、国外の大学での学位取得、通算1年以上教育研究に従事した日本人教員を含む
- ※ 外国語による授業の実施率：日本語の併用や外国語教育を主たる目的とするものを除く
- ※ 外国人留学生：在留資格が「留学」の者のみ計上
- ※ 日本人学生の海外留学生数：2019年4月1日から2020年3月31日までに海外の大学において留学を開始した日本人学生数
- ※ 全学生数：非正規課程の学生を含む

22-2 留学生への経済支援について

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、外国人留学生数が減少した一方で、奨学金採用者数が増えたため、2020年度の奨学金採用者の割合は伸びている。
- 奨学金種別で見ると、2020年度は大学支給の中でも留学生後援会奨学金の採用者数が増えており、日本学生支援機構、地方自治体も増加した。一方、民間・財団法人等は2019年度よりも減少した。



※外国人留学生数は学校基本調査より算出しており、科目等履修生・聴講生・研究生等を含む。

※日本学生支援機構による奨学金は「留学生受入れ促進プログラム（旧：文部科学省外国人留学生学習奨励費給付制度）」の採用者数を集計している。

23. 附属病院

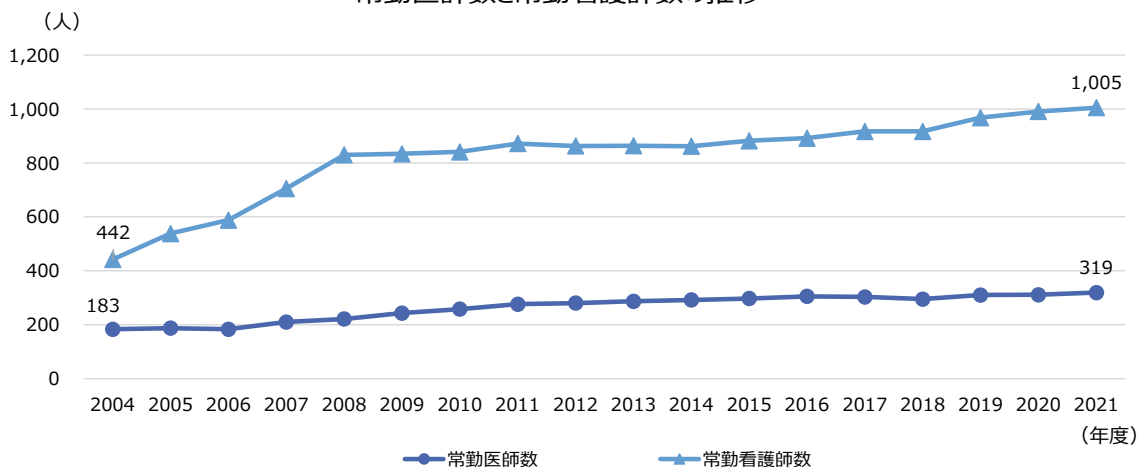
23-1 附属病院の病床数・常勤医師数・常勤看護師数

○ 2017年度に国際がん医療・研究センター（以下、ICCRC）を設置し、病床数が増えている。それに伴い、常勤看護師数も増加している。

病床数		常勤医師数	常勤看護師数
一般病棟	精神病棟		
1,008床	46床	319名	1,005名
(うちICCRC120床)		(うちICCRC10名)	(うちICCRC44名)

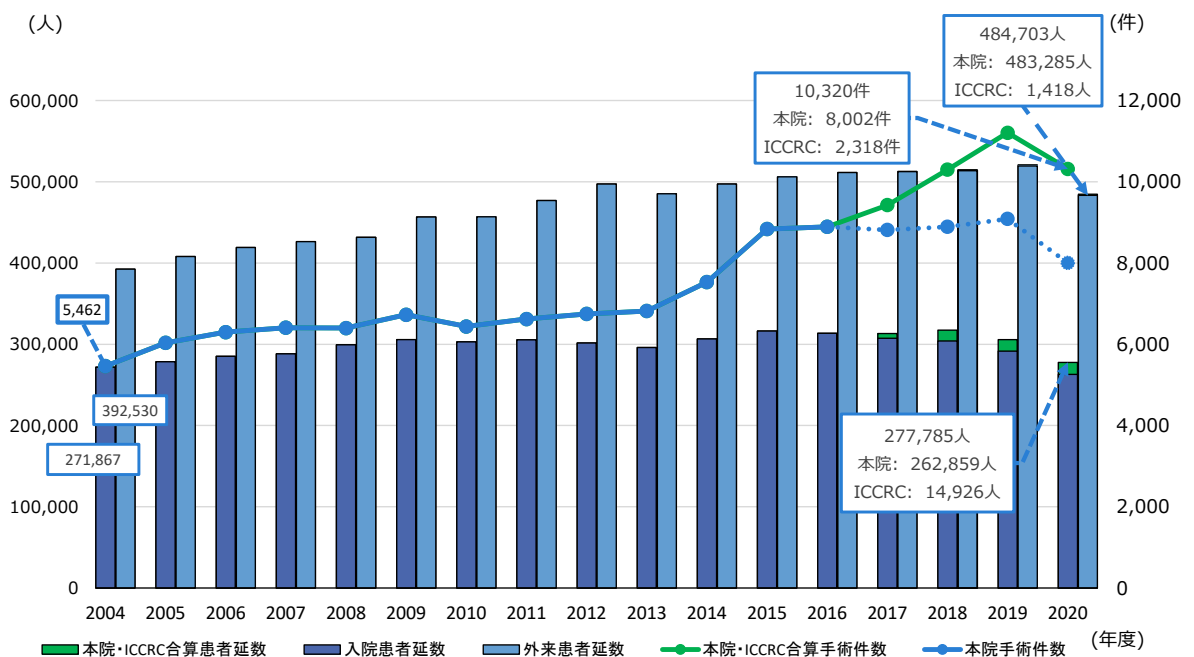
2021年5月1日現在

常勤医師数と常勤看護師数の推移



23-2 附属病院の患者数と総手術件数の推移

○ 入院・外来患者延数は2013年の低侵襲棟新営時を除いて漸増していたが、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け両院合算で対前年度比▲8%となった。手術件数については、本院が対前年度比▲12%となった一方で、ICCRCでは新たな手術室1室の稼働開始もあり対前年度比+9%となった。



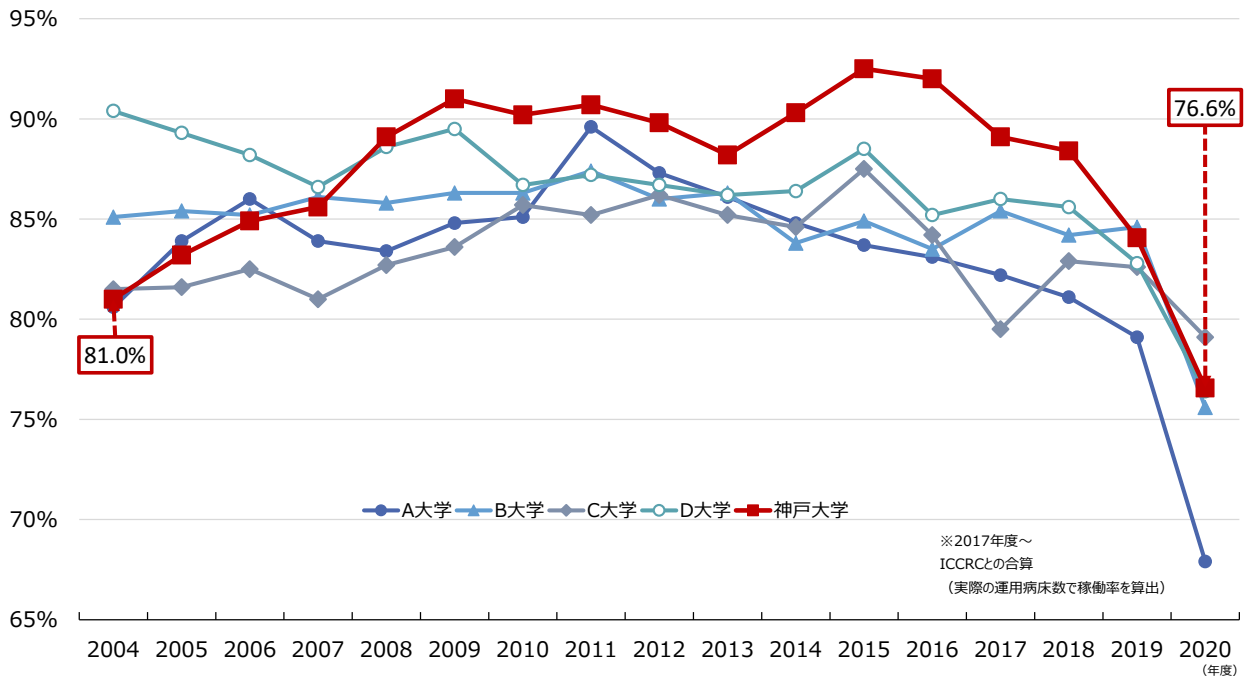
入院患者延数・退院患者数+在院患者延数 外来患者延数・新来患者数+再来患者数

23-3 附属病院の病床稼働率・平均在院日数の推移

○ 2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う診療制限が実施され、本学の病床稼働率は76.6%と下落した。病床数が同規模である5国立大学の附属病院間で比較したところ2位であった。平均在院日数（一般病床）は13.1日で、5国立大学の附属病院間で比較したところ3位であった。

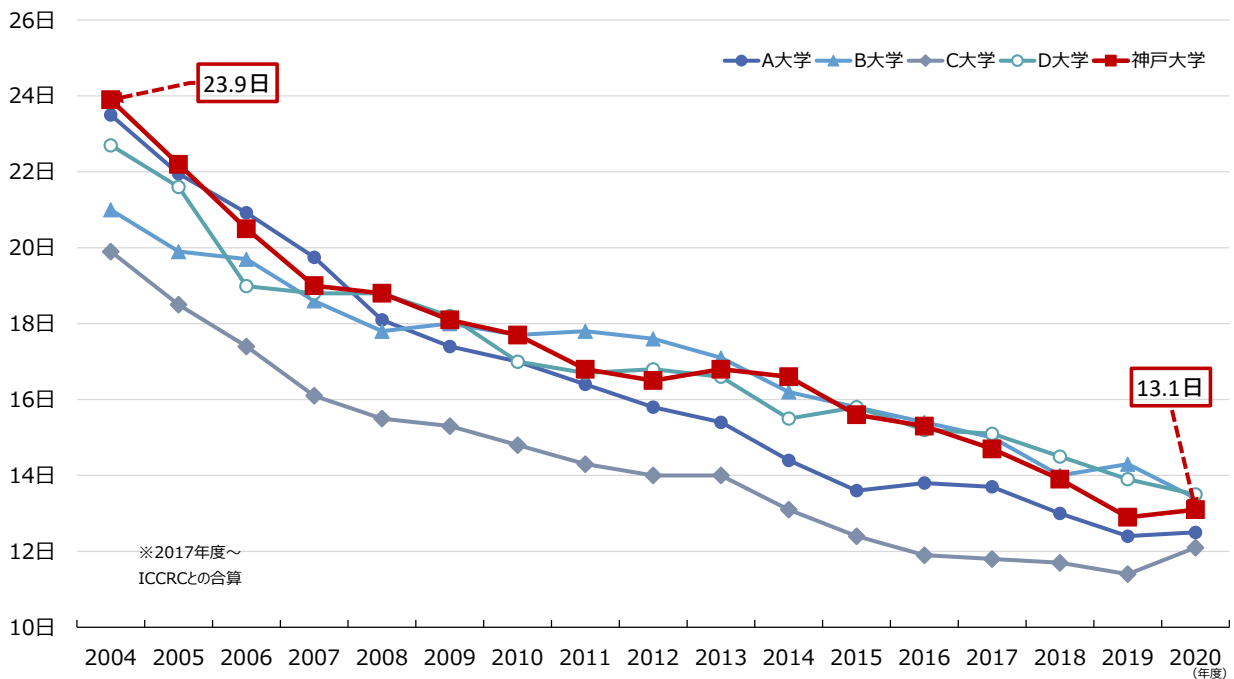
病床稼働率の推移（2004～2020年度）

病床数が同規模である国立5大学について比較



平均在院日数（一般病床）の推移（2004～2020年度）

病床数が同規模である国立5大学について比較



出典（病床稼働率、平均在院日数（一般病床））：この報告に用いたデータは、国立大学附属病院長会議が東京大学医学部附属病院に設置した国立大学病院データベースセンターから、国立大学病院データベース管理委員会の定めたデータ提供/利用依頼規約に基づいて提供を受けた。

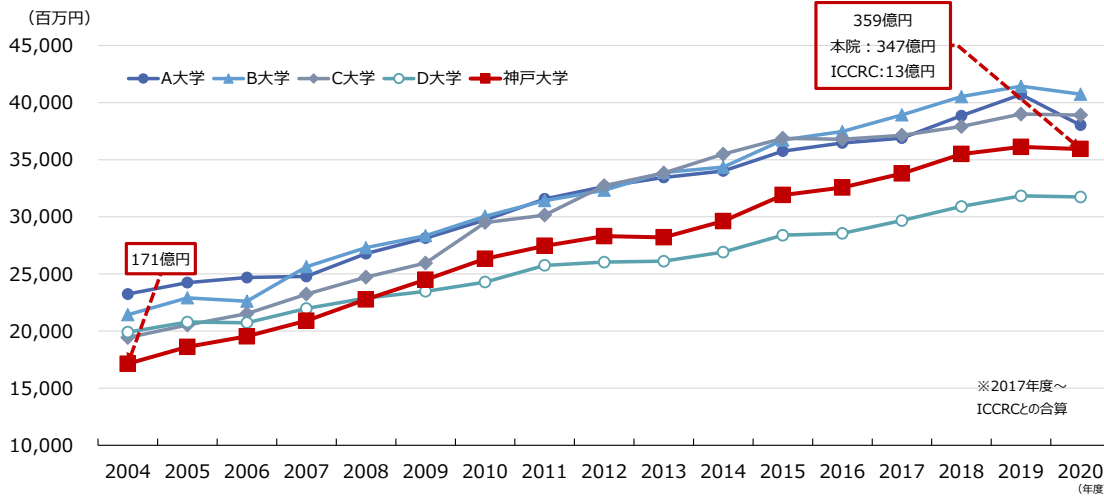
（承認番号：146-20210908）

23-4 附属病院の診療報酬請求額の推移

- 本学の2020年度診療報酬請求額は359億円であり、法人化時（2004年度）の約2.1倍となっている。

診療報酬請求額の推移（2004～2020年度）

病床数が同規模である国立5大学について比較



《参考》

(千円)

大学名	病床数	運営費交付金 (令和元事業年度)	大学名	病床数	運営費交付金 (令和元事業年度)
A大学	1,095床	5,023,695	C大学	979床	3,223,362
B大学	1,086床	3,496,484	D大学	939床	3,145,908
神戸大学	994床	2,941,109			

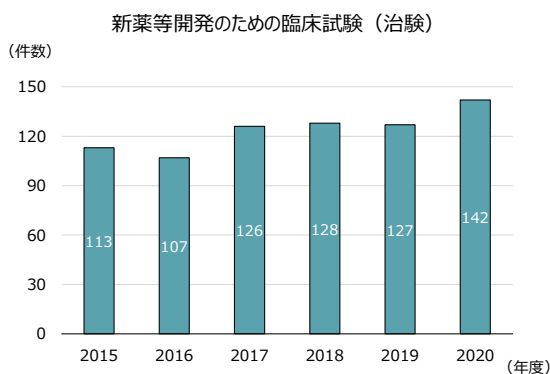
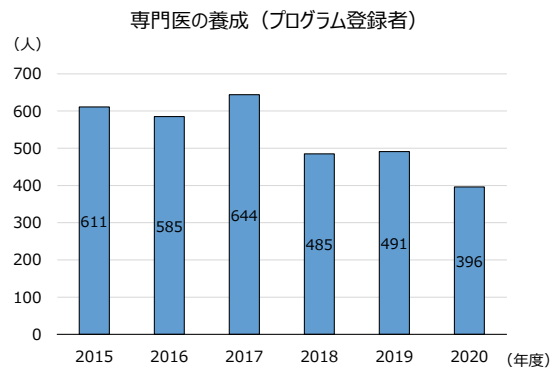
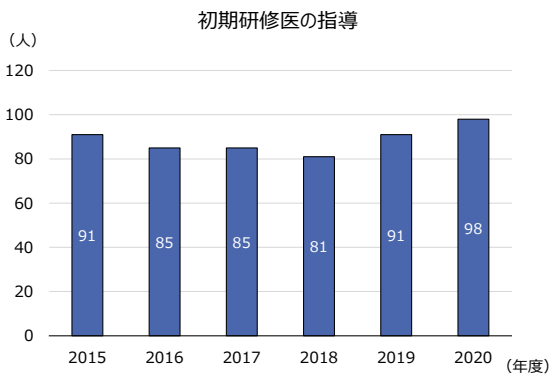
出典（診療報酬請求額、病床数）：この報告に用いたデータは、国立大学附属病院長会議が東京大学医学部附属病院に設置した国立大学病院データベースセンターから、国立大学病院データベース管理委員会の定めたデータ提供/利用依頼規約に基づいて提供を受けた。（承認番号：146-20210908）

出典（運営費交付金）：各大学の財務諸表(附属病院の運営費交付金収益)

※本学の病床数は2021年6月1日時点の運用病床数

23-5 附属病院の取り組み — 教育・研究への貢献 —

- 2020年度、本学では初期研修医を98人受け入れ、専門医を396人養成した。また、新薬等開発のための臨床試験（治験）の件数は142件と、2019年度から増加した。



24. 附属学校

基本データ

2021年5月1日現在

附属学校園	生徒数	クラス数	教諭数
附属幼稚園	118	6	7
附属小学校	406	12	20
附属中等教育学校	720	18	48
附属特別支援学校	49	9	31
計	1,293	45	106

○ 附属幼稚園・小学校
(文部科学省事業)
・2013年度～2016年度 文部科学省 研究開発学校指定
(2017年度～2019年度 文部科学省 研究開発学校延長指定)

○ 附属中等教育学校
(文部科学省事業)
・2013年度～2016年度 文部科学省 研究開発学校指定
(2017年度～2019年度 文部科学省 研究開発学校延長指定)
・2015年度～2019年度 スーパーグローバルハイスクール (SGH) 指定
・2020年度～2024年度 スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 指定

中等教育学校卒業生の進路状況

中等教育学校では、2015年3月に初めての卒業生を輩出し、それ以降主に大学等へ進学している。

単位: 人

区分	2020年3月卒業			2021年3月卒業		
	男	女	計	男	女	計
国公立大学	22	27	49	23	38	61
海外の大学	0	0	0	1	0	1
私立大学(大学校含む)	20	44	64	14	26	40
短期大学	0	1	1	0	0	0
各種・専門学校	1	1	2	1	1	2
就職: 企業等	0	1	1	0	0	0
就職: 公務員	0	0	0	0	0	0
進学準備	30	13	43	22	9	31
卒業者数	73	87	160	61	74	135

【主な進学先】

(国公立大学)
神戸大学、東京大学、金沢大学、京都大学、大阪大学、大阪教育大学、岡山大学、徳島大学、大阪市立大学、兵庫県立大学 他

(私立大学)
慶應義塾大学、明治大学、早稲田大学、同志社大学、立命館大学、龍谷大学、関西大学、近畿大学、関西学院大学、甲南大学、神戸学院大学、神戸親和女子大学、武庫川女子大学、兵庫医療大学、立命館アジア太平洋大学 他

(その他)
防衛大学校、水産大学校 他

教育実習等の実施

附属学校部では、神戸大学の学生を中心に教育実習や介護等体験を実施している。

附属学校園	実習の種類	実習者数(人)
附属幼稚園	教育実習	17
附属小学校		32
附属中等教育学校		57
附属特別支援学校	介護等体験	25
		127

神戸大学day等の開催

2021年2月

中等教育学校においては、4・5年生の生徒を対象とした、神戸大学全体及び各学部のガイダンスや講義を実施する「神戸大学day」について例年5月に開催していたところ、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、時期を変更したうえで、オンラインにて開催した。

2021年3月

農学部との協力により、連携授業を実施し、六甲台キャンパスにおいて、感染防止対策を施したうえで、51名の小学生・中等教育学校生及び23名の保護者が大学の授業を受けた。



海外交流事業

2015年度より中等教育学校においてSGH(スーパーグローバルハイスクール)事業として、「グローバルキャリア人の育成」に資するため、国内外の交流事業を行っており、2019年度は延べ192名の生徒を海外に派遣した。

また、附属小学校においても「グローバルキャリア人の基本的資質の育成」を目指し、オーストラリアに児童38名、アメリカ(ハワイ・ホノルル)に児童13名を派遣したほか、フランスのマノスクPACA国際学校に教諭を派遣するなど、2019年度は活発な国際交流事業を展開した。

両校とも2020年度以降、新型コロナウイルス感染症のため海外交流事業を実施できていないが、再開に向けて準備を進めている。



25. 公開講座等

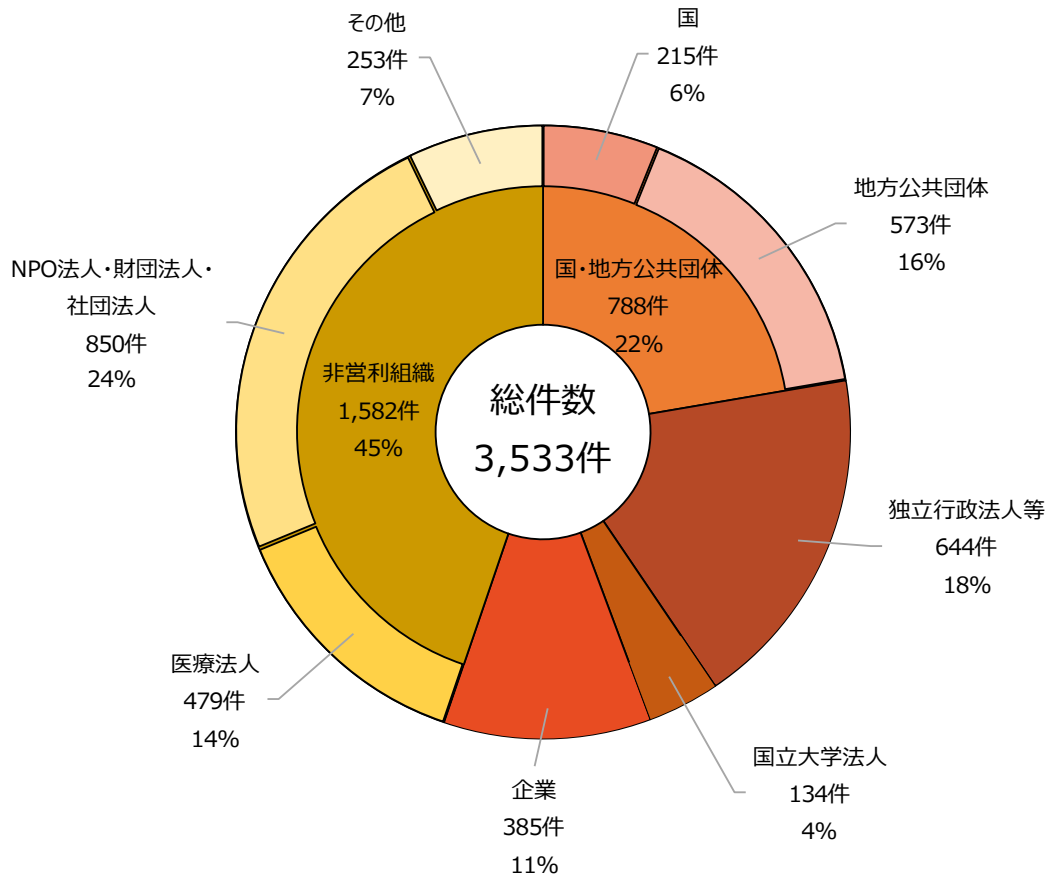
【2020年度】

部局名	講座等名	受講対象者	時間数 (時間)	募集人数 (人)	受講者数 (人)
人文学研究科	まちづくり地域歴史遺産活用講座2020	一般市民	7	20	11
	まちづくり地域歴史遺産活用講座2020 オプションプログラム古文書解読講座	一般市民	6	20	25
人間発達環境学研究科	ギャラリー・ヘロルド・ブレメン：地域とアーティスト・コミュニティ	学生、一般市民	2	—	30
	連続講座「健康体操教室」（全2回）	学生、一般市民	1	—	76
医学部附属病院	神戸大学医学部附属病院市民公開講座 がんゲノム医療最前線 (地域がん診療連携拠点病院機能強化事業)	一般市民	1.5	—	70
保健学研究科	「最新の研究から家庭の保健・医療へ」 —新型コロナウイルスに関する最新情報—	一般市民、学生（高校生以上）	2.5	100	69
農学研究科 (地域連携センター)	種苗法改正に伴う農家への影響についての勉強会 (丹波篠山フィールドステーション)	丹波篠山市長、丹波篠山市職員、 丹波篠山市内農業者	2	10	7
	オープントーク ローカルで自分のしごとをつくる ～丹波篠山市草山地区やまもりサーキット編～ (神戸大学・丹波篠山市農村イノベーションラボ)	学生、一般市民	2	—	37
	A-Launch「ポリフェノールの機能性」	学生、一般市民	1	—	9
	A-Launch「ため池の現状と展望」	学生、一般市民	1	—	9
国際協力研究科 (キャンパスアジア室)	キャンパスアジア・リスクマネジメントセミナー「The role of community organizations in combating coronavirus: case study from Indonesia」	学生、一般市民	1.5	—	20
	キャンパスアジア・リスクマネジメントセミナー「"A fund for all, by all", addressing humanitarian needs amidst the COVID- 19 pandemic」	学生、一般市民	1.5	—	20
	キャンパスアジア・リスクマネジメントセミナー「Risk Management in the Context of Science and Technology: An Open Science Perspective」	学生、一般市民	1.5	—	20
国際協力研究科 (極域協力研究センター)	第13回極域法国際シンポジウム公開講座 「北極域の海洋プラスチック問題-国際法は北極のプラスチック汚染に どう対処するか」	研究者、学生、一般市民	2	—	52
経済経営研究所	地域金融機関と信用保証協会の事業承継支援 —現状とポストコロナ時代の課題—	金融関係者、官公庁、研究者、 教職員、学生	4	500	400
社会システムイノベーションセンター	第4回レクチャーシリーズ「ラオスの経済—電力輸出と契約栽培」	教職員、学生、一般市民	1.5	—	45
	第5回レクチャーシリーズ「投資家のモラルハザードを考える」	教職員、学生、一般市民	1	—	68
	設立5周年記念講演会「脳科学におけるサイエンスとビジネスの融合」	教職員、学生、一般市民	1.5	100	79
	シンポジウム「テレワーク時代の働きがいと働き方—新しい働き方・暮らし 方—」	教職員、学生、一般市民	3	—	75
計算科学教育センター	CCSS School on Computational Social Science 『計算社会科学入門』February 27-28 2021	研究者、学生、一般社会人	7	260	150
	(第5回)計算社会科学ワークショップ (CSSJ2021)	研究者、学生、一般社会人	9	260	150

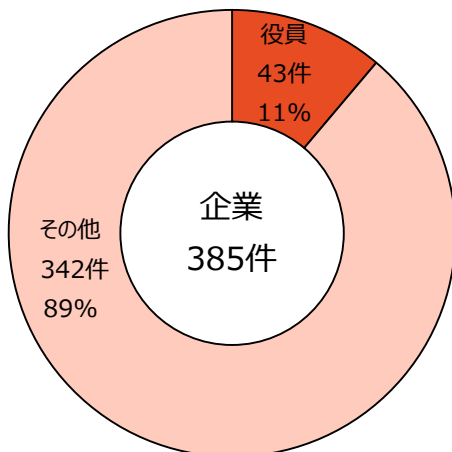
26. 学外機関への参画状況

- 本学教員の学外機関への参画状況について、国・地方公共団体及び独立行政法人等への参画が40%、企業及び非営利組織への参画が56%となっている。
- 企業への参画件数385件のうち、43件（11%）は役員としての参画である。

◆組織別参画状況（2020年度）



◆企業への参画状況（2020年度）



※ 小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

※ 2020年度に当該機関から委嘱されているものが対象（2020年以前より継続しているものを含む）。1教員が複数機関から委嘱されている場合には、複数カウントしている。

※ 他大学等で教育に従事する者（非常勤講師等）及び、短期兼業は除く。

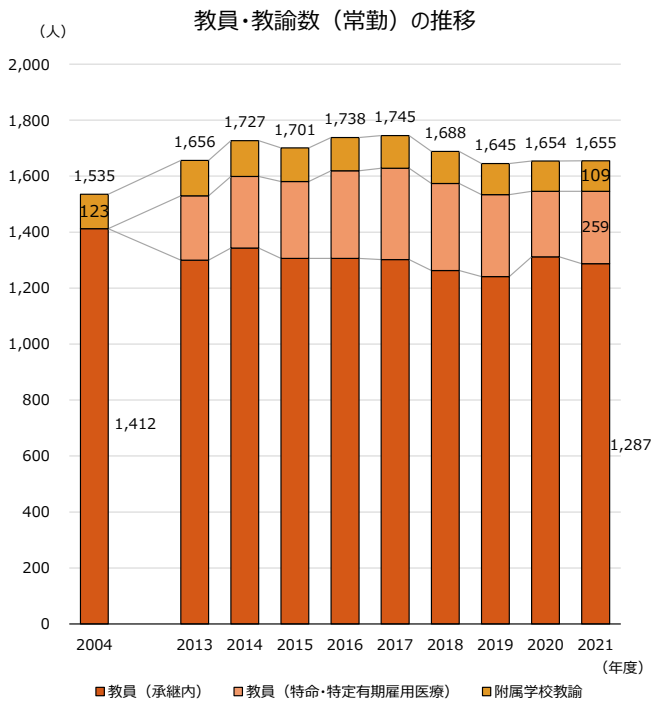
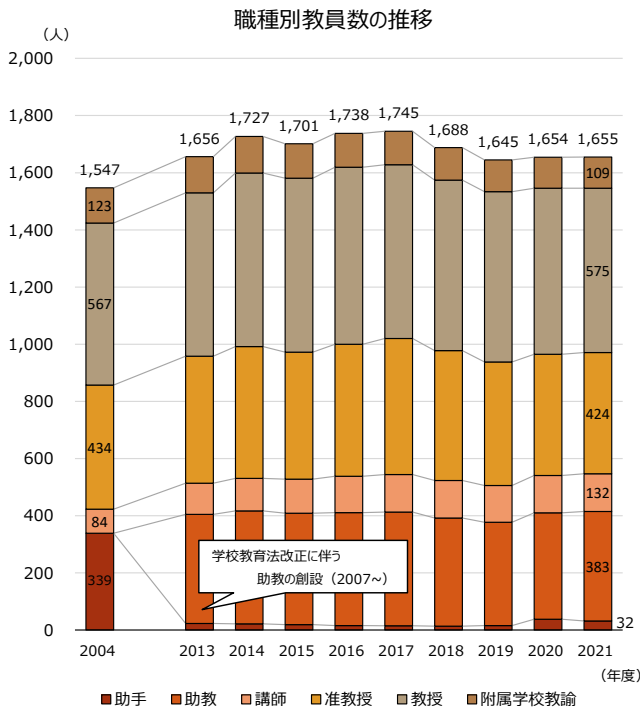
27. 教員

27-1 教員数の推移等

○ 法人化した2004年度と比べ、常勤教員（承継内）は減少し、特命教員及び特定有期雇用医療教員は増加している。

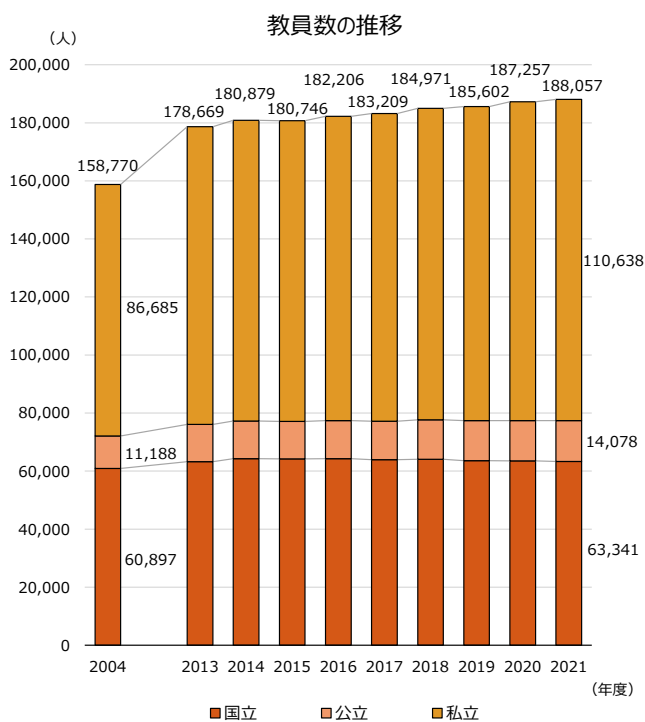
各年度5月1日現在

◆教員◆（神戸大学）



※右図2004年度のみ休職者を含まない現員数を記載している。

◆教員◆（全国）



出典：文部科学省「学校基本調査」

27-2 若手教員・外国人教員・女性教員等の推移等

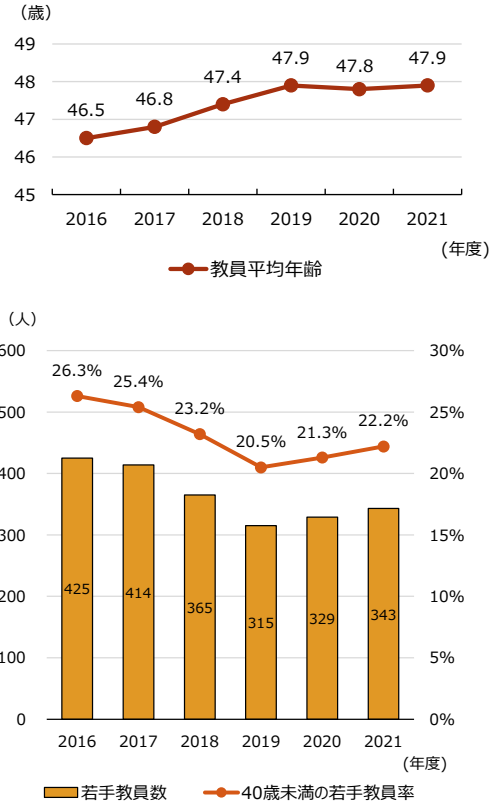
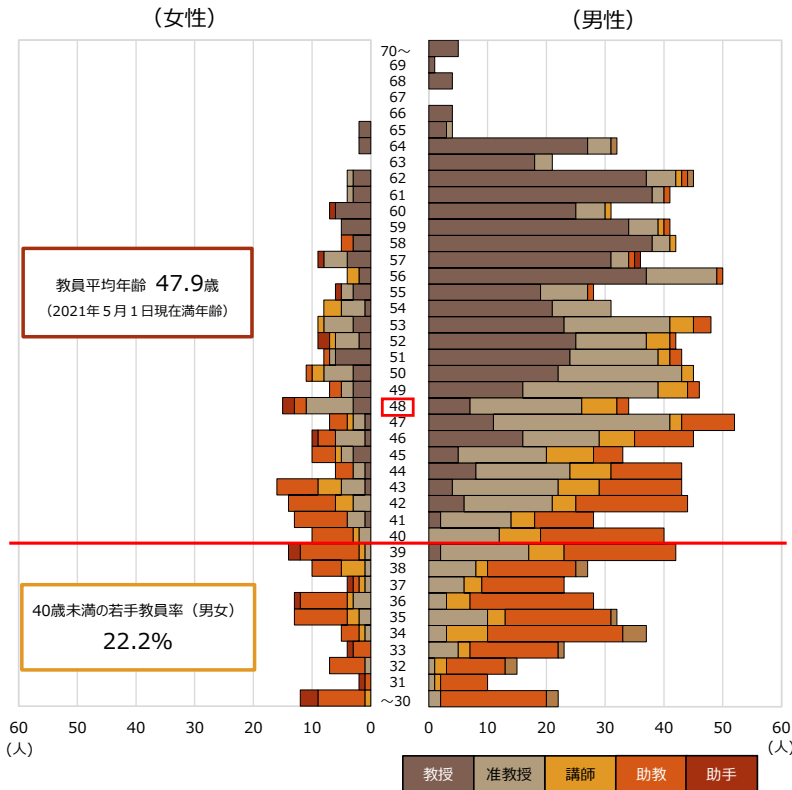
- 教員の平均年齢は、近年上昇傾向にあり、2010年度から開始した定年延長の影響が現れていると言える。40歳未満の若手教員率は近年減少傾向にあったが、2020年度、2021年度と増加している。
- 外国人教員については、2020年度に人数、割合ともに増加し、2021年度は同程度となっている。
- 女性教員については、2018年度に割合が減少したものの、その後は増加傾向にある。

各年度5月1日現在

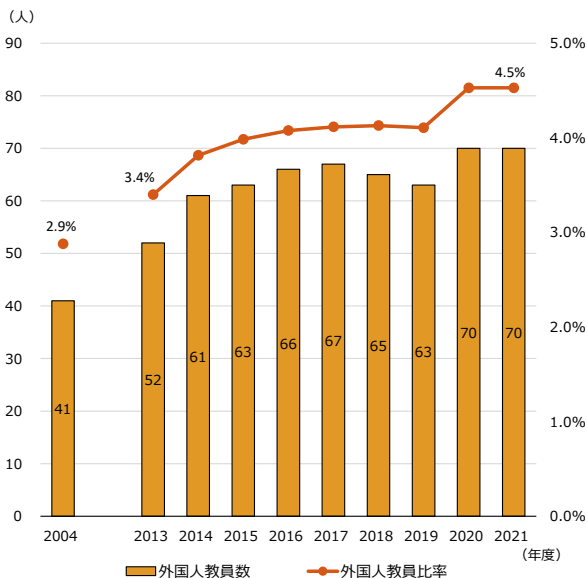
◆男女別・年齢別・職種別教員数◆ (神戸大学)

2021年5月1日現在

◆教員の平均年齢と若手教員数の推移◆ (神戸大学)

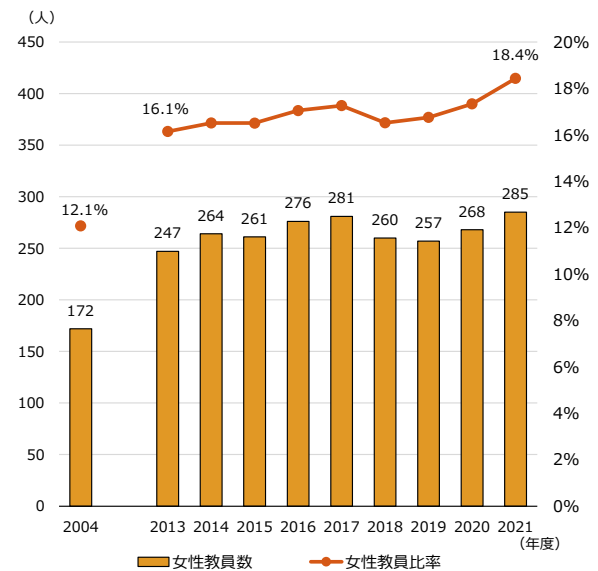


◆外国人教員数・外国人教員比率の推移◆ (神戸大学)



※2021年5月1日現在の外国人教員の国籍は、中華人民共和国、アメリカ合衆国、大韓民国、フランス及びイギリス等25の国と地域となっている。

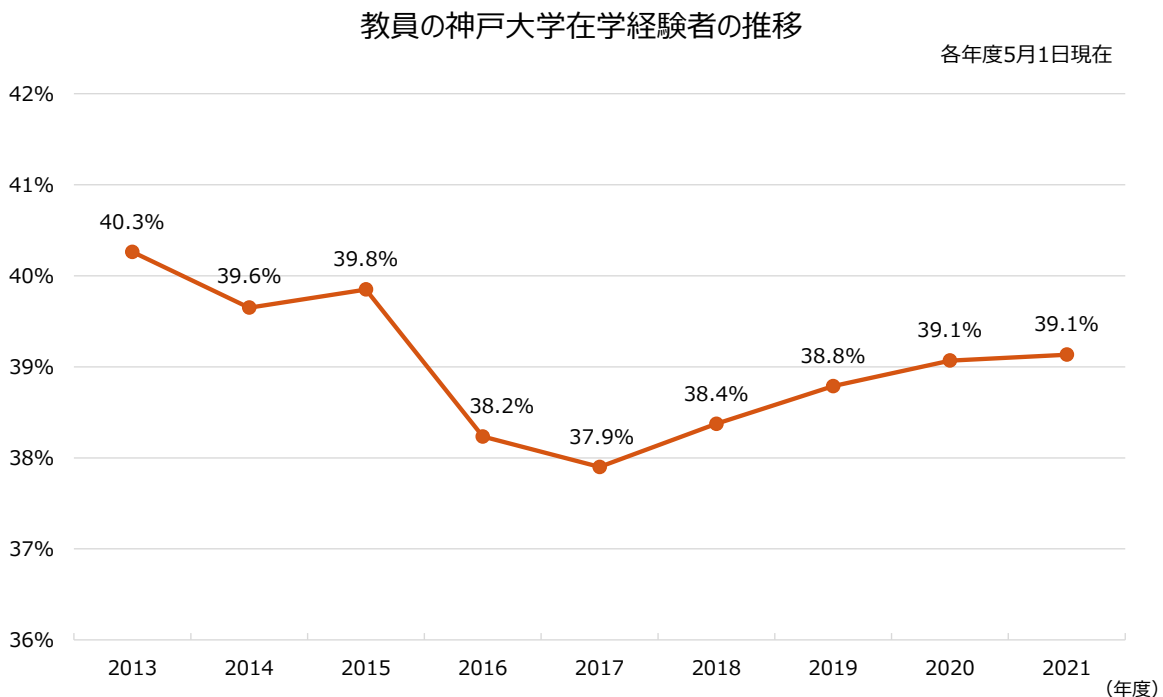
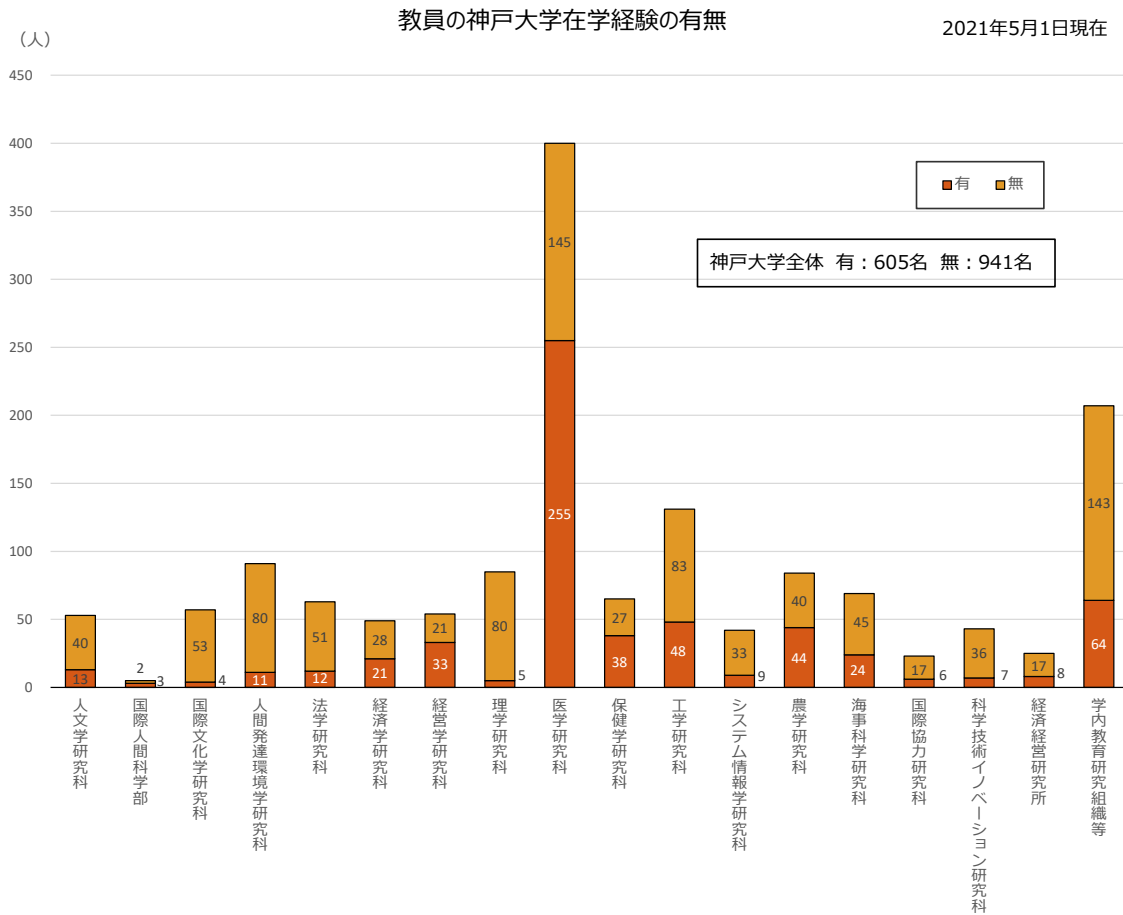
◆女性教員数・女性教員比率の推移◆ (神戸大学)



※各教員数に役員・教諭の数は含まない。休職者を含む。

27-3 教員の神戸大学在学経験者

○ 教員の公募により幅広い人材の採用が進み、近年は神戸大学在学経験者が40%を切る状態が続いている。



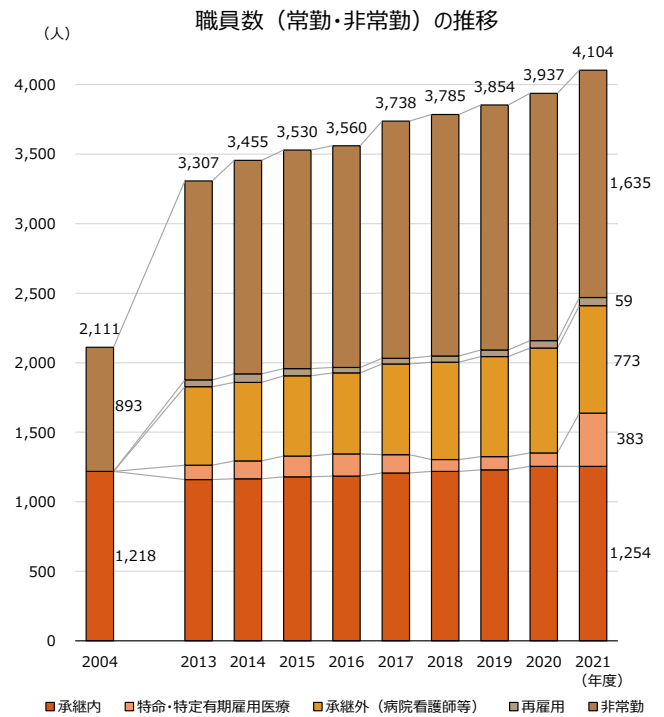
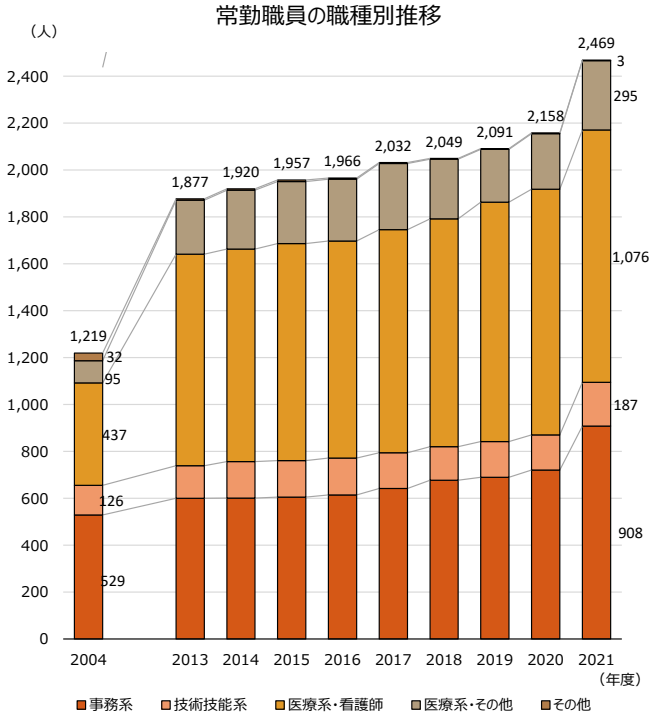
※各教員数に役員・教諭の数は含まない。休職者は含む。

28. 職員

- 法人化した2004年度と比べ、非常勤職員は大幅に増加しており、職種別では、医療系職員が大幅に増加していることが分かる。
- 女性職員については、法人化時に比べ人数・割合ともに大幅に増加しているが、これは看護師等の医療系職員の増加によるものである。
- 2021年度よりフルタイム非常勤職員の雇用廃止及び特定有期雇用医療職員（一般職）の新設により常勤職員数が増加している。

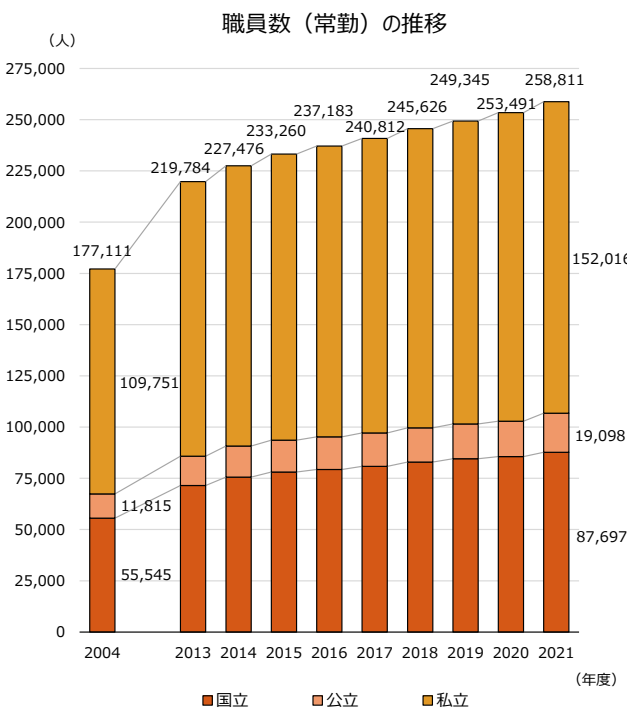
◆職員◆（神戸大学）

各年度5月1日現在

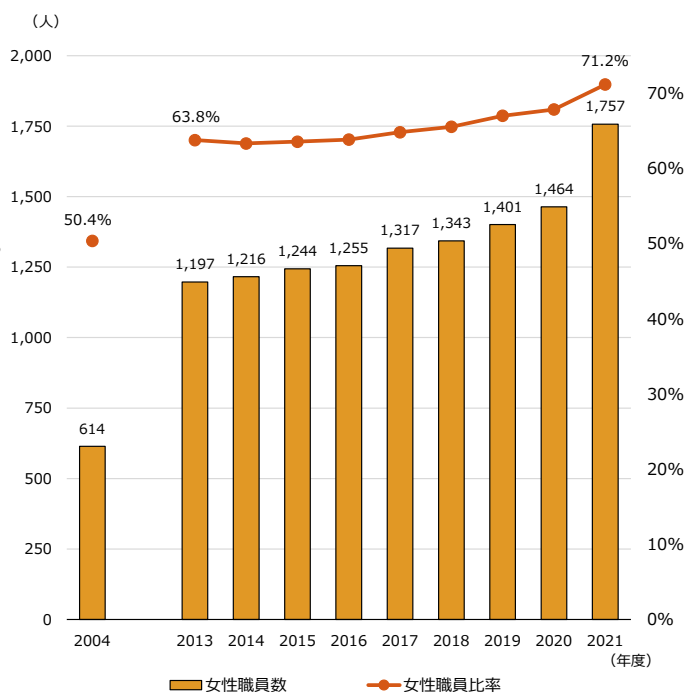


※右図2004年度のみ休職者を含まない現員数を記載している。

◆職員◆（全国）



◆女性職員数・女性職員比率の推移◆ （神戸大学）



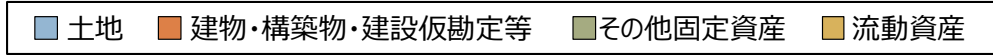
出典：文部科学省「学校基本調査」

※休職者を含む。

29. 財務

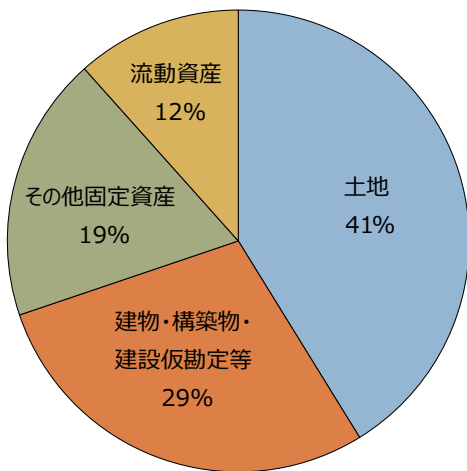
29-1 貸借対照表の概要

○ 土地・建物等が総資産に占める割合は約71%となっている。2004年度以降、新たな資産の取得があったものの、減価償却による簿価の減少に伴って、総資産額に大きな変動はない。



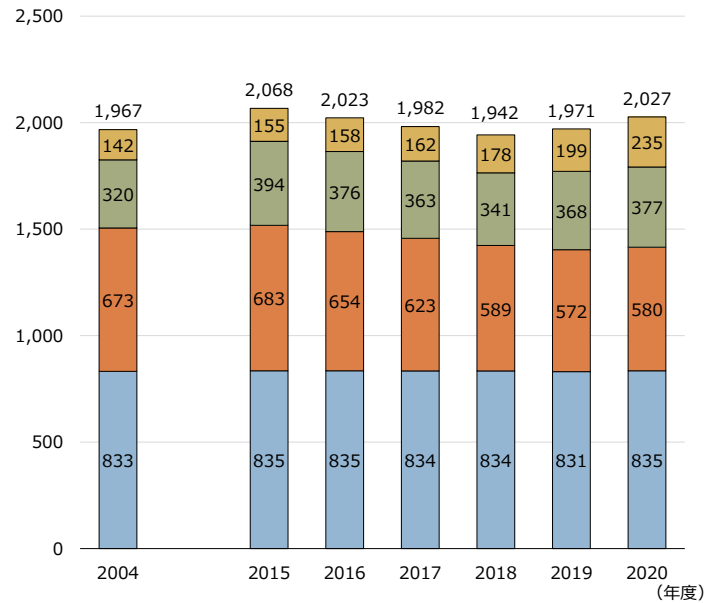
2020年度 総資産額

2,027億円



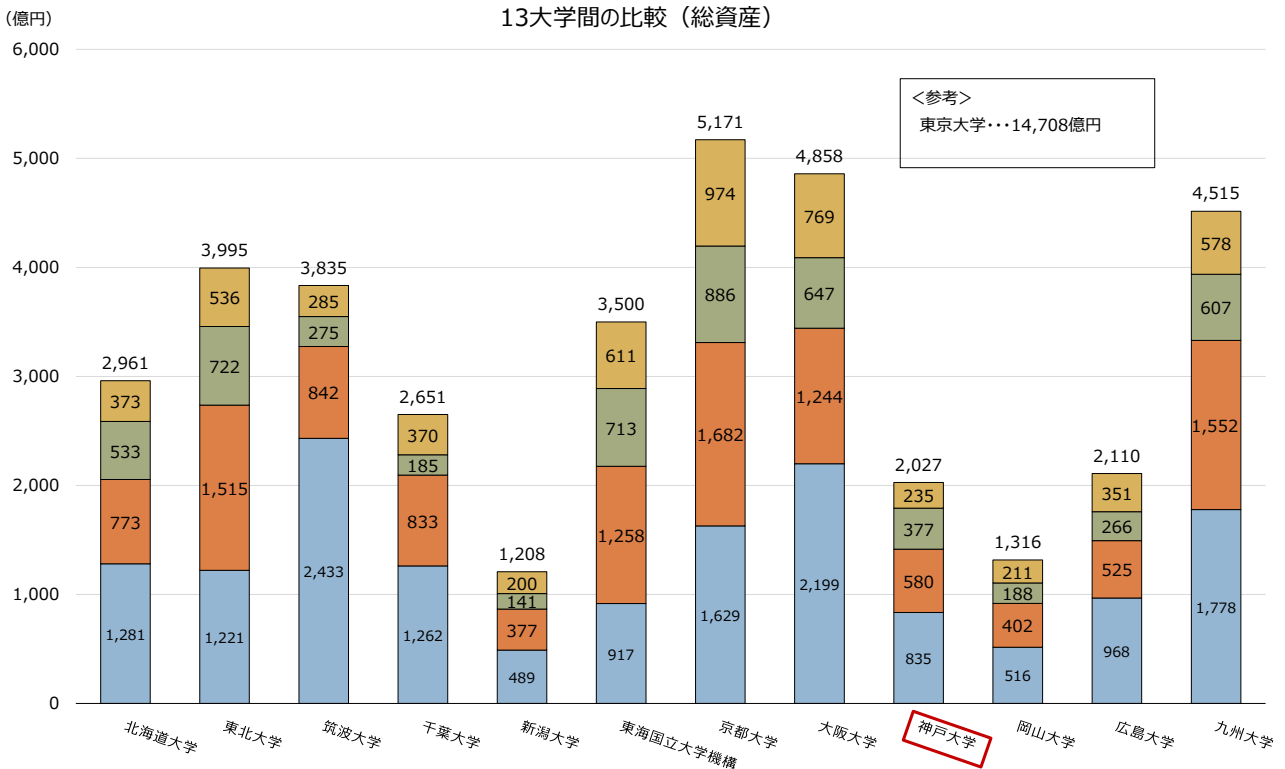
※小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が一致しないもの、また合計が100%にならないものもある。

総資産額の推移 (億円)



(2021年3月31日時点)

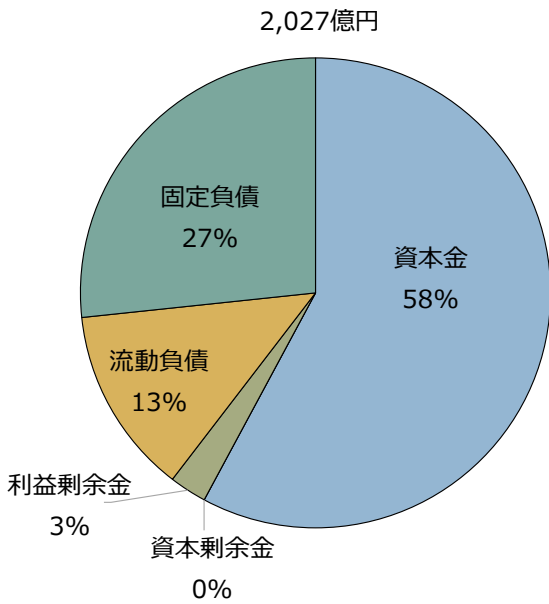
13大学間の比較 (総資産)



- 資本金は全額、国からの出資であり、法人化以降で大きな変動はない。
- 負債は2013年度に、学寮整備及び病院施設新営等のための借入金の増により増えた後、償還を進めてきたが、2020年度は若干増加した。

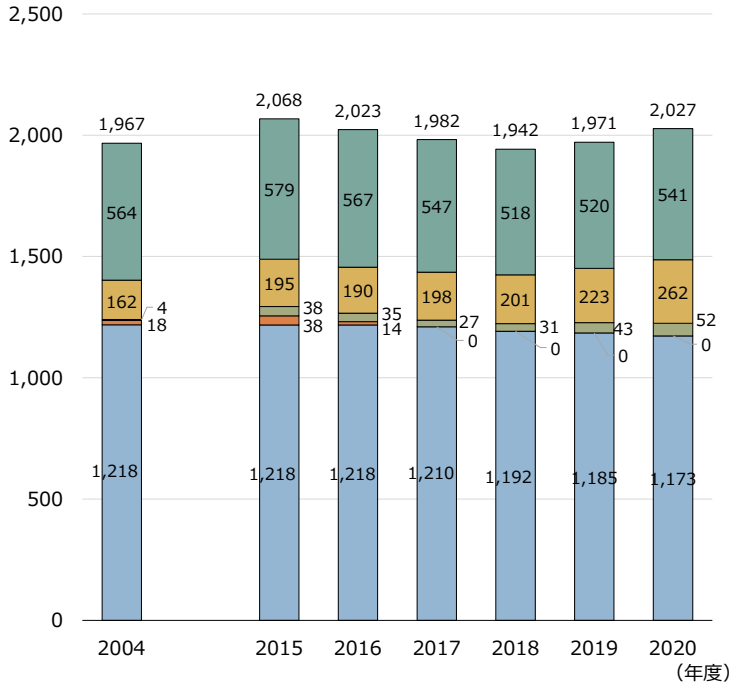
■ 資本金 ■ 資本剰余金 ■ 利益剰余金 ■ 流動負債 ■ 固定負債

2020年度 負債・純資産の内訳



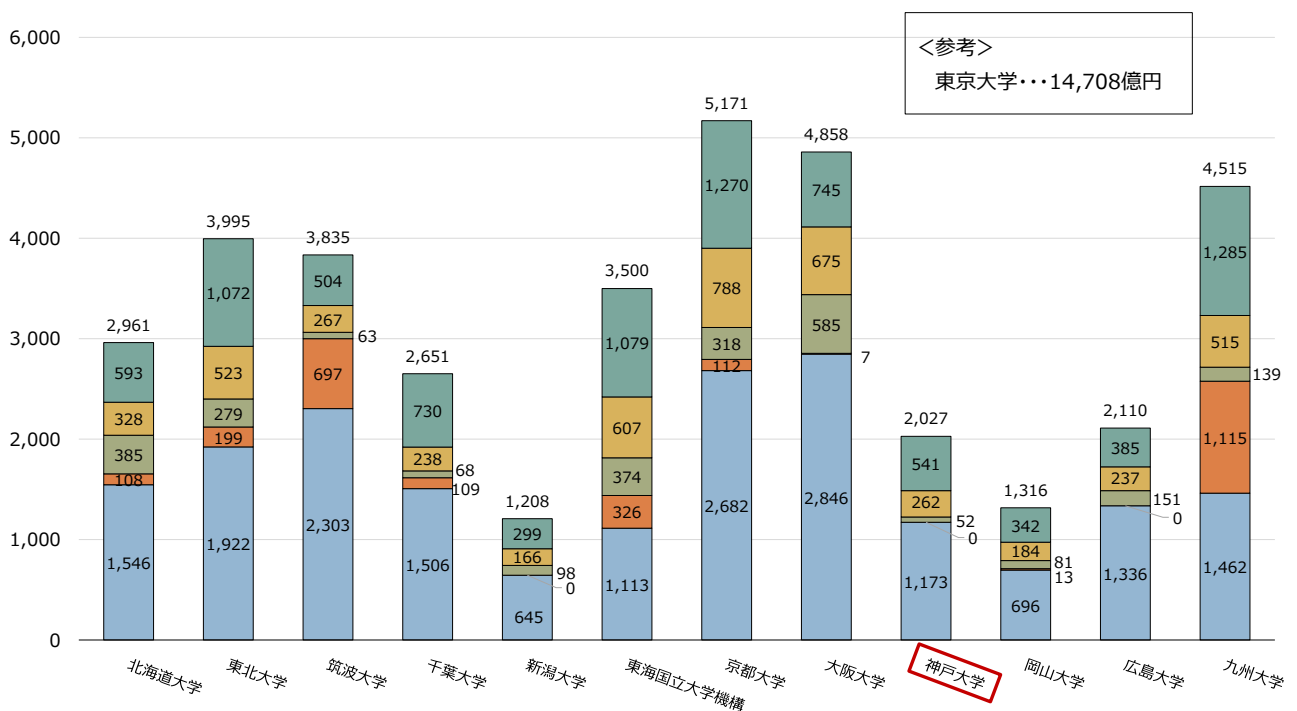
※小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が一致しないもの、また合計が100%にならないものもある。

(億円) 負債・純資産額の推移



(2021年3月31日時点)

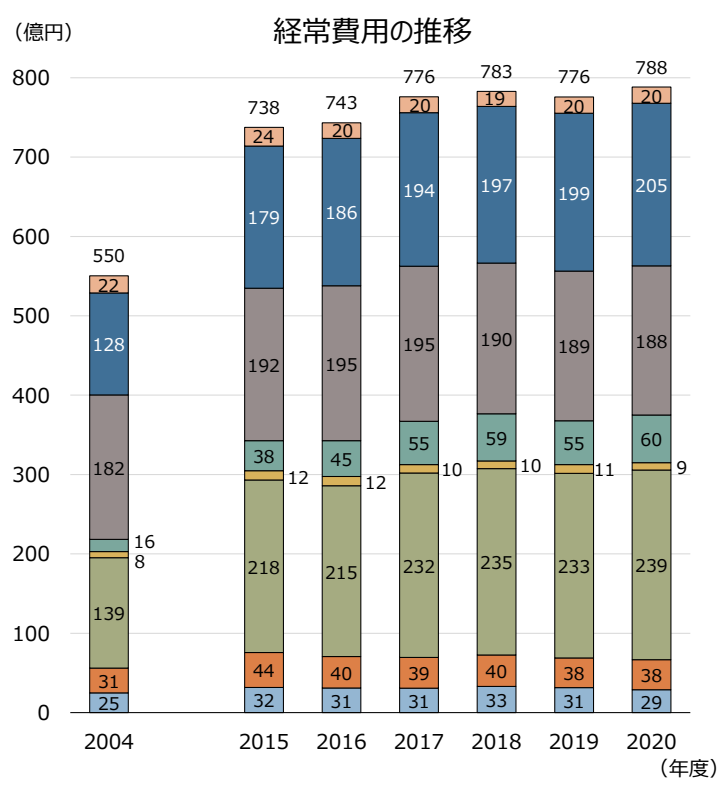
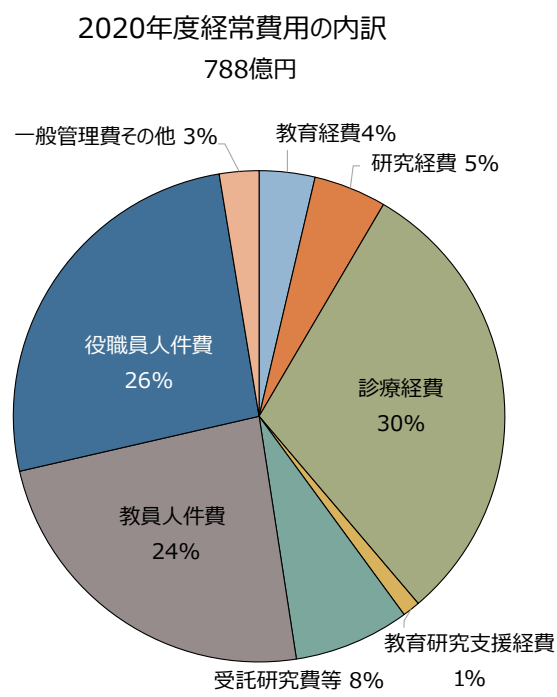
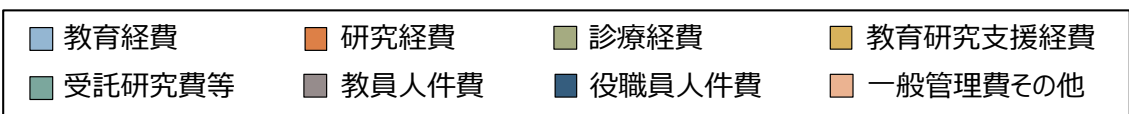
(億円) 13大学間の比較 (負債・純資産項目)



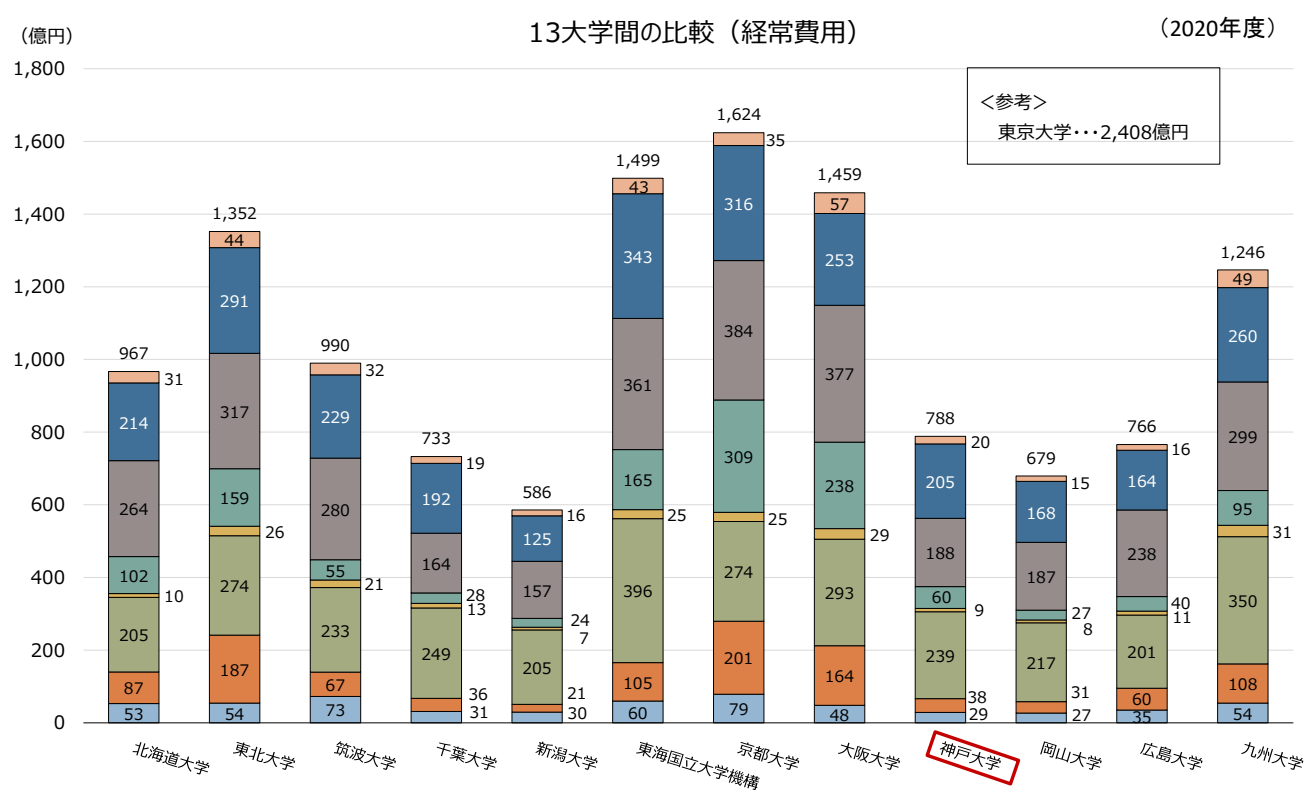
※資本剰余金がマイナスの大学は、グラフ上では資本金から除いて表示。

29-2 損益計算書の概要

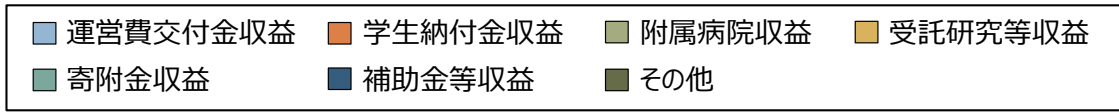
○ 2004年度と比較すると、附属病院収益の大幅な増加に伴い、診療経費や職員人件費の規模も大きく増加している。



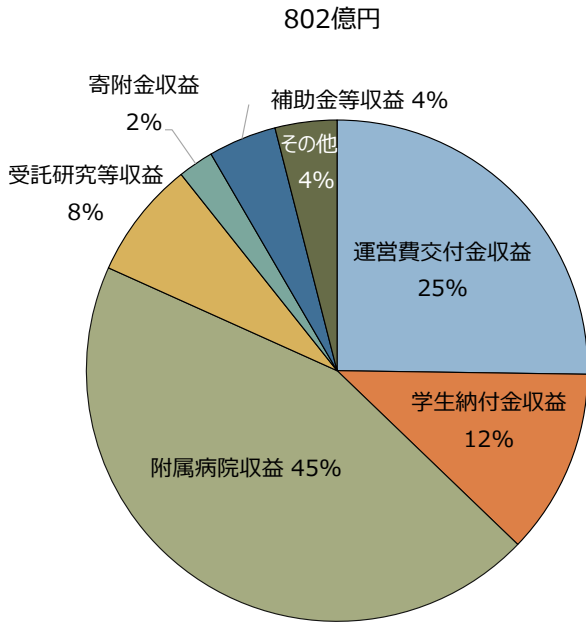
※小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が一致しないもの、また合計が100%にならないものもある。



○ 自己財源である附属病院収益や受託研究等収益が増加していることに伴い、経常収益の規模は2004年度に比して1.4倍以上に増加している。

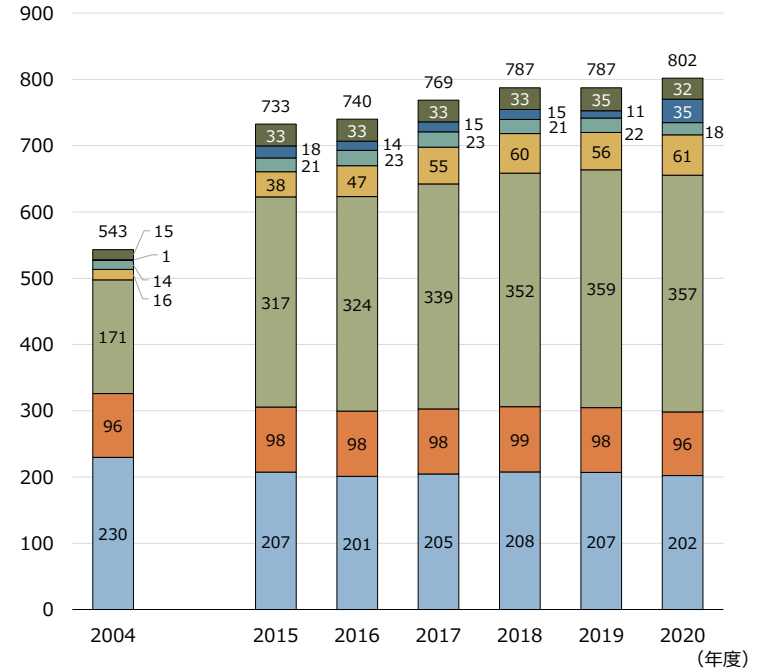


2020年度 経常収益の内訳



(億円)

経常収益の推移

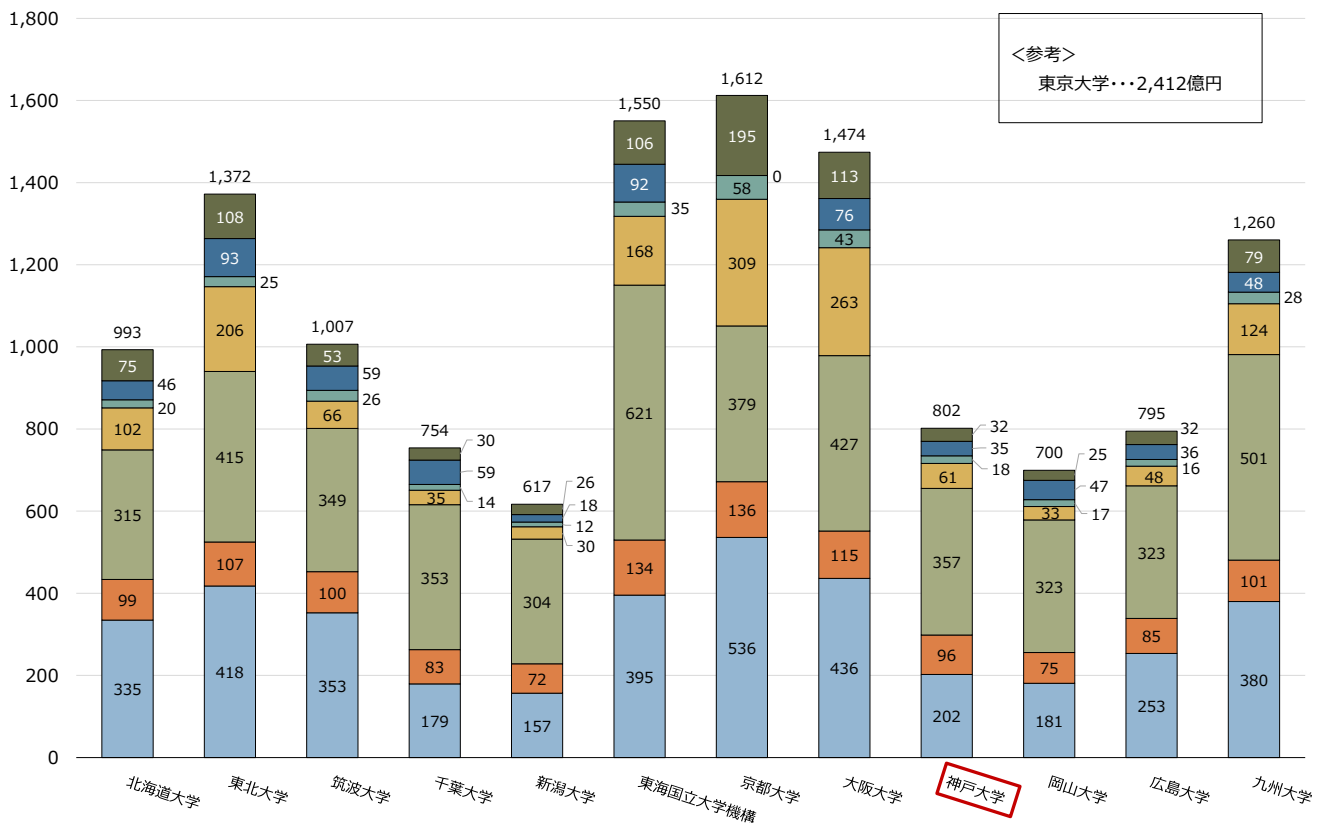


※小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が一致しないもの、また合計が100%にならないものもある。

(億円)

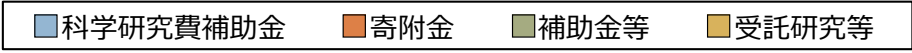
13大学間の比較 (経常収益)

(2020年度)

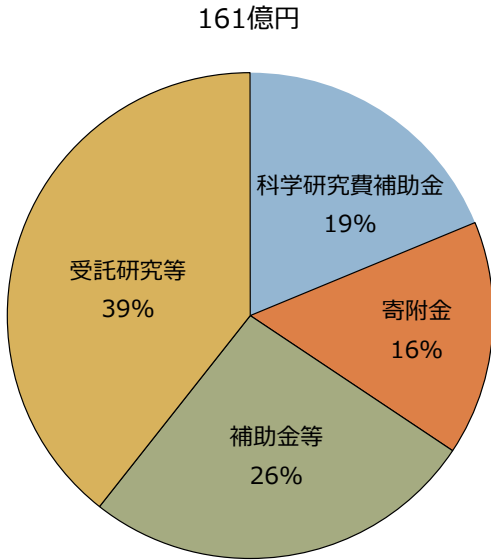


29-3 外部資金受入れ状況

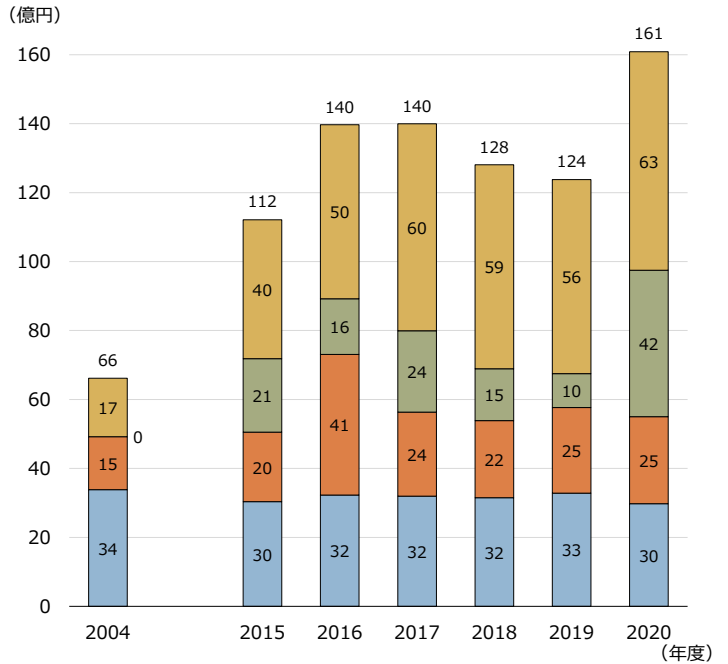
○ 外部資金の2020年度受入額は、2004年度と比較すると大きく増加しており、特に受託研究等の増加が顕著となっている。



2020年度外部資金受入額の内訳



外部資金受入額の推移

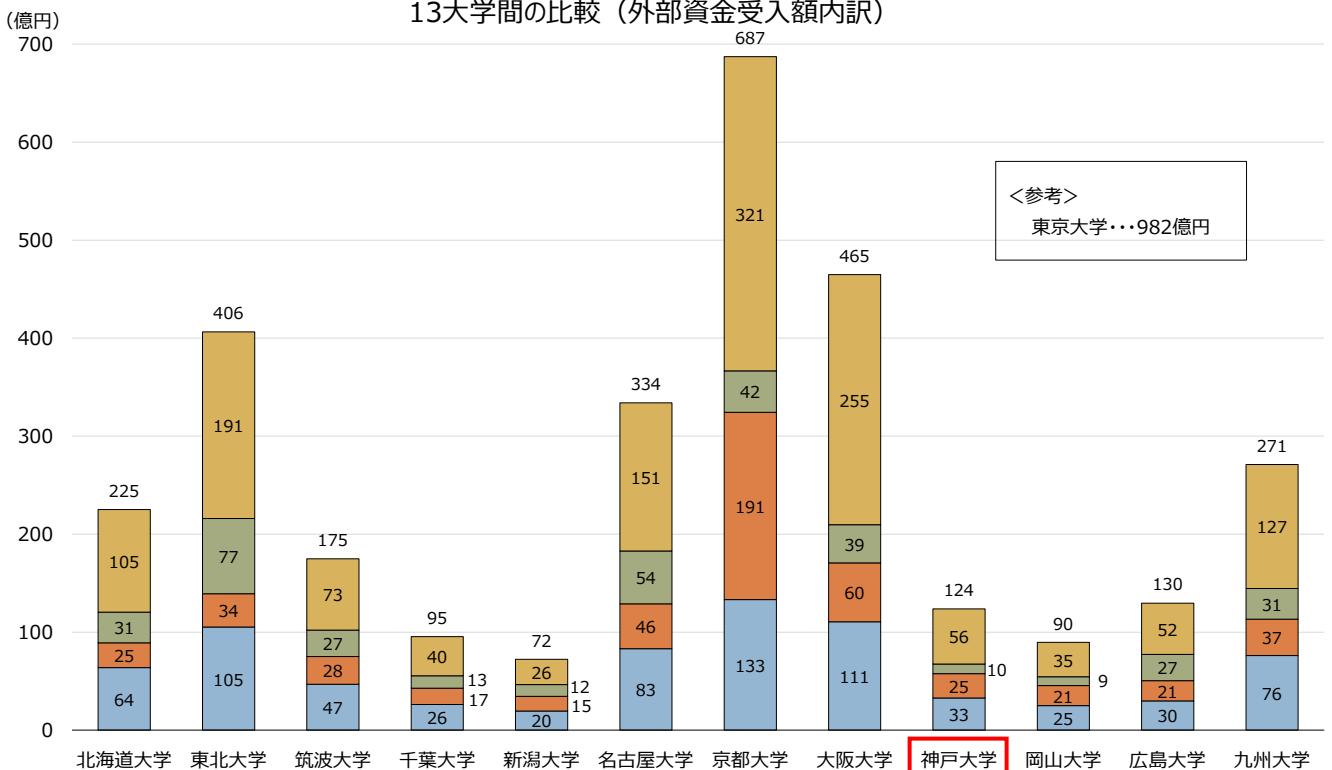


※小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が一致しないもの、また合計が100%にならないものもある。

※2016年度は国際がん医療・研究センター設立に伴う寄附金により、一時的に寄附金が増加している。

(2019年度)

13大学間の比較 (外部資金受入額内訳)



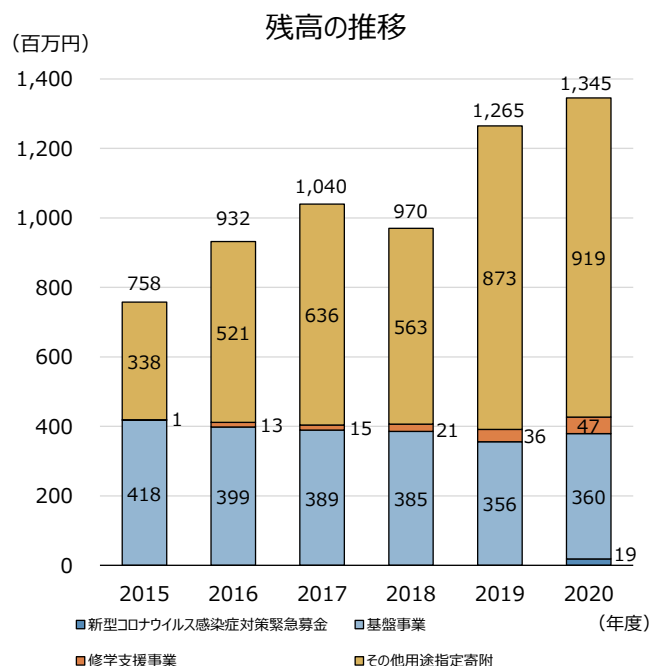
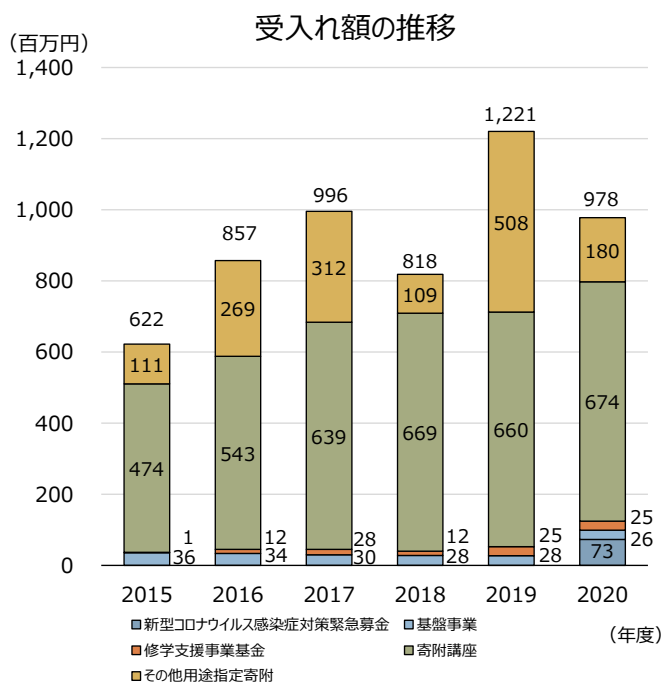
29-4 補助金・受託研究等による主な採択プログラム一覧

(単位：千円)

事業・プログラム名/取組名	実施担当部局	研究代表者名	2020年度 受入金額	採択期間 (年度)
研究大学強化促進事業補助金				
研究大学強化促進事業補助金	研究推進部	神戸大学長	122,200	2013～2022
多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン				
7大学連携個別化がん医療実践者養成プラン	大学院医学研究科	医学研究科長	7,515	2017～2021
地域イノベーション・エコシステム形成プログラム				
バイオ経済を加速する革新技術：ゲノム編集・合成技術の事業化	科学技術イノベーション 研究科	近藤 昭彦	170,643	2017～2022
草の根技術協力事業（草の根パートナー型）				
ベトナム北部における高齢疾患に対するリハビリテーション人材育成支援事業（草の根パートナー型）	大学院保健学研究科	種村 留美	11,899	2019～2022
Visegrad Grant				
Comparing Responses to Global Transformations ? Regime Changes in the V4 and Japan	国際連携推進機構	白鳥 義彦	6,448	2019～2021
オープンイノベーション機構の整備事業				
オープンイノベーション機構の整備事業	学術研究推進機構	神戸大学長	125,000	2019～2023
科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業				
神戸大学文理融合フェローシップ 神戸大学スマートマテリアル・フェローシップ	学務部	神戸大学長	7,000	2020～2027
デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン				
LMSの高度化と学修データ統合システムによる学修者本位の教育の実現	大学教育推進機構	神戸大学長	75,088	2020～2021
デジタル化フレンド型教育による課題設定・解決型人材育成	大学教育推進機構 医学研究科	神戸大学長	228,000	2020～2021
国際科学技術共同研究推進事業 地球規模課題対応国際科学技術協カプログラム（SATREPS）				
ストライガ防除による食料安全保障と貧困克服	農学研究科	杉本 幸裕	66,979	2020～2021
根寄生雑草の発芽機構および宿主抵抗性に着目した防除法の開発ならびに有用性の探索	農学研究科	杉本 幸裕	17,450	2016～2021
大学発新産業創出プログラム（START）（SCORE）研究成果展開事業				
大学発新産業創出プログラム 社会還元加速プログラム（SCORE）大学推進型	産官学連携本部	坂井 貴行	54,391	2020～2021
国立大学改革強化推進補助金				
社会変革を先導する大学への経営改革～「知」「人材」「資金」が循環するイノベーション・エコシステムの形成を目指して～	財務部	神戸大学長	163,333	2020～2021

29-5 神戸大学基金

○ 2006年12月に設置された「神戸大学基金」は多くの支援を賜り、様々な分野において活用されている。また、2020年度は「新型コロナウイルス感染症対策緊急募金」を実施した。



※2019年度は神戸大学創立120周年記念事業「神戸大学パリエースクール」設立に伴う寄附金により、一時的にその他用途指定寄附が増加している。

※寄附講座については、年度ごとの使い切りの予算のため残高に計上されない。

◆「新型コロナウイルス感染症対策緊急募金」・「基盤事業(大学全般)」・「修学支援事業」による学生への支援実績

※2020.5に立ち上げた「新型コロナウイルス感染症対策緊急募金(学生支援)」を計上。

新型コロナウイルス感染症対策緊急募金による支援【5,345万円】

- 生活緊急支援金(5万円/人)【支給者数 933名】
- 追加支援金(日本学生支援機構との併用支援)【支給者数 25名】
- 見舞金(留学先からの緊急帰国等)【支給者数 140名】
- 課外活動支援金(施設キャンセル料等)【支給者数 16団体】

基盤事業(大学全般)による支援【316万円】

- 課外活動支援【支援数 22団体 39件】
- 災害関連ボランティア活動支援
被災地(東日本大震災、熊本豪雨)へのボランティア派遣【被災地派遣学生数 延べ9名/年間】

- 海外からの優秀な留学生の受入【利用者数 1名】

※2020年度は課外活動や海外への留学などを例年どおりに行うことがかなわず、限定的な学生支援となった。

修学支援事業による支援【1,345万円】

- 「神戸大学基金」緊急奨学金【支給者数 10名】
- 「神戸大学基金」奨学金(学部新1年次生対象)【支給者数 73名】

30. 附属図書館・その他一般開放施設

30-1 附属図書館

蔵書数	貸出冊数	入館者数
3,778,089冊	115,731冊	76,659人

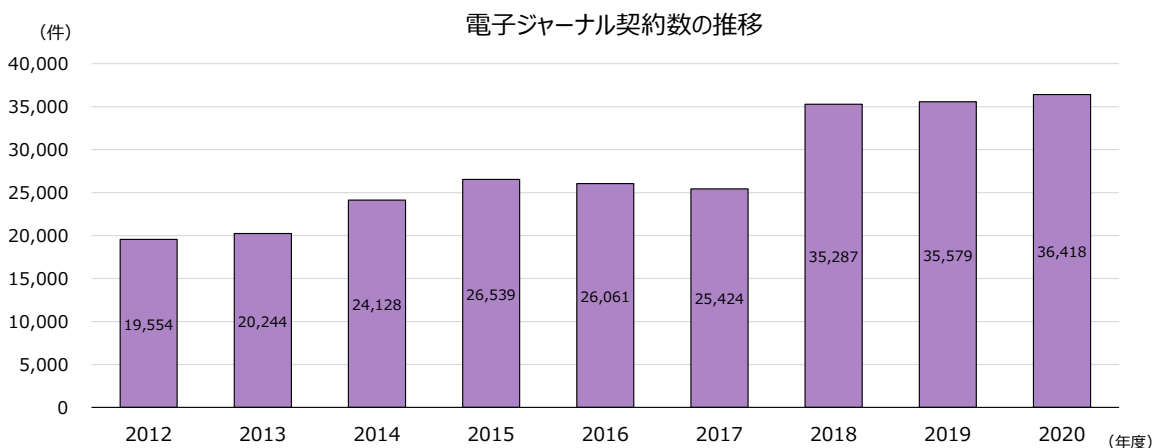
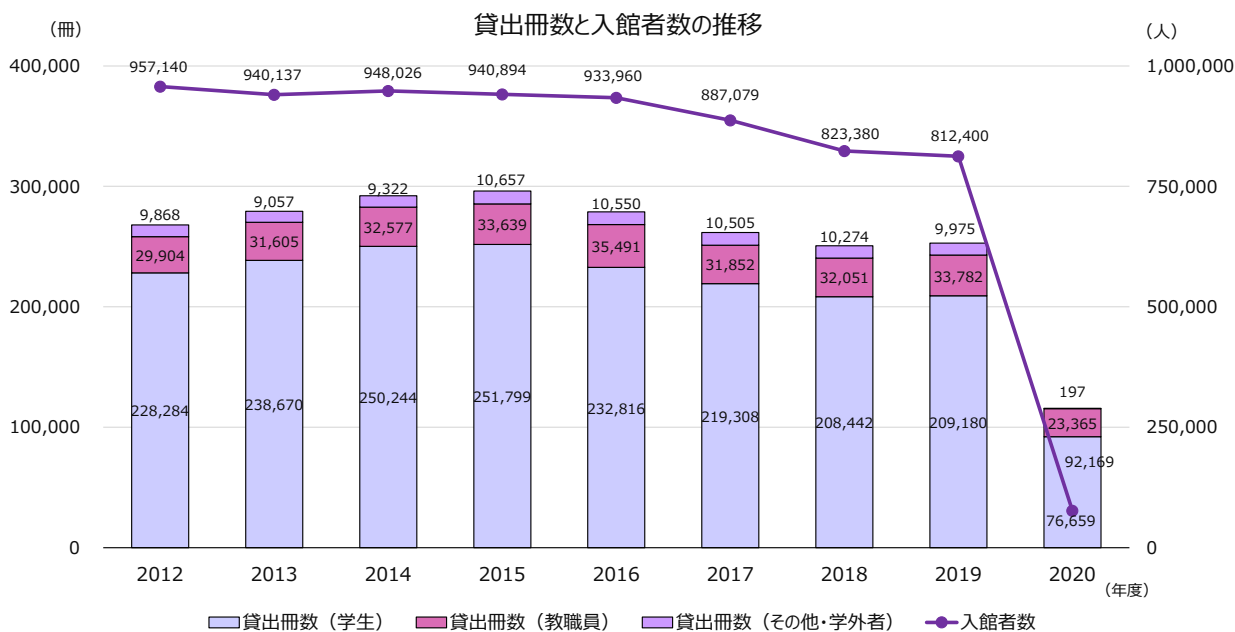
2021年3月31日時点

◆国立大学間での蔵書冊数の比較

順位	大学名	冊
1	東京大	9,808,256
2	京都大	7,188,241
3	九州大	4,202,696
4	東北大	4,180,970
5	大阪大	3,890,488
6	北海道大	3,789,322
7	神戸大	3,789,272
8	広島大	3,472,061
9	名古屋大	3,352,084
10	一橋大	2,755,754
11	筑波大	2,712,400
12	岡山大	2,020,445

出典：朝日新聞出版「大学ランキング2022年版」
2020年3月31日時点の蔵書冊数

学内4つのキャンパスに9つの館室を配置し教育研究支援を展開している。また、地域・社会との連携協力の一環として、2004年度より毎年資料展を実施している。2020年度は感染症による入館制限を行ったため、代替としてホームページ上でデジタル資料展「古典籍さまざま～近世の出版物より～」を開催。また、デジタルアーカイブでサンテレビジョンの震災映像を公開。



30-2 その他一般開放施設



◆大学文書史料室
(2020年度来場者数：1,649人(特別展のみ))

特定歴史公文書等その他神戸大学の歴史に係る資料を保存するとともに、一般の利用に供することを目的とする施設(「国立公文書館等」指定施設)。神戸大学の伝統ある120年の歴史を貴重な歴史資料や写真等で振り返ることができる展示を実施。常設の展示会だけでなく、年1回の特別展や東京等での巡回展も開催。



◆海事博物館
(2020年度来館者数：104人)

海事に関する資料を幅広く収集展示して教育研究の資に供し、あわせて海事の啓発に寄与することを目的とする施設。和船模型と和船の部分実物や航路図、近代から現代の船舶模型や近代の航海用具、進水式絵葉書、寄贈コレクションや書籍など約4万点を収蔵する。毎週、月・水・金の午後に開館。



◆山口誓子記念館
(2020年度は年間を通じて休館)

近代俳句に大きな足跡を残した山口誓子氏の居宅の母屋をほぼ忠実に復元した施設。俳句俳諧文学を中心とする国文学研究の振興や海外との学术交流等に広く寄与することを目的とし、句会や茶会等にも利用できる。



神戸大学企画部企画課

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

TEL: (078) 803-5020